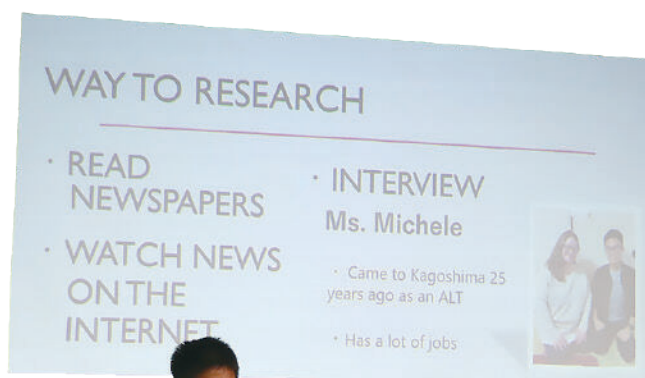


令和6年度

鹿児島市の教育



鹿児島市教育委員会

表紙 新たな時代へ挑戦

目 次

教育行財政

1. 教育委員会の沿革	1
2. 教育長及び教育委員	5
3. 教育委員会の活動	6
4. 各種審議会等	12
5. 計画・指針等	12
6. 教育委員会組織及び事務分掌	13
7. 教育委員会事務局等職員数（現員数）	14

「目指すべき教育の姿」と「施策」の関連図	15
----------------------	----

教育財政

1. 令和6年度一般会計予算と教育予算	16
2. 令和6年度教育予算	17
3. 教育費決算額の推移	18

本市の教育施策

1. 心を育む教育と青少年教育の推進	19
(1) 道徳教育の充実	19
(2) 人権教育の充実	20
(3) 生徒指導の充実	20
(4) 青少年教育と体験活動の充実	21
(5) 青少年を育む環境づくりの推進	23
2. 個性と能力を伸ばす教育の推進	24
(1) 幼児教育の充実	24
(2) 学習指導の充実	24
(3) 特別支援教育の充実	25
(4) 教育の情報化の推進	26
(5) キャリア教育の充実	27
(6) 郷土教育の充実	27
(7) 国際理解教育の充実	28
(8) 環境教育の充実	28
(9) 消費者教育の充実	28
(10) 主権者教育の充実	29
(11) 市立高等学校の振興	29
(12) へき地・複式教育の充実	30
3. 体育・健康・安全の充実	30
(1) 学校体育の充実	30
(2) 健康教育・食育の充実	32
(3) 安全教育の充実	35
(4) 防災教育の充実	37

4. 地域とともにある学校づくりと教育環境の充実	38
(1) 学校運営の充実	38
(2) 教育課程の改善・充実	38
(3) 教職員の資質向上	39
(4) 教育施設の整備・充実	40
(5) 教育費の負担軽減	42
(6) 学校の規模適正化・適正配置	43
(7) 私立学校等との連携	43
5. 家庭や地域の教育力の向上と生涯学習環境の充実	44
(1) 家庭教育の充実	44
(2) 生涯学習活動の充実	44
(3) 学習成果の活用	45
(4) 生涯学習推進体制の充実	46
(5) 生涯学習機能の充実	47
(6) 学習情報の提供、相談機能の充実	47
6. 文化芸術の振興と歴史・文化資源の保存と活用	48
(1) 文化芸術に触れ親しむ機会の充実と活動の促進	48
(2) 文化施設の活用及び文化芸術情報の発信	49
(3) 文化財の保存の充実と積極的な活用	49
学校ICT推進センター	51
学校給食センター	52
少年自然の家	54
宮川野外活動センター	60
生涯学習プラザ	61
地域公民館	63
校区公民館	66
女性会館	67
青年会館	68
勤労女性センター	69
勤労青少年ホーム	71
図書館	73
科学館	77
ふるさと考古歴史館	82
旧鹿兒島紡績所技師館（異人館）・旧島津氏玉里邸庭園	84
世界文化遺産関係	85
美術館	86
かごしま文化工芸村	89
西郷南洲顕彰館	91

資料編

1. 学校一覧	94
2. 学校教育	104
3. 特別支援教育	109
4. 保健体育	110
5. 学校施設	115
6. 生涯学習	124
7. 文化財	132
教育施設等所在図	139

鹿児島市平和都市宣言

わたくしたちの郷土鹿児島市は、先の大戦により市街地のほとんどを焼失し、多くの尊い人命と財産を失った。

鹿児島市は、その焦土の中から立ち上がり市民の英知とたゆまぬ努力によって、今日、南九州の中核都市として限らない発展を続けている。

わたくしたちは、この平和で豊かな郷土を次の世代に引き継ぐために、再び戦争による惨禍を繰り返さないことを誓い、あらゆる国の核兵器の全面廃絶と国是である非核三原則の遵守を希求し、世界の恒久平和の達成を願い、ここに「平和都市」を宣言する。

平成2年2月26日

鹿児島市

教育委員会

1. 教育委員会の沿革

明治22年	学務係を設置し、教育行政の業務を開始
明治39年	学務係が学務課に昇格し、鹿児島市視学を任命
昭和22年	学務課を教育課に改称
昭和24年	鹿児島市社会教育委員が発足 鹿児島市公会堂を鹿児島市中央公民館と改称し、翌年同会館内に結婚式場を開設
昭和26年 4 月	教育部を設け、学校教育課と社会教育課を設置
昭和26年 7 月	中央公民館に婦人相談所を開設
昭和27年11月	教育委員会制度の発足に伴い、教育委員会を設置し、事務局に学校教育課を設置
昭和28年 4 月	事務局に総務課、指導課、社会教育課、教育長室の3課1室を設置
昭和29年 9 月	戦時中から閉鎖していた歴史館を母体に美術館を開設
昭和31年 5 月	教育長室を廃止し、総務課に吸収
昭和36年 4 月	交通局が所管していた動物園、運動場を所管 指導課から保健体育課を分離し、新たに運動場係を設置
昭和39年 4 月	青少年問題協議会の事務を民生部社会課（現福祉事務所）から移管
昭和39年10月	少年非行の早期発見と早期補導を目的に少年あいごセンターを設置
昭和42年 4 月	谷山市との合併により、谷山分室を設置し、図書室も併せて所管 学校給食センターを設立（同年5月業務開始）
昭和43年 7 月	機構整備により、鴨池動物園を都市計画部へ移管
昭和46年10月	教育次長制度を設け、従来の総務課を庶務課と管理課へ分離
昭和48年 4 月	旧鴨池ヨットハウスを改装して鴨池公民館が竣工（同年7月開設）
昭和49年 4 月	機構整備により青少年問題協議会の事務を経済局商工観光部勤労青少年課へ移管
昭和49年 6 月	本市教育委員会の充実と発展を期するため、昭和46年設置以来空席であった教育次長を任命
昭和50年 1 月	中央公民館に視聴覚ライブラリーを設置
昭和50年 4 月	吉野町に少年自然の家が竣工（同年7月開所）
昭和51年 4 月	旧草牟田小学校跡地に、城西公民館を開設
昭和51年 8 月	機構整備により、事務局に企画担当の主幹を置き、庶務課の庶務係と人事係を統合するとともに、指導課の就学係を学事係に、社会教育課の公民教育係を成人教育係にそれぞれ改称
昭和52年 4 月	谷山市民会館を開設
昭和53年 4 月	吉野公民館、市民体育館をそれぞれ開設
昭和54年 4 月	伊敷公民館を開設
昭和55年 4 月	婦人青少年課を新設し、婦人係と青少年係を設置。市長からの補助執行により勤労婦人センター及び勤労青少年ホームを所管
昭和55年 5 月	武・田上公民館を開設
昭和56年12月	東桜島公民館を開設
昭和57年 4 月	少年あいごセンターを青少年補導センターに改称
昭和59年 3 月	学校給食センターを改築
昭和60年10月	美術館が新装開館
昭和61年12月	教育総合センターが竣工

昭和62年 1 月	教育総合センターに教育委員会事務局、婦人会館、青年会館及び学習情報センター（視聴覚ライブラリー、教育相談室を吸収）を設置し、業務を開始
昭和62年 4 月	機構整備により、庶務課に企画担当を吸収、管理課などを再編して学務課、施設課を設置したほか、保健体育課体育係を学校体育係と社会体育係に分離 学校給食センターに谷山分場を設置（4月23日から供給開始）
昭和62年 4 月	宮川野外活動センターを開設
昭和63年 4 月	図書館・科学館建設室を設置
平成元年 4 月	市民スポーツセンター建設室を設置
平成元年 7 月	市民スポーツ課を新設し、市民スポーツ係と施設管理係を設置 鴨池球場を全面改築し、新たに鴨池市民球場として供用開始
平成 2 年12月	市制100周年記念事業の一環として建設を進めていた図書館及び科学館が開館（図書館・科学館建設室を廃止）
平成 4 年 4 月	社会教育課を廃止し、生涯学習課と文化課を新設。婦人青少年課を女性青少年課に、婦人係を女性係に改称
平成 4 年10月	鹿児島アリーナが開館（市民スポーツセンター建設室を廃止）
平成 6 年 4 月	機構整備により、教育次長制度を廃止し、管理部長及び教育部長を設置。女性行政部門の市長事務部局への移管に伴い、女性青少年課を廃止し、生涯学習課に青少年係を設置
平成 7 年 4 月	近代文学館・メルヘン館建設室を設置
平成 9 年 2 月	多目的屋内運動場（鴨池ドーム）が開館
平成 9 年 4 月	ふるさと考古歴史館が開館
平成10年 1 月	かごしま近代文学館、かごしまメルヘン館が開館（近代文学館・メルヘン館建設室を廃止）
平成12年 4 月	庶務課を総務課に改称
平成13年 1 月	生涯学習プラザが開館。生涯学習課に管理係を設置
平成14年 4 月	青少年課を新設し、指導課を学校教育課に改称
平成16年 4 月	中高一貫教育準備室を設置
平成16年 7 月	冒険ランドいおうじまを開設
平成16年11月	吉田町、桜島町、喜入町、松元町及び郡山町との合併により、各町の体育施設を市民スポーツ課の所管に、各町の公民館を教育部の所管に、学校給食センターを中央学校給食センターに、学校給食センター谷山分場を谷山学校給食センターに改称し、桜島町を除く4町の給食センターを中央学校給食センターが所管 かごしま文化工芸村が開館
平成17年 2 月	吉田多目的屋内運動場を開設
平成17年 8 月	桜島多目的広場を開設 鹿児島市立鹿児島玉龍中学校を設置
平成18年 3 月	中高一貫教育準備室を廃止 春山・郡山校区公民館が開館
平成18年 4 月	鹿児島玉龍中学校を開校し、併設型の中高一貫教育を開始 科学館、鴨池公園野球場、鴨池公園水泳プールなど14施設に指定管理者制度を導入
平成19年 3 月	南方校区公民館が開館（南方児童クラブと合築）
平成19年 4 月	総務課庶務係を廃止し、総務係と企画調整係を新設 婦人会館、勤労婦人センターを女性会館、勤労女性センターと改称 科学館プラネタリウム機器を更新
平成19年12月	東開庭球場にテニスコート4面増設
平成20年 3 月	松元・花尾校区公民館が開館
平成20年 4 月	吉田小学校新築移転 吉田地域・桜島地域・喜入地域・松元地域の体育施設に指定管理者制度を導入

平成20年 6 月	鴨池公園水泳プールの設計、建設、運営、維持管理に PFI 方式を導入
平成20年 9 月	鹿児島市スポーツ栄誉賞創設 第一号受賞者 宮下純一氏（北京オリンピック競泳男子 4×100m メドレーリレー銅メダル獲得） 東開庭球場リニューアルオープン
平成20年10月	谷山北公民館が開館
平成21年 3 月	鹿児島市芸術文化栄誉賞創設 第一号受賞者 加藤久仁生氏（第81回アカデミー賞短編アニメ賞受賞）
平成21年 3 月	石谷・東昌・桜洲校区公民館が開館
平成21年 4 月	鹿児島市美術品等取得基金を創設 郡山地域の体育施設 2 施設に指定管理者制度を導入
平成22年 1 月	独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と宇宙教育活動に関する協定を締結
平成22年 3 月	文部科学省の整備方針に基づき、地上デジタル放送対応テレビを全市立小・中・高等学校の普通教室等に各 1 台、幼稚園の保育室に各 1 台、電子黒板を全市立小・中学校に各 1 台整備するとともに、教育用コンピュータを小・中・高等学校の児童生徒3.6人に 1 台、校務用コンピュータを同じく教員 1 人に 1 台整備 全市立小・中・高等学校の建物について耐震診断を終了
平成22年 4 月	西郷南洲顕彰館リニューアルオープン
平成22年 7 月	生見ビーチハウスオープン
平成22年 9 月	鹿児島商業高等学校の国際経済科募集定員を40人（1 学級）減らし、40人（1 学級）とする。
平成23年 1 月	鹿児島市教育振興基本計画を策定
平成23年 3 月	かごしま近代文学館・メルヘン館リニューアルオープン
平成23年 4 月	ふるさと考古歴史館に指定管理者制度を導入 鹿児島市民文化ホール、谷山サザンホールを総務部総務課から移管 鴨池公園水泳プールオープン（屋内50m温水プール及び屋外飛込プールを新築するとともに、既存の屋内25m温水プールを改修） 鹿児島女子高等学校の敷地内にある国指定の名勝「旧島津氏玉里邸庭園」の下御庭を修復し、一般公開を開始
平成23年 8 月	南日本新聞社と新聞活用に関する協定を締結
平成23年10月	喜入公民館が喜入支所との複合施設として移転新築 旧鹿児島紡績所技師館（異人館）リニューアルオープン
平成25年 3 月	科学館リニューアルオープン
平成25年 5 月	谷山市民会館リニューアルオープン
平成25年 8 月	中央公民館リニューアルオープン（ホール以外は 5 月から供用）
平成26年 4 月	機構整備により、施設課に計画保全係を設置。文化に関する事務及びスポーツイベント業務を市長事務部局へ移管することに伴い、文化課及び市民スポーツ課を廃止し、文化財課及び保健体育課市民体育係を設置 かごしま近代文学館・メルヘン館、鹿児島市民文化ホール及び谷山サザンホールを市長事務部局へ移管 城西公民館リニューアルオープン 旧島津氏玉里邸庭園に指定管理者制度を導入
平成27年 3 月	喜入公民館ホールが開館
平成27年 4 月	機構整備により、教育部に国体準備室を設置
平成27年 4 月	吉田公民館リニューアルオープン
平成28年 1 月	郡山体育館を開設
平成28年 4 月	教育委員長と教育長を一本化し、新「教育長」体制に移行 機構整備により、文化財課に文化財係及び世界遺産保全係を設置。市立幼稚園及び結婚相談所を市長事務部局へ移管 吉野公民館リニューアルオープン

平成29年 4 月	機構整備により、国体準備室を市長事務部局へ移管 ふるさと考古歴史館リニューアルオープン
平成29年 4 月	郡山公民館リニューアルオープン
平成30年 3 月	伊敷公民館リニューアルオープン
平成31年 3 月	武・田上公民館リニューアルオープン
平成31年 4 月	機構整備により、スポーツに関する事務の一部を市長事務部局へ移管することに伴い、保健体育課市民体育係を廃止
令和 2 年 3 月	鴨池公民館リニューアルオープン
令和 3 年 4 月	沖小島及び宇宙学習室を市長事務部局へ移管 学習情報センターを学校 ICT 推進センターに改称
令和 3 年10月	松元公民館リニューアルオープン
令和 4 年 3 月	第二次鹿児島市教育振興基本計画を策定
令和 4 年 4 月	機構整備により、管理部に学校整備室を設置 学校 ICT 推進センターを教育委員会事務局の内部組織としても位置づけ 青少年補導センターを青少年育成センターに改称 天文館図書館オープン
令和 5 年 4 月	機構整備により、保健体育課の学校体育係を学校体育安全係に、保健給食係を学校保健係に改称するとともに、学校給食係を新設
令和 6 年 3 月	冒険ランドいおうじまを閉所
令和 6 年 4 月	鹿児島商業高等学校の商業科、情報処理科、国際経済科をビジネスクリエイト科、情報イノベーション科に再編及びアスリートスポーツ科を新設するとともに、男女共学化へ移行 機構整備により、教育 D X 担当部長を設置

2. 教育長及び教育委員



原之園教育長



津曲委員



前田委員



岡本委員

(教育長職務代理者)

(令和6年5月1日現在)

職 名	氏 名	職 業	任 期	就任年月日
教 育 長	原之園 哲 哉	—	令4. 4. 1～7. 3. 31	令4. 4. 1 (1期目)
委員 (教育長職務代理者)	津 曲 貞 利	会 社 役 員	令5. 7. 19～9. 7. 18	平19. 7. 19 (5期目)
委 員	前 田 圭 子	弁 護 士	令4. 6. 30～8. 6. 29	令4. 6. 30 (1期目)
委 員	岡 本 尚 也	団 体 役 員	令5. 7. 19～9. 7. 18	令5. 7. 19 (1期目)

※委員4名中1名欠員

〔歴代教育委員〕

年	委 員 長	委員長職務代理者	委 員	委 員	教 育 長
昭和 57 年	永 田 致 直	川 畑 担	上 野 喜一郎	野 上 節 子	中 拂 一 則
58	〃	〃	〃	外 西 壽鶴子	〃
59	〃	上 野 喜一郎	上 村 俊 夫	〃	〃
60	〃	〃	〃	〃	下 野 亨
61	上 野 喜一郎	上 村 俊 夫	海江田 順三郎	〃	〃
62	海江田 順三郎	〃	玉 川 哲 生	〃	〃
63	〃	〃	〃	〃	〃
平成 元 年	〃	〃	〃	〃	〃
2	〃	〃	〃	〃	〃
3	〃	〃	〃	〃	〃
4	〃	外 西 壽鶴子	〃	入 部 兼一郎	下 尾 穂
5	〃	〃	〃	〃	〃
6	〃	〃	〃	〃	〃
7	〃	〃	岩 男 秀 彦	〃	〃
8	外 西 壽鶴子	岩 男 秀 彦	海江田 順三郎	〃	〃
9	〃	〃	〃	〃	〃
10	〃	〃	岩 元 恭 一	〃	〃
11	岩 男 秀 彦	入 部 兼一郎	〃	奈良迫 ミチ子	〃
12	〃	奈良迫 ミチ子	〃	中 村 雅 弘	〃
13	〃	〃	〃	〃	橋 元 忠 也
14	〃	〃	〃	〃	〃
15	〃	〃	〃	〃	〃
16	〃	〃	〃	〃	〃
17	〃	〃	〃	窪 蘭 修	石 踊 政 昭
18	〃	窪 蘭 修	〃	奈良迫 ミチ子	〃
19	窪 蘭 修	岩 元 恭 一	津 曲 貞 利	高 島 まり子	〃
20	〃	〃	〃	〃	〃
21	〃	津 曲 貞 利	岩 元 恭 一	〃	〃
22	〃	〃	高 島 まり子	桃木野 聡	〃
23	〃	〃	〃	〃	〃
24	〃	〃	〃	〃	〃
25	〃	〃	〃	〃	〃
26	〃	〃	〃	〃	〃
27	〃	〃	〃	〃	〃
年	教 育 長	教育長職務代理者	委 員	委 員	委 員
28	杉 元 羊 一	津 曲 貞 利	高 島 まり子	桃木野 聡	立 元 千 帆
29	〃	〃	〃	〃	〃
30	〃	〃	〃	〃	〃
令和 元 年	〃	〃	小 栗 有 子	〃	〃
2	〃	〃	〃	〃	〃
3	〃	〃	〃	〃	〃
4	原之園 哲 哉	〃	〃	前 田 圭 子	〃
5	〃	〃	〃	〃	〃
6	〃	〃	岡 本 尚 也	〃	—

3. 教育委員会の活動

(1) 教育委員会会議

教育委員会の会議は、毎月1回開催する定例会と、必要に応じ開催する臨時会がある。
令和4年度は、12回の定例会と1回の臨時会を開催した。

令和5年度の教育委員会会議開催状況

会議名・開催月日 ・開催場所	議案及び報告事項等
第1回定例会 4月17日 市立美術館アトリエ	【議案】 定第1号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市教育委員会の保有する個人情報の保護に関する規則廃止について〕 定第2号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市立学校職員の職、休日休暇及び勤務時間等に関する規則一部改正について〕 定第3号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市教育委員会の任命に係る技能労務職員就業規則の一部改正について〕 定第4号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市立小中学校区審議会委員の解嘱及び委嘱について〕 定第5号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市特別支援教育審議会委員の解嘱及び委嘱について〕 定第6号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市社会教育委員の解嘱及び委嘱について〕 定第7号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について〕 定第8号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市立少年自然の家運営協議会委員の解任及び任命について〕 定第9号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市立学校給食センター運営審議会委員の解嘱及び委嘱について〕 定第10号議案 鹿児島市特別支援教育審議会委員の委嘱の件 定第11号議案 鹿児島市立少年自然の家運営協議会委員の委嘱又は任命の件 定第12号議案 鹿児島市指定文化財の指定に関する件 【報告】 (1)新1年生見学パスポートについて (2)桜島地域における義務教育学校の取組状況について (3)「明和校区における小・中学校の整備について（要望）」の提出について (4)陳情第24号「鹿児島市の『安全な学校給食』を求めることについて」に対する教育委員会の見解について (5)陳情第25号「市立小中学校の給食費の無償化を求めることについて」に対する教育委員会の見解について (6)陳情第26号「市立小中学校の女子トイレに生理用品の設置を求めることについて」に対する教育委員会の見解について (7)市立学校におけるいじめの重大事態に係る調査の終了について (8)少年自然の家の食堂における食事代等の改定について

会議名・開催月日 ・開催場所	議案及び報告事項等
第2回定例会 5月11日 市立科学館企画展示室	【議案】 定第13号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免の件〕 定第14号議案 鹿児島市公民館運営審議会委員の委嘱の件 【報告】 (1)市立科学館展示リニューアルの基本計画について (2)令和6年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択の方法について
第3回定例会 6月1日 青年第一・第二研修室	【議案】 定第15号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免について〕 定第16号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市公民館運営審議会委員の委嘱について〕 定第17号議案 鹿児島市図書館協議会委員の委嘱の件 定第18号議案 鹿児島市立小中学校区審議会委員の委嘱の件 定第19号議案 鹿児島市いじめ問題等調査委員会委員の委嘱の件 定第20号議案 鹿児島市社会教育委員の委嘱の件 定第21号議案 鹿児島市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱又は任命の件 定第22号議案 令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第3号）に係る議案について の意見に関する件 【報告】 (1)第5回市立高等学校活性化委員会について (2)市立学校におけるいじめの重大事態に係る調査の終了等について (3)東桜島公民館の改修工事に伴う休館について
第4回定例会 7月11日 女性第一・第二研修室	【議案】 定第23号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免について〕 定第24号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市図書館協議会委員の委嘱について〕 定第25号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市立小中学校区審議会委員の委嘱について〕 定第26号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市社会教育委員の委嘱について〕 定第27号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市立少年自然の家運営協議会委員の解嘱及び委嘱について〕 定第28号議案 鹿児島市立美術館協議会委員の委嘱の件 定第29号議案 市立高等学校の教育振興に関する件 【報告】 (1)令和5年度教育委員会活動の点検・評価の実施について (2)鹿児島市立高等学校のスクール・ミッションの策定について (3)市議会関係の審議結果等について (4)教育委員会関係の主な行事について

会議名・開催月日 ・開催場所	議案及び報告事項等
第5回定例会 8月17日 女性第一・第二研修室	【議案】 定第30号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免について〕 定第31号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市立美術館協議会委員の委嘱について〕 定第32号議案 代決処分の承認を求める件 〔県費負担教職員の懲戒に係る内申について〕 定第33号議案 代決処分の承認を求める件 〔令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第4号）に係る議案についての意見申出について〕 定第34号議案 代決処分の承認を求める件 〔令和4年度鹿児島市一般会計歳入歳出決算（教育委員会関係分）に係る議案についての意見申出について〕 定第35号議案 鹿児島市立学校管理規則の一部改正の件 定第36号議案 教科用図書採択の件（鹿児島市立小学校） 定第37号議案 教科用図書採択の件（鹿児島市立高等学校） 【報告】 （1）桜島地域における義務教育学校の取組状況について （2）世界文化遺産の保全について （3）令和5年度全国学力・学習状況調査結果（速報値）について （4）市立学校におけるいじめの重大事態に係る調査の終了等について （5）「令和5年度（令和6年1月）はたちの集い」について （6）鹿児島市教育委員会とプロスポーツクラブとの連携協定について
第6回定例会 9月28日 女性第一・第二研修室	【議案】 定第38号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免について〕 定第39号議案 代決処分の承認を定める件 〔令和6年度鹿児島市立高等学校学科別募集定員について〕 定第40号議案 桜島地域における義務教育学校の校名案を決定する件 定第41号議案 市立中学校における詳細調査の件 【報告】 （1）市立高等学校の推薦入学定員について （2）市議会関係の審議結果等について （3）教育委員会関係の主な行事について
第7回定例会 10月26日 女性第一・第二研修室	【議案】 定第42号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免について〕 定第43号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市教育委員会教育長事務決裁規程一部改正について〕 定第44号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市教育委員会表彰規程一部改正について〕 定第45号議案 鹿児島市文化財審議会委員の委嘱の件 【報告】 （1）市立美術館と県立松陽高等学校との連携協定について

会議名・開催月日 ・開催場所	議案及び報告事項等
第8回定例会 11月17日 女性第一・第二研修室	【議案】 定第46号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免について〕 定第47号議案 令和5年度鹿児島市教育委員会活動の点検・評価の件 定第48号議案 令和6年度鹿児島市立高等学校人事異動の重点を定める件 定第49号議案 令和5年度社会教育功労者及び社会教育優良団体の教育委員会表彰の件 定第50号議案 特別職の職員の給与に関する条例等一部改正に係る議案についての意見に関する件 定第51号議案 工事請負契約締結に係る議案についての意見に関する件（吉野小学校校舎増築その他本体工事） 定第52号議案 鹿児島市立学校条例一部改正に係る議案についての意見に関する件 定第53号議案 鹿児島市冒険ランドいおうじま条例廃止に係る議案についての意見に関する件 【報告】 (1) 鹿児島市立科学館展示リニューアル基本計画（素案）に係るパブリックコメント 手続の実施について (2) 鹿児島市教育委員会と一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会との連携協定 締結式について (3) 鹿児島商業高等学校の男女共学化等に伴う施設整備の変更について (4) 鹿児島市新学校給食センター整備基本計画（素案）について (5) 第62回全日本学校歯科保健優良校表彰について (6) 令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰について
第9回定例会 12月21日 女性第一・第二研修室	【議案】 定第54号議案 代決処分の承認を求める件 〔令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第5号）に係る議案についての意見申出について〕 定第55号議案 令和5年度鹿児島市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等の教育委員会表彰の件 【報告】 (1) 第7回市立高等学校活性化委員会について (2) 教育委員会における国家賠償請求事件及び今後の対応について (3) 市議会関係の審議等について (4) 教育委員会関係の主な行事について
第10回定例会 1月18日 女性第一・第二研修室	【議案】 定第56号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免について〕 定第57号議案 代決処分の承認を求める件 〔県費負担教職員の懲戒に係る内申について〕 定第58号議案 鹿児島市冒険ランドいおうじま条例施行規則廃止の件 【報告】 (1) 明和小・中学校に関する陳情について (2) 令和6年度鹿児島玉龍中学校入学者選抜について (3) 市立学校におけるいじめの重大事態の発生について

会議名・開催月日 ・開催場所	議案及び報告事項等
第11回定例会 2月8日 女性第一・第二研修室	【議案】 定第59号議案 代決処分の承認を求める件 〔令和5年度鹿児島市一般会計補正予算（第7号）（教育委員会関係分）に係る議案についての意見に関する件について〕 定第60号議案 鹿児島市母校応援ふるさと寄附基金条例一部改正に係る議案についての意見に関する件 定第61号議案 鹿児島市職員定数条例一部改正（教育委員会関係分）に係る議案についての意見に関する件 定第62号議案 令和6年度鹿児島市一般会計予算（教育委員会関係分）に係る議案についての意見に関する件 【報告】 (1) 鹿児島市立科学館展示リニューアル基本計画素案に係るパブリックコメント手続の実施結果及び鹿児島市立科学館展示リニューアル基本計画（案）について (2) 令和5年度市立高等学校活性化委員会における意見の集約について (3) 鹿児島市立高等学校の推薦入学者選抜（自己推薦）について (4) 教育委員会における損害賠償請求事件及び今後の対応について (5) 市立学校におけるいじめの重大事態の発生について
第1回臨時会 3月9日 教育委員会室	【議案】 臨第1号議案 鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免の件 臨第2号議案 鹿児島市立高等学校の教職員の任免の件 臨第3号議案 鹿児島市立小学校及び中学校の校長の任免についての内申の件 【報告】 (1) 寺山炭窯跡の石積崩落について (2) 鹿児島市新学校給食センター整備基本計画（案）について (3) 冒険ランドいおうじまの譲与（無償譲渡）について (4) 市立学校におけるいじめの重大事態に係る調査の終了等について (5) 教育委員会関係の主な行事について
第12回定例会 3月21日 女性第一・第二研修室	【議案】 定第63号議案 代決処分の承認を求める件 〔鹿児島市立高等学校学則一部改正について〕 定第64号議案 鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免の件 定第65号議案 鹿児島市教育委員会組織及び事務分掌等に関する規則一部改正の件 定第66号議案 鹿児島市教育委員会教育長事務決裁規程一部改正の件 定第67号議案 鹿児島市教育委員会の任命に係る技能労務職員就業規則一部改正の件 定第68号議案 鹿児島市立科学館条例施行規則一部改正の件 定第69号議案 鹿児島市立ふるさと考古歴史館条例施行規則一部改正の件 定第70号議案 鹿児島市立美術館条例施行規則一部改正の件 定第71号議案 鹿児島市図書館条例施行規則一部改正の件 定第72号議案 代決処分の承認を求める件 〔県費負担教職員の懲戒に係る内申について〕 【報告】 (1) 令和5年度鹿児島学習定着度調査の結果について (2) 地域公民館図書室における雑誌スポンサー制度導入について (3) 市議会関係の審議結果等について (4) 教育委員会関係の主な行事について

(2) 計画学校訪問

学校教育課主催の計画学校訪問に教育委員が参加し、教育活動の実態を把握した。令和5年度は、小・中学校11校に、延べ14人の教育委員が参加した。

(3) 教育委員会活動の自己点検・評価

ア 概要

平成19年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられた。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識を有する者の知見の活用を図ることが規定されている。

イ 令和5年度の取組

令和5年度は、鹿児島市行政評価に準じて、全継続事業の内部評価を行った上で、第二次教育振興基本計画（計画期間：令和8年度まで）に掲げる関連事業のうち、見直しが必要と思われる事業を選定し、評価を実施するとともに、全施策に設定している成果指標について、令和4年度の実施状況の点検を行った。

ウ 令和5年度の点検・評価結果概要

評価結果一覧

No.	事業名	担当課	評価結果
1	おやじの会活動支援事業	生涯学習課	B：見直し
2	社会学級の開設事業	生涯学習課	B：見直し
3	少年自然の家主催事業	少年自然の家	A：継続

【評価区分】

区 分	内 容
A 継続	引き続き改善・工夫に努めながら継続する
B 見直し	事業の実施方法等を見直す必要がある
C 統合	事業の統合を検討すべき
D 縮小	事業規模を縮小する必要がある
E 休止	制度は必要だが、事業を休止すべき
F 廃止	制度自体を廃止すべき
G 終了	事業の終期に合わせて、終了すべき

鹿児島市ホームページアドレス：教育委員会活動の点検・評価

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/kyoiku/kanri/kysoumu/kosodate/gakko/inkai/30tenken.html>



教育委員会活動の点検・評価

4. 各種審議会等

各種審議会等	委員の数	委員の構成	任期
奨学資金貸付審査会	15人以内	学識経験者、PTA 代表者、学校長、関係行政機関	1 年
市立小中学校区審議会	〃	学識経験者、PTA 代表者、学校長、関係行政機関	〃
特別支援教育審議会	〃	学識経験者、学校教育関係等	2 年
社会教育委員	20人以内	学識経験者、社会教育関係者、学校教育関係者、家庭教育関係者	1 年
文化財審議会	15人以内	学識経験者、関係行政機関	2 年
美術館協議会	10人以内	学識経験者、学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、公募委員	〃
図書館協議会	〃	学識経験者、学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者	〃
公民館運営審議会	各審議会 15人以内	学識経験者、社会教育関係者、学校教育関係者、家庭教育関係者	1 年
少年自然の家運営協議会	20人以内	学識経験者、社会教育関係団体代表者、小中高等学校代表者	〃
学校給食センター運営審議会	18人以内	PTA 代表者、学校保健会会長、学識経験者、衛生管理機関の代表者、学校教育関係者等	〃
勤労女性センター運営委員会	15人以内	勤労女性、勤労者家庭の女性、雇用主、学識経験者、関係行政機関	2 年
勤労青少年ホーム運営委員会	〃	勤労青少年、雇用主、学識経験者、関係行政機関	〃
青少年問題協議会	25人以内	学識経験者、関係行政機関、公募委員	〃
青少年育成センター運営協議会	20人以内	学校代表者、関係行政機関	〃
いじめ問題等調査委員会	6 人以内	学識経験者、弁護士等	〃

5. 計画・指針等

計画・指針名	策定年月	計画期間	所管課	備考（関連法令等）
第二次鹿児島市教育振興基本計画	令和 4 年 3 月	令和 4 年度～令和13年度 (2022年度～2031年度)	総務課	教育基本法
鹿児島市立小学校・中学校の学校規模適正化・適正配置に関する基本方針	平成30年 3 月	－	学校整備室	
鹿児島市学校施設長寿命化計画	令和 2 年 6 月	令和 2 年度～令和11年度 (2020年度～2029年度)	施設課	
世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」集成館サイト修復・公開活用計画	平成30年 3 月	平成29年度～ (2017年度～)	文化財課	世界遺産条約、文化財保護法 など
鹿児島市図書館基本的運営方針	平成28年 3 月 ※令和 4 年 3 月改定	－	図書館	
教師の勤務時間の上限に関する指針	令和 2 年 3 月	－	学務課	
鹿児島市立学校における業務改善アクションプラン	令和 2 年 3 月	令和 2 年度～令和 4 年度 (2020年度～2022年度)	学務課	令和 5 年度以降 継続指導
鹿児島市教育情報ネットワークシステム（KEIネット）セキュリティポリシー	平成28年 2 月 ※令和 3 年 4 月改定	－	学校 ICT 推進センター	
学校の部活動等の方針	令和 2 年 3 月	－	保健体育課	
鹿児島市いじめ防止基本方針	平成26年10月 ※平成30年 3 月改定	－	青少年課	いじめ防止対策推進法
第四次鹿児島市子ども読書活動推進計画	令和 3 年 3 月	令和 3 年度～令和 7 年度 (2021年度～2025年度)	生涯学習課	子どもの読書活動の 推進に関する法律
松元地域を中心とした新学校給食センターの整備方針	令和 5 年 2 月	令和 5 年度～ (2023年度～)	保健体育課	
鹿児島市新学校給食センター整備基本計画	令和 6 年 3 月	令和 6 年度～ (2024年度～)	保健体育課	

6. 教育委員会組織及び事務分掌

教育委員会	総務課 (227-1992)	総務係	〔 公文書類の収受・発送、奨学資金、職員の人事・服務・給与・研修・福利厚生等、庁舎等管理 〕
教育長 (227-1992)		企画調整係	〔 事務の連絡調整、事業の進行管理、教育委員会会議、規則の制定・改廃、情報公開制度、個人情報保護制度、広報活動、教育行政相談、科学館 〕
		財務係	〔 予算編成・執行、決算、学校の物品会計、就学援助事務 〕
	学校整備室 (227-1930)		〔 学校施設の整備、学校規模適正化・適正配置 〕
	施設課 (227-1933)	管理係	〔 教育施設の国庫補助・起債、教育財産の管理 〕
		施設係	〔 教育施設単独工事の設計監督・維持補修、学校環境の整備 〕
		計画保全係	〔 学校のストックマネジメント、教育施設単独工事(設備)の設計監督・維持補修、教育施設の企画・調査・建設計画、教育施設用地の選定 〕
管理部長 (227-1992)	文化財課 (227-1962)	文化財係	〔 文化財の保存・活用、ふるさと考古歴史館、旧島津氏玉里邸庭園 〕
		世界遺産保全係	〔 世界遺産の保存・活用、旧鹿児島紡績所技師館 〕
	美術館 (224-3400)	庶務係・学芸係	
	図書館 (250-8500)	管理係・図書係	
	学務課 (227-1931)	教職員係	〔 学校の設置・廃止・組織編成、市立高等学校の通学区域・生徒の募集定員、教職員の人事・服務、事務職員の研修、教職員の免許状 〕
		学事係 (216-1476)	〔 就学、通学区域 〕
教育部長 (227-1931)		谷山分室 (269-8415)	〔 谷山地区の就学事務 〕
教育DX担当部長 (803-2040)	学校教育課 (227-1941)		〔 学校経営の指導、学校のエデュケーション、教育課程、市立高等学校の入学選抜、教育評価、教科用図書、教職員の研修、人権教育 〕
	学校ICT推進センター (227-1925)		〔 教育の情報化に係る企画・総合調整・推進、学校における教育の情報化の指導 〕
	保健体育課 (227-1951)	学校体育安全係	〔 学校体育・安全、交通安全指導、学校体育・安全関係機関との連絡調整 〕
		学校保健係	〔 学校保健、保健関係機関との連絡調整 〕
		学校給食係	〔 学校給食、学校給食関係機関との連絡調整 〕
	青少年課 (227-1971)		〔 青少年教育、生徒指導、青少年育成センター、勤労青少年ホーム、宮川野外活動センター、青年会館、青少年問題協議会 〕
	生涯学習課 (813-0850)	管理係	〔 生涯学習プラザ・男女共同参画センターの管理、公民館との連絡調整、公民館の予算執行、西郷南洲顕彰館、かごしま文化工芸村・吉田地区コミュニティセンター・集会所の管理 〕
		生涯学習係	〔 生涯学習の総合的な企画・調整、生活学校・生活会議運動、生涯学習プラザ、勤労女性センター、女性会館、かごしま文化工芸村、集会所 〕
	生涯学習プラザ (813-0850)		
	中央公民館 (224-4528)		
	鴨池公民館 (252-5756)		
	城西公民館 (224-6993)		
	谷山市民会館 (267-5988)		
	吉野公民館 (244-2566)		
	伊敷公民館 (220-1866)		
	武・田上公民館 (281-0698)		
	東桜島公民館 (221-2328)		
	吉田公民館 (294-1219)		
	桜島公民館 (293-2725)		
	喜入公民館 (345-3751)		
	松元公民館 (278-1312)		
	郡山公民館 (298-2220)		
	谷山北公民館 (269-6391)		
	少年自然の家 (244-0333)	庶務係・指導係	
	女性会館 (227-1971)		
	青年会館 (227-1971)		
	ICT推進センター (227-1925)		
	中央学校給食センター (255-1619)		
	吉田学校給食センター (294-2223)		
	郡山学校給食センター (298-4179)		
	松元学校給食センター (278-1143)		
	谷山学校給食センター (264-2400)		
	喜入学校給食センター (345-0254)		
	宮川野外活動センター (265-5094)		
	小学校 (79校)		
	中学校 (39校)		
	高等学校 (3校)		
	青少年育成センター (227-1972)		
	幼稚園 (4園) ※市長部局(こども未来局)所管		

7. 教育委員会事務局等職員数（現員数）

（令和6年4月1日現在）

所 属	職 名	事務局等												学校										計
		教 育 長	部 長	部 長 参 事	課 長	主 幹	係 長	主任指導主事	専門員	指導主事	主 査	主 任	主 事	技 師	校 長	主 幹	教 頭	専門員	主 査	教 諭	養 護 教 諭	主 任 師	技 師	
教育長		1																						1
管理部			1																					1
総務課					1	2	1				8	3	8											23
学校整備室				1					2	2														5
施設課					1	1	2		2		8	4		1										19
文化財課				1		1	1	1		1	6		2											13
美術館					1	1	1				4	2												9
図書館					1	2			2	1	2	2	2											12
教育部			1																					1
学務課					1	5					7	1	1											15
学校教育課					1	2		(2)	1	16	1													21 (2)
教育DX担当部長			1																					1
学校ICT推進センター					1	1			1	3														6
保健体育課					1	2	1		2	4	5													15
青少年課					1	2				7	1	1												12
生涯学習課					1	2			1	5	3	1	2											15
生涯学習プラザ					(1)	(2)			(1)	(5)	(3)	(1)	(2)											(15)
中央公民館						1		(1)			1													2 (1)
鴨池公民館											2													2
城西公民館											1	1												2
谷山市民会館											1													1
吉野公民館											2													2
伊敷公民館											2													2
武・田上公民館											1	1												2
東桜島公民館					(1)	1																		1 (1)
吉田公民館											1													1
桜島公民館									1		1													2
喜入公民館									1		1													2
松元公民館											1													1
郡山公民館									1		1													2
谷山北公民館											1	1												2
少年自然の家					1	2			2	3		1												9
女性会館					(1)	(1)				(5)														(7)
青年会館					(1)	(2)				(7)	(1)	(1)												(12)
市立学校ICT推進センター					(1)	(1)			(1)	(3)														(6)
中央学校給食センター					1	2	4		1		2													10
宮川野外活動センター					(1)																			(1)
小学校																		43	29			25		97
中学校																		16(1)	9(1)			7		32 (2)
高等学校															3	3	5	3	7	139	4	2		166
青少年育成センター					(1)	(2)				(7)	(1)	(1)												(12)
合 計		1	3	2	12	27	10	1	17	42	63	18	15	1	3	3	5	62	45	139	4	34	0	507
					(7)	(8)		(3)	(2)	(27)	(5)	(3)	(2)					(1)	(1)					(59)

（注） 1 職員数は、フルタイム再任用職員を含み、育児休業・休職者、臨時・非常勤職員は含まない。

2 （ ）内の数字は、併任職員数

「目指すべき教育の姿」と「施策」の関連図

※第二次鹿児島市教育振興基本計画より

目指すべき教育の姿

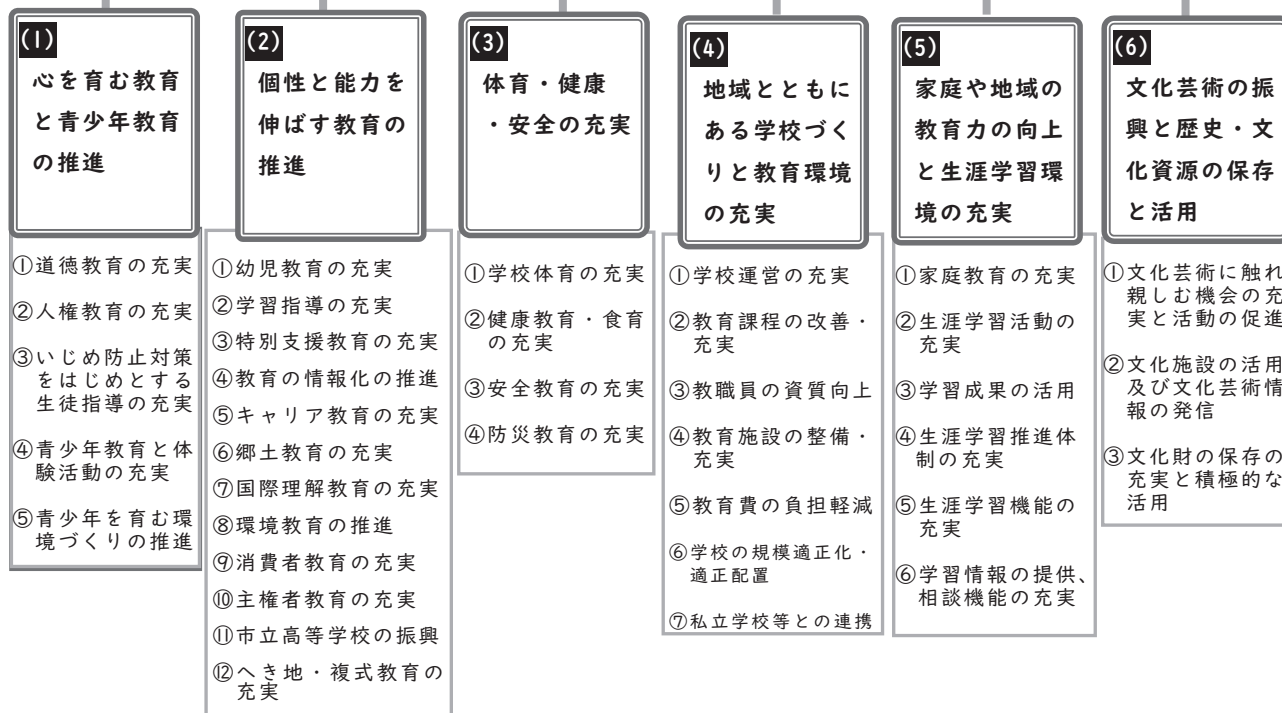
- 【か】 鹿児島市に誇りを持ち、
 【ご】 これからの時代に必要な生きる力を養い、
 【し】 心身ともにたくましく、
 【ま】 学び続ける人材を社会全体で育成します。

鹿児島市の教育の取組における基本的な考え方

子どもたちが夢と希望を持って、限りない可能性に挑戦できるよう、学校・家庭・地域・事業者などが連携・協働しながら、情操や道徳心といった豊かな心をはじめ、確かな学力、健やかな体の3つのバランスのとれた「生きる力」を育む教育を進めます。

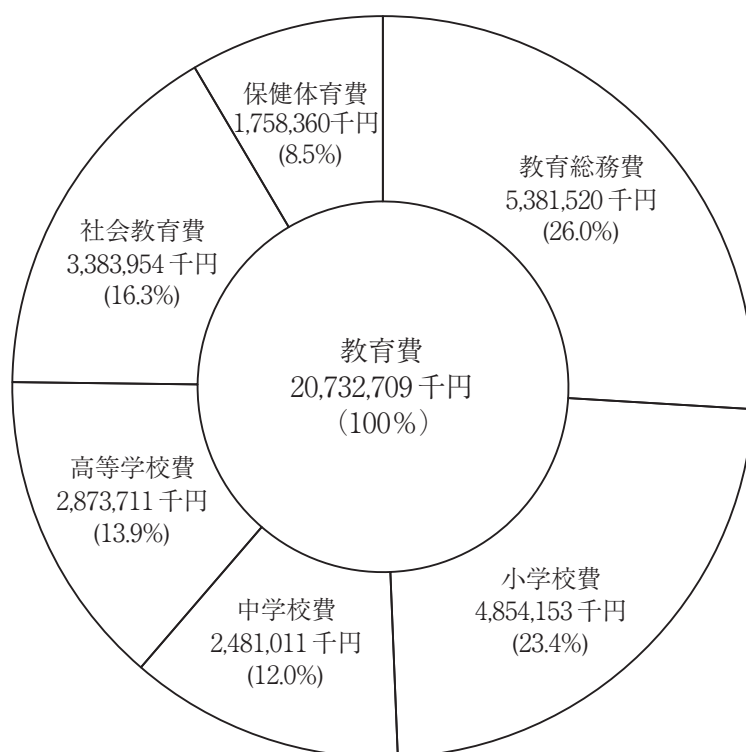
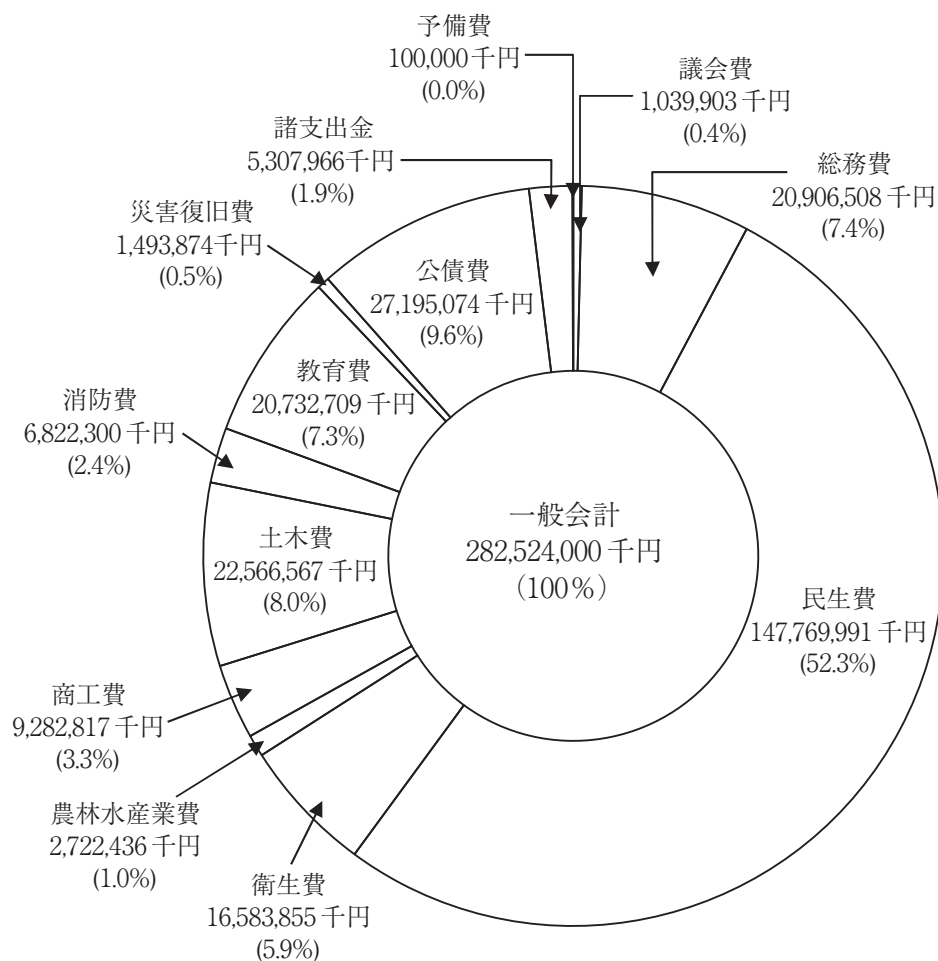
誰もが、生涯にわたって学び続けることができるほか、文化芸術や歴史に親しむことのできる環境づくりに取り組みます。

【本市教育施策の方向性】



教育財政

1. 令和6年度一般会計予算と教育予算（歳出当初予算）



2. 令和6年度教育予算

(1) 財源別内訳

(単位：千円)

項 目	歳 出 予算額	分 担 金 及 び 負 担 金	使用料 手数料	国庫 支出金	県 支出金	市 債	諸収入	特別財源計	一般財源
教育総務費	5,381,520	0	31,094	318,924	23,206	267,100	10,713	651,037	4,730,483
小 学 校 費	4,854,153	0	2,869	203,351	0	364,000	6,803	577,023	4,277,130
中 学 校 費	2,481,011	0	1,844	49,411	0	111,900	14,482	177,637	2,303,374
高等学校費	2,873,711	0	245,135	250	2,259	154,900	1,050	403,594	2,470,117
社会教育費	3,383,954	0	47,664	48,941	287	661,700	27,976	786,568	2,597,386
保健体育費	1,758,360	20,887	12	1,813	10,144	61,400	185	94,441	1,663,919
計	20,732,709	20,887	328,618	622,690	35,896	1,621,000	61,209	2,690,300	18,042,409

(2) 性質内訳

(単位：千円、百分率：%)

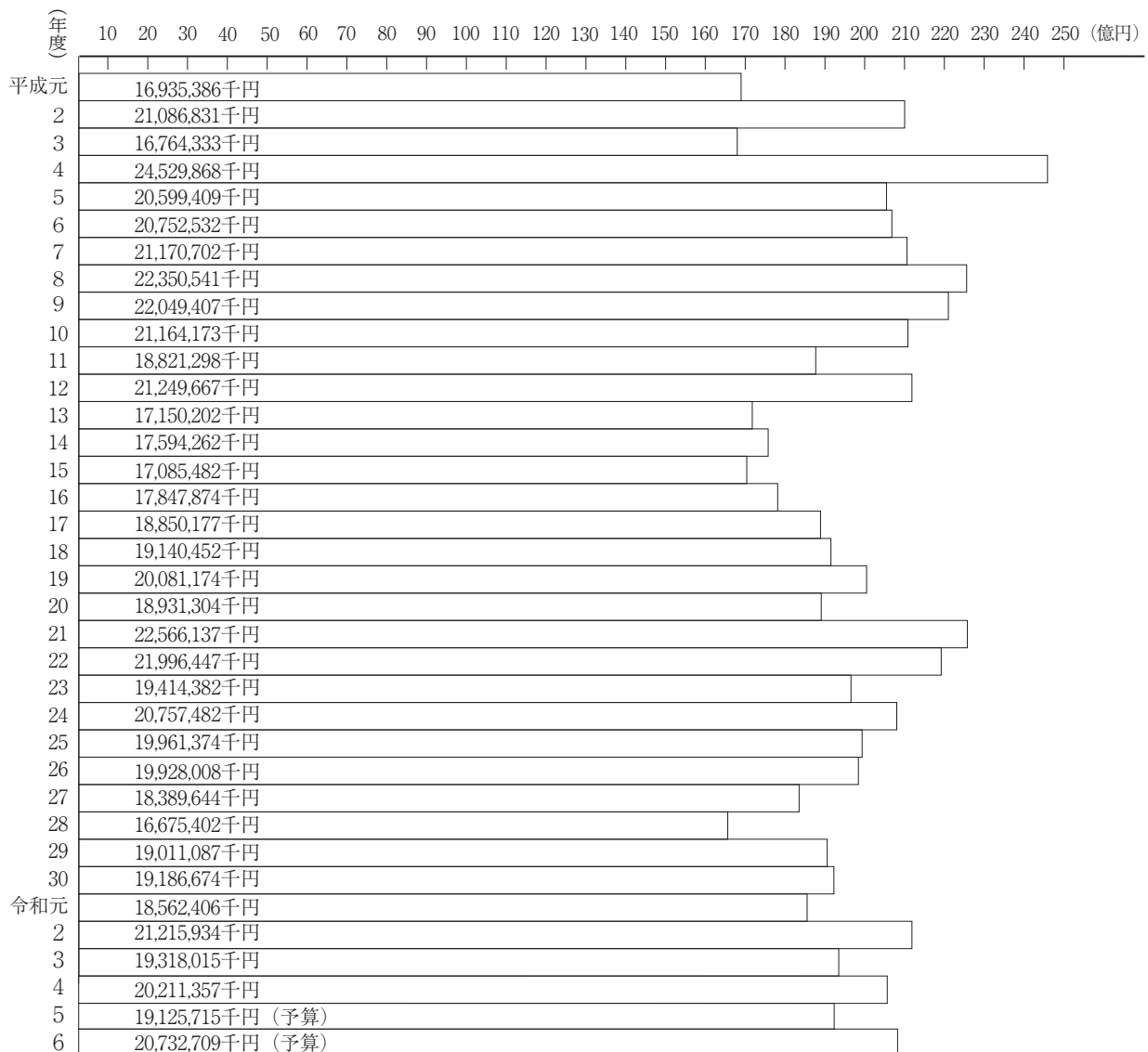
項 目	歳 出 予算額	人件費	物件費	維 持 補修費	普通建設事業費		補助費等	扶助費	繰出金	積立金	項 別 百分率
					補助	単独					
教育総務費	5,381,520	2,202,495	1,456,176	0	1,482,497	95,096	142,555	0	0	2,701	26.0
小 学 校 費	4,854,153	1,297,995	1,225,882	100,100	687,784	959,886	3,705	578,801	0	0	23.4
中 学 校 費	2,481,011	407,807	623,375	64,623	141,638	770,907	7,228	465,433	0	0	12.0
高等学校費	2,873,711	2,511,306	141,143	8,436	0	212,684	142	0	0	0	13.8
社会教育費	3,383,954	794,659	1,282,957	4,770	5,824	1,053,239	242,416	0	89	0	16.3
保健体育費	1,758,360	298,581	1,119,864	53,784	0	164,549	103,502	18,080	0	0	8.5
計	20,732,709	7,512,843	5,849,397	231,713	2,317,743	3,256,361	499,548	1,062,314	89	2,701	100
性質別百分率	100.00	36.24	28.21	1.12	11.18	15.71	2.41	5.12	0.00	0.01	

(3) 教育費当初予算総括表

款	項	目	令和6年度		令和5年度		比 較	
			当初予算額 (A)	構成比	当初予算額 (B)	構成比	増減額 (A - B)	比率 (A/B)
教 育 費			千円 20,732,709	%	千円 19,125,715	%	千円 1,606,994	% 108.40
	教 育 総 務 費		5,381,520	25.96	3,408,348	17.82	1,973,172	157.89
	教 育 委 員 会 費		7,758	0.04	7,378	0.04	380	105.15
	事 務 局 費		2,532,250	12.21	906,218	4.74	1,626,032	279.43
	教 育 指 導 費		2,583,336	12.46	2,267,911	11.86	315,425	113.91
	科 学 館 費		258,176	1.25	226,841	1.19	31,335	113.81
	小 学 校 費		4,854,153	23.41	5,109,520	26.72	△ 255,367	95.00
	学 校 管 理 費		2,307,314	11.13	2,338,810	12.23	△ 31,496	98.65
	教 育 振 興 費		790,488	3.81	853,954	4.46	△ 63,466	92.57
	学 校 建 設 費		1,756,351	8.47	1,916,756	10.02	△ 160,405	91.63
	中 学 校 費		2,481,011	11.97	2,952,237	15.44	△ 471,226	84.04
	学 校 管 理 費		904,574	4.36	883,438	4.62	21,136	102.39
	教 育 振 興 費		588,446	2.84	645,104	3.37	△ 56,658	91.22
	学 校 建 設 費		987,991	4.77	1,423,695	7.44	△ 435,704	69.40
	高 等 学 校 費		2,873,711	13.86	2,679,830	14.01	193,881	107.23
	学 校 管 理 費		2,635,953	12.71	2,533,773	13.25	102,180	104.03
	教 育 振 興 費		16,463	0.08	15,817	0.08	646	104.08
	学 校 建 設 費		221,295	1.07	130,240	0.68	91,055	169.91
	社 会 教 育 費		3,383,954	16.32	3,354,226	17.54	29,728	100.89
	社会教育総務費		837,847	4.04	765,497	4.00	72,350	109.45
	文 化 財 保 護 費		244,608	1.18	249,231	1.30	△ 4,623	98.15

款	項	目	令和6年度		令和5年度		比 較	
			当初予算額 (A)	構成比	当初予算額 (B)	構成比	増減額 (A－B)	比率 (A／B)
		公 民 館 費	529,822	2.56	567,060	2.96	△ 37,238	93.43
		女性青少年教育費	92,141	0.44	88,992	0.47	3,149	103.54
		青少年育成センター費	10,482	0.05	10,471	0.05	11	100.11
		勤労青少年ホーム費	36,909	0.18	37,106	0.19	△ 197	99.47
		女 性 セ ン タ ー 費	57,378	0.28	34,173	0.18	23,205	167.90
		少 年 自 然 の 家 費	75,045	0.36	124,189	0.65	△ 49,144	60.43
		美 術 館 費	241,281	1.16	229,623	1.20	11,658	105.08
		図 書 館 費	646,621	3.12	755,682	3.95	△ 109,061	85.57
		生涯学習プラザ費	611,820	2.95	492,202	2.57	119,618	124.30
	保	健 体 育 費	1,758,360	8.48	1,621,554	8.48	136,806	108.44
		保健体育総務費	341,669	1.65	338,790	1.77	2,879	100.85
		保健体育指導費	566,693	2.73	521,117	2.72	45,576	108.75
		学校給食センター費	849,998	4.10	761,647	3.98	88,351	111.60
災	害 復 旧 費	77,000		77,000		0	100.00	
	教育施設災害復旧費	12,000	15.58	12,000	15.58	0	100.00	
	その他公共施設等災害復旧費	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	桜島連続降灰除去事業費	65,000	84.42	65,000	84.42	0	100.00	
教育委員会合計			20,809,709		19,202,715		1,606,994	108.37

3. 教育費決算額の推移



本市の教育施策

1. 心を育む教育と青少年教育の推進

施策の方向性

人口減少や価値観の多様化などにより、人間関係の希薄化、規範意識や倫理観の低下、生活体験の不足が指摘されており、豊かな人間性や社会性、思いやりの心を育み、児童生徒の不安や悩みへの適切な対応が求められています。道徳教育・人権教育の充実を図り、規範意識や自他の生命を尊重する心、困難を乗り越えながら物事を成し遂げる力、自ら考え判断し、行動する力等の育成に取り組みます。また、鹿児島市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ防止等の対策を推進するとともに、児童生徒等の不安や悩みに適切に対応するため、教育相談体制の充実を図ります。

(1) 道徳教育の充実

現状と課題

- 学校・家庭・地域等で連携を図りながら、学校の教育活動全体で、教職員と児童生徒及び児童生徒相互の人間関係を深め、豊かな体験を通して児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成に努めています。
- 児童生徒の「生きる力」を培うため、未来に向けて児童生徒自らが課題に取り組み、共に考える道徳教育、家庭や地域住民の協力による開かれた道徳教育、体験活動を生かした心に響く道徳教育を更に推進する必要があります。
- 学習指導要領の一部改訂により「特別の教科道徳」として教科化され、教育活動全体で推進する道徳教育が重視されています。

事業の概要

- ① 「道徳科」を中心とする道徳教育の充実
 - ア 道徳指導資料の活用促進
 - ・「道徳教育の充実に向けて」（鹿児島県教育委員会）
 - イ 「私たちの道徳」（文部科学省）の効果的活用
 - ウ 道徳読み物資料集の効果的活用
 - ・「たいせつないのち（小学生用）」（鹿児島県教育委員会）
 - ・「命の尊さを考える（中・高生用）」（鹿児島県教育委員会）
 - ・「続郷土の先人 不屈の心」（鹿児島県教育委員会）
 - エ 学校訪問等による道徳教育の実践状況把握と指導の充実
 - オ 学校、家庭、地域の連携による道徳教育の充実
 - ・道徳教育研究会
 - カ 校内研修・研究協力校等における研究推進
 - キ 「心の教育の日」の設定と活動内容の充実促進
- ② 豊かな体験活動の推進
 - 自然体験活動、ボランティア活動、社会参加活動の促進
 - ・地域人材の活用
 - ・中学校生徒連盟の活動への支援
 - ・集団宿泊学習における体験活動の重視
- ③ 「こころの言の葉」コンクール事業
 - 優秀作品をまとめ、市内中学校の全生徒及び小・中学校等に配布、市のホームページに掲載
- ④ 「郷土の偉人に学ぶ鹿児島の心」推進事業
 - マンガ教材「薩摩義士伝」、「徳の交わり」を活用した学習の推進

(2)人権教育の充実

現状と課題

- SDGs を定める「持続可能な開発のための2030アジェンダ」では、「誰一人取り残さない」を理念に掲げ、すべての人々の人権を実現することが明言されています。
- 学習指導要領の前文では、「一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる」と示され、人権尊重の理念である自分の人権を守り、他者の人権を守ることができる児童生徒を育成することの重要性が述べられています。
- インターネットでの発信者の匿名性を悪用し、他者への誹謗中傷や差別を助長する表現を掲載するなどの人権に関する問題が発生しています。
- 様々な人権課題に対して、人権教育に関する授業を行い、その内容について協議することを通じて、教職員の理解と認識を深める必要があります。

事業の概要

- ① 人権教育の推進
 - ア 校内における人権教育研修の実施促進
 - イ 管理職研修、初任校2年目研修、人権教育担当者会、人権教育研修会
 - ウ 人権教育資料の作成、啓発用DVD等の購入・活用促進
 - エ 学習資料「子どもの権利条約」の活用
 - オ 鹿児島地区人権・同和教育研究協議会に対する助成
- ② 人権啓発活動の充実
 - ア 啓発資料の作成・配布・購入
 - ・啓発用図書、ビデオの購入・活用
 - ・人権問題啓発パンフレット「知っておきたいみんなの人権」の発行と活用（人権推進課との連携）
 - ・性の多様性理解促進のためのパンフレット「知っておきたいLGBT」の発行と活用（人権推進課）
 - ・こどもの未来応援条例パンフレットの発行と活用（こども福祉課）
 - イ 関係機関・団体との連携（市民館、手話通訳者・要約筆記者派遣運営協議会等）
- ③ 社会教育における人権教育に関する学習会や研修会の充実
 - ア 社会学級における人権学習の実施
 - イ 人権啓発講演会の実施
 - ウ 地域別人権問題研修会の実施（14地域公民館）
 - エ 企業・事業所等が実施する人権教育に関する研修会等の支援
- ④ 集会所の管理及び設備の整備

○設置目的

住民の社会教育活動の充実及び福祉の増進を図るため、設置したものである。

○施設の概要

名 称	小松原一丁目集会所	中福良集会所
所 在 地	鹿児島市小松原一丁目20番17号	鹿児島市小野四丁目6番14号
設置時期	昭和54年3月24日	昭和56年12月26日

(3)生徒指導の充実

現状と課題

- 学校におけるいじめの認知件数は、ここ数年増加傾向にあり、重大事態となった事案もあります。また、SNS等を利用したいじめが巧妙化し、顕在化しにくい状況にあります。
- 学校における不登校児童生徒数については、ここ数年増加傾向にあり、その要因も複雑化・多様化している状況にあります。
- 学校においては、これまで以上に、児童生徒の成長・発達を支える教育活動を行うことが求められています。また、児童生徒が校則等をはじめとするルールの見直し等に参画する機会が大切だとされています。

- いじめ等の問題行動や不登校など、児童生徒や保護者等の不安や悩みが多岐にわたっており、適切に対応するために、教職員や相談員等の更なる資質向上が必要です。

事業の概要

① 生徒指導・教育相談の充実

ア 教職員の研修の充実と指導力の向上

- ・生徒指導主任・担当者会の開催
- ・生徒指導に関する研修会の開催
- ・生徒指導に関する校内研修への講師派遣事業の実施

イ 児童生徒向けの未然防止教育への専門家派遣

- ・いじめ防止、非行防止、ＳＯＳの出し方に関する教育（自殺予防）、ストレスマネジメント教育

② 青少年の健全育成

ア 教育相談活動の充実

- ・教育相談員による電話相談と来所相談の実施
- ・スクールカウンセラーによる相談活動（市独自の事業、文部科学省委託事業）
- ・スクールソーシャルワーカーによる相談活動
- ・フレンドシップの設置（長田中、南中、谷山中、城西中、勤労青少年ホーム）
教育支援センター相談員による支援活動、学習支援員による支援活動、
臨床心理相談員による相談、心のパートナーによる支援活動
- ・フレンドルームの設置（吉野中、紫原中、和田中）
教育支援センター相談員による支援活動
- ・フレンドステップ・メタバースの導入
教育支援センター相談員によるオンライン支援

イ 教育相談員等の資質向上

③ 支援体制の充実

- ア 生徒指導に関する学校訪問を通じた指導
- イ 生徒指導関係諸資料の配布
- ウ 生活指導関係リーフレットの作成・配布
- エ 生徒指導上の諸課題に関する対策検討委員会（年３回）
- オ いじめ防止啓発強調月間（５/25～６/25）の設定
- カ いじめ問題を考える週間の設定（４月、９月）
- キ いじめ電話相談カードの作成・配布
- ク 民間施設等との意見交換会（年２回）
- ケ いじめ問題等調査委員会の設置
- コ いじめ問題等に係るスクールロイヤー活用事業
- サ 重大事態専門家派遣

④ 関係機関との連携

- ア 市校外生活指導連絡会との連携
- イ 警察・裁判所等との連携
- ウ 相談機関との連携

（４）青少年教育と体験活動の充実

現状と課題

- 子どもたちが戸外で友達と一緒に遊んだり、異年齢で交流したりする活動を通して、望ましい人間関係を築いたり、郷土愛等を育んだりする体験の機会が得られにくい状況があります。
- 国や郷土の将来を担い、様々な分野において活躍する高い志や意欲を持ち、次世代を切り拓き、社会をリードするたくましい人材を育成する必要があります。
- グローバル化が急速に進展する中、世界に目を向け活躍できる人材を継続的に育成していく必要があります。

事業の概要

- ① 体験活動の工夫と改善
 - ア 教育課程上の位置付け・見直し
 - イ 社会教育関係機関との連携
- ② 集団宿泊学習における体験活動の促進
 - 青少年教育施設における体験活動の充実
 - ア 宮川野外活動センター
 - イ 少年自然の家 等
- ③ 体験活動の促進
 - ア 新・郷中教育推進事業
 - イ 子ども体験活動支援情報の作成
 - ・「キッズ通信アクト」年6回発信
 - ウ 学校教育における体験活動の充実
- ④ 青少年交流活動の促進
 - ア 青少年ふれあい交流・体験活動促進事業の実施
 - イ 大垣市少年の船との交流
 - ウ 大垣市・鶴岡市青年との交流
 - エ 鹿児島県青少年海外ふれあい事業等への協力
- ⑤ 青少年教育施設事業の充実
 - ア 宮川野外活動センター主催事業
 - ・宮川親子フェスタ
 - ・宮川の秋を楽しむ親子のつどい
 - ・宮川の冬を楽しむ親子のつどい
 - イ 少年自然の家主催事業
 - ・1 DAY キャンプ（春・夏・秋・冬）
 - ・季節のお月見会（秋・春）
 - ・親子で作ろうミニ門松Ⅰ・Ⅱ
 - ・窯焼きピザに親子で挑戦
 - ・自然の家まつり（春・秋）
 - ・親子で育てようサツマイモⅠ・Ⅱ
 - ・わくわくアドベンチャー in 桜島「夏のアウトドアチャレンジ」
 - ・わくわくアドベンチャー in 八重山「冬のアウトドアチャレンジ」
 - ・かごしま創志塾、ジュニア創志塾 ほか
- ⑥ 子ども会育成事業の充実
 - ア あいご会コーディネーターの委嘱
 - イ あいご会コーディネーター研修会（年1回）
 - ウ 校区あいご研修（あいご講座）の実施
 - エ 子ども会リーダー研修会の実施
- ⑦ 青年教育の充実
 - ア 勤労青少年ホーム教養講座・スポーツ講座
 - イ 「はたちの集い」の開催
- ⑧ 指導者・リーダーの養成
 - ア ボランティア・ジュニアリーダー養成セミナーの実施
- ⑨ 青少年団体の育成
 - ア 市あいご会連合会との連携
 - ・あいご会・子ども会活動研究委嘱公開
 - イ ジュニアリーダークラブ等の活動支援と連携

(5) 青少年を育む環境づくりの推進

現状と課題

- 社会の急激な変化とともに生活環境や規範意識も変化中、青少年の健全育成に地域ぐるみで取り組む必要があります。
- 青少年の健全育成のために、学校との連携や、警察・少年サポートセンター訪問による連携など、関係機関・団体との連携を一層図る必要があります。
- 次代を担う子どもたちが健やかに育成される環境の整備を目指して、青少年問題協議会や市民会議で協議し、学校・地域等が一体となった取組を進める必要があります。
- スマートフォン等を活用したソーシャルメディアの不適切利用やSNS等の利用に伴うトラブルなど、情報メディアの急激な普及による課題に対応するため、具体的方策を検討する必要があります。

事業の概要

- ① 心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる市民運動の推進
 - ア 春・夏・秋・冬の心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる運動
 - イ 心のとびらを開く家庭づくり講座
 - ウ さつまっ子育成市民大会
- ② 会議や研修会の充実
 - ア 青少年問題協議会の開催（年2回）
 - イ 青少年問題協議会専門委員会の開催（年2回）
 - ウ 青少年育成センター運営協議会の開催（年2回）
 - エ 青少年育成委員研修会の開催（年1回）
 - オ 青少年育成委員（常時）研修会の開催（年6回）
 - カ 青少年育成委員（夜間）研修会の開催（年2回）
 - キ 青少年育成委員（常時・夜間）合同研修会の開催（年1回）
 - ク 心豊かで元気あふれる「さつまっ子」育成市民会議の開催（年3回）
- ③ 非行防止・環境浄化活動の充実
 - ア 青少年育成センター青少年育成委員の委嘱（学校関係者140人、関係機関・団体60人）
 - イ 街頭声かけ活動の実施
 - ウ 環境点検・環境浄化活動の実施
 - エ 青色回転灯を使用した児童生徒育成・安全パトロール車の活用
- ④ 相談活動の充実
 - ア 青少年育成センター電話相談の実施
 - イ 専門相談機関との連携強化
- ⑤ 広報活動の充実
 - ア 青少年育成センターだよりの作成・配布
 - イ 市民のひろばの活用による広報啓発
 - ウ 地域公民館だよりによる広報啓発
 - エ 青少年健全育成（非行防止等）啓発資料の配布
- ⑥ 関係機関・団体との連携
 - ア 小・中・高等学校との連携
 - イ 市内三警察署・少年サポートセンター等訪問による連携
 - ウ 市校外生活指導連絡会との連携
 - エ 薬物乱用防止指導員鹿児島地区協議会との連携
 - オ 未成年喫煙防止協議会との連携
 - カ その他関係機関・団体等との連携

○施設の概要

青少年育成センター

設置年月日	所在地	主な事業
昭和39年10月1日	〒892-0816 山下町6-1 (青少年課内)	街頭声かけ 電話相談専用：TEL224-2000 月～金 午前9時30分～午後5時 (青少年の悩み・心配ごと) 連絡先：TEL227-1972 FAX227-1923

⑦ 青少年教育施設の整備

少年自然の家、宮川野外活動センター等の施設の維持・管理・充実に努める。

2. 個性と能力を伸ばす教育の推進

施策の方向性

技術革新が一層進展し、変化の激しい社会で児童生徒が成長していくために、一人ひとりの能力や特性に応じたきめ細かな指導を進め、知識・技能を確実に習得させるとともに、それらを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力等を育成します。

また、学校において蓄積された教育実践とICTを効果的に活用した新しい教育技術のベストミックスを図り、児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力の育成など情報教育を推進するほか、望ましい職業観・勤労観を育成し、児童生徒が主体的にキャリアプランを設定できるキャリア教育など、個性と能力を伸ばす教育を推進します。

(1) 幼児教育の充実

現状と課題

- 保護者留守家庭の増加など、若い世代や子育て家庭等を取り巻く環境は大きく変化しています。
- 特別な支援を必要とする幼児への対応や子育てに悩む保護者に対する支援など、幼児教育現場の課題は、多様化・複雑化しています。
- 本市の研修会等においては、幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針、小学校学習指導要領を踏まえ、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を共有するなど、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を推進しています。
- 遊びや生活を通して総合的に学んでいく幼児期の教育課程と、各教科等の学習内容を系統的に学ぶ児童期の教育課程は、内容や進め方が大きく異なるため、幼・保・小連携研修会等を通して、5歳児のカリキュラムやスタートカリキュラムの改善・充実を図る必要があります。

事業の概要

- ① 実技を中心とした保育研修会を実施する。
- ② 教育内容や教育方法の研究を中心とした保育研究会を実施する。
- ③ 幼・保・小連携研修会や小学校における幼児と児童の交流を実施する。
- ④ 専門家を招へいした幼児教育相談を実施する。

(2) 学習指導の充実

現状と課題

- 標準学力検査と全国学力・学習状況調査では、小・中学校ともにほとんどの教科で全国や県の平均正答率を概ね上回っています。しかし、今後の課題として、学びに向かう力を更にかん養し、基礎・基本の確実な定着を図るための補充的な指導の充実や思考力、判断力、表現力等を育むための言語活動の充実に取り組み、「確かな学力」を育成していく必要があります。
- 学習指導法の改善状況については、今後も一人ひとりの能力や特性に応じたきめ細かな指導を進め、知識・技能を確実に習得させ、思考力、判断力、表現力等を育むため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導法の改善を推進する必要があります。

- 学習習慣の確立や主体的に学習に取り組む態度の育成が更に求められます。
- 本市の小・中学生の1か月の読書量は、全国平均を上回るものの、校種や年齢が進むにつれて読書量や図書館の利用が減少する傾向が見られます。

事業の概要

- ① 学習指導の充実
 - ア 鹿児島市学力向上プログラム
 - イ 指導主事派遣等による授業を通じた校内研修の充実
- ② 学力検査の実施による指導方法改善の推進
 - ア 標準学力検査の実施と結果分析、指導方法改善
 - イ 全国学力・学習状況調査の結果分析と指導方法改善
 - ウ 鹿児島学力・学習状況調査の結果分析と指導方法改善
- ③ 個性あふれる学校づくり推進事業
 - ア 学校の特色を生かした教育活動の推進
 - イ 体験活動の充実
- ④ 外国人等児童生徒の教育推進事業
 - ア 外国人等児童生徒の日本語教室での日本語指導
 - イ 日本語教室・在籍校連絡会の実施
- ⑤ 芸術文化活動の奨励事業
 - ア 小・中学校音楽会
 - イ 小・中学校図工・美術学習発表展
- ⑥ 教職員等研修事業

(3) 特別支援教育の充実

現状と課題

- 誰もが人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の形成に向けて、障害の有無に関わらず幼児・児童・生徒が可能な限り共に教育を受けられるよう、多様で柔軟な学びの場を整備するとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応える指導・支援の充実が求められています。
- 小・中学校で、個別の教育支援計画や個別の指導計画が作成され、校内支援体制は整備されてきていますが、校内での活用の在り方や学校間での引継ぎの難しさも指摘されています。今後、巡回相談の適切な活用や学校間連携の充実を図ることで、就学前から学校卒業後までの一貫した支援体制が構築されるとともに、校種間の引継ぎ体制を充実させることが求められています。
- 就学先の決定に当たっては、障害の状態、本人の教育的ニーズ、本人・保護者の意見、専門的見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえた総合的な観点から最終的に教育委員会が決定していますが、就学後に、それぞれの児童生徒の発達程度、適応の状況等を勘案しながら必要に応じて学びの場が変更できることを、すべての関係者が共通理解していく必要があります。

事業の概要

- ① 障害の状態に応じた適切な就学について

障害のある児童生徒の実態を的確に把握し、障害の種類・程度及び状態に応じた適切な就学の判断を行う。そのための主な事業は次のとおりである。

 - ア 障害のある児童生徒の実態を的確に把握するための実態調査
 - イ 就学教育相談の実施
 - ・校内委員会の開催
 - ・市就学教育相談会の開催
 - ウ 市特別支援教育審議会の開催

就学教育相談の結果をもとに、年13回程度実施し、適切な就学先について判断を行う。

- エ 就学先の決定
 - ・次年度小学校に就学する児童については、市特別支援教育審議会の審議に基づいて、直接又は幼稚園・保育所長等を通して、保護者に対して判断結果について伝える。
 - ・小・中学校在籍児童生徒については、市特別支援教育審議会の判断結果を校長に通知する。校長は、通知に基づいて、本人及び保護者に判断結果を伝える。
 - ・就学先については、本人、保護者に対し十分情報提供をしつつ、本人・保護者の意見を可能な限り尊重した上で決定する。
- ② 特別支援学級の充実
 - ア 障害の状態等に応じた教育を推進する。
 - ・施設・設備の整備及び簡易な修繕等を行い、特別支援教育の充実を図る。
- ③ 個に応じた指導の充実
 - ア 特別支援学級等新任担当教員研修会などを実施し、学級担任等の資質の向上を図る。
 - イ 特別支援学級設置校を地区ごとに分け、学級経営、生活単元学習、日常生活の指導、作業学習、教科学習、言語障害、難聴、自閉症・情緒障害、LD、ADHD 等の児童生徒の教育、進路指導等について情報を共有し実践に生かす。
- ④ 障害のある幼児の適切な就学先決定のために、各幼稚園、認定こども園、保育所等との連携を強化する。
- ⑤ 交流及び共同学習の推進
 - ア 特別支援学級の児童生徒が通常の学級で、充実した交流及び共同学習を実現できるようにする。
 - イ 小・中学校児童生徒と特別支援学校児童生徒との交流及び共同学習を推進するために、9校の小・中学校を交流及び共同学習推進校に指定する。交通手段としてのバスは教育委員会で借り上げる。交流及び共同学習を通して、相互理解を図るとともに、共生について考える機会とする。
- ⑥ 各種研修会等を実施し、障害のある児童生徒に対する保護者や教職員等の理解・啓発に努める。
- ⑦ 特別支援教育体制の確立を図る。
 - ア 校内支援体制の確立
 - ・校内委員会の充実、特別支援教育コーディネーターの指名、個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成・活用、巡回相談の実施
 - イ 地域支援体制の確立
 - ・市特別支援連携協議会の開催、相談支援ファイル「夢 すこやか ファイル」の活用（市 HP よりダウンロード可）
- ⑧ 特別支援教育支援員を110校に計113人（看護師免許所有者8人を含む）配置する。

（４）教育の情報化の推進

現状と課題

- Society 5.0時代で、児童生徒がICT等の情報技術を適切に用いて得た情報を主体的に捉えながら何が重要かを考え、見いだした情報を活用しながら他者と協働し、新たな価値の創造に挑んでいけるように、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を育成することを目的として、ICT環境整備を進め、教育の情報化を推進してきました。
- 児童生徒一人ひとりの能力、適性等に応じた多様な学びを持続的に実現させるために、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決するなど、自分の考えを形成していく力を育成するための環境づくりが求められています。
- 児童生徒1人1台端末や高速大容量通信ネットワークの計画的な環境整備を進めるとともに、ICT活用研修講座等の開催により教員のICT活用指導力の向上を図り、ICTを活用した学習活動を推進する必要があります。

事業の概要

- ① 学校ICT推進センター管理運営・機材整備事業
 - ア ICT活用講座、「教育の情報化」研修講座の開設（17講座26回）
 - イ 教育開発研究委員会での調査研究

② 教育の情報化推進事業

ア ICT機器等活用推進

- ・ICT機器等の維持管理
- ・指導主事による計画的な学校訪問の実施
- ・児童生徒の情報活用能力の育成（未来型デジタルスキルコンクール）

イ 教育情報ネットワークシステム活用推進

- ・KEIネット、インターネットの活用
- ・ネットワーク機器等の維持管理
- ・学校ホームページの充実（CMSの活用）

ウ ICT支援員による学校支援、コンテンツ整備等

③ ICT環境整備事業

ア ICT機器等の整備・更新

④ デジタル教材整備事業

ア ICTを活用したAI人材の育成や情報活用能力向上を支援するための教材整備や講師等の派遣

（5）キャリア教育の充実

現状と課題

- 児童生徒の発達段階に応じた系統的なキャリア教育を推進することで、社会人・職業人としての基本的な資質・能力の向上を図り、自立意識と豊かな人間性の育成を図っています。
- 学校は、地域社会との連携を深めながら学校支援ボランティア等を活用し、体験的な活動の充実を図るとともに、令和2年度からキャリア教育に関わる諸活動を自己評価できるように工夫されたキャリアパスポートの活用を通して、小学校段階からのキャリア教育に努めています。
- 中・高等学校においては、柔軟な実施方法を検討しながら、これまで実施してきた職場体験学習やインターンシップ等を更に充実させるよう努めるとともに、適切な進路選択学習など特別活動の充実を図る必要があります。また、小学校においても、委員会活動や係活動、体験的な学習活動等のねらいの一つとして、児童に望ましい職業観・勤労観を育むことを位置付ける必要があります。

事業の概要

① 適正な進路指導の推進

- ア 進路指導主任・担当者の充実
- イ 進路相談、三者面談の充実促進
- ウ 進路指導担当者研究協議会、高等学校等就職対策協議会との連携

② 個性あふれる学校づくり推進事業

- ア キャリア教育の推進
- イ 「ものづくり体験授業」の充実
- ウ 「キャリア教育に関する授業」の充実
- エ 中学校における「職場体験学習」、高等学校における「就業体験」等の充実

③ 市立高等学校就職サポート事業

- ア 就職支援員による新規求人開拓と就職支援の充実

（6）郷土教育の充実

現状と課題

- 学校においては、各教科や総合的な学習の時間等を通して、郷土の伝統的な芸能の継承や発表、郷土の先人に学ぶ活動など、それぞれの地域や学校の特色を生かした教育活動を行っています。また、卒業生や郷土芸能・伝統産業の継承に取り組む地域の人材等を講師として招へいするなど地域に根ざした特色ある郷土教育を推進しています。
- 郷土の伝統的な教育や文化を生かした特色ある教育活動を展開する中で、心豊かで「生きる力」を身に付けた児童生徒の育成が求められています。

事業の概要

- ① 郷土教育の推進
 - ア 地域の人材や素材を取り入れた特色ある教育課程の作成
 - イ 地域の人材や各種施設との連携の強化と積極的な活用
 - ウ 「かごしまジュニア検定」(鹿児島商工会議所主催)の受検の推奨
- ② 個性あふれる学校づくり推進事業
- ③ 「郷土の偉人に学ぶ鹿児島」推進事業
- ④ 国内交流教育の推進事業
山形県鶴岡市、岐阜県大垣市、岐阜県養老町の中学生と本市中学生との交流

(7)国際理解教育の充実

現状と課題

- グローバル化が進行する現代社会において、学校においては、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の育成を図っています。
- 小学校への英会話活動協力員(AEA)派遣に加え、中・高等学校へ外国語指導助手(ALT)を派遣し、英語コミュニケーション能力の向上を図っています。
- 外国の言語や文化、英語によるコミュニケーションに対する児童生徒の関心は日々高まっており、目的や場面、状況などに応じて、簡単な情報や考えなどを外国語で理解し、これらを活用して表現し、伝え合うことができる力を伸ばす必要があります。

事業の概要

- ① 国際理解教育の推進事業
 - ア 外国語指導助手(ALT)の招致と学校への派遣
 - イ 英会話活動協力員(AEA)の派遣
 - ウ AEAの研修会の実施(年3回)
 - エ 英語スキット・スピーチコンテストの実施

(8)環境教育の充実

現状と課題

- エネルギー・環境問題は、人類の生存と繁栄にとって重要な課題であり、各教科及び総合的な学習の時間等の教育活動全体を通して、環境教育の推進に努めています。
- 総合的な学習の時間等には、リサイクル活動やクリーン活動、生物多様性に関する学習教材を活用した学習など、環境教育の充実に取り組んでいます。
- 小・中学校は、教育活動全体で省エネルギーやリサイクル活動などに取り組む学校版環境ISO認定校の認定更新を行っています。
- 家庭や地域と連携して環境保全意識の高揚を図る必要があります。

事業の概要

- ① 環境教育の推進
 - ア 学校版環境ISO認定の更新と学校生活における取組の充実
 - イ 総合的な学習の時間におけるリサイクル活動や環境出前授業等の推進
 - ウ 環境を考慮した学校の施設等を活用した環境教育を推進
 - エ 関係施設の活用や関係機関が実施する事業等への参加

(9)消費者教育の充実

現状と課題

- 児童生徒の周りには、多種多様な物や情報があふれていることから、学校では家庭科や総合的な学習の時間等の授業を通して、物や金銭の大切さに気づかせるとともに、消費者として適切に意思決定する能力を高める学習が行われています。

- デジタル化の進展等に伴い、オンラインゲームでの課金トラブルやワンクリック請求等の消費者問題も身近に起こっており、また、成年年齢引き下げに伴い、若年者の消費者トラブルの増加も懸念されています。
- このような社会を生きていくためには、消費生活についての学習の中で、実際に模擬的な体験を通して、物の選び方や買い方、金銭の使い方等を学び、最新の消費者問題への関心を高めるなど、消費者教育の更なる充実を図る必要があります。

事業の概要

- ① 消費者教育全体指導計画の作成と指導の充実
- ② 消費者教育に関する情報提供と講演会・出前講座の実施

(10)主権者教育の充実

現状と課題

- 平成28年の公職選挙法の改正により、選挙権年齢が18歳に引き下げられ、更に、令和4年度からは民法に規定する成年年齢が満18歳に引き下げられています。成年年齢を18歳に引き下げることは、18・19歳の若者の自己決定権を尊重するものであり、積極的な社会参加を促すことになると考えられます。
- 学校においては、児童生徒や学校、地域の実態を考慮し、豊かな人生の実現や予測不能な困難を乗り越えて社会を形成する資質・能力を育成することが求められており、主権者教育についても、社会科や理科、総合的な学習の時間等で、相互に連携を図りながら教育課程に位置付けることとされています。

事業の概要

- ① 主権者教育全体指導計画の作成と指導の充実
- ② 主権者教育に関する情報提供

(11)市立高等学校の振興

現状と課題

- 高等学校は、義務教育機関ではないものの、今日では中学校を卒業したほぼすべての生徒が進学する教育機関となっています。そのため、義務教育で育成された資質・能力を更に発展させ、生徒の能力・適性、興味・関心等に応じた学びを実現することが必要になります。
- 国が推進する高校教育改革を踏まえ、「生きる力」を身に付け、自ら主体的に学ぶ生徒を育み、進路実現や資格取得のための教育活動に対する支援を工夫し、充実させる必要があります。
- 個性あふれる学校づくり推進事業を通して、学校における起業家教育セミナーや社会人講話、将来の進路希望を踏まえた就業体験学習等の実施を支援しています。
- 鹿児島商業高校・鹿児島女子高校では、専門性を生かした魅力ある教育活動への市民の理解が深まるよう支援を行うとともに、市立高等学校就職サポート事業等を通して、社会的・職業的に自立できる生徒を育成する必要があります。
- 鹿児島玉龍中高一貫教育校では、6年間を通した教育課程編成の工夫や中高教職員授業交流等の特色ある取組を行うことにより、高い進路目標の実現が図られています。

事業の概要

- ① 市立高等学校就職サポート事業
- ② 特色ある学校づくり
- ③ 部活動に対する助成
- ④ 市立高等学校活性化委員会の設置・開催
- ⑤ 母校応援ふるさと寄附金・活用事業
市立3校を指定して寄附する制度をふるさと納税に設け、卒業生をはじめとする母校を応援したい方などから寄附金を募り、各学校の教育活動等の取組に活用する。
- ⑥ 中高一貫教育の充実
ア 教育内容の充実
・中高一貫教育の特色を生かした教育課程の作成

(12)へき地・複式教育の充実

現状と課題

- 複式学級を有する小学校では、へき地・小規模校の特性を捉え、「ガイド学習」や、ICTを有効に活用した授業を実施しています。
- 小学校においては、同じ時間に1人の教職員が2学年を対象に、別々の指導をしなければならない教科があり、担任が児童を直接指導する時間が少ないことや、一方の学年を指導している間に、もう一方の学年の児童が自分たちで学習を進める「ガイド学習」の手立てをどうするか等の課題があります。

事業の概要

- ① 教職員の研修の充実と指導力の向上
 - ア 小学校複式学級指導法研修会の実施
 - イ 校内研修会の定期的な実施と指導
- ② 児童生徒の学習支援
 - ア 各学校の特色を生かした教育活動の充実
 - イ 交流教育の積極的推進

3. 体育・健康・安全の充実

施策の方向性

社会環境や生活様式の変化に伴い、運動や食を含む生活習慣等に関する正しい知識の習得や指導方法の工夫が必要とされていることから、児童生徒が運動・スポーツに親しむ機会の充実や、体力向上を目指した運動の奨励等により健康的なライフスタイルの確立を推進するとともに、食に関する指導の充実を図り、心身ともに健全な児童生徒を育成します。

また、学校における事故防止や自然災害への備えが指摘される中、防災対策を含む学校安全の充実に向けた取組が求められていることから、セーフコミュニティの考え方に基づく安全教育の推進と、本市の特性に応じた防災教育の充実を図ります。

(1)学校体育の充実

現状と課題

- 心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するため、指導法を更に改善することが求められています。
- たくましい体や強い心を備えた児童生徒の育成を目指し、体力と運動や健康との関連を意識させ、自ら運動の場や機会を積極的に求めて、体力向上に継続して取り組む運動習慣を身に付けさせる必要があります。
- 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成に向けた、安全で効果的な教材・教具を含めた学校体育施設・設備の整備・充実に努める必要があります。
- 中学校で行われている運動部活動は、競技経験のない顧問が多く、部活動指導と授業準備等の時間の確保との両立が厳しい状況となっているため、休日における運動部活動の地域移行を検討する必要があります。

事業の概要

- ① 学校体育指導の重点
 - ア 児童生徒の健康・体力に関する課題の把握及びその解決策の具体化と継続的な実践（「ちょトレ運動」「一校一運動」「体力アップ！チャレンジかごしま」及び「個人カルテ」を活用した体力づくり運動の普及・推進）
 - イ 児童生徒が自ら進んで運動に取り組む楽しい授業の創造を目指した学習指導法の工夫・改善（3つのポイント）
 - ウ 心と体を一体としてとらえた体育学習の内容充実に努める体力づくり運動の推進
 - エ 体育的行事の充実や運動部活動の適正な実施
 - オ 運動の組織化・日常化を図るため、家庭や地域との一層の連携強化
 - カ 児童生徒の学習の達成状況を適切に評価し、基礎・基本の確実な定着を図る指導と評価の一体化

② 学校体育事業の推進

ア 健康・体力づくりの企画・推進

- ・健康・体力づくりの指導・推進体制の確立
- ・総則第1章第1の2(3)「学校における体育・健康に関する指導」の徹底
- ・体育・保健・安全・給食など各領域との連携による健康・体力づくりの推進

③ 学習指導要領への取組

新学習指導要領を踏まえたカリキュラムや指導計画の検討

④ 心と体を一体としてとらえた体育活動の推進

ア 自分や仲間の体の状態に気付き、体の調子を整えたり、仲間と交流したりする「体ほぐしの運動」やストレスマネジメントの継続的な実践

⑤ 1単位時間における指導と評価の一体化と運動時間及び運動量の確保

ア 運動の学び方の重視

イ 単元オリエンテーションの充実

ウ 個やグループの学習に応じた多様な場と用具の設定等による運動する場の工夫

エ 効果的な示範や適切な指導による積極的な仲間や教師との関わりによる学習展開

オ 学習ノートや資料の活用

⑥ 運動部活動の充実・活性化

ア 中・高等学校運動部活動活性化事業（外部指導者派遣）の推進（30校に77人を派遣）

イ 全国・九州大会出場への遠征費助成

ウ 休日における運動部活動の段階的な地域移行の推進

⑦ 関係団体との連携による各種競技会の開催

ア 小学校体育連盟 水泳記録会（7/24・25）、陸上記録会（10/16）、表現運動発表会（1/31）

イ 中学校体育連盟 中学校総合体育大会（6/4・5、6/11～14、10/9）

市郡中学校ダンス発表会（11/22）

⑧ 夏季休業中の学校水泳プール開放事業の実施

⑨ 児童生徒の健康・体力づくり実践活動の推進

体力・運動能力調査の実施と結果の分析・活用

	県体力・運動能力調査
調査対象	小 学 校（14校）2・4・5・6年の抽出校 中 学 校（10校）1・2年の抽出校 高等学校（1校）1・2年の抽出校
実施時期	4～7月
活 用	調査結果及び活用方法（例）の各学校への配布

⑩ 関係施設の整備充実及び管理の徹底

ア 体育施設の整備充実

- ・学校水泳プールの改築、プール塗装、プール施設改修
- ・柔剣道場改修
- ・既存のプール施設、体育施設等の修繕

イ 体育施設の管理・安全点検の徹底

- ・中、高等学校体育施設等安全点検実技講習会の開催（8/2）
- ・学校体育施設の管理・安全点検に関する各種資料の活用

⑪ 研修の充実

ア 各種研修会等の開催

- ・体育実技講習会 小学校、中・高等学校（4/23）
- ・小・中・高等学校教員水泳指導法講習会（6/5）

イ 体育・保健・安全に関する校内研究会の奨励・支援

(2)健康教育・食育の充実

現状と課題

- 社会環境や生活様式の変化に伴い、運動や食を含む生活習慣等に関する正しい知識の習得や指導方法の工夫が必要とされています。
- 第四次かごしま市食育推進計画が策定されたことに伴い、市民一人ひとりが「食」に関して信頼できる情報に基づく適切な判断を行う能力を身に付け、心身の健康を増進する健全な食生活を実践することが求められています。また、「食」について感謝の念や理解が深まるよう学校給食を中心とした食に関する指導の充実を図り、家庭や地域と一体となった取組の推進が必要となっています。

事業の概要

(1) 健康教育の充実

① 保健指導の重点

- ア 学校での保健活動の充実に向けた支援体制を整え、学校や児童生徒等の課題解決に向けて、学校、家庭、地域、関係機関の連携を推進
- イ 新型コロナウイルス感染症をはじめ、様々な感染症や疾病の発生や蔓延に備えて、関係機関との連絡体制を整え、学校や家庭での保健指導の充実
- ウ 児童生徒の保健に関する課題を的確に把握し、それに即応する具体的な保健活動計画の策定とその継続的实践による予防的行動の日常化
- エ 健康な生活に必要な知識・技能を確実に習得させるとともに、様々な場面で自ら判断・決定させることによる実践化・習慣化
- オ 学校病等予防に関する研究を推進するとともに、その成果を全市的に波及させることによる学校保健活動の強化及び健康な生活習慣の形成
- カ 生命尊重、人間尊重、男女平等に基づく異性観を持ち、生涯にわたって望ましい行動を自己決定できるようにするための性に関する指導の推進・充実
- キ 学校職員の健康の保持増進及び職場環境整備体制の充実

② 学校保健事業の推進

ア 健康診断の実施と適切な事後措置及び保健管理の徹底

・ 定期健康診断

- 内科、眼科、耳鼻科、歯科検診及び結核健康診断等の実施と事後措置の徹底
結核健康診断（対象者：全小・中学生）

- 要精密検査該当者への受診通知や治療勧告による保健管理の徹底

・ 心臓検診の実施と管理指導の徹底

- 心電図検査の実施（対象者：全小・中・高校1年生）
- 心臓疾患の早期発見・管理指導の徹底による児童生徒の突然死の未然防止
- 有所見者の学校生活管理指導表に基づく健康管理の徹底

・ 腎臓・糖尿検診の実施と管理指導の徹底

- 腎臓・糖尿検診の実施

昭和59年度から2次検尿陽性者に対する腎臓検査、62年度から1次検尿による尿糖陽性者への糖尿検診、平成10年度から小学校1年生全員を対象にした尿中白血球検査の実施

- 腎臓・糖尿病患者の早期発見による管理指導の徹底

- 有所見者の学校生活管理指導表に基づく健康管理の徹底

・ 定期健康診断以外の検診

- 小児生活習慣病予防検診の実施と管理指導の徹底

平成5年度から肥満度40%以上の児童を対象として開始、平成10年度から肥満度35%以上に引き下げて実施

「親と子のはつらつ健康教室」による個別指導の充実

イ 学校病等予防対策の充実

・学校病等予防対策協議会の充実

○小・中学校における学校病等の実態分析、問題点の究明及び地域や家庭・学校での具体的な予防対策の策定

○学校病等に関する本協議会委員の委嘱と研究推進への指導・助言

・学校病等予防対策研究協力校による研究推進

○令和5・6年度研究協力校 坂元中学校

○児童生徒の発達の段階や地域の実態に即した実践的な研究推進

○学校病等予防対策協議会による指導や学校医等との緊密な連携のもとに、学校と家庭・地域が一体となった研究の推進

・学校病等予防対策研究協力校の研究内容の活用

○研究協力校の研究内容と具体的な実践の成果をまとめ、「校務共有システム」に掲載

○学校病等予防についての全市的な取組の推進

ウ 性に関する指導の推進・充実

・学習指導要領の指導内容や児童生徒の発達の段階に即した年間指導計画の策定

・担任や教科担任による授業や養護教諭等とのチーム・ティーチングによる授業の実践

○生理的側面、心理的側面、社会的側面及び感染症予防の視点から基礎的な知識・技能の習得

・「性に関する指導推進事業」の活用

○医師、助産師、大学教授等による性に関する指導についての講演会の推進

○教科等で実施した性に関する指導の補完・深化

・性に関する指導に関する指導内容等を記載した各種広報紙による保護者への啓発

・保健所等の関係機関・団体と連携した性に関する指導の推進

エ 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の推進・充実

・学習指導要領の指導内容や児童生徒の発達の段階に即した年間指導計画の策定

・担任や教科担任による授業や養護教諭等とのチーム・ティーチングによる授業の実践

・小・中・高等学校における「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導の手引」の積極的活用

・関係機関・団体と連携した喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の推進

○薬物乱用防止教室の開催（学校薬剤師等関係機関との連携）

オ 歯と口の健康づくり教育の推進・充実

・児童生徒の疾病の実態や発達の段階に即した年間指導計画の策定

・担任や教科担任による授業や養護教諭等とのチーム・ティーチングによる授業の実践

・関係機関・団体との連携した歯と口の健康づくりの推進

カ 学校環境衛生の維持改善の推進

・定期及び日常検査の実施と改善

○教室等における揮発性有機化合物の空气中濃度の測定実施

○教室等の照度、騒音及びダニ・ダニアレルゲン検査等、定期検査の実施

○飲料水（学校給食での使用水も含む。）及び便所の管理等、日常点検の実施

・検査結果に基づく改善

○学校薬剤師との連携による学校環境の徹底

・受動喫煙の防止

○学校における敷地内禁煙の徹底

キ 学校職員衛生委員会の充実

・平成21年度に「鹿児島市学校職員安全衛生管理規定」の制定

○教育委員会に総括安全衛生委員会の設置

○学校職員50人以上の学校には嘱託医、50人未満の学校には健康管理医を配置

- ・令和3年3月に「長時間勤務者等に対する産業医等の面接指導実施要領」を改正
- ・衛生委員会等の設置による学校職員の健康の保持増進及び職場環境の整備充実
 - 学校職員50人以上の学校は衛生委員会、50人未満の学校は衛生部会を設置
- ・ストレスチェックの実施
 - 高ストレス者の医師面接指導の推進

③ 関係施設等の整備充実及び関係機関・団体との連携

ア 学校医等の配置

- ・各学校に学校医（内科医、眼科医、耳鼻科医）、学校歯科医、学校薬剤師の配置
 - 児童生徒600人以上の学校には、内科医及び学校歯科医を各2人、その他の学校は1人配置
- ・学校医等は、学校における保健管理に関する専門的事項に関し、技術及び指導に従事
 - 学校保健安全法第23条、学校保健安全法施行規則第22条、23条、24条参照

④ 研修の充実

ア 各種研修会等の開催

- ・養護教諭等研修会（4/17）における保健管理・保健教育の充実等
- ・市学校保健フォーラム（1/16）での効果的实践事例の波及及び健康課題の把握と解決の見通し
- ・研究協力校や市養護教諭部会、市学校保健会等への支援・指導
- ・校内研修活動の奨励・促進
- ・地区学校保健研究協議会への支援による研究校実践の波及

(2) 食育の推進

① 学校給食指導の重点

- ア 児童生徒の食生活に関する課題の的確な把握と、それに即応する具体的な指導計画の策定及び継続的な実践
- イ 学校給食の時間や教科、領域等の時間における食に関する指導の充実と健康な生活に必要な知識・技能の確実な習得及び望ましい食習慣の形成
- ウ 学校給食における運営管理の適正化と、食事内容の一層の多様化・充実
- エ 関係機関・団体等との連携による学校給食における安全・衛生管理の徹底及び学校・家庭・地域社会が一体となった食育の推進

② 学校給食事業の推進

ア 食に関する指導の充実

- ・年間計画に基づく意図的・計画的な給食の時間の指導
 - 食事の場としてふさわしい環境づくり
 - 望ましい食習慣の形成
 - 健康によい食事のとり方
 - 給食の準備から片付けまでの一連の指導
- ・年間計画に基づく教科、領域等における指導
 - 全教職員の共通理解に基づく指導
 - 栄養教諭の専門性を生かした指導
 - 文部科学省作成の食育教材や各種資料を活用した指導

イ 栄養摂取基準に配慮した献立作成

- ・自校方式における標準献立作成会の開催（毎月1回開催）
 - 栄養教諭と調理員の代表による献立の内容検討及び改善充実
 - 市標準献立表を基にした学校ごとの献立作成
- ・学校給食センターにおいては、所長、栄養教諭、調理員等による献立の内容検討及び食材の選定
- ・魅力ある学校給食の充実
 - 食事内容の多様化や児童生徒の嗜好を踏まえた献立作成、バイキング給食等の推進
 - 地産の旬の食材を活用した郷土食、行事食等の導入

- ウ 適正な学校給食管理運営の推進と学校給食費の未納解消
 - ・「学校給食運営の基本的な考え方」に沿った学校給食の運営推進
 - ・年間を通した学校給食費の設定
 - ・給食費の適正な運用及び厳正な監査の実施
 - ・教育委員会及び学校、関係課等の連携による給食費未納対策の推進
 - ・台風接近等に伴う学校給食への適切な対応
- エ 食物アレルギー疾患の児童生徒への個別指導の徹底
 - ・原因食材、症状、緊急時の対応方法などの実態調査
 - ・医師の診断を基にした可能な範囲内での給食対応
 - ・食物アレルギー疾患の児童生徒への個別指導及びその他の児童生徒への適切な指導
- ③ 関係施設等の整備充実及び関係機関・団体との連携
 - ア 給食施設等の整備充実
 - ・衛生管理の徹底と年次的な整備充実
 - 学校からの施設設備修繕及び備品購入申請に基づく改善
 - ・ウェットシステム調理場におけるドライ運用の推進
 - ・松元地域を中心とした新学校給食センター整備の推進
 - イ 関係機関・団体との連携による学校給食の充実
 - ・学校給食展開催による保護者等への学校給食の重要性の啓発
 - ・食に関する実態調査や指導資料の作成
- ④ 研修の充実
 - ア 各種研修会等の開催
 - ・学校給食担当者会（4/26）及び栄養教諭等連絡会（4/26）での安全・衛生管理及び給食指導
 - ・給食業務担当職員研修会（7/24）での調理員等への安全・衛生指導
 - イ 研究協力校（和田中学校）や給食関係研究団体への支援・指導
 - ・鹿児島地区栄養教諭等協議会及び市学校給食協議会への支援
 - ・地区学校保健研究協議会への支援（11月を中心に10地区1部会で開催）
 - ウ 校内研究活動の奨励・促進
 - エ 給食試食会、学校保健委員会等への支援

（3）安全教育の充実

現状と課題

- 校内パトロールや入念な準備運動等のセーフコミュニティの取組を推進し、児童生徒自らが危険を予測・回避する能力や態度を育成するとともに、学校を取り巻く安全上の課題やその対策を検証し、学校安全計画等や取組を適宜検証・改善していくことが求められています。
- 近年、学校内外において児童生徒等が巻き込まれる事件・事故等が発生していることを踏まえ、各学校で実施している防犯教室や交通安全教室、避難訓練の見直し、通学路や校内等の危険箇所を示したマップの作成等を定期的に行い、安全指導の更なる推進が必要となっています。
- 安全管理と安全指導を効果的に推進していくための組織を学校の運営組織の中に位置付け、教職員の共通理解と役割分担を明確にするとともに、スクールガード・リーダー等の効果的な人材活用など、学校・家庭・地域及び関係機関等と情報を共有・活用できるネットワークの整備が重要となっています。

事業の概要

- ① 学校安全指導の重点
 - ア 児童生徒の安全に関する課題の的確な把握と、それに即応する具体的な安全活動計画の策定や『学校や関係団体等における安全・事故防止等の指導計画例（改訂版）』と安全マップ等の活用及びその継続的実践による安全な行動の日常化
 - イ 教科や特別活動等の学習を通した安全な生活に必要な知識・技能の確実な習得

- ウ 様々な危険場面を想定した避難訓練やK Y T（危険予知トレーニング）等の実施による危険予測・危険回避能力の育成
- エ 関係機関・団体等との連携による施設設備の安全管理の強化及び学校・家庭・地域社会が一体となった児童生徒の安全確保
- ② 学校安全事業の推進
 - ア 学校生活の安全指導
 - ・ 事故発生の場所、原因、部所別発生状況等の実態把握と、休み時間や学習時の安全確保及び全教育活動を通じた安全に行動する態度と危険予測・危険回避能力の育成
 - ・ 調整力、敏捷性、筋力など、けがを防止するための基礎体力づくりの積極的な推進
 - イ 交通安全
 - ・ 正しい歩行の仕方や安全な道路横断の方法をはじめ、小学校では飛び出しによる事故防止、中学校・高等学校では自転車乗車中による事故防止など、計画的・継続的な交通安全指導の実施
 - ・ 通学路の安全点検の実施と交通安全の確保
 - ・ 交通安全教室や集団下校訓練等を通じた様々な交通環境における危険予測・危険回避能力の育成
 - ・ 集団登校による交通安全の推進
 - ・ 関係機関・団体と連携した交通安全指導の充実
 - ウ 水難事故防止
 - ・ 体育学習時におけるプール使用のきまりの指導の徹底と泳力の向上
 - ・ 海水浴、海・河川での釣りなど、長期休業前における安全指導の充実
 - ・ 関係機関・団体と連携した水難事故防止活動の推進
 - エ 学校への不審者侵入への対応
 - ・ 職員一人一人の危機意識の高揚と対応訓練等の確実な実施による即時即応力の育成
 - ・ 避難訓練等の実施による児童生徒一人一人の危険予測・危険回避能力の育成
 - ・ 関係機関・団体と連携した不審者侵入対応訓練等の推進
 - オ 『学校や関係団体等における安全・事故防止等の指導計画例（改訂版）』及び安全マップ等の活用
 - ・ 交通安全に関する危険予測学習教材を活用した歩行中や自転車乗車中の飛び出し等の事故防止
 - ・ 各種運動領域での安全指導を生かした運動部活動の推進 など
 - カ セーフコミュニティかごしまの取組（学校の安全分野）
 - ・ 小学校における校内等でのけがの減少に向けた取組の推進
 - ・ 中学校における運動部活動でのけがの減少に向けた取組の推進
- ③ 関係施設等の整備充実及び関係機関・団体との連携
 - ア 体育学習及び体育施設等の安全点検・安全確保に関する指導資料の活用
 - ・ 『体育・遊具施設の事故防止のために』（平成6年4月配布）
 - ・ 『全国の事故事例から見た安全な体育学習指導法』（平成9年4月配布）
 - ・ 『学校体育事故を未然に防ぐ指導チェックポイント集』（平成11年3月配布）
 - ・ 『体育施設・設備等の安全チェックポイント集』（平成13年3月配布、平成16年6月改訂版配布）
 - ・ 『学校や関係団体等における安全・事故防止等の指導計画例』（改訂版）（平成18年3月配布）
 - イ 危険区域標識用赤い布の配布
 - ・ 全小学校に校区内の危険箇所標示用の赤い布の配布
 - ウ 関係機関・団体等との連携
 - ・ 通学路の交通安全施設の整備・補修
 - ・ 各種避難訓練等における指導・助言
 - 各学校での火災、地震、「子ども110番の家」への駆け込み模擬訓練
 - 不審者侵入を想定した教職員への対応訓練
 - 応急処置等に関する講習会
- ④ 研修の充実
 - ア 養護教諭研修会（4/17）での学校生活等における保健管理及び教育の充実等

- イ 小学校体育主任・担当者等研修会（４/23）、中・高等学校体育主任・担当者等研修会（４/23）
- ウ 学校水泳及び管理に関する研修会（５/７）でのプールの安全・衛生管理指導
- エ 初任者研修（５/22）での学校体育・保健・安全・給食における安全・衛生管理指導
- オ 小・中・高等学校教員水泳指導法講習会（６/５）での技能の状態に応じた段階的な水泳実技指導
- カ 自動体外式除細動器（AED）取扱講習会（５/10）
- キ 水難事故防止対策連絡会（６/11）における対策及び実践化への共通理解
- ク 夏季学校水泳プール開放説明会（６/21・22）での水上安全法短期講習
- ケ 中・高等学校体育施設等安全点検実技研修会（８/２）での施設等の安全管理指導

（４）防災教育の充実

現状と課題

- 近年、大型台風や集中豪雨等の自然災害が毎年のように発生し、人命や生活、社会経済へ甚大な被害をもたらしており、これまで経験したことのない災害が発生する時代へと変化する中、児童生徒の発達段階に応じて危険を予見し、自らの安全を確保し、被害を軽減する防災・減災教育の必要性が高まっています。
- 土砂災害、桜島の大噴火、鹿児島湾直下型地震への対応など、本市の特性に応じた防災教育が求められています。
- 災害時には、学校と保護者間で電話・携帯電話・メール等の通信手段が利用できなくなることを考え、それ以外の連絡方法等をあらかじめ定めておくことが必要となっています。

事業の概要

- ① 学校防災指導の重点
 - ア 児童生徒の安全に関する課題の的確な把握と、それに即応する具体的な危機管理・学校防災マニュアルの策定や安全マップ等の活用及びその継続的実践による安全な行動の日常化
 - イ 教科や特別活動等の学習を通じた学校防災に必要な知識・技能の確実な習得
 - ウ 様々な危険場面を想定した避難訓練やＫＹＴ（危険予知トレーニング）等の実施による危険予測・危険回避能力の育成
 - エ 関係機関・団体等との連携による避難施設設備の安全管理の強化及び学校・家庭・地域社会が一体となった児童生徒の安全確保
- ② 学校防災事業の推進
 - ア 災害防止
 - ・大雨や地震などを想定した避難訓練等を通しての危険予測・危険回避能力の育成
 - ・関係機関・団体と連携した災害防止活動の推進
 - ・『防災ノート』を活用した防災教育の充実
 - イ 『学校や関係団体等における安全・事故防止等の指導計画例（改訂版）』及び安全マップ等の活用
 - ・国内外で発生した自然災害等を基に、様々な場面に応じた避難の仕方と決まりの指導
 - ・安全マップの定期的な見直しと近隣の学校との情報共有
- ③ 関係施設等の整備充実及び関係機関・団体との連携
 - ア 避難施設設備の安全管理の強化及び学校・家庭・地域社会が一体となった児童生徒の安全確保
 - イ 火山防災教育推進事業の活用
 - ・親子で学ぶ桜島訪問体験ツアーの実施
 - ・小学校への専門家派遣授業の実施
 - ウ 危険区域標識用赤い布の配布
 - ・全小学校に校区内の危険箇所標示用の赤い布の配布
- ④ 研修の充実
 - ア 安全指導担当者研修会（５/30）での学校生活及び災害時等における安全指導・管理
 - イ 桜島地区内にある学校への指導
 - ウ 洪水浸水想定区域内にある学校への指導
 - エ 土砂災害警戒区域内にある学校への指導

4. 地域とともにある学校づくりと教育環境の充実

施策の方向性

保護者や地域住民の理解と参画を得ながら、意見等を学校運営に積極的に生かし、学校の課題解決に取り組むことが必要とされていることから、学校運営協議会の充実を図ります。

また、次世代を担う人材を育成するために、高い社会性と専門性を持ち、新たな課題に積極的に取り組むなど学び続ける教職員が求められていることから、研修を充実し、教職員の資質向上を図るとともに、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保するための業務改善を推進するほか、教育施設の整備や教育費の負担軽減など、児童生徒が安心して学べる環境の充実を図ります。

(1) 学校運営の充実

現状と課題

- 次世代を生きる人材を育成するため、高い社会性と専門性を持ち、新たな課題に積極的に取り組むなど教職員の更なる資質向上が求められています。
- 学校の教育目標が達成されるためには、管理職が社会の要請に的確に対応できる明確なビジョンのもとでその指導力を発揮するとともに、質の高い教育を展開できるよう、教職員の意識改革や学校運営の効果的な取組等の学校における業務改善の推進が求められています。
- 学校と地域住民が一体となって児童生徒を育んでいくためには、学校運営に保護者や地域住民が一定の権限や責任をもって参画する学校運営協議会等を通して、地域と連携・協議し、児童生徒の学びを充実させていくことが一層重要になります。
- 教職員による学校の自己評価や保護者等による学校関係者評価の実施・公表により、開かれた学校づくりの推進とPDCAサイクルの充実・改善が求められています。

事業の概要

- ① 学校グランドデザインの設定
 - ア 学校経営構想の明確化と地域・保護者への周知
- ② 学校評価の推進
 - ア 自己評価の適切な実施と結果の公表及び活用
 - イ 学校関係者評価の適切な実施と結果の公表
 - ウ 学校評価に基づく課題把握と改善策の指導
- ③ 転入・新任校長・教頭研修会、小中高等学校合同校長・教頭研修会
 - ア 学校経営や学校運営等に関する当面する諸問題についての研究協議、各課指導、指導講話等
- ④ 学校運営協議会の設置
 - ア 学校と地域の情報共有を図り、質の高い学校教育の実現を目指す。令和5年度全市立学校に設置
- ⑤ 学校訪問による学校経営の充実
 - ア 学校訪問による実態把握と指導の充実
 - イ 計画学校訪問の実施による支援・指導の充実
- ⑥ スクールロイヤー活用事業
 - ア 学校への過剰な要求や学校事故への対応等の諸問題について、法的観点から助言等を行うスクールロイヤー業務を委託し、児童生徒にとってよりよい教育環境を確保するとともに、速やかな問題解決や教職員の負担軽減を図る。

(2) 教育課程の改善・充実

現状と課題

- 学習指導要領の前文では、E S Dの目的でもある「持続可能な社会の創り手の育成」が掲げられ、S D G sの視点を踏まえた教育を推進することが求められています。
- 学校においては、児童生徒の「生きる力」を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎・基本を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めています。

- 学習指導要領に示された「社会に開かれた教育課程」の理念に基づき、目指すべき教育の在り方を家庭や地域と共有し、その連携及び協働のもとに教育活動を充実させる必要があります。
- 内容や進め方が異なる幼児期と児童期の教育課程の円滑な接続を目指し、スタートカリキュラムの改善・充実を図る必要があります。

事業の概要

- ① 各研修会における本市の重点課題や教育課程編成の配慮事項等の指導
- ② 教育課程大綱等の作成・提出と指導
- ③ 教育課程実施状況報告等による状況確認と課題把握及び指導
- ④ 学校評価等における改善の課題把握と指導
- ⑤ 研究協力校等における研究の推進と研究成果の活用
- ⑥ 校内研修等を活用した教育課程の改善・充実

(3)教職員の資質向上

現状と課題

- 次世代を担う人材を育成するため、高い社会性と専門性を持ち、新たな課題に積極的に取り組むなど学び続ける教職員としての資質向上が求められています。
- 専門的知識や指導力の向上を図るため、経験に応じた研修や専門性を高める研修、職能に応じた研修等を実施しています。
- 教職員の人事評価を実施し、教職員の資質と指導力の向上に取り組むとともに、適正な評価を実施するため、評価者の資質向上を図っています。
- 教職員のメンタルヘルス対策の充実を図るため、校内対応や復帰支援等についての管理職研修会を開催しています。
- いじめや不登校、問題行動等、相談内容が多岐にわたり、児童生徒や保護者等の不安や悩みへ適切に対応するために、教職員や相談員等の更なる資質向上が必要です。

事業の概要

- ① 各種教職員研修の充実
 - ア 経験年数に応じた研修
 - ・初任校研修 ・5年経験者研修 ・中堅教諭等資質向上研修 ・特別支援学級等新任担当教員研修 等
 - イ 専門性を高める研修
 - ・学習指導、生徒指導、体育指導、人権教育、情報教育、国際理解教育、特別支援教育等に関する研修会・講座等
 - ・小・中連携研修会 ・教育講演会 ・道徳教育研究会 ・人権教育研修会 等
 - ウ 職能に応じた研修
 - ・学校経営、教育課程、生徒指導、進路指導、教科経営、特別支援教育等に関する研修会・講座 等
- ② 指導主事派遣による校内研修会等の充実
 - ア 指導主事の積極的な派遣による各種研修会の充実
 - ・校内研修会 ・幼・保・小連携研修 ・小・中連携研修
 - ・鹿児島市学力向上プログラム ・各種研究団体による研修 等
- ③ その他の教職員等研修
 - ア 各種研修会・研究会の実施
 - イ 本市の研究協力校における研究推進や研究公開のための助成
 - ウ 県外等の研究会・研修会への積極的な派遣
 - エ 著名な文化人や教育専門家による本市教職員を対象とした教育講演会の実施
- ④ メンタルヘルスマネジメント研修
 - ア 管理職を対象とした研修の実施

⑤ 研究協力校

学校名	各教科等	委嘱期間	研究テーマ
西陵小学校	学業指導	令5～令6	ともに学び、ともに伸びる児童の育成 ～西陵スタンダードの確立を通して～
紫原小学校	「確かな学力」の育成		「自立」して学ぶ子供の育成 ～主体的・協働的な学び をファシリテートするための3領域からのアプローチ～
西紫原中学校	総合的な学習の時間		未来を切り拓き、よりよい社会を創造する生徒の育成 ～〔地域〕に学ぶ自己の生き方を追究する活動を通して～
皆与志小学校	体力向上		「運動大好き」皆与志っ子を育てる体力向上の実践 ～「皆与志モデル」の充実を通して～
坂元中学校	健康教育（学校病等予防 対策協議会指定校）		生涯を通して「こころ」を大切にできる生徒の育成を 目指して
谷山北中学校	生徒指導		思いやりのある優しい生徒の育成
桜峰小学校	教育の情報化		自律する児童の育成 ～予習型授業における指導法の改善と工夫を通して～
大明丘小学校 東谷山中学校	学校安全	令5～令7	校内でのけがの減少に向けた取組 （セーフコミュニティ学校の安全対策委員会モデル校）
向陽小学校	「確かな学力」の育成	令6～令7	子供が見方・考え方を働かせ、主体的に調べ考える社会 科学学習の在り方～社会生活とのつながりを実感する授業 を通して～
西谷山小学校	「確かな学力」の育成		深く考え自己決定する子供の育成～自己決定×ICT の可能性を探る～
谷山北中学校	キャリア教育		互いのよさを認め合い、自らを生かしながら大人へと 成長する生徒の育成
喜入中学校	道德教育		主体的に学びに向かう生徒の育成～ウェルビーイング の向上をめざした道德教育の実践～
松原小学校	ICTを活用した教育方法 の改善		確かな学力の定着に向けたICT活用の在り方
和田中学校	食に関する指導		食育を通して自立した和田中生を育成する～学校全体 で取り組む継続・実践できる食に関する指導の確立～
玉龍中学校	体力向上		（仮）自らの課題解決に向けた学習方法を選択できる 生徒の育成～单元内自由進度学習の取組を通して～
花野小学校	生徒指導		お互いを思いやり、よりよく関わり合おうとする子供の 育成～自己肯定感・自己有用感を高める取組を通して～

（４）教育施設の整備・充実

現状と課題

- 学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害時には地域住民の応急避難場所でもあることから、児童生徒にとって健康的かつ安全で快適な教育環境の整備を図るとともに、環境や防災等に配慮した施設整備を進めることが大切です。
- 令和3年3月に公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律が改正され、令和3年度から7年度にかけて、小学校2年生から6年生を対象に35人学級が段階的に導入されることから、学級数が増えることによる教室不足が想定されます。
- 建築後30年以上の校舎等が学校施設全体の約8割を超えていることから、令和2年度策定の学校施設長寿命化計画に基づき、時機を失することなく長寿命化改良工事を実施する必要があるため、引き続き財源確保に努める必要があります。
- 建築後60年以上の老朽化した校舎が今後も増加することから、年度あたりの建替棟数を増やす必要があります。
- 校舎等の増改築や長寿命化改良等の整備に計画的に取り組むほか、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、バリアフリー化を一層推進する必要があります。
- 大半の給食施設と半数以上の学校プールは、建築後30年以上となっており、施設の劣化状況に応じた老朽化への対策が必要です。
- 電気設備や給排水設備等についても、設置後30年以上を経過している校舎等が学校施設全体の半数を超えており、計画的な更新・改修が必要です。

事業の概要

校舎や屋内運動場の増改築、長寿命化改良その他の施設整備を推進し、教育施設の充実と教育環境の整備に努める。

① 校舎・屋体等整備事業

ア 校舎・屋体の整備充実

校舎・屋内運動場の増築及び長寿命化改良等を行い、教育環境の整備充実を図る。

- ・校舎増築 小学校 2 校（吉野小、福平小）
中学校 1 校（吉野東中）
- ・校舎増築（繰越分） 中学校 1 校（松元中）
- ・長寿命化改良（繰越分） 小学校 3 校（清水小、松元小、桜丘西小）
中学校 2 校（和田中、桜丘中）
- ・予防改修（繰越分） 小学校 1 校（東谷山小）
- ・校舎トイレ改修（繰越分） 小学校 2 校（西田小、荒田小）
中学校 1 校（福平中）
- ・バリアフリー整備（繰越分） 小学校 2 校（伊敷台小、桜丘西小）
中学校 4 校（伊敷台中、東谷山中、星峯中、桜丘中）

イ 外壁改修等

安全性確保のため、校舎・屋内運動場の外壁改修等を実施する。

- ・外壁改修（繰越分含む） 小学校 6 校（東谷山小ほか）
中学校 3 校（伊敷中ほか）
- ・外壁補修（繰越分含む） 小学校 8 校（星峯東小ほか）
中学校 2 校（甲東中、天保山中）
高等学校 1 校（鹿児島女子高）

② 既設校舎の補修等（繰越分含む）

保全計画に基づき既設校舎の補修等を推進し、教育環境の改善充実を図る。

ア 屋上防水改修

イ 受変電設備改修その他施設の維持補修

ウ 洋式便器へ取替

エ LED改修

③ 学校空調設備整備事業（繰越分）

桜島の降灰時に良好な教育環境を確保するため、特別教室等の空調設備を整備・更新する。

- ・小学校 7 校（牟礼岡小ほか）、中学校 12 校（松元中ほか）、高等学校 1 校（鹿児島女子高）

④ 太陽光発電装置整備事業（繰越分）

「鹿児島市再生可能エネルギー活用計画」に基づき、太陽光発電システムを設置する。

- ・中学校 1 校（緑丘中）

⑤ 学校施設緑化推進事業

校庭の芝生や緑陰空間等の維持・管理を行い、児童生徒の豊かな心の育成や体力の向上及び学校周辺への砂塵の飛散防止、ヒートアイランド化の抑制を図る。

⑥ 校舎建替事業（繰越分含む）

老朽化が進行している学校施設について、児童生徒の安全や良好な教育環境を確保するため、校舎等を建て替える。

- ・小学校 1 校（八幡小）、中学校 1 校（紫原中）

⑦ 給食室の整備

経年劣化に伴う老朽化が進んでいる自校方式校の給食施設等について、防水工事等の改修整備を行う。

学校給食施設設備整備事業

- ・屋根防水等改修 小学校 1 校（城南小）

- ⑧ 松元地域を中心とした新学校給食センターの整備
松元地域を中心とした新学校給食センターの整備に向け、P F I 導入可能性調査等を行う。
- ⑨ プールの整備
プールの改築等を行い、教育環境の整備充実を図る。
 - ア プールの改築
 - ・新築 小学校1校（福平小）
 - イ プール塗装
 - ・中学校1校（福平中）
 - ウ 施設修繕（プール本体・付属室等の補修）
- ⑩ 体育施設等の整備
体育施設等の修繕等を行い、教育環境の整備充実を図る。
 - ア 柔剣道場改修
 - ・高等学校1校（商業高校）
 - イ 遊具の新設
 - ・小学校1校（八幡小）
 - ウ 施設修繕（遊具・柔剣道場等の補修）
- ⑪ 特別支援学級施設設備の整備
特別支援学級に在籍する児童生徒の障害の重度化、多様化に対し、特別支援教育の充実と推進を図るために施設設備等の充実を図る。
 - ア 施設修繕（畳間、黒板、洋式トイレ等の補修）
- ⑫ 学校設備の整備
 - ア 特別教室等内部設備の充実
 - ・校舎増改築等に伴う整備 小学校5校（八幡小、吉野小、松元小、清水小、桜丘西小）
中学校3校（松元中、和田中、桜丘中）
 - イ 屋内運動場内部設備の充実
 - ウ 高等学校設備の整備
 - ・市立3高等学校の管理備品、教材の整備

（５）教育費の負担軽減

現状と課題

- 小・中学校に通う児童生徒の家庭の経済状況や地理的条件等を考慮し、就学援助事業や遠距離・安心安全通学費補助事業、特別支援教育就学奨励事業、通級指導教室保護者交通費助成事業、校区外通学保護者交通費助成事業等の積極的な活用を促進し、義務教育における教育費の負担軽減を図っています。
- 国においては、高等学校の授業料実質無償化となる就学支援金制度のほか、大学等における授業料減免制度や、日本学生支援機構による給付型の奨学金制度等が充実してきています。
- 本市奨学資金貸付制度の貸与者は、国等の制度の充実に伴い、減少傾向にある一方、返済されずに滞納となるケースも多いことから、今後の円滑な制度運用のため、滞納対策を行う必要があります。

事業の概要

- ① 市奨学資金貸付制度
 - ア 平成13年度に貸与額を増額するとともに入学一時金貸与制度を新設
 - イ 滞納案件のうち、長期間にわたり納入がない案件を優先的に、弁護士法人に委託し、債権回収に努め、円滑な制度運用を図る。
- ② 就学援助事業、特別支援教育就学奨励事業、遠距離・安心安全通学費補助事業、通級指導教室保護者交通費助成事業、校区外通学保護者交通費助成事業
 - ア 事業の周知を図るとともに、学校との連携をさらに緊密にし、引き続き支援に取り組む。
- ③ 市立高等学校就学支援金制度
 - ア 制度の周知を図るとともに、申請漏れを防ぐための対応を行うなど、引き続き支援に取り組む。

(6)学校の規模適正化・適正配置

現状と課題

- 本市では、令和6年5月1日現在、小学校79校（休校1校）、中学校39校、高等学校3校を設置しており、合計約5万人の児童生徒が在籍しています。学校数は、平成18年度に鹿児島玉龍中学校を開校、平成26年度に改新小学校を廃止して以降増減はありませんが、小・中学校の児童生徒数は減少傾向にあり、この傾向は今後も続くと考えられます。市立高等学校については、令和6年度に鹿児島商業高等学校の学科再編があり、生徒数の増加が見られました。
- 小・中学校の学校規模については、小規模校、大規模校それぞれにメリットとデメリットがありますが、児童生徒数の偏りが顕著になると、教育環境に大きな影響を及ぼすことになることから、本市では、平成30年3月に「小学校・中学校の学校規模適正化・適正配置に関する基本方針」を策定し、適正な学校規模と適正配置の考え方を示すとともに、適正化のための5つの手立てとして、「校区の変更」「学校の統合」「小中一貫教育の導入」「学校施設の整備」「学校の分離新設」を定めました。
- 桜島地域は令和3年12月に「桜島地域の学校統合に関する要望書」が提出されたことから、小中学校の統合に向けて桜島学校整備推進事業を進めています。
- 明和地域は、令和5年3月に明和まちづくり協議会、明和小学校PTA、明和中学校PTAの各会長の連名で、小中一貫教育の導入についての要望書が提出されたことから、令和6年に義務教育学校の設置手続きを進め、今後のスケジュール等を決定していきます。
- 適正化が必要な校区については、学校や地域を訪問し、状況把握や説明等を行っており、地域の合意が得られた場合は、学校の統廃合等について検討していきます。
- 令和3年3月に、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律が改正され、令和3年度から7年度にかけて、小学校2年生から6年生を対象に、35人学級が段階的に導入されることとなりました。本県においては、小学校1・2年生で既に30人学級が導入されていたことから、法改正による実質的な影響は、令和4年度の小学校3年生からとなりました。

事業の概要

① よりよい教育環境づくり推進事業

学校規模適正化・適正配置に関する基本方針（平成30年3月策定）に基づき、子どもたちのよりよい教育環境づくりを推進する。

② 桜島学校整備推進事業

本市初の義務教育学校となる桜島学校の工事に着手するとともに、校歌や校章の制作などを行う。
（令和8年度開校予定）

(7)私立学校等との連携

現状と課題

- 本市には私立幼稚園等83園、私立小学校2校、私立中学校5校、私立高等学校9校があり、それぞれの学校が、私学として建学の精神を生かしながら学校経営を行っており、本市の教育の一翼を担っています。また、特色ある学校教育を展開する中で、スポーツや文化活動等で顕著な成績を残し、全国的に活躍している学校も多数あります。
- 今後とも、私立高等学校の自主性と建学の精神を生かした教育の充実や、専修学校等における時代のニーズに対応した新しい知識や技術を持つ人材の育成を促進する必要があります。
- 高等学校等に在学し、向学心に燃え、その能力が十分であるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な者又はその保護者に対して奨学資金を貸与し、有為な人材の育成を図っており、私立高等学校等についても、学校からの推薦を受け、貸与申請を受理しています。また、奨学資金制度等の周知や滞納状況の改善を図るため、私立学校等との連携が求められています。

事業の概要

① 私立幼稚園協会や私立中学校高等学校協会との連携の充実

- ア 幼・保・小連携代表者会や幼・保・小連携研修会の実施
- イ 私立中学校高等学校協会や国立中学校との情報交換会等への参加
- ウ 各学校における国立私立学校との連携
- エ 各種作品展等における国立私立学校への参加案内

5. 家庭や地域の教育力の向上と生涯学習環境の充実

施策の方向性

少子化、核家族化等の進行により、人間関係の希薄化や保護者の孤立化が進み、家庭の教育力の低下が指摘されており、保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう家庭教育支援の重要性は一層高まっています。

また、人生100年時代など、私たちの暮らしにとって大きな転換点を迎える中で、これまでの教養に加え、学び直しにより新たな知識を身に付けることなど、生涯学習の充実が求められています。

ニーズに応じた多様な学習機会・情報の提供や学習成果の活用、ネットワークづくり等により、家庭や地域の教育力の向上を図るとともに、生涯学習関連施設の整備や相談機能の充実に取り組みます。

(1) 家庭教育の充実

現状と課題

- 家庭教育はすべての教育の出発点であり、子どもの基本的な生活習慣や自立心の育成、心身の調和のとれた発達を図るうえで重要な役割を担っています。
- 少子化、核家族化等の進行により、人間関係の希薄化や保護者の孤立化が進み、子育ての不安やしつけへの自信喪失など、家庭の教育力の低下が指摘されており、保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう家庭教育支援の重要性は一層高まっています。
- 学校・家庭・地域・関係機関等が、互いに連携を図りながら家庭の教育力の向上を図る必要があります。

事業の概要

- ① 乳幼児の保護者を対象とした学習機会の拡充
 - ア 明日の母親と父親のための家庭教育講座の開設（保健センター・市立病院との連携）
 - イ 育児教室における家庭教育講座の開設（保健センターとの連携）
 - ウ 乳幼児期における家庭教育セミナーの開設
- ② 児童生徒の保護者を対象とした学習機会の拡充
 - ア 家庭教育学級の開設（小学校・中学校）
 - イ 父親セミナーの開設（中学校）
 - ウ 市PTA 連合会等との連携
 - エ 親子体験活動支援事業の実施
- ③ 地域における支援
 - ア 家庭教育講座、親子ふれあい講座の開設
 - イ 地域別家庭教育研修会の開催（14地域公民館）
 - ウ 地域公民館における家庭教育相談窓口の設置
 - エ 地域における読書に親しむ場や機会の提供

(2) 生涯学習活動の充実

現状と課題

- 人生100年時代、Society 5.0など、私たちの暮らしにとって大きな転換点を迎える中で、時代の変化に柔軟に対応し豊かな人生を送ることができるよう、これまでの教養に加え新たな知識を身に付けることなど、生涯学習の充実が求められています。
- 生涯学習関連施設において、多様化・高度化するニーズや現代的課題、ライフステージ等に対応した学習機会の提供が求められています。
- 生活環境の変化等により、子どもの読書離れが指摘されており、乳幼児期からの読書習慣の形成や発達段階に応じた読書活動を推進する必要があります。

事業の概要

- ① 学習機会の充実
 - ア 生涯学習関連施設における学習機会の充実
 - ・生涯学習プラザ（別掲）
 - ・地域公民館（別掲）
 - ・校区公民館（別掲）
 - ・女性会館（別掲）
 - ・勤労女性センター（別掲）
 - ・図書館（別掲）
 - ・かごしま文化工芸村（別掲）
 - ・西郷南洲顕彰館（別掲）
- ② 子ども読書活動の推進
 - ア 推進体制の整備充実
 - ・子ども読書活動推進会議の開催
 - ・「さつまっ子20分読書」運動の推進
 - ・関係機関・団体との連携
 - イ 地域における読書に親しむ場や機会の提供（再掲）
 - ・定期的なおはなし会の実施
 - ・読書まつり・おはなしフェスティバル等の実施
 - ・読み聞かせ講師の派遣（幼稚園・保育所・学校等）
 - ・親子読書に関する講座の開設
 - ウ 読書グループの育成、支援
 - ・図書室サポーター養成講座の開設
 - ・読み聞かせボランティア養成講座の開設
 - エ 啓発・広報活動の充実
 - ・第四次子ども読書活動推進計画の周知啓発
 - ホームページやちらし、地域公民館だより等による広報
 - ・子ども読書活動を推進する団体の育成と連携

（3）学習成果の活用

現状と課題

- 人生100年時代を見据え、市民の多様な学習の機会を充実させ、市民がその学習活動を通して得た成果を社会に還元するなど、学んだ成果を生かす機会の充実を図ることが求められています。
- 地域ボランティアを活用した学校支援ボランティア事業や市民のこれまでの学びの成果を生かした支援活動が、生きがいづくりや生涯学習の場として地域等で大きな役割を果たしており、地域の教育力の向上につながっています。

事業の概要

- ① 学校支援ボランティア事業の推進
 - ア 計画的な地域学校協働活動の推進
 - ・小・中学校管理職研修会等を通じた事業の周知
 - ・地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）連絡会の実施（年4回）
 - ・広報啓発の充実（募集チラシや事業報告書の作成）
 - ・地域教育協議会の充実
 - イ 中学校拡充に向けた研究
- ② 親子体験活動支援事業
 - ア 活動費の助成（学校と連携した親子体験活動等）
 - イ 研修会の実施

③ 自主学習グループ活動やボランティア活動の推進

ア 自主学習グループ活動

- ・自主学習グループの育成・連絡会等との連携
- ・市民はつらつ得意技講座

イ ボランティアの育成、支援

- ・生涯学習プラザにおけるボランティア育成講座
- ・公民館講座におけるボランティア養成講座
 - 図書室サポーター、市民はつらつ得意技講座
- ・かごしま文化工芸村におけるボランティア養成講座
 - 陶芸の指導支援ボランティア
- ・学校支援ボランティア事業の推進（再掲）
- ・ボランティア活動の支援
 - 学習相談対応、生涯学習ボランティアの情報提供

ウ 学習成果の社会への還元

- ・学習成果の活用に関する調査・研究
- ・学習成果を生かすための場や機会についての情報提供と相談対応

（４）生涯学習推進体制の充実

現状と課題

- 個人や地域社会の抱える課題が多様化・複雑化している中、課題を解決するために市民の主体的な学びを促すことが求められています。
- 学習を通じて市民が交流を図り、個人や各種団体によるつながりやネットワークの形成、世代間交流の場の拡充、地域でのリーダー養成が求められています。
- 生涯学習関連施設では、総合的に生涯学習を推進するため、関係各課や大学、専門学校、事業者、NPO等の多様な主体と連携・協働することが求められています。

事業の概要

① 推進体制の充実

ア 推進組織の充実

- ・社会教育委員の会議、プラザ運営委員会の開催
- ・生涯学習関連施設等とのネットワーク
- ・行政、教育機関、団体、民間等との連携・協力
- ・自主学習グループ、生涯学習ボランティア等との連携
- ・社会教育関係団体等との連携

イ 生涯学習リーダーの育成

- ・社会学級委員等研修会（前期）
- ・社会学級委員等研修会（後期）
- ・PTA研修会
- ・学び広げる地域リーダー養成研修会
 - 社会教育関係団体指導者等研修会への派遣

ウ 関係団体の育成

- ・PTAの育成（単位PTA活動の充実）
- ・市PTA連合会への補助
 - 家庭教育充実研修会
 - PTA活動研究委嘱公開
- ・地域婦人会や生活学校への支援
- ・各種研修会の共催及び支援
- ・自主学習グループ等の育成・支援
- ・親子体験活動団体の活動支援

② 地域における生涯学習推進体制の充実

ア 地域コミュニティ協議会等の活動支援

イ 生涯学習の充実

- ・社会学級の開設、自主学習グループの支援
- ・地域公民館と連携した地域生活文化講座の開設

ウ 生涯学習推進に係る専門部会等との連携

エ 専門部長を対象にした研修会の開催（「学び広げる地域リーダー養成研修会」）

③ 現代的課題への対応

ア ICTを活用した体制づくり

- ・ICTに関する講座の開設
- ・オンラインによる講座の開設

イ 大学や事業者、NPO等と連携・協働した講座の開設

（５）生涯学習機能の充実

現状と課題

- 生涯学習関連施設は、誰もが気軽に立ち寄り過ごせる空間で、幅広い世代の人々が集い共に学び成長できる場として、利用者・市民の要望や社会の要請に応え、地域の学びの拠点となるよう機能の充実を図る必要があります。
- 生涯学習関連施設の老朽化やバリアフリー化への対応、利用者のニーズに対する機能の拡充など、施設の適切な整備を計画的に進め、適正な施設管理を行うことが必要となります。
- 図書館の基本的なサービスのほか、市民交流の促進や学びと創造活動の拠点づくりが求められています。
- 図書館等に来館しなくても資料を利用できるよう、電子図書館サービス等の更なる活用が期待されています。

事業の概要

① 生涯学習関連施設等の充実

ア 生涯学習関連施設等の整備

- ・生涯学習プラザ、14地域公民館、77校区公民館、かごしま文化工芸村、勤労女性センター（指定管理）、西郷南洲顕彰館（指定管理）、2集会所（指定管理）
- ・地域公民館
 - 保全計画に基づく施設・設備の整備・修繕等、公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備
- ・図書館との連携

（６）学習情報の提供、相談機能の充実

現状と課題

- 市民のひろばやホームページ等において、講座や研修会等の学習内容について情報発信を行っています。
- 生涯学習プラザ、地域公民館、図書館等の窓口において、学習相談への対応やレファレンスサービスに努めています。
- 図書館等に来館しなくても資料を利用できるよう、電子図書館サービス等の更なる活用が期待されています。
- 生涯学習関連施設は、市民の生涯学習推進の拠点施設として、市民が幅広く取り組んでいる学習情報を集約し、学習情報の提供や相談機能の充実を図る必要があります。

事業の概要

① 生涯学習情報の提供の充実

ア 公共施設予約システムの活用

イ 各種たよりの定期的な発行

- ・市民のひろば、公民館だより 等
- ・ホームページやSNS等を活用した学習情報の提供

ウ 市民相互の情報発信及び交流を図る場や機会の充実（地域総合文化祭等）

② 学習相談機能の充実

ア 生涯学習プラザ、地域公民館における学習相談への対応

イ 図書館等におけるレファレンスサービスやレフェラルサービスの充実

6. 文化芸術の振興と歴史・文化資源の保存と活用

施策の方向性

文化芸術は豊かな人間性を育み、生活に潤いをもたらし、まちに活力を与えていることから、誰もが文化芸術に触れ、親しむ機会の充実や様々な分野での活用の支援、活動の担い手の育成に取り組めます。

また、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」をはじめ各地域の史跡や伝統芸能などの貴重な文化財の適切な管理保全と活用を進めながら、地域の歴史・文化資源を再発見できるよう、理解促進や魅力発信に取り組めます。

(1) 文化芸術に触れ親しむ機会の充実と活動の促進

現状と課題

- 文化芸術は、豊かな人間性を育むとともに、生活に潤いをもたらし、まちに活力を与えています。
- 市民誰もが身近に文化芸術に触れ、親しむ機会の充実を図るとともに、様々な分野での活用や活動の担い手を育成することなどの取組が求められています。
- 文化芸術に触れることで、創造力や表現力が育まれ、相互理解や多様性の尊重など、豊かな人間形成につながることから、誰もがより身近に文化芸術を鑑賞し、体験できる機会の充実を図る必要があります。

事業の概要

① 美術館 常設展

小企画展と連動し、季節ごとにテーマを設けて特集展示を行い、できるだけ多くの収蔵品の展示に努めている。

ア 郷土美術

黒田清輝、藤島武二、和田英作などの日本近代洋画、木村探元などの日本画、新納忠之介、安藤照などの彫刻、薩摩焼や薩摩切子の伝統工芸と宮之原謙などの近代工芸のほか、桜島が描かれた作品を展示している。

イ 西洋美術

モネ、ピサロなどの印象派からセザンヌ、マチス、ピカソ、ダリ、カンディンスキー、デュビュッフェ、ステラ、ウォーホルへと続く西洋絵画とロダン、アーキペンコ、マリーニなどの彫刻を展示している。

② 特別企画展

鹿児島では普段見ることのできない国内外のすぐれた美術作品を展示することによって、市民への鑑賞機会を提供するとともに、鹿児島の美術文化の向上を図ることを目的として開催する。

令和6年度の詳細は、P87を参照。

③ 小企画展

常設展とは別に、テーマを設けて、所蔵品の中から作品を選抜し開催する。

令和6年度の詳細は、P87を参照。

④ 市民作品公募展

- ・市民アートフェアかごしま 令和6年8月20日～8月25日

市民の創作した美術作品を、ジャンルを問わず幅広く公募し、美術館に展示する。

⑤ 共催展

- ・第70回県美展 令和6年5月18日～5月26日
- ・第75回高美展 令和6年12月3日～12月15日

⑥ 美術講座・講演会等

- ・美術講座（5月～3月）6回
- ・美術講演会等（8月・10月）2回
- ・学芸講座（4月～3月）9回
- ・ギャラリートーク（指定日14時～）※季節の所蔵品展及び小企画展

⑦ 美術品収集保存・調査研究

絵画・彫刻・工芸等の各分野における代表的郷土作家の作品およびその系譜に関係あるもの、または鹿児島市の美術文化の振興に寄与する西洋近現代美術の作品を収集するとともに、学術的な調査研究、収蔵品の整理、点検、修復に努めている。

⑧ その他

ア 美術館協議会

美術館の運営に関して、館長の諮問に応える。平成17年度から市民公募による委員2人を加えている。
昭和60年4月1日設置 委員10人

イ 美術品選定委員会

館長の諮問に応じて、収集しようとする美術品の選定について審議する。
昭和59年4月1日設置 委員5人構成 学識経験者

ウ 美術館友の会

美術鑑賞、研究、制作、活動などにより教養を高め、美術文化の向上を図り美術館活動を援助する。
昭和37年4月1日設置 会員111人（令和6年3月末現在）

（2）文化施設の活用及び文化芸術情報の発信

現状と課題

- 本市の伝統文化、市民文化活動の一層の振興を図るため、文化団体による活動成果の発表機会の充実を図るほか、より多くの市民が鑑賞、参加できるような効果的な広報やPR活動に努めるとともに、文化施設を積極的に活用することが重要となります。
- 本市の歴史・文化資産のデータベース化のほか、ホームページやSNS等を活用した文化情報の提供・発信を行っています。
- 従来の情報発信に加え、鑑賞体験を補うオンラインコンテンツの提供など、インターネットを活用した文化の多様な魅力紹介に努め、文化芸術や伝統芸能に親しむ機会を一層拡充する必要があります。

事業の概要

① 美術館の施設整備

保全計画等に基づき、美術館の各種設備等を整備することで、市民の安全・快適な観覧に資するとともに、美術品の展示環境の改善や貴重な美術品の盗難や事故を防ぐ。

ア 空調改修工事基本計画策定業務委託

イ 揚水ポンプ更新

② 美術館情報の発信

インターネットを活用し、美術館の収蔵美術品、展覧会、イベント情報等を効果的に発信する。

- ・ かごしまデジタルミュージアム <http://www.digital-museum.jp/>
- ・ 鹿児島市立美術館ホームページ <https://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/>
- ・ 鹿児島市立美術館オフィシャルページ、X（旧 Twitter）、Facebook、YouTube、Instagram 配信

（3）文化財の保存の充実と積極的な活用

現状と課題

- 本市には地域で生まれ、保存・伝承されてきた史跡や伝統芸能などの文化財が数多く存在し、これらを将来世代へ継承するために、文化財の保存と活用を積極的に推進することが必要であり、令和5年度から「鹿児島市文化財保存活用地域計画」の作成に取り組んでいます。
- 平成27年度に登録された世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産や、令和元年度に認定された日本遺産の構成文化財をはじめとする貴重な文化財の保護に向けた、市民の理解促進を図るため、SNSなども活用した魅力の発信に積極的に努める必要があります。
- 本市の文化財のさらなる掘り起こしや価値の再評価等の取組を通じて、文化財を大切にする心や郷土に誇りを持てるような人づくりにつなげる必要があります。
- 郷土芸能活動の活性化は、地域の絆を深めるとともに郷土愛の育成にも繋がることから、芸能保存団体の活動を通じて地域住民の理解促進を図る必要があります。
- ふるさと考古歴史館や旧島津氏王里邸庭園、旧鹿児島紡績所技師館（異人館）については、本市の歴史や文化に対する理解を深める貴重な施設であることから、利用者数の増加に向けた取組を進める必要があります。

- 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である「旧集成館」、「寺山炭窯跡」、「関吉の疎水溝」について、その価値を将来世代へ継承していくため、民間や地域と協働しながら、保全・活用を図る必要があります。
- 令和5年3月に石積の一部が再崩落した「寺山炭窯跡」の復旧にあたっては、令和5年度に実施した検証結果を踏まえ、再度の積み直しに向けた検討が必要です。

事業の概要

① 指定文化財の保護・管理

市内には国指定文化財26件、県指定56件、市指定92件の計174件の指定文化財と21件の国登録文化財がある。市指定文化財については、昭和47年4月に制定された「鹿児島市文化財保護条例」に基づき保護管理を実施し、文化財指定の文化財審議会の委員等による学術調査、審議を経て市指定を行っている。

また、「喜入のリュウキュウコウガイ産地」、「旧鹿児島紡績所技師館(異人館)」、「旧島津氏玉里邸庭園」など本市が管理する国指定文化財については、補修・整備を行い、文化財の保存と活用を積極的に推進する。

② 埋蔵文化財の保護

各種開発事業に伴う発掘調査を実施するとともに、発掘した遺跡の公開や発掘成果の積極的公開を進める。

③ 文化財の活用

地域で育まれてきた文化財の調査の結果を整理し、「史跡めぐりガイドブック」、「ふるさと考古歴史館企画展」、「デジタルミュージアム」等の各種手法により広く市民に情報を提供し、生涯学習や学校教育の場で活用できるように努める。

④ 郷土芸能の保護

郷土芸能が正しく伝承されるよう、使用する道具や衣装の補修に要する費用を補助するとともに、郷土芸能団体の運営経費補助を行う。

⑤ ふるさと考古歴史館の活用

ふるさと考古歴史館について、資料収集等の充実と活用に努めるとともに、企画展の開催や体験学習等を実施する。

⑥ 世界文化遺産の保存・活用

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産について、専門家等の指導のもと、適切に保存していくとともに、その本質的価値を分かりやすく伝えるための展示内容の充実や安全かつ快適な公開を実現するための受入体制の充実に努める。

⑦ 日本遺産の保存・活用

「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群“麓”を歩く～」の構成文化財を広く周知するために、情報発信や環境整備を行う。

⑧ 鹿児島市文化財保存活用地域計画の作成

さらなる文化財の保存と活用に向けた取組を推進するため、鹿児島市文化財保存活用地域計画を作成する。

学校ICT推進センター

1. 施設の概要

- (1)開 所 昭和62年1月14日
- (2)所 在 地 〒892-0816 山下町6-1 鹿児島市教育総合センター内 (TEL227-1925 FAX227-3016)
- (3)施 設 情報処理演習室、教材制作演習室、ML室を含む9室
- (4)休 所 日 日曜日、祝日、12月29日～翌年1月3日
- (5)開所時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 土曜日 午前9時～午前12時

2. 主な事業

- (1)視聴覚教材・機材の貸出し
- (2)視聴覚教材の制作
- (3)KEIネット及びインターネットによる教育情報の提供

3. 利用できる人(団体)

- ・市内の学校、その他の教育機関
- ・市内に事務所を有する国及び地方公共団体の機関
- ・市内の社会教育関係団体、その他公共的団体
- ・その他教育委員会が適当であると認める者

4. 利用の手続き

所定の申込書に記入し、許可を受ける。

5. 視聴覚教材・機材の貸出期間

貸出日を含め3日以内

6. 視聴覚教材・機材の貸出数量

- ・教材各3本以内
- ・機材各一式

7. 主な視聴覚教材の保有数量

DVD 教材 520本

学校給食センター

1. 設置の目的

学校給食の目的、目標にかんがみ、さまざまな教育的配慮のもとに栄養管理・衛生管理に万全を期し関係者の意向を反映させながら魅力ある給食の実施と、児童生徒及び保護者への食に関する指導の充実に努める。

2. 施設の概要

名 称	中央学校給食センター	吉田学校給食センター	郡山学校給食センター
開 設	昭和42年 5 月 1 日	昭和60年 4 月 1 日	昭和48年11月 1 日
所 在 地	〒890-0067 真砂本町58-36 TEL255-1619 FAX286-6515	〒891-1303 本城町1588-1 TEL294-2223 FAX294-2566	〒891-1105 郡山町2091-1 TEL・FAX298-4179
敷 地 面 積	5,778.1㎡	1,937.0㎡	1,035.4㎡
建物延面積	2,995.5㎡	555.2㎡	574.8㎡
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造 一部2階建	鉄骨造	鉄骨造

名 称	松元学校給食センター	谷山学校給食センター	喜入学校給食センター
開 設	昭和44年11月 1 日	昭和62年 4 月23日	昭和46年 4 月 1 日
所 在 地	〒899-2703 上谷口町866-4 TEL・FAX278-1143	〒891-0104 山田町2034-5 TEL264-2400 FAX264-2324	〒891-0203 喜入町7495-1 TEL345-0254 FAX345-0267
敷 地 面 積	1,101.0㎡	2,431.0㎡	2,612.4㎡
建物延面積	533.5㎡	1,237.4㎡	956.6㎡
建 物 構 造	鉄骨造 一部鉄骨コンクリート造2階建	鉄筋コンクリート造 一部2階建	鉄骨造

昭和42年 5 月、学校給食未実施中学校10校の給食を共同調理場方式で開始した。昭和59年 4 月隣接地に移転。開設以来無事故で学校給食を実施している。

昭和62年度に谷山地区の学校給食を供給するため、谷山分場を設置。

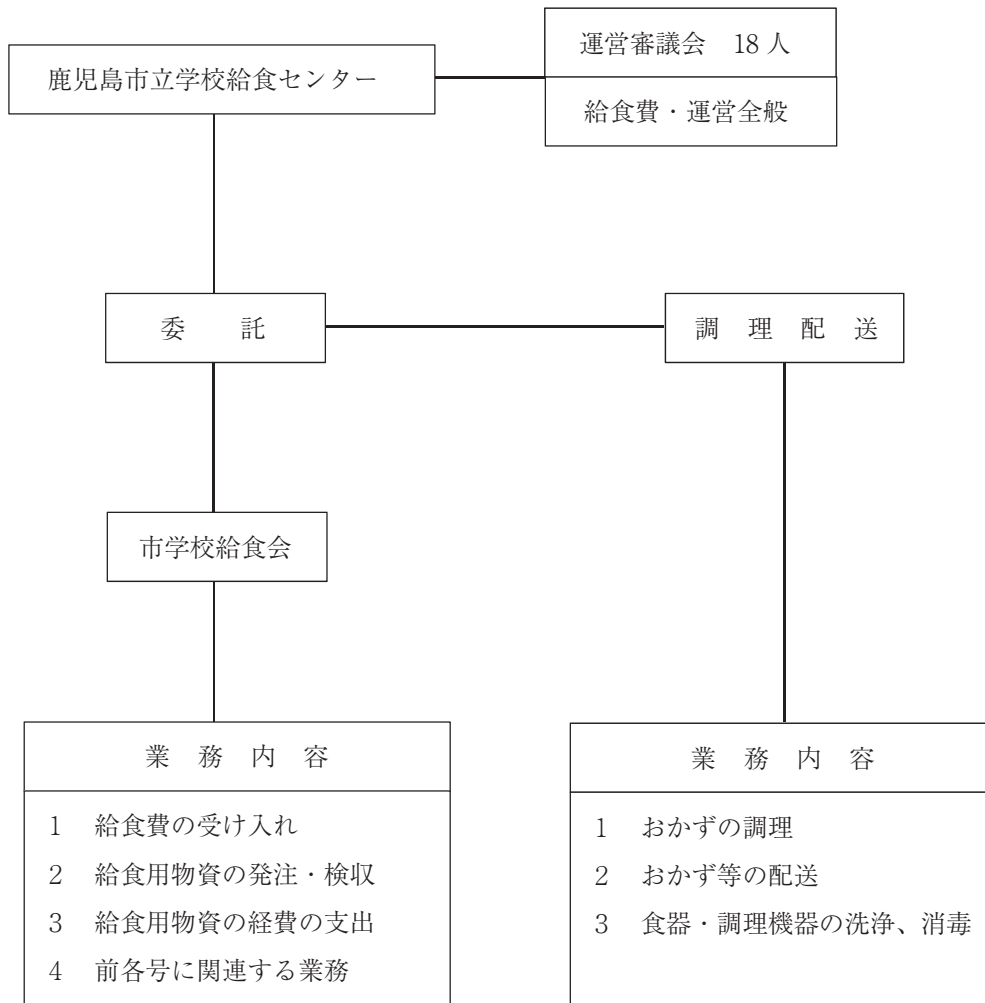
平成16年11月の1市5町の合併により、4か所の共同調理場が増え、計6学校給食センターとなった。

令和6年5月現在、6学校給食センターで、市立小学校31校、中学校24校、計55校と宮川・松元幼稚園の計21,138人の給食を実施している。

3. 組 織

学校給食センターは、市が設置した学校給食の教育機関であり、6学校給食センターで栄養管理及び衛生管理等に配慮しながら、「安全で衛生的な魅力あるおいしい学校給食の提供」を目指して、業務の企画運営にあたっている。

(1) 学校給食センターの組織機構図



(2) 学校給食センター運営審議会

学校給食センターの運営全般について審議する。構成は、市立学校の校長及び教職員 7 人、市学校保健会会長 1 人、PTA 代表者 6 人、学識経験者 2 人、衛生管理機関の代表者 1 人、その他教育委員会が必要と認める者 1 人、計 18 人

(3) 市学校給食会

理事会は、実施学校の校長や PTA の代表 6 人、行政 5 人、給食会 1 人の計 12 人で、総会は、実施学校の校長または PTA の代表 55 人、行政 6 人、給食会 1 人の合計 62 人で構成し、業務の円滑な実施を図っている。

少年自然の家

1. 施設の概要

- (1)開 所 昭和50年7月1日
- (2)所 在 地 〒892-0871 吉野町11078-4 (TEL244-0333 FAX244-0334)
- (3)施設の概要
 - ① 敷地面積 153,625.80㎡
 - ② 建物面積 5,363.14㎡
 - ③ 建物構造 本 館 鉄筋コンクリート2階建 (一部3階)
学習棟 鉄筋コンクリート2階建
 - ④ 宿泊定員 本館250人、学習棟150人、キャンプ場300人
 - ⑤ 野外活動施設
 - ア キャンプ場 (テントサイト60基)
 - イ キャンプファイヤー場
 - ウ アスレチック・ミニアスレチック
 - エ 学習農園 (4農園、寺山学習農園)
- (4)利 用 時 間 午前8時30分～午後5時
- (5)休 所 日 月曜日、祝日、12月29日～1月3日

2. 目 標

美しい自然の中で、集団宿泊学習やその他の活動を通して、自然観察や自然探究、創造のよろこび、協力し合う豊かな人間関係などを体験させ、心身ともに健全な青少年の育成を図る。

3. 運営方針

緑豊かな自然の中にある本施設において、青少年が野外活動や自然観察、勤労生産活動、集団宿泊生活などの体験活動を通して、心身を鍛錬し、豊かな情操や社会性を涵養するためのプログラムの開発や事業の展開を図る。

併せて、広く市民に生涯学習の場と機会を提供するとともに、本市における次世代リーダーの育成及び拠点づくりを推進する。

4. スローガン

- 「遊ぼう」 ～自然の恩恵に触れ、自然に親しむ心や敬けんの念を育てる～
- 「学ぼう」 ～集団宿泊生活等を通じて、規律、協同、友愛、奉仕の精神を養う～
- 「きたえよう」～野外活動を通じて、心身を鍛錬する～

5. 努力点

- (1)集団宿泊学習の充実
 - ア 団体 (学校) 主体による集団宿泊学習の実施
 - ・担当者研修会における集団宿泊学習の意義の周知及び活動の調整 (4・7月)
 - ・事前打合せの充実 (学校の教育課程との関連を図ったプログラム作成支援)
 - ・利用する各学校の希望日 (翌年度) を踏まえ、実施日を調整のうえ決定
 - イ 適切な支援・指導
 - ・目的や利用団体の課題に応じた適切な支援・指導
 - ・発達段階や実態を踏まえ、児童生徒に寄り添った丁寧な支援
 - ・時・場・礼 (時を守り、場を清め、礼を正す) と心のリレーの徹底
 - ウ 安全対策の再確認【安全確保】
 - ・学校への施設・活動場所の事前確認 (下見) の推進
 - ・事前・事後の安全点検の徹底 (アスレチック、野外活動コース)
 - ・気象状況などの把握と活動実施についての判断 (最終判断は学校)
 - ・季節に応じた安全対策情報や応急措置の共有
 - ・健康状況の把握 (食物アレルギーを含む)

(2) 主催事業の充実

- ア 少年自然の家ならではの魅力ある事業の実施
 - ・親子ふれあいシリーズ
 - ・わんぱくシリーズ
 - ・天体シリーズ
 - ・施設開放シリーズ
 - ・栽培・収穫体験シリーズ
- イ 広報活動の充実
 - ・マスコミの積極的な活用及び掲示板の工夫・改善
 - ・学校・幼稚園・保育所（園）、地域公民館等へのチラシによる広報
 - ・市の主催イベントや広報紙等の活用
 - ・ホームページ、Facebook、Instagram のタイムリーな更新
 - ・全主催事業でのチラシの作成及び広報活動での活用
 - ・YouTube を活用した広報（主催事業・創志塾）

(3) 受入事業の充実

- ア 活動プログラムの充実
 - ・発達段階に応じたプログラムの開発
 - ・希望プログラムへの柔軟な対応・支援
 - ・現代的な教育課題とニーズに基づく対応・支援
- イ 出前講座の充実
 - ・積極的な広報及び市民ニーズへの対応
 - ・講座内容の工夫・改善
- ウ 施設の多様な活用策の研究
 - ・学年・学級単位のレクリエーション活動や学校の教育活動（生活科、理科、総合的な学習の時間等）
 - ・親子・小グループでの体験活動
 - ・幼稚園の親子ふれあい活動やお泊り保育、学校等の合宿（勉強＋自然体験、部活動＋野外活動等）
 - ・他公共施設と連携した活動（創作活動、天体観望等）
 - ・利用対象の拡充（一般成人の利用）
- エ 社会教育関係団体、地域等への広報
 - ・PTA、あいご会、スポーツ少年団等
 - ・コミュニティ協議会、町内会、地域公民館、ボランティア団体、NPO法人等
- オ 食堂利用の促進

(4) 食農教育の充実

- ア 寺山学習農園の効果的な活用
 - ・積極的な広報による利用者の確保
（幼稚園・保育所（園）、社会教育関係団体、コミュニティ協議会、町内会等）
 - ・農園及び周辺環境の計画的整備
 - ・使用の決まりを遵守したマナーの向上の徹底
 - ・使用カードの確実な提出の周知
- イ 栽培・収穫体験シリーズの充実
 - ・「親子で挑戦～お茶づくり～」 「親子で育てようサツマイモ」 「親子で育てよう冬野菜」
 - ・グリーン day を活用した利用者への適切な支援（体験活動コーナーの設置 10：00～11：00）
- ウ 収穫体験の充実
 - ・野菜収穫体験を組み入れた主催事業の企画・運営
 - ・ポイントカードの周知と活用
 - ・委託業者と連携した計画的な植付け・栽培

(5)次世代リーダーの育成

- ア 「かごしま創志塾」・「ジュニア創志塾」の計画的な実施上の工夫・改善
- イ 同窓会の実施やホームページを活用した卒塾生ネットワークの構築、卒塾生のプログラムへの活用
- ウ 時代に対応した魅力あるプログラムの開発
- エ 宿泊活動、コミュニケーション活動、様々な体験活動を通じた人材育成

(6)安心・安全な施設管理

- ア 危機管理対応マニュアルに基づく安全対策の徹底
- イ 定期安全点検の確実な実施と迅速な対応
- ウ オリエンテーションや事前指導における安全指導の徹底
- エ 緊急連絡体制の確立及び警察・消防等との連携
- オ 防災・救命訓練、不審者対応訓練等の充実
- カ 森林整備の管理及び美化・緑化の計画的推進
 - ・施設内外環境の維持・向上（ちょこボラの推進等）
 - ・職員作業の計画的実施（樹木の伐採、草刈り、プランターの植栽等）
 - ・文化財課と連携した事業の実施（世界遺産寺山の森再生プロジェクト）

(7)保健・衛生の充実

- ア 入所者の健康と衛生管理の徹底
 - ・入所時の健康状態の確認及び活動前後の健康観察の徹底
 - ・活動前・中・後における人員点呼、健康観察、休息、熱中症対策等の徹底
 - ・病院・保健所等との連携
 - ・応急手当法の習熟及び疾病内容等の確実な記録
 - ・諸検査等の確実な実施（食堂衛生パトロール、飲料水質検査等）
- イ 食堂やトイレ、野外炊飯場等の衛生管理の徹底
 - ・利用団体による清掃の徹底指導
 - ・清掃用具等の点検及び委託業者との連携
- ウ 感染症対策の徹底
 - ・各種感染症の管内での発生状況に基づき、入所者に対する適切な注意喚起
 - ・職員の健康管理と衛生管理を意識した執務環境の整備

(8)地域等との連携

- ア 地域や団体等との積極的な連携
（コミュニティ協議会・町内会、NPO法人、鹿児島大学、森林ボランティア団体等）
- イ 8施設協議会との連携・協力

(9)職員の資質・指導力の向上

- ア 職員研修の計画的実施（所内必携、危機管理マニュアル等の共通理解及び共有実践）
- イ 人権感覚及び市民目線に立った接遇力の向上
- ウ 服務規律の厳正確保
- エ 指導方法の工夫・改善
 - ・指導方法や内容の研究・検討（事前シミュレーションの徹底）、事前研修の充実
- オ 利用者アンケートの分析に基づいた指導方法及び指導内容の改善

6. 主催事業の概要

(1) 次世代を切り拓く青少年育成事業

事業名		開催期日		募集定員	対象者
かごしま創志塾	入塾式・第1ステージ	7月6日(土)	1日	32人	中学・高校生
	第2ステージ・同窓会	8月7日(水)～9日(金)	2泊3日		
	第3ステージ	11月16日(土)～17日(日)	1泊2日		
	第4ステージ・卒塾式	12月8日(日)・15日(日)	2日		
ジュニア創志塾	入塾式・第1ステージ	7月6日(土)	1日	32人	小学生
	第2ステージ・同窓会	8月7日(水)～9日(金)	2泊3日		
	第3ステージ	11月16日(土)～17日(日)	1泊2日		
	第4ステージ・卒塾式	12月8日(日)・15日(日)	2日		

(2) 研修会等

事業名	開催期日	募集定員	対象者
寺山親子どろんこ農園利用説明会	4月7日(日)	30家族	新規利用者
前期集団宿泊学習担当者研修会	4月11日(木)	20人	前期実施校担当者
活動補助員等研修会	6月10日(土)～11日(日)	1泊2日 20人	活動補助員等
後期集団宿泊学習担当者研修会	7月26日(金)	20人	後期実施校担当者

(3) 親子ふれあいシリーズ

事業名	開催期日	募集定員	対象者
春の1DAYキャンプ	5月12日(日)	24家族	市内在住幼児、小学生、中学生、高校生を含む家族
夏の1DAYキャンプ	6月16日(日)	24家族	
親子でキャンプに挑戦	6月29日(土)～30日(日)	1泊2日 20家族	
秋の1DAYキャンプ	10月5日(土)	24家族	
親子で作ろうクリスマスリース	12月1日(日)	30家族	
親子で作ろうミニ門松Ⅰ(午前)	12月21日(土)	30家族	
親子で作ろうミニ門松Ⅱ(午前)	12月22日(日)	30家族	
冬の1DAYキャンプ	1月26日(日)	24家族	
窯焼きピザに親子で挑戦	2月2日(日)	20家族	
魅力再発見! 寺山ウオーク	3月2日(日)	30家族	

(4) わんぱくシリーズ

事業名	開催期日	募集定員	対象者
わくわくアドベンチャー in 桜島 「夏のアウトドアチャレンジ」	8月23日(金)～25日(日)	2泊3日 40人	小4～高3
ワイルドキッズ林間学舎(3・4年)	10月12日(土)～13日(日)	1泊2日 36人	小3・4
ワイルドキッズ林間学舎(1・2年)	10月19日(土)～20日(日)	1泊2日 36人	小1・2
わくわくアドベンチャー in 八重山 「冬のアウトドアチャレンジ」	2月15日(土)～16日(日)	1泊2日 40人	小4～高3

(5) 天体シリーズ

事業名	開催期日	募集定員	対象者
スターウォッチング夏 ～ペルセウス座流星群観望会～	8月12日(月)	30組	家族・一般
秋のお月見会	9月17日(火)	30組	
スターウォッチング冬 ～ふたご座流星群観望会～	12月13日(金)	30組	
春のお月見会	3月15日(土)	30組	

(6) 施設開放シリーズ

事業名	開催期日	募集定員	対象者
春の自然の家まつり	4月28日（日）	500人	家族・一般
秋の自然の家まつり	11月24日（日）	500人	
アスレチック等自然の家で楽しく遊ぼう	土・日曜日等（休所日除く）	300人	

(7) 栽培・収穫体験シリーズ

事業名	開催期日	募集定員	対象者
親子で挑戦～お茶作り～	4月21日（日）	30家族	市内在住幼児、小学生、中学生、高校生を含む家族
親子で育てようサツマイモⅠ	（植 付）5月25日（土）	30家族	
〃	（収穫基準日）10月26日（土）	30家族	
親子で育てようサツマイモⅡ	（植 付）5月26日（日）	30家族	
〃	（収穫基準日）10月27日（日）	30家族	
親子で育てよう冬野菜	（種 ま き）9月15日（日）	40家族	
〃	（収穫基準日）11月24日（日）	40家族	

(8) グリーンday

事業名	開催期日	募集定員	対象者
第1回 グリーンday	5月11日（土）	50人	農園利用者 （どろんこ農園利用 家族・団体、主催事 業参加者等）
第2回 グリーンday	6月2日（日）	50人	
第3回 グリーンday	7月7日（日）	50人	
第4回 グリーンday	8月4日（日）	50人	
第5回 グリーンday	9月1日（日）	50人	
第6回 グリーンday	10月6日（日）	50人	
第1回 ちょこっとボランティア	1月11日（土）	30人	家族・一般
第2回 ちょこっとボランティア	2月9日（日）	30人	
第3回 ちょこっとボランティア	3月9日（日）	30人	

(9) 出前講座

事業名	開催期日	募集定員	対象者
創作活動	希望に応じて	なし	20人程度以上の団体 （要相談）
天体観望	希望に応じて		
レクリエーション	希望に応じて		

(10) その他

事業名	開催期日	募集定員	対象者
第1回少年自然の家運営協議会	7月24日（水）	16人	委員
第2回少年自然の家運営協議会	1月24日（金）	16人	

7. 利用状況

令和6年3月31日現在

(1) 月別

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3年度	団体数	44	58	55	57	37	18	60	51	33	26	26	40	505
	実人員	1,444	3,018	2,373	1,825	1,085	652	3,117	3,387	1,835	990	742	655	21,123
	延人員	1,760	3,662	2,626	1,876	1,259	652	3,838	4,161	2,200	990	742	725	24,491
4年度	団体数	31	58	58	53	47	42	77	49	24	25	28	40	532
	実人員	1,108	6,258	2,133	1,881	1,146	1,782	3,330	2,903	1,325	890	1,093	567	24,416
	延人員	1,339	7,134	3,149	2,264	1,307	2,460	4,442	3,494	1,325	890	1,145	567	29,516
5年度	団体数	39	63	57	83	74	49	60	54	32	24	30	39	604
	実人員	1,756	3,079	1,896	2,223	1,576	2,923	2,782	3,001	1,392	969	716	758	23,071
	延人員	2,335	4,605	2,832	2,872	1,709	3,875	4,863	4,048	1,432	969	744	851	31,135
前年比	団体数	8	5	△1	30	27	7	△17	5	8	△1	2	△1	72
	実人員	648	△3,179	△237	342	430	1,141	△548	98	67	79	△377	191	△1,345
	延人員	996	△2,529	△317	608	402	1,415	421	554	107	79	△401	284	1,619

(2) 利用者構成別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
幼 児	141	281	187	322	94	378	671	299	215	181	262	152	3,183
小学生	252	1,230	1,397	830	736	2,150	1,251	2,251	390	133	104	187	10,911
中学生	1,145	1,974	335	697	108	61	207	489	56	7	14	35	5,128
高校生	10	5	8	25	49	16	5	30	17	10	8	29	212
一 般	787	1,115	905	998	722	1,270	2,729	979	754	638	356	448	11,701
計	2,335	4,605	2,832	2,872	1,709	3,875	4,863	4,048	1,432	969	744	851	31,135

(3) 施設別

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	団体数	31	48	40	67	55	34	35	36	21	15	23	31	436
	延人員	1,848	3,733	2,025	2,098	891	2,640	1,124	2,365	904	418	494	523	19,063
学習棟	団体数	0	1	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	6
	延人員	0	13	17	0	0	0	1,610	354	0	0	0	0	1,994
キャン プ場	団体数	1	1	3	1	8	6	3	5	2	3	1	1	35
	延人員	80	28	137	10	293	393	502	712	50	370	66	100	2,741
農園	団体数	7	12	13	8	6	7	19	8	5	6	6	6	103
	延人員	407	659	653	519	351	585	1,349	418	164	181	184	157	5,627
出前 講座	団体数	0	1	0	7	5	2	2	2	4	0	0	1	24
	延人員	0	172	0	245	174	257	278	199	314	0	0	71	1,710
計	団体数	39	63	57	83	74	49	60	54	32	24	30	39	604
	延人員	2,335	4,605	2,832	2,872	1,709	3,875	4,863	4,048	1,432	969	744	851	31,135

(4) 利用日数別

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1日	団体数	34	49	48	74	71	37	51	42	30	24	29	35	524
	延人員	1,177	1,636	995	1,574	1,481	2,031	2,005	2,045	1,352	969	688	665	16,618
1泊 2日	団体数	5	12	8	9	2	10	6	10	2	0	1	4	69
	延人員	1,158	2,720	1,732	1,298	114	1,664	786	1,730	80	0	56	186	11,524
2泊 3日	団体数	0	2	1	0	1	2	2	2	0	0	0	0	10
	延人員	0	249	105	0	114	180	462	273	0	0	0	0	1,383
6泊 7日	団体数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	延人員	0	0	0	0	0	0	1,610	0	0	0	0	0	1,610
計	団体数	39	63	57	83	74	49	60	54	32	24	30	39	604
	延人員	2,335	4,605	2,832	2,872	1,709	3,875	4,863	4,048	1,432	969	744	851	31,135

(5) 開所日数等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	23	26	26	26	25	26	24	23	24	24	26	298
利用日数	23	28	27	30	25	25	27	25	19	22	20	25	296

宮川野外活動センター

1. 設置の目的

子どもたちが豊かな自然環境の中で、宿泊学習や野外活動などの体験活動を通して、自然や仲間とのふれあいを深め、心身ともに健やかに育つことを目指した青少年教育施設である。

2. 施設の概要

(1)開 所 昭和62年4月1日

(2)所在地 〒891-0101 五ヶ別府町159番地 (TEL・FAX265-5094)

(3)規 模

①敷地面積 9,171.27㎡

②建物延床面積 1,077.06㎡

③利用できる主な施設

宿泊学習室（和室5室、108人収容）、ログハウス（55㎡、25人収容）、プレイルーム（450㎡）、
キャンプ場（テントサイト）、炊事場（かまど16、調理場）、シャワー室、身障者用トイレ、陶芸窯室

④利用できる主な備品用具

ア キャンプ用具 テント、毛布（150人分）、飯ごう・なべ・食器類（150人分）

イ 創作活動用具 竹細工・木細工・陶芸

ウ 運動用具 バレーボール、バドミントン、グラウンドゴルフ

3. 自主活動事例

(1)野 外 活 動 キャンプ、史跡巡りなど

(2)自 然 観 察 植物の観察、昆虫の観察、天体観測など

(3)体力づくり レクリエーション、グラウンドゴルフなど

(4)創 作 活 動 竹細工・木細工・陶芸など（材料は持ち込み）

(5)勤 労 体 験 ボランティア活動、生産活動など

4. 利用の案内

(1)利用できる時間

① 日帰りの場合 午前9時から午後4時まで

② 宿泊する場合

ア 宿泊棟に宿泊する場合 午前9時から使用終了日の午後4時まで

イ キャンプ場に宿泊する場合 午後1時30分から使用終了日の午後4時まで

(2)利用できない日 月曜日、祝日、12月29日から翌年1月3日

(3)利用できる人

① 小・中学生及び高校生並びにその指導者

② 子ども会等の少年団体及びその指導者

③ その他、教育委員会が適当であると認めるもの（家族も利用できる。）

(4)利用までの手順

① 電話または来所して、使用日時や宿泊等について予約する。

② 10日前までに直接来所して、使用方法や活動内容について事前打ち合わせをし、所定の使用許可申請書と計画書を提出する。

③ 入所時に、交付された使用許可書を持参する。

④ 使用中止、または人員や日程、活動内容等に変更が生じた場合は、ただちに連絡する。

（問い合わせ先：宮川野外活動センター TEL・FAX265-5094、青少年課 TEL227-1971 FAX227-1923）

(5)使用料 宿泊、施設、備品等の使用料は無料

5. 利用状況

（単位：人）

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
幼 児	2,804	1,779	2,591	2,314	2,177
小 学 生	1,489	729	725	1,001	1,219
中 学 生	334	130	132	219	308
高 校 生	185	56	131	115	74
一 般	6,925	5,245	4,161	4,012	4,263
合 計	11,737	7,939	7,740	7,661	8,041

生涯学習プラザ

1. 設置の目的

講座や施設利用を通して学習と交流の場を提供するとともに、生涯学習に関する様々な情報を提供するなど、市民の生涯にわたる学習活動の支援等を行うことにより、本市における生涯学習の総合的な推進を図る。

※男女共同参画センターとの複合施設（愛称：サンエールかごしま）

2. 施設の概要

- (1)開館 平成13年1月25日
- (2)所在地 〒890-0054 荒田一丁目4-1 (TEL813-0850 FAX813-0937)
- (3)敷地面積 5,286.79㎡
- (4)延床面積 8,503.02㎡
- (5)構造 本館 鉄骨鉄筋コンクリート造 5階建
駐車場 鉄筋コンクリート造地下1階地上1階建（地下機械室）
- (6)駐車台数 91台
- (7)主な施設 講堂（ホール、固定400席）、各種研修室、情報体験コーナー、託児室など

3. 利用の案内

- (1)開館時間 午前9時30分から午後9時30分まで（日、祝日は午後6時まで）
- (2)休館日 毎週月曜日（祝日の場合はその翌平日）、12月29日から翌年1月3日まで
- (3)駐車料金 3時間まで無料、その後1時間毎に100円
- (4)施設予約 講堂（ホール） 利用日の属する月の7か月前の初日から
講堂以外 利用日の属する月の3か月前の初日から
- (5)登録団体 生涯学習や男女共同参画に関する活動を行っている一定要件を満たす団体を生涯学習プラザ、男女共同参画センターの登録団体として認定する。（使用料の減免等あり）

4. 事業の概要

- (1)生涯学習に関する講座、講演会等の開催
- (2)情報の収集、処理及び提供
- (3)相談及び助言
- (4)調査及び研究
- (5)指導者の養成
- (6)団体等との連絡調整
- (7)プラザの施設、設備及び備品の提供

令和6年度 生涯学習プラザ開設講座

時期	No	講 座 名	領 域	対 象
前期 (17)	1	親子でいっしょに簡単クッキング	家庭教育・家庭生活	小中学生とその保護者
	2	みんなどうしてる？ちょっと誰かに聞いてみたい・話したい・そんな子育てお話し【託児有】	家庭教育・家庭生活	成人
	3	かんたん離乳食講座	家庭教育・家庭生活	乳幼児とその保護者
	4	ベビーマッサージ教室（前期）	家庭教育・家庭生活	乳幼児とその保護者
	5	大切な家族の介護入門講座	家庭教育・家庭生活	成人
	6	絵画講座	教養の向上 B	成人
	7	リビング 道案内ができる英会話講座	教養の向上 A	成人
	8	今日から始めるエクセル講座（入門編）	教養の向上 B	成人
	9	レベルアップ・エクセル講座（応用編）	職業知識・技術の向上	成人
	10	ワード活用講座（中級編）	職業知識・技術の向上	成人
	11	イベント☆やろう～まちを盛り上げるアイデアから実現まで～(オンライン対応)	指導者育成	成人
	12	これからの人生を豊かに生きるマネー講座	市民意識・社会連帯意識	成人
	13	【新規】プロから教わる「伝える楽しさ」～上手な話し方・朗読～	その他	中学生以上～成人
	14	シニアのためのゼロから始めるやさしいパソコン講座	教養の向上 B	高齢者
	15	【新規】シニアのためのプログラミングで脳トレ体験講座	教養の向上 B	高齢者
	16	シニアのための健康づくり～太極拳、ヨーガ～	体育・レクリエーション	高齢者
	17	シニアのためのスマホ教室（ティーガイア）	教養の向上 B	高齢者
夏季 (17)	18	ふれて楽しむ和楽器体験講座（入門編）	教養の向上 B	小・中学生
	19	親子で遊ぼう！楽しいイングリッシュ	教養の向上 A	幼児及び児童とその保護者
	20	夏休みチャレンジ講座～プロから教わる朗読教室～	家庭教育・家庭生活	小学生とその保護者
	21	スクラッチでプログラミング体験講座（初級編：親子対象）	教養の向上 B	小学生とその保護者
	22	夏休みチャレンジ講座～簡単・楽しい工作教室～	家庭教育・家庭生活	小学生とその保護者
	23	【新規】中高生のための体感トレーニング	体育・レクリエーション	中学生～成人（指導者）
	24	楽しく学ぼう！手話講座（初級）	市民意識・社会連帯意識	小学生～成人
	25	【新規】ドローン体験教室	教養の向上 B	小学生～成人 ※小中学生は保護者同伴
	26	かごしま茶再発見！～お茶料理編～	家庭教育・家庭生活	成人
	27	【新規】リビング 大島紬で作るつまみ細工を使ったヘアアクセサリ	教養の向上 B	成人
	28	糸かけ数楽アート体験講座	教養の向上 B	成人
	29	体も心もいきいき！体幹トレーニング講座	体育・レクリエーション	成人
	30	コミュニケーションアップ講座 ～自分や相手の対応を知り、上手に伝える技法～	その他	成人
	31	【新規】スマホデビューからもう一歩！【LINE・スマホ決済・防災】	教養の向上 B	成人
	32	今日から始めるエクセル講座（入門編）	教養の向上 B	成人
	33	シニアのためのスマートフォン講座	教養の向上 B	高齢者
	34	シニアのためのヘルシークッキング講座	家庭教育・家庭生活	高齢者
後期 (16)	35	ベビーマッサージ教室（後期）	家庭教育・家庭生活	乳幼児とその保護者
	36	親子で体操！リフレッシュ講座	家庭教育・家庭生活	幼児とその保護者
	37	さつま歴史の探訪～薩摩の偉人と史跡を訪ねて～	教養の向上 A	成人
	38	かごしま茶再発見！～お茶の効能とおいしい入れ方編～	家庭教育・家庭生活	成人
	39	かごしま再発見 ～桜島・錦江湾ジオパークをウォッチング～	市民意識・社会連帯意識	成人
	40	脳活性化トレーニング講座	家庭教育・家庭生活	成人
	41	学んで備える賢い相続講座	市民意識・社会連帯意識	成人
	42	健康体操リフレッシュ プラティス入門	体育・レクリエーション	成人
	43	「西郷どん」入門講座	教養の向上 A	成人
	44	ワード活用講座（入門編）	教養の向上 B	成人
	45	今日から始めるエクセル講座（入門編）	教養の向上 B	成人
	46	レベルアップ・エクセル講座（応用編）	職業知識・技術の向上	成人
	47	【新規】楽しいウクレレ教室（入門編）	教養の向上 B	成人
	48	チャレンジクッキング～郷土料理編～	家庭教育・家庭生活	成人
	49	シニアのための気軽にできる健康体操	体育・レクリエーション	高齢者
	50	シニアのためのスマートフォン入門講座	教養の向上 B	高齢者
ライオン	51	ピラティス講座（YouTube 講座）	体育・レクリエーション	－
	52	中高生のための体感トレーニング（YouTube 講座）	体育・レクリエーション	－

地域公民館

1. 現 況

平成16年11月の市町合併前までの旧鹿児島市域においては、昭和48年に「鹿児島市公民館条例」のもとで中央公民館、鴨池公民館を整備し、その後、順次建設を進め、昭和56年の東桜島公民館まで8館を整備した。

市町合併の後は、旧5町の5公民館施設等を引き継いで13館体制とした。

平成20年10月に14館目となる谷山北公民館が開館した。

2. 設置の目的

公民館は、地域住民のニーズを把握し、地域の特色を生かして、講座や研修会の開催ならびに学術・文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

3. 施設の概要

(1)施設 会議室（研修室兼用）、和室、調理室、ホール（体育館兼用も多い）、視聴覚室、健康づくり学習室、図書室など

(2)休館日及び開館時間

・休館日 年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）

・開館時間 午前8時30分から午後10時まで

（図書室は午前9時から午後7時まで 火、土、日、祝日は午前9時から午後6時まで）

(3)公民館運営審議会 委員（6月1日から翌年5月31日まで）

学校関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、学識経験のある者を委嘱14館

合計で計96人委嘱

審議会 年間2回

(4)各公民館の概要

公民館名	開 館	所在地 (敷地面積 (㎡))	構 造 (延面積 (㎡))	施 設
中 央 公 民 館	昭 2. 10. 16 昭和24年6月 「市公会堂」を 「市中央公民館」と改称	〒892-0816 山下町5-9 TEL224-4528 FAX224-4529 (2,980.52)	鉄筋コンクリート 地上3 地下1 (3,478.62) 登録有形文化財	中会議室3、和室、小会議室2、市民ルーム、調理室、ホール、陶芸室、授乳室、事務室、洋室5、陶芸窯2、ギャラリー、ロビー
鴨 池 公 民 館	昭48. 4. 1 (昭62年新築)	〒890-0063 鴨池2-32-6 TEL252-5756 FAX257-0493 (2,575.80)	鉄筋コンクリート 一部2階建て (1,754.05)	会議室3、和室、学習室、調理室、幼児室、視聴覚室、健康づくり学習室、ホール兼体育館、事務室、ロビー、授乳室、休憩スペース
城 西 公 民 館	昭51. 4. 1	〒890-0014 草牟田1-21-8 TEL224-6993 FAX224-3775 (2,578.92)	鉄筋コンクリート 2階建て 一部3階建て (2,095.55)	会議室3、図書室、事務室、和室、ホール兼体育館、健康づくり学習室、調理室、視聴覚室、授乳室、ロビー、シャワー室（更衣室）
谷 山 市 民 会 館	昭52. 4. 1	〒891-0141 谷山中央3-383-16 TEL267-5988 FAX267-5989 (6,180.60)	鉄筋コンクリート 2階建て 一部3階建て (2,227.28)	ホール、応接室、調理室、事務室、会議室4、和室、視聴覚室、図書室、読み聞かせ室、健康づくり学習室、授乳室、ロビー、更衣室

公民館名	開 館	所在地 (敷地面積 (㎡))	構 造 (延面積 (㎡))	施 設
吉 野 民 館	昭53. 4. 1	〒892-0877 吉野4-4-3 TEL244-2566 FAX244-2567 (4,178.44)	鉄筋コンクリート 2階建て (2,208.09)	会議室3、和室2、調理室、図書室、ホール兼体育館、視聴覚室、郷土学習室、事務室、健康づくり学習室、授乳室、託児室、更衣室、ロビー
伊 敷 民 館	昭54. 4. 10	〒890-0008 伊敷5-7-40 TEL220-1866 FAX220-1867 (4,630.52)	鉄筋コンクリート 2階建て (1,948.98)	会議室5、和室、調理室、図書室、ホール兼体育館、幼児室、健康づくり学習室、事務室、焼成室、授乳室、ロビー
武・田 上 民 館	昭55. 5. 30	〒890-0033 西別府町3116-127 TEL281-0698 FAX281-0699 (4,991.17)	鉄筋コンクリート 2階建て (1,933.71)	会議室5、和室、調理室、図書室、ホール兼体育館、幼児室、健康づくり学習室、事務室、更衣室、ロビー、授乳室
東 桜 島 民 館	昭56. 12. 28	〒891-1543 東桜島町863-1 TEL・FAX221-2328 (東桜島合同庁舎内) (4,187.66)	鉄筋コンクリート 2階建て(東桜島合同 庁舎2階部分に併設) (620.00)	会議室、図書室、調理室、和室、事務室、ロビー
吉 田 民 館	昭49. 5. 8	〒891-1392 本城町1696 TEL294-1219 FAX294-1232 (吉田支所敷地の一部 に併設) (4,657.90)	鉄筋コンクリート 2階建て (968.30)	研修室3、図書室、ホール、調理室、授乳室、事務室
桜 島 民 館	昭57. 5. 9	〒891-1419 桜島横山町1722-17 TEL・FAX293-2725 (1,874.00)	鉄筋コンクリート 2階建て (1,090.79)	研修室2、図書室、和室、視聴覚室、調理室、事務室、授乳スペース
喜 入 民 館	昭43. 10. 1 喜入町民会館として落成 平成16年11月1日喜 入公民館として改称 平成23年10月24日喜 入支所との複合施 設として移転新築 (ホールは平成27年 3月25日オープン)	〒891-0203 喜入町7000 TEL345-3751 FAX345-1817 (6,922.23)	鉄筋コンクリート 3階建て (2,048.93)	ホール、会議室3、和室、調理室、事務室、幼児室、視聴覚室、図書室、健康づくり学習室
松 元 民 館	昭57. 4. 1	〒899-2703 上谷口町3366-1 TEL278-1312 FAX278-3830 (7,139.00)	鉄筋コンクリート 2階建て (1,870.00) 別棟 (274.05)	会議室、図書室、ホール、視聴覚室、事務室、研修室、和室、健康増進室、学習室、相談室、託児室、授乳室、工芸室、陶芸室
郡 山 民 館	昭53. 4. 1	〒891-1105 郡山町168 TEL298-2220 FAX298-2231 (5,239.20)	鉄筋コンクリート 2階建て (1,423.08)	研修室、大会議室(ホール)、小会議室、図書室、和室、視聴覚室、事務室、学習室、相談室、授乳室
谷 山 北 民 館	H20. 10. 1	〒891-0105 中山町1246-1 TEL269-6391 FAX269-6392 (4,555.32)	鉄筋コンクリート 一部鉄骨2階建て (2,516.54)	会議室4、和室、健康づくり学習室、調理室、視聴覚室、幼児室、授乳室、図書室、ホール兼体育館、事務室、ふれあいコーナー、エントランスホール、更衣室

4. 事業の概要

(1) 公民館講座開設 (令和6年度)

(令和6年4月1日現在)

公民館講座	講座数	募集予定定員	公民館講座	講座数	募集予定定員
青少年講座	65	1,066	学習成果活用講座	23	339
親子講座	82	1,673	小計	523	9,217
家庭教育講座	36	636	生活文化講座	14	
成人講座	218	3,731	企業対象講座	14	
高齢者講座	99	1,772	計	551	

(2) 自主学習グループの育成

自主学習グループは主に公民館講座受講生を母体として結成されたグループで、学習計画を立てながら、それぞれの活動を行うとともに、地域公民館活動の推進に貢献している。

令和6年度 自主学習グループ

グループ数	人数
360	5,402

(3) 地域公民館単位の研究会・研修会等の実施

- ・人権問題研修会 ・社会学級委員等研修会
- ・家庭教育研修会 (保育所・園、幼稚園、小・中学校等)
- ・女性団体連絡会

(4) 地域公民館総合文化祭

市民が公民館や地域での学習の成果を発表する機会とし、市民の学習成果を高めるとともに、相互の研修を深め、学習の継続化を図る。

(令和5年度実績)

(5) 公民館図書室の利用状況 (中央・鴨池を除く12地域公民館図書室)

市立図書館とのネットワーク化のもとに図書貸し出しを行い、市民の読書意欲の高揚を図っている。

公民館図書室蔵書数	331,364
利用者数	283,299
貸出冊数	1,001,617

(6) 保育所・幼稚園との連携

乳幼児期における家庭教育セミナーの開催 保育所・幼稚園
(令和5年度実績 31園)

(7) 市立病院・保健センターとの連携

明日の母親と父親のための家庭教育講座及び育児教室の実施
(令和5年度実績 4か所、6回)

(8) 企業と連携した事業

企業内生涯学習セミナー
(令和5年度実績 20事業所)

(9) 地域活動の推進

- ・地域コミュニティ協議会、自治公民館、諸団体との連携を密にした明るく住みよい地域づくりの推進
- ・地域公民館に家庭教育を主として担当する指導員を配置して家庭教育相談事業を推進

(10) 公民館施設の利用促進

(令和5年度利用状況 実績)

公民館	利用件数(件)	利用者数(人)	公民館	利用件数(件)	利用者数(人)
中央	10,315	71,477	東桜島	673	4,158
鴨池	26,134	94,110	吉田	3,390	19,588
城西	18,880	84,369	桜島	2,445	14,872
谷山市民会館	23,612	124,300	喜入	9,052	31,621
吉野	15,850	86,782	松元	15,070	46,311
伊敷	6,243	68,813	郡山	2,686	22,422
武・田上	8,106	66,847	谷山北	23,591	125,178
			合計	166,047	860,848

校区公民館

1. 現 況

校区公民館は、小学校区に設けられた施設の特徴を生かして、地域住民の生涯学習の場となるとともに、町内会やあいご会、PTA、女性団体等の関係機関・団体への支援と連絡調整を図り、青少年の健全育成に伴う地域課題を解決するための校区コミュニティ活動を進めている。

合併前の平成16年度までは、59の運営審議会、58の施設を設置していたが、合併により小学校区が20校区増となったため、平成17年度より全20校区に校区公民館運営審議会が発足した。

また、校区公民館に代わる館がない8校区については、平成20年度までに校区公民館の建設を終えたところである。

平成22年策定の市コミュニティビジョンに基づき、令和2年4月末をもって校区公民館運営審議会が地域コミュニティ協議会へ移行を終えたところである。

※経緯

(1)昭和48年に設置された公民館制度。

(2)昭和48年度から計画的に校区公民館運営審議会の組織化を進めた。当初は、余裕教室やプレハブを利用していたが、昭和60年度から現在の鉄筋2階建て施設を年次的に整備して平成6年度までに旧市内域58校区に設置完了。

(3)校区公民館運営審議会は、昭和54年度から全校区組織化され、その後、新たな小学校設置とともに設置されてきた。(昭和54年度…49、平成16年度…59、平成17年度…79)

平成25年度以降、順次、地域コミュニティ協議会への移行を進め、全79校区で移行が完了した。

2. 施設の概要

面積	旧鹿児島市の校区公民館（58館）	約162㎡	桜洲校区公民館	142.69㎡
	桜峰校区公民館	約414㎡	石谷校区公民館	156㎡
	喜入地区校区公民館（6館）	約352㎡～415㎡	東昌校区公民館	163㎡
	春山校区公民館	163.15㎡	郡山校区公民館	163.15㎡
	南方校区公民館（児童クラブと合築）	152.05㎡	松元校区公民館	156㎡
	花尾校区公民館	154㎡		

3. 公民館類似施設

(1)現 況

旧吉田町の吉田、本名、牟礼岡に設置されていたコミュニティセンター及び合併後に建設された宮校区コミュニティセンターは、それぞれ校区公民館活動の拠点として引き継いでいる。(本城校区公民館は、企業から寄贈されたもので、地域が所有管理している。)

(2)施設と延床面積

吉田地区コミュニティセンター（鹿児島市吉田地区コミュニティセンター条例）

・吉田校区コミュニティセンター	344.70㎡
・本名校区コミュニティセンター	369.71㎡
・牟礼岡校区コミュニティセンター	303.82㎡
・宮校区コミュニティセンター	172.86㎡

女性会館

1. 現 況

(1) 開 館 昭和62年1月14日

(2) 所在地 〒892-0816 山下町6-1 教育総合センター 2 階 (TEL227-1971 FAX227-1923)

(3) 施設の概要

① 延床面積 225㎡

② 主な施設 女性研修室等 4 室

階	部屋名	面積(㎡)	収容人員(人)	備 考
2	女性第1研修室	45.7	30	仕切りを除くことも可
	女性第2研修室	47.6	30	
	女性第3研修室	45.3	22	円卓テーブル
	女性図書連絡室	86.4	17	資料学習も可

(4) 利用の方法

① 開館時間 午前9時から午後9時30分まで(ただし、日曜日は午後5時まで)

② 休 館 日 祝日、12月29日から翌年1月3日まで

③ 使用者の範囲

ア 本市に住居又は勤務先を有する女性で組織する社会教育関係団体で、鹿児島市教育委員会が適当であると認めるもの。

イ その他教育委員会が適当であると認めるもの。

④ 使用申込み

ア 使用期日の2か月前から5日前までに使用許可申請書を提出

イ 使用許可申請書提出先及び使用についての問い合わせ先

女性会館 TEL227-1971 FAX227-1923 (青少年課内)

2. 事業の概要

女性の研修その他社会教育活動を促進し、女性の社会生活の向上を図る。

(1) 女性の文化活動、体育及びレクリエーション活動の促進

(2) 女性の団体活動、学習等の相談

(3) 女性の研修その他社会教育活動の促進

青年会館

1. 現 況

(1)開 館 昭和62年1月14日

(2)所在地 〒892-0816 山下町6-1 教育総合センター 3階・4階 (TEL227-1971 FAX227-1923)

(3)施設の概要

① 延床面積 1,475.1㎡

② 主な施設

階	部屋名	面積(㎡)	収容人員(人)	備 考
3 階	青年図書連絡室	93.4	20	
	談話室 (和室)	48.8	15	
	サークル活動室 (和室)	47.5	15	茶道・華道道具
	青年第一研修室	45.8	30	スクリーン
	青年第二研修室	47.6	30	
	青年第三研修室	47.6	30	
	体育室	246.9	100	バドミントン1面
	青年会館管理室	47.6		
4 階	会議室	45.8	25	円卓テーブル
	相談室 (A)	23.8		
	相談室 (B)	23.8		
	調理実習室	48.6	20	調理器具
	芸術芸能演習室	69.4	25	工作台
3・4階	その他の施設	638.5		
合 計		1,475.1		

(4)利用の方法

① 開館時間 午前9時から午後9時30分まで (ただし、日曜日は午後5時まで)

② 休 館 日 祝日、12月29日から翌年1月3日まで

③ 使用者の範囲

ア 本市に住居又は勤務先を有する青年で組織する社会教育関係団体で、鹿児島市教育委員会が適当であると認めるもの

イ その他、教育委員会が適当であると認めるもの

④ 使用申込み

ア 使用予定日の2か月前から5日前までに使用許可申請書を提出

イ 使用許可申請書提出先及び使用についての問い合わせ先

青年会館 TEL227-1971 FAX227-1923 (青少年課内)

2. 事業の概要

青年の研修その他社会教育活動を促進し、心身ともに健全な青年の育成を図る。

(1)青年のための講座・講習会及び研修会の実施

(2)青年の文化活動、体育及びレクリエーション活動の促進

(3)青年の団体活動、学習等の相談

(4)青年の研修その他社会教育活動のための施設及び設備の使用

勤労女性センター

1. 現 況

(1)開 館 昭和55年4月1日

(2)所在地 〒890-0063 鴨池二丁目31-15 (TEL255-7039・251-8010 FAX255-7039)

ホームページアドレス <https://www.sunheartk.com>

(3)施設の概要

- ① 敷 地 面 積 2,032.00㎡
- ② 建物延床面積 1,092.74㎡
- ③ 建 物 構 造 鉄筋コンクリート造2階建
- ④ 主 な 施 設

階	部屋名	面積(㎡)	収容人員(人)	階	部屋名	面積(㎡)	収容人員(人)
1 階	談 話 室	67.5	25	2 階	料理実習室	78.8	36
	相 談 室	16.4	12		和 室	64.8	32
	図 書 室	14.9	12		講習室(A)	59.1	42
	学童学習室	19.3	15		講習室(B)	52.3	42
	託 児 室	36.6	15		軽運動室	300.3	250

(4)利用の方法

- ① 開館時間 午前9時から午後9時まで(ただし、土曜日は午後5時まで)
- ② 休 館 日 日曜日、祝日、12月29日から翌年1月3日まで
- ③ 利用できる人 本市に住所又は勤務先を有する勤労女性及び勤労者家庭の女性
- ④ 使 用 料 無料

2. 活動の概要

(1)管理運営の基本方針

男女共同参画社会の形成に向け、女性が能力を身につけ、職業生活と家庭生活の調和に寄与し、総合的な福祉の増進を図る施設として、広く市民に親しまれ活用される館づくりに努める。

(2)管理運営の努力点

- ① 講座内容及び運営の充実
- ② 自主クラブの育成と活動支援
- ③ 相談業務の充実
- ④ 利用者の増加をめざす広報活動の充実
- ⑤ 関係機関・近隣施設との連携強化
- ⑥ センター友の会の育成と活動支援
- ⑦ 社会活動参加の促進
- ⑧ 経費縮減への意識強化
- ⑨ 活動にやさしい環境整備

(3)講座の開設

- ① 長期講座 58講座
前期講座 30講座(6月～9月)
後期講座 28講座(11月～3月)
- ② 短期講座 72講座
第1回短期講座 24講座(5月～6月)
第2回短期講座 24講座(9月～10月)
第3回短期講座 24講座(2月～3月)

(4)相談事業の実施

- ① キャリアカウンセリング（火曜日午後 月3回、木曜日夜間 月1回）
- ② その他について、来所または電話による相談

(5)研修会の開催

- ① 講師連絡会 年1回
- ② 自主クラブ運営研修会 年1回
- ③ 講座運営研修会（講座回数10回以上の講座）

(6)主な行事

- ① レク・スポーツ大会 9月
- ② 第44回秋まつり 10月
- ③ 第44回春まつり 3月
- ④ 勤労女性センター活動展 4月
- ⑤ 清掃活動 毎月1回
- ⑥ 地震・津波・火災避難訓練 7月
- ⑦ 消防総合訓練 3月

(7)広報活動

- ① 勤労女性センターだよりの発行（年1回）5月
- ② 月報「さんは～と鹿児島だよりの発行（月1回）
- ③ 業務概要の発行（年1回）6月
- ④ 関係機関との連携
- ⑤ 講座案内等の広報（年5回）
- ⑥ ホームページを使った情報提供、活動内容紹介・施設案内
- ⑦ インスタグラムによる活動公開
- ⑧ 活動展（市役所東別館市民ギャラリー、年1回）

(8)その他

- ① 自主クラブの育成
- ② 友の会活動の育成・支援
- ③ センター運営委員会の開催
- ④ 託児運営の充実
- ⑤ 環境整備の充実
- ⑥ 関係機関等との連携

勤労青少年ホーム

1. 現 況

(1)開 館 昭和49年6月1日

(2)所在地 〒890-0063 鴨池二丁目32-30 (TEL255-5771 FAX255-5750)

(3)施設の概要

① 敷 地 面 積 4,275㎡

② 建物延床面積 1,656.7㎡

③ 建 物 構 造 鉄筋コンクリート2階建

階	部 屋 名	面積 (㎡)	収容人員 (人)	備 考	階	部 屋 名	面積 (㎡)	収容人員 (人)	備 考
1 階	和室	60.0	36	茶道具一式	2 階	講習室 (A)	49.4	36	
	料理講習室	99.5	36	調理台(6) ガスレンジ 冷蔵庫		講習室 (B)	49.4	36	
						パソコン室	43.4	36	パソコン(10)
	相談室	17.5				会議室	42.9	36	
	会議室	48.0	36			音楽室	50.4	40	ピアノ、ギター
					体育館	714.0	500		

(4)利用の方法

① 開館時間 午前9時から午後9時まで(ただし、日曜日は午後5時まで)

② 休 館 日 土曜日、祝日、12月29日から1月3日まで

③ 利用できる人 本市に住所又は勤務先を有する15歳以上35歳未満の勤労青少年

④ 利用の手続き 当ホームが発行している「ホーム利用証」の交付を受ける。

⑤ 使 用 料 無料

2. 活動の概要

(1)運営方針

安心安全な環境の下、本市の勤労青少年(15歳以上35歳未満)が、健全な余暇活動の場として、教養を身に付け、心身を鍛練し、相互交流が深められるよう館内態勢の充実に努める。

また、全てのホーム活動全般を通して、利用生が自主性や連帯感を高め、社会人・職業人としての自覚を持ち、心豊かな一市民として、社会の進展に寄与できるように積極的に支援する。

(2)講座の開設(全135講座)

① 教養講座(家庭料理、パソコン、華道、ファッションカラーコーディネート、簿記)

前期(5月～7月)14講座、中期(8月～12月)20講座、後期(12月～3月)11講座

② スポーツ講座(バレーボール、テニス、バドミントン)

前期(5月～7月)4講座、中期(8月～12月)5講座、後期(12月～3月)5講座

③ 短期講座(セルフネイル、合鴨農法、イタリア料理等)

前期と中期の間11講座、中期と後期の間10講座、後期のあと8講座

④ 一日講座(心と感情のセルフマネジメント、天然石アクセサリ作り、パン作り 等)47講座

(3)自主学習グループの育成

① 文化系 ゴスペル、着物着付け、生け花、茶道、ミュージック、ボードゲーム 等

② スポーツ系 バドミントン、ジャズダンス、社交ダンス、バスケットボール 等

(4)相談業務の実施

キャリアカウンセリング事業

(5)広報活動

ホームだよりの発行、講座案内チラシの作成と配布、ホームページの開設

(6)社会参画活動の推進（ボランティア活動等）

(7)国際理解交流の促進

(8)主な行事

- ① 開館記念レクリエーション交流会（6月）
- ② 鹿児島友遊ジャンボリー大会（8月～9月）
- ③ 勤労青少年スポーツ大会（9月、10月、1月）
- ④ 館外清掃活動（7月）
- ⑤ クリスマスパーティ（12月）
- ⑥ ホーム祭（2月）
- ⑦ ホーム利用生交流の集い（3月）

図 書 館

市制100周年記念事業の一環として科学館との複合施設として開館した。

図書資料、視聴覚資料等の整備充実を図るとともに、文化活動、読書普及活動の推進に努め、情報化社会における図書館の役割を果たし、市民の生涯学習を支援する拠点となることを目指している。

鹿児島市立天文館図書館はセンテラス天文館に整備し、中心市街地のにぎわい創出につなげることも目的としている。利用者層を意識した資料構成や市民活動を支援する取組など、天文館図書館独自の特徴をもつ。(令和4年4月9日開館)

1. 施設の概要

(1) 鹿児島市立図書館

- ① 開 館 平成2年12月17日
- ② 所 在 地 〒890-0063 鴨池二丁目31-18 (TEL250-8500 FAX250-7157)
- ③ 延床面積 5,145.68㎡
- ④ 建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造6階建(1～中4階部分)
- ⑤ 施 設 一般開架室、児童室、YAコーナー、郷土資料室、研修室、研究室、AVリスニングルーム、AVホール、点字図書室・対面朗読室、赤ちゃんえほんのへや、ボランティア室他

(2) 鹿児島市立天文館図書館

- ① 開 館 令和4年4月9日
- ② 所 在 地 〒892-0843 鹿児島市千日町1-1 (TEL295-0001 FAX295-0002)
- ③ 延床面積 2,121.92㎡
- ④ 建物構造 鉄骨造地下1階地上15階のうち4階及び5階の各一部
- ⑤ 施 設 閲覧スペース、交流スペース、ギャラリー、その他

2. 基本的運営方針(基本目標及び重点施策)(令和4年3月改定)

(1) 市民が利用しやすい図書館

- ① 快適で利用しやすい環境づくりに努めます。
- ② 誰もが使いやすいサービスを提供します。
- ③ ICTを活用したサービスの提供に努めます。
- ④ 積極的な広報活動、情報発信に努めます。

(2) 市民に役立つ図書館

- ① 地域の情報拠点として資料の計画的な収集・整備に努めます。
- ② 課題解決支援に役立つサービスの充実に努めます。
- ③ レファレンスサービス・レフェラルサービスの充実に努めます。
- ④ 図書館職員の資質向上に取り組めます。

(3) 市民と協働し学びを支える図書館

- ① 様々な世代に対応した多様な学習や交流の機会を提供します。
- ② 様々な世代が主体的に読書活動に取り組む環境づくりを進めます。
- ③ 関係機関や団体等との連携に努めます。
- ④ ボランティア活動等の促進に努めます。

3. 利用の案内

(1) 鹿児島市立図書館

- ① 所蔵資料 図書約97万冊（一般約60万4千冊、児童約36万3千冊）※移動図書館、公民館図書室を含む。
AV資料（CD4,983タイトル、LD2,298タイトル、DVD1,379タイトル）
新聞 23紙、雑誌 236誌、点字図書 513冊
録音図書 カセット 1,867組、CD 869組
- ② 開館時間 平日 午前9時30分から午後9時まで
土・日・祝日 午前9時30分から午後6時まで
- ③ 休館日 火曜日（祝日のときは翌平日）、12月29日から1月3日まで、特別整理期間（年1回14日以内）
- ④ 図書貸出 一人10冊まで2週間以内

(2) 鹿児島市立天文館図書館

- ① 所蔵資料 図書約4万7千冊、新聞7紙、雑誌108誌
- ② 開館時間 午前10時から午後8時まで
- ③ 休館日 なし（ただし、センテラス天文館の休館等に伴う臨時休館あり）
- ④ 図書貸出 一人10冊まで2週間以内

4. 事業の概要（鹿児島市立図書館）

(1) 主な行事

- ① 高校生ビブリオバトル（7月）
- ② 親子読書グループ等研修会（6月）
- ③ 図書館講座（6月、9月、11月、2月）
- ④ 図書館フェスタ（8月）
- ⑤ 学校等関係職員読書指導研修会（8月）
- ⑥ さつまっ子読書まつり（11月）
- ⑦ ビブリオバトル2024 in 鹿児島市立図書館（10月）
- ⑧ 中学生ビブリオバトル（12月）

(2) 定例の行事

- ① おはなしのじかん（毎週木曜日）
- ② キッズタイム（主に毎週土曜日）
- ③ あかちゃん・幼児のためのおはなし会（毎月第2・第4金曜日）
- ④ 図書館シネマ（毎月第2・第4日曜日）

(3) 主な企画展示

- ① 平和都市宣言展（7月～8月）
- ② 読み聞かせ絵本展（9月～10月）
- ③ クリスマス絵本展（11月～12月）

(4) その他

- ① ブックスター事業
- ② 読み聞かせ講師派遣事業
- ③ ブックトーク講師派遣事業
- ④ 絵本ガイドの配布（4～6歳児用）
- ⑤ 小・中学生にすすめるブックガイドの作成
- ⑥ 図書館の広域利用
- ⑦ オンラインデータベースの利用
- ⑧ 雑誌スポンサー制度
- ⑨ 託児サービスの実施

5. 特 色

(1) 鹿児島市立図書館

① 開架図書スペース

一般開架室、児童室、郷土資料室に分かれ、さらにその中にはYAコーナー、ビジネス情報コーナー、医療・健康情報コーナー、平和都市宣言コーナー等が設置されている。多数のジャンルからなる開架図書約20万冊の中から、図書を自由に選択できる。

② ブラウジングコーナー

椅子やソファに腰かけ、気軽にくつろいだ雰囲気、新聞・雑誌等を楽しむことができる。

③ 視聴覚（AV）スペース

CD・レーザーディスク・DVDなどによるクラシック・ポピュラー・歌謡曲等の音楽や名作映画等の映像を自由に楽しむことができるAVリスニングルーム及び新聞記事等の検索・閲覧等が行えるオンラインデータベースコーナー、視聴覚専用の設備を整えたAVホールを設置。

④ 利用者に応じたサービス

点字図書・録音図書の郵送サービスや大活字本・拡大読書器等を整備。「赤ちゃんえほんのへや」や「おはなしのへや」では子どもと大人がいっしょに読書を楽しめる。

⑤ レファレンスサービス

利用者からの相談や問い合わせに、図書館職員が図書館の資料やデータを使って調べ物や資料探しの手伝いをする。

(2) 鹿児島市立天文館図書館

① 利用者の過ごし方にあわせた居心地のよい空間の提供

ゆるやかにゾーニングされた空間で、会話をしたり、蓋付きの飲み物を持ち込むことができる。

② 子どもが楽しく過ごせる「学びのあそび場」

大きなサークルやジャグジーのある遊び場や子ども向けの児童書や絵本を揃えた空間で、子どもと大人も一緒に読書を楽しむことができる。

③ アーティスト等の作品を展示する有料ギャラリー

文化芸術の発表の場として、絵画や写真、工芸品などの展示・販売ができる。
(使用料は5,000円／日、使用期間は7日間を基準単位とする。)

④ 多彩なイベントやワークショップ等の開催

⑤ 多様な担い手と連携したイベント等の企画運営

⑥ ICT機器の活用

セルフ貸出機や座席予約システムのほか、オンラインデータベースの機能を持つタブレット端末を設置する。

(3) 図書館電算システム

① 地域公民館図書室（12室）・サンエールかごしま図書情報コーナーをオンライン化

図書の貸出・返却は、両図書館・公民館図書室・移動図書館・サンエールかごしま図書情報コーナーのどこでも可能。返却は、市内15か所に設置されたブックポストでも24時間可能。

② 蔵書検索・予約

両図書館・公民館図書室内・サンエールかごしま図書情報コーナーの利用者端末機や自宅のインターネットから蔵書検索・予約が可能。また、自分の貸出状況や予約一覧も見る事ができる。

市立図書館ホームページアドレス

<https://lib.kagoshima-city.jp>

(携帯版)

<https://lib.kagoshima-city.jp/opw/IMD/IMDMAIN.CSP>

天文館図書館ホームページアドレス

<https://lib.kagoshima-city.jp/tenmonkan/>



鹿児島市立図書館 Web サイト



天文館図書館 Web サイト

6. 令和5年度の利用状況

	入館者数(人)	貸出利用者数(人)	貸出冊数(冊)
市立図書館	448,890	151,702	697,690
移動図書館		14,934	51,620
天文館図書館	662,849	88,486	268,104
公民館図書室 (12館合計)	283,299	211,368	1,001,622
合 計	1,395,038	466,490	2,019,036

7. 移動図書館サービス

移動図書館車2台により、サービスステーションを定期的に巡回し、図書の貸出サービスを行っている。

- (1)対 象 遠距離又は交通事情により図書館、地域公民館図書室を利用しにくい地域で、原則として利用世帯が30以上の地域の団体
- (2)蔵 書 数 約8万5千冊（一般約3万3千冊、児童約5万2千冊）
- (3)巡 回 年間延べ300回（休館日を除く）
- (4)利用団体 54団体
- (5)移動図書館車 「わかくさ号」、「こすもす号」（いずれも内外架式、図書各3,000冊積載）

8. 電子図書館サービス

パソコンやスマートフォン等で、24時間365日電子書籍の貸出・返却ができる電子図書館サービスを行っている（令和4年2月2日開始）。

- (1)対 象 鹿児島市に居住、または通勤、通学している方で、市立図書館利用者カードをお持ちの方。
- (2)タイトル数 4,487点
- (3)貸 出 点 数 一人2点まで
- (4)貸 出 期 間 2週間以内



電子図書館 Web サイト

科学館

市制100周年記念事業の一環として、図書館との複合施設として開館した。

鹿児島を代表する火山、ロケットなどを科学のテーマとして取り上げ、自然界の法則や科学技術及び宇宙を分かりやすく紹介し、新鮮で感動的な出会いを通して、科学に対する青少年の夢や創造性を育み、併せて科学知識の普及向上を図っている。

平成24年度には、展示物を参加体験型のものに更新し、子どもから大人まで科学の不思議を楽しめる施設としてリニューアルオープンした。

1. 施設の概要

- (1)開 館 平成2年12月17日
- (2)所 在 地 〒890-0063 鴨池二丁目31-18 (TEL250-8511 FAX256-1319)
- (3)延床面積 5,981.34㎡
- (4)構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上6階建
- (5)館内案内
 - 〔1階〕管理事務室、中央監視室
 - 〔2階〕科学館入口、エントランスゾーン、ロビー
 - 〔3階〕展示ゾーン（地球の科学）、科学実験室、科学工作室、多目的ルーム、企画展示室
 - 〔4階〕展示ゾーン（宇宙の科学・サイエンスラボ）、科学劇場、だれでも工房
 - 〔5・6階〕宇宙劇場

2. 利用の案内

- (1)開館時間 午前9時30分から午後6時まで（入館は午後5時30分まで）
- (2)休 館 日 火曜日（祝日、1月2日・3日の場合はその後の平日）、12月29日から1月1日まで
- (3)料 金

〈入館料〉

区 分	個 人	団 体 (20人以上)	回数券 (11回分)
大人（高校生以上）	400 円	320 円	4,000 円
小人（小・中学生）	150 円	120 円	1,500 円

〈年間パスポート料金〉

券種類 \ 区分	大 人 (高校生以上)	小 人 (小・中学生)
年間入館券	800 円	300 円
年間観覧券	1,000 円	400 円

〈宇宙劇場観覧料〉

① 一般投影

区 分	個 人	団 体 (20人以上)
大人（高校生以上）	500円	400円
小人（小・中学生）	200円	160円

② 特別投影等 1人につき1,000円以内で教育委員会が定める額

③ 特別展示 1人につき1,000円以内で教育委員会が定める額

※未就学児は無料。ただし、宇宙劇場で座席を占有する場合、観覧料は有料（小人料金）

(4)宇宙劇場上映時刻

第1回 10時10分（プラネタリウム）	第2回 11時10分（ドームシネマ）
第3回 13時10分（　　　　　）	第4回 14時10分（　　　　　）
第5回 15時10分（　　　　　）	第6回 16時10分（　　　　　）

※第6回は、日曜・祝日・土曜日のみ上映

定員 286人 上映時間 約40～50分

3. 特 色

(1) 科学展示（常設展示物74点）

「地球から宇宙へ」をメインテーマとして展示を構成し、自分で操作し、体験することのできる展示物を数多く設置して、新鮮で感動的な科学との出会いの場を提供する。

① 「地球の科学」ゾーン

桜島を代表とする鹿児島県の自然等を題材に、地球の構造や活動、鹿児島県の魅力を学べるゾーン。

（桜島ウォークスルー）（桜島スカイウォーク）

② 「宇宙の科学」ゾーン

太陽を中心として、惑星を立体的に展示するとともに、最新の宇宙科学・技術情報を紹介するゾーン。

（さわれる太陽）（スイングバイテーブル）

③ 「サイエンスラボ」ゾーン

「科学劇場」や「だれでも工房」の周辺に、様々な分野の参加体験型の展示物を集め、子どもから大人まで科学の不思議を楽しく体感できるゾーン。

（科学劇場）（だれでも工房）

(2) 宇宙劇場

プラネタリウムと大型全天周映画（ドームシネマ）の上映を行う。プラネタリウムは、星空の生解説や学習投影、四季毎にテーマを変えて投影する一般投影のほか、子ども向け番組の投影も行う。

平成19年度に導入した光学式プラネタリウム投影機は約1,000万個の星を投影可能となり、より自然で美しい星空となった。また、全天デジタル映像システムにより、CG映像が投影可能となり、これまでのスライド投影では実現できなかった立体感や臨場感を体験出来るようになった。感動的な映像を体験できるドームシネマは、科学に関連した内容の番組を上映する。

〔規 模〕ドーム径 23m、座席数 286席、傾斜角 30度

(3) 科学教室

科学に触れ合い、科学する心を養うため、実験、工作、パソコンの操作や天体望遠鏡作りなどの科学教室を実施する。

(4) 出前教室

市内外の教育機関や企業等の要請に応じて、館外へ出かけ、実験ショーや天体観望会を実施する。

(5) 特別教室

学校行事や親子活動等、団体入館者の要望により、実験・工作等を実施する。

(6) サイエンスワークショップ

科学実験・工作を体験できるワークショップを土曜に実施する。

(7) 実験ショー

幼児から大人まで楽しめる体験型の実験ショーを毎日実施する。

(8) かんたん工作

入館者を対象に、短い時間で誰もが簡単に挑戦できる科学ものづくりを毎日実施する。

(9) その他のイベント（令和5年度）

〔企画展等〕

① 「青少年のための科学の祭典鹿児島2023」 7月22日・23日

館内外に設置した30程度のブースで、学校の先生を中心とした外部講師による科学の不思議や楽しさを体験できる実験工作を行う。

② 特別企画展「恐竜展2023」 7月29日～8月31日

「見て・学べて・遊べる」をテーマに、最新技術を駆使した体験型の企画展を実施する。

③ プラネタリウムフェスタ2023 12月16日

開館日を記念して、オリジナル作品や過去の人気番組を上映する。

④ かごしまスペースフェスタ2023 12月16日

水ロケット体験教室やJAXA職員講演会など、宇宙を身近に感じられるイベントを行う。

（鹿児島県と共催）

⑤ JAXA講演会 2月17日

宇宙科学・宇宙開発への興味関心を高めるため、JAXA職員による講演会を実施する。

〔展示場イベント〕

- ① こいのぼりをかざろう 4月～5月
こどもの日に向けて、園児の協力をもらい、展示場にこいのぼりを飾る。
- ② こどもまつり 5月5日
中学生以下の入館料を無料とし、ゴム鉄砲を使った的当てゲームを行う。
- ③ 七夕かざり 6月～7月
七夕にちなみ、願い事を書いた園児の短冊を飾る。
- ④ ナイトミュージアム 11月
閉館後の薄暗い静かな環境を利用したイベントを行う。
- ⑤ お年玉大さくせん 1月2日・3日
入館者を対象に宇宙劇場の番組や科学に関連するグッズを抽選でプレゼントする。
- ⑥ 科学館スタンプラリー 1月～2月
スタンプを3つ集めてプレゼントがもらえるイベントを行う。
- ⑦ 大発見!! 鹿児島市立科学館の謎解きラリー 3月
オリジナルコンテンツによる展示場に隠された謎を解き明かす体験イベントを実施する。

〔宇宙劇場イベント〕

- ① プラネタリウム「星と音楽の夕べ」 5月・11月
プラネタリウムで、音楽ジャンルやアーティスト等を特集したCD音楽鑑賞、季節に即したテーマの星空観察を行い、晴天時には屋外での観望会も実施する。
- ② ナイトプラネタリウム 6月・9月・10月・3月
仕事等で昼間プラネタリウムに来られない方々のために、ナイトプラネタリウムを実施する。
- ③ キッズプラネタリウム～おはなしと音楽の夕べ～ 6月
子ども連れの家族を対象に、プラネタリウムでの子ども向けの星空紹介、絵本の読み聞かせや生演奏を実施する。(市立図書館、市民文化ホールとの共催)
- ④ ジャズ in プラネタリウム 11月
プラネタリウムでの星空案内と生演奏のジャズを楽しむイベントを行う。
- ⑤ リラクゼーション in プラネタリウム 10月
一般勤労者を対象として、星空紹介や医師等による講演会、生演奏を行う。(鹿児島市保健所、市民文化ホールとの共催)
- ⑥ 文学 in プラネタリウム 3月
名作文学作品を題材にしたプラネタリウムの特別上映に合わせ、講演会等を行う。
- ⑦ 「宇宙の日」作文・絵画コンテスト 募集: 6月～9月 表彰1月
宇宙をテーマに作文や絵画を募集し、審査・表彰を行う。(JAXA などとの共催)
- ⑧ おひるのプラネタリウム 毎月第1・3・5木曜日
クラシック音楽や幼児向けの星空解説等、内容が変わるプラネタリウムイベントを行う。
- ⑨ 冬休み特別上映会
小中学校の冬休み期間中、12時から13時に子ども向けの短編作品を上映。
- ⑩ 年間パスポート会員限定上映会 10月・2月
観覧・共通パスポートをお持ちの方を対象にスポーツ関連番組など一般上映とは異なる作品を上映。
- ⑪ ナイトシネマ(70mmフィルム上映会) 12月・3月
日本に1機のための70mmフィルム上映機でアナログ番組を上映。
- ⑫ プラネタリウム100周年記念上映会 3月
プラネタリウム生誕100周年を記念した投影会を実施。
- ⑬ 星空記念日 毎月1回
生まれた日などの星空データを希望者にプレゼントするイベントを実施する。
- ⑭ ビッグアイチャンネル
ユーチューブで宇宙・天文に関する情報や工作・実験ショーの内容を発信する。

⑮ 学校や観光施設等との連携

学校校舎映像を中心にした星空投影や、各観光施設上空の星空の投影などのコンテンツを制作し、授業や観光とタイアップした新たな形で上映に向けて取り組む。

⑯ 字幕付き番組の上映

解説を聴くことのできない方々も楽しめるように、字幕付き作品を上映する。

⑰ 特別上映「戦場に輝くベガ〜約束の星を見上げて〜」 8月

元海軍機搭乗員や勤労女学生の貴重な証言を元に描かれた物語を終戦の日を記念して上映する。

〔サイエンスラボのイベント〕

スペシャルサイエンスステージ 9月・11月・12月

学校や民間企業、各種団体等から講師を招き、特別実験ショーを行う。

〔講座〕

① サイエンストーク 6月・8月・1月・3月

科学関係の教育機関や研究機関の研究者等を招き、来館者が誰でも聴講できる科学劇場やフリースペース等で講演やトークショーを行う。

② プログラミング講座 10月・1月

タブレットでロボットカーのプログラミングを体験する講座を開催する。

③ コズミックカレッジキッズコース・ファンダメンタルコース 2月

JAXA認定の宇宙教育指導者による宇宙に関する実験・工作を行う。(文部科学省後援・JAXAの協力)

④ 火山防災講座 3月

火山防災をテーマに実験や工作などの体験型講座を行う。

〔屋外イベント・アウトリーチ〕

① セグウェイ体験試乗 4月・7月・10月・2月

電動立ち乗り2輪車セグウェイの体験試乗を実施する。

② 夏休み公民館教室「わくわく・ドキドキたのしい親子科学教室」 7月・8月

各公民館において募集した親子を対象に実験教室を行う。(喜入・城西・伊敷・桜島・松元・武田上・吉野公民館との共催)

③ プラネタリウム in ふるさと考古歴史館 2月

ふるさと考古歴史館で考古学と天文学の説明と星座を投影する。
(ふるさと考古歴史館との共働)

④ お月見フェスタ 9月

鴨池地区の賑わい・交流を図る事業として、読み聞かせとお月見観望会、科学工作コーナーやヨーヨー釣り大会を実施する。(市立図書館との共催)

⑤ 太陽観測会 年5回、太陽望遠鏡を使った観測会を実施する。

⑥ 星空観望会 月・惑星の観望好期に合わせて実施する。

⑦ 部分日食を楽しもう 4月20日に起こる部分日食を観察する。

〔関係機関等の連携〕

- ① 小中学生電波教室ラジオ工作会
日本アマチュア無線連盟鹿児島県支部会員の指導による、ＡＭラジオ製作教室を実施する。
(日本アマチュア無線連盟鹿児島県支部との共催)
- ② リフレッシュ理科教室 主催 公益社団法人応用物理学会
- ③ 日本学生科学賞審査会 主催 読売新聞社
- ④ 冬休みわくわく科学教室 主催 鹿児島仮説実験授業研究会
- ⑤ 鹿児島高専の科学工作教室 主催 国立鹿児島工業高等専門学校
- ⑥ おもちゃ病院 主催 かごしまおもちゃ病院
- ⑦ 学外科学教育施設を活用するための
教員向け科学教員研修プログラム 主催 鹿児島大学
- ⑧ 掩蔽観測ワークショップ 主催 掩蔽観測ワークショップ
- ⑨ 宇宙ワークショップ 主催 鹿児島大学学生団体 Pyxis
- ⑩ 防災カフェかごしま 主催 こくみん共済かごしま推進本部

〔展示協力〕

- ① 「わお！な生きもののフォトコンテスト」 主催 公財日本自然保護協会、ソニー(株)
写真展受賞作品展示
- ② 小惑星リュウグウから採取された サンプルレプリカの展示 主催 J A X A 宇宙科学研究所はやぶさ
2プロジェクト
- ③ 下水道展かごしま 主催 水道局下水道部
- ④ 科学技術映像祭入賞作品上映会 主催 科学技術振興機構（J S T）
- ⑤ 灯台記念日パネル展 主催 第十管区海上保安本部
- ⑥ 鹿児島高専のロボットがやってくる！ 主催 国立鹿児島工業高等専門学校
- ⑦ J A X A テレビ 協力 宇宙航空研究開発機構（J A X A）
- ⑧ サイエンスモニター 協力 科学技術振興機構（J S T）

4. 利用状況

(単位：人)

年 度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者	有料	66,831	67,460	31,061	38,480	52,095	64,372
	無料	64,362	63,981	29,334	31,558	37,987	42,749
	計	131,193	131,441	60,395	70,038	90,082	107,121
うち 観覧者	有料	47,002	43,998	24,400	27,570	39,819	46,663
	無料	13,831	12,627	5,205	7,337	8,005	10,258
	計	60,833	56,625	29,605	34,907	47,824	56,921

※「無料」は免除者も含む。

ふるさと考古歴史館

ふるさと考古歴史館は、先人の残した文化遺産の調査、研究及び展示を通して、本市の歴史に対する市民の理解を深めるとともに、個性豊かな市民文化の創造に資するための施設として運営されている。

開館20周年を機に、体験型展示の導入や展示環境の改善などを行い、平成29年4月、リニューアルオープンした。

1. 施設の概要

- (1)開館 平成9年4月17日
- (2)所在地 〒891-0144 下福元町3763-1（慈眼寺公園内）（TEL266-0696 FAX284-5274）
- (3)延床面積 3,194.56㎡
- (4)建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
- (5)施設 1階 常設展示室 事務室 復元整理作業室 収蔵庫
2階 導入展示室 企画展示室 図書室 会議・視聴覚室 体験学習室

2. 利用の案内

- (1)開館時間 午前9時から午後5時まで
- (2)休館日 月曜日（休日のときは翌日）、12月29日から1月1日まで
- (3)観覧料

区 分		個 人	団体（20人以上）
一般（高校生以上）		300円	240円
小・中学生		150円	120円
年間観覧券	一 般	600円	—
	小・中学生	300円	—

※未就学児は無料。

※特別企画展観覧料は、その都度定めます。

3. 特 色

(1)常設展示

鹿児島市の人々の暮らしの歴史と町の発展の歴史を、埋蔵文化財を通じて紹介し、単に出土品を陳列するだけでなく、市民にわかりやすく親しみが持てるよう各種体験型展示や映像、グラフィック展示等を駆使し、市民参加型の展示を行う。

導入トンネル

アニメーションやグラフィック展示を交え、壁面の地層剥ぎ取りで地層の成り立ちや鹿児島市の地層の特長を紹介する。

スロープ展示 旧石器時代→近代

旧石器時代から近代までの鹿児島市の遺物を時代順に展示し、時代の移り変わりを実感できる展示を行う。

地形テーブル

常設展示室1の中心に鹿児島市の地形テーブルを設置し、観覧者が鹿児島市の姿と遺跡分布を確認できる展示を行う。

テーマ展示

特に展示更新性の高いコーナーを常設展示室内に2カ所設け、定期的に展示内容の更新を行うことで観覧者に常に新しい情報を提供する。

発掘体験コーナー・ハンズオン体験コーナー

展示室内で発掘作業を体験できる発掘体験コーナーを設置し、誰でも楽しく発掘作業について学習していただく。

ハンズオン体験コーナーでは、考古学の調査で使う道具の使い方や調査手法を学習できる。

不動寺遺跡コーナー

最新の発掘調査成果の一つであり、ふるさと考古歴史館に近い上福元町の不動寺遺跡についてのコーナーを設置し、鹿児島市の指定文化財である「破鏡」などをはじめとする膨大な出土品の一部を展示する。

明治日本の産業革命遺産コーナー

平成27年に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の本市の構成資産について、実物資料やハンズオン展示を交えて紹介する。

屋外体験ゾーン

高床式建物復元 復元集石

古代の建物を実物大に復元するとともに、古代服の着用体験を行う。

(2) 企画展

- ・夏季企画展「あたいげん近くの遺跡の話～タノカンサアはかく語りき～」

令和5年7月19日～令和5年9月18日

市内各地に普遍的に造立されている「田の神石像」（タノカンサア）を、それぞれの地域の遺跡・歴史を伝える“案内役”に設定し、「学芸員がタノカンサアにインタビュー」する形式で展示を構成し、各地の歴史を紹介する。

- ・特別企画展「アナ・ミゾ～遺跡を織り成す“坑”と“溝”～」

令和5年11月18日～令和6年1月21日

アナとミゾに大別される遺構の構造（発掘調査時の写真や図面）や共伴した遺物（遺構の中から出土した遺物）を展示し、どのようにして「遺構」の“性格”（役割や使用法）が決定されたのか、その根拠やそこにいたる過程について紹介する。その上で、縄文時代から近代にかけての市内遺跡で確認された生活・文化の様相を「遺構」の面から言及する。

- ・春季企画展「殿葬送る祈りの寺と黄の標～鹿児島市内遺跡の発掘調査成果展2024～」

令和6年3月19日～6月16日

開山から今年で630年となる福昌寺跡の発掘調査成果の展示を通して、薩摩一の大寺における往時の姿を復元する。また、福昌寺に関連する様々な視点・角度から当寺を分析し、福昌寺の諸相に関する現在の所見を紹介する。

(3) 図書室

考古、歴史に関する専門書、児童図書、郷土関係図書などの蔵書を備えている。

(4) 会議・視聴覚室

考古、歴史に関するビデオ上映や講演会などを行う。

(5) 体験学習室

古代の生活の一部を体験してもらうため「勾玉づくり」、「土器づくり」、「土笛・土鈴づくり」などの体験学習を行う。

4. 利用状況

(単位：人)

年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
常 設 展 示 観 覧 者	有 料	7,637	4,642	3,815	4,882	5,430
	無 料	11,414	5,315	6,369	8,377	8,883
	計	19,051	9,957	10,184	13,259	14,313
その他入館者		58,065	28,077	30,790	37,442	41,733
合 計		77,116	38,034	40,974	50,701	56,046

旧鹿児島紡績所技師館（異人館）

1. 沿革

旧鹿児島紡績所技師館は、薩摩藩が建設した鹿児島紡績所（日本最初の洋式紡績工場）に招かれたイギリス人技師7名の宿舎として慶応3（1867）年に建設された木造2階建ての洋館で、「異人館」と呼ばれている。

わが国における初期洋風建築の代表的な建物で現存する数少ないものの一つとして、建物は国指定重要文化財、敷地は国指定史跡となっている貴重な文化財である。

耐震補強工事を経て、平成23年10月に、イギリス人技師が暮らしていた当時の室内を家具の配置等により再現し、解説パネルを設置するなどしてリニューアルオープンした。

平成27年7月にユネスコの世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」を構成する重要な建造物の一つとなっている。

令和3年6月に、これまでの発掘調査などの成果を踏まえた遺構の地表面への表示や解説板の設置に加え、ライトアップ機器の更新や新しい管理棟の建築などの周辺整備が完成した。

2. 施設の概要

(1)所在地 〒892-0871 吉野町9685-15 (TEL・FAX247-3401)

(2)開館時間 午前8時30分～午後5時30分

(3)休館日 年中無休

(4)入館料

区 分	個 人	団体(20人以上)
一 般	200円	160円
小・中学生	100円	80円

旧島津氏玉里邸庭園

1. 沿革

旧島津氏玉里邸庭園は、島津家第27代当主島津斉興が天保6（1835）年に築庭した南九州を代表する大名庭園。当初は現在の鹿児島女子高等学校グラウンドに別邸「玉里邸」もあったが戦禍で焼失し、茶室と黒門、長屋門を残すのみとなった。書院座敷から眺める「上御庭」と回遊式の「下御庭」の2つの庭園から成り、平成19年7月に国の名勝に指定された。

常時公開しているのは「下御庭」のみで、「上御庭」については、平成29年度から年数回、日程を定めて一般公開を行っている。

2. 施設の概要

(1)所在地 〒890-0012 玉里町27-20 (TEL・FAX222-2627)

(2)開園時間 午前9時～午後5時

(3)休園日 毎週火曜日（火曜日が休日の場合は翌平日）、
年末年始（12月29日～1月1日）

(4)入園料 無料

(5)茶室使用料 半日使用（午前9時～午後1時、
午後1時～午後5時） 2,400円
一日使用（午前9時～午後5時） 4,800円



世界文化遺産関係

平成27年7月にユネスコの世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」における市内の構成資産のうち、本市が管理するものは次のとおりである。

(1)旧鹿児島紡績所技師館（異人館）

前ページのとおり

(2)寺山炭窯跡

江戸時代末、日本の近代文明を開く先駆けとなった島津家第28代当主島津斉彬は、磯地区で集成館事業を起こし、蒸気船や大砲などを製造した。

この際、石炭が産出されなかった薩摩藩では、鉄を溶かす反射炉の燃料として火力の強い白炭を製造するため、安政5（1858）年、集成館に近く白炭に適した木材が多い寺山に炭窯を設置した。

炭窯は3基築かれたが、所在が確認された1基が、平成26年に国の記念物（史跡）に指定されている。

所在地 吉野町10710番地68

※現在、復旧作業中。

(3)関吉の疎水溝

関吉の疎水溝は、仙巖園への給水等を目的に、享保7（1722）年、島津家第21代当主島津吉貴によって築かれた。嘉永5（1852）年、島津斉彬は集成館事業に利用するため、その疎水から新たな水路を築き、集成館の水車に水を供給した。

疎水溝の一部は現在も灌漑用水として利用されており、今も残る当時の取水口跡が、平成26年に国の記念物（史跡）に指定されている。

所在地 下田町1263番地先

美術館

1. 沿革

美術館の敷地は、薩摩藩主島津氏の居城であった鹿児島（鶴丸）城二の丸跡の一部である。明治年間から昭和の初期にかけて、ここに市役所があったが、昭和12年に移転し、そのあとに藤武喜左衛門氏の遺族の寄付を基金として、昭和14年7月20日、歴史館が完成した。

しかし、第二次世界大戦の終わりの間近い昭和20年6月17日夜の空襲により外郭を残して炎上した。幸いなことに館蔵品は疎開してあったため、大半は難をまぬがれた。

戦後、歴史館の復旧にあたって、美術館建設の世論が高まり、美術家を中心とする美術館建設期成同盟会の尽力と当時の市長、勝目清氏と市議会の英断により、美術館建設が決定され、昭和29年9月1日に開館した。

昭和32年6月には岩崎与八郎氏の寄付により別館が建設され、郷土の美術、工芸作品の収集展示、特別展その他の展覧会、美術教室等の開催、美術団体等に対する展示場の貸与などの各種事業を通じて美術文化の振興に寄与し、ユニークな地方美術館として全国的にも知られていた。

しかし、近代美術館としての活動を拡充しようとするとき、施設設備その他の面で不十分であった。このような状況を改善するため、昭和53年の美術館建設調査会の答申の趣旨を基調に、南九州の美術文化発展の一拠点として機能する美術館を建設することとして建設計画を進めた結果、旧美術館を解体した跡地に新美術館を建設することに決定して、昭和58年10月に工事着工、昭和60年3月30日竣工し、昭和60年10月29日開館した。

2. 施設の概要

(1)開 館 昭和29年9月1日（昭和60年10月29日新美術館開館）

(2)所 在 地 〒892-0853 城山町4-36（TEL224-3400 FAX224-3409）

(3)開館時間 午前9時30分から午後6時まで（入館は午後5時30分まで）

(4)休 館 日 月曜日（祝日のときはその翌平日）、12月29日から翌年1月1日まで

(5)建設規模

① 敷地面積 6,842.83㎡

② 建築面積 2,590.23㎡

③ 延床面積 5,469.49㎡

④ 構 造 鉄筋コンクリート造

⑤ 規 模 地下1階、地上3階

⑥ 総 工 費 約23億円

(6)主な施設

〔地下〕講堂、市民アトリエ(1)(2)、展示ロビー、機械部門

〔1階〕エントランスホール、一般展示室(1)(2)、収蔵庫(1)、研究調査部門、事務管理部門、搬出入部門、喫茶コーナー

〔2階〕常設展示室(1)(2)(3)、企画展示室、収蔵庫(2)(3)(4)、アートルाइブラリー

〔3階〕機械部門

展示室面積・壁面長さ

展示室名		面積（㎡）	壁面の長さ（m）		
			固定	可動	計
常設展示室		483.81	80.4	30.0	110.4
企画展示室		229.83	45.0	26.0	71.0
貸 展 示 室	一般展示室 1	289.51	57.8	36.0	93.8
	一般展示室 2	372.31	81.5	41.0	122.5
	展示ロビー	128.10	23.4	22.9	46.3
	講 堂	129.71	—	18.8	18.8
	計	919.63	162.7	118.7	281.4
合 計		1,633.27	288.1	174.7	462.8

3. 基本方針

美術品の収集保存、常設展、企画展の実施、教育普及活動の充実等、美術館活動の積極的な推進を図り、市民の美術に対する関心と理解を深め、開かれた美術館の運営に努める。

- (1) 常設展、企画展の内容の充実を図り、すぐれた美術品の紹介に努める。
- (2) 収蔵美術品の充実・保存に努め、美術館としての機能を高める。
- (3) 学術的な調査研究を深め、美術館活動の内容の充実に努める。
- (4) アートライブラリーの整備、美術教室の開催、美術講演会の開催等、教育普及活動の充実に努める。
- (5) 美術団体等が開催するすぐれた美術展覧会の誘致を図る。

4. 特別企画展

- (1) 鹿児島市立美術館開館70周年記念 没後100年 黒田清輝とその時代

令和6年7月24日～9月1日

2024年は鹿児島市立美術館の開館70周年、そして黒田清輝の没後100年にあたる。1866年に鹿児島市で生まれた黒田は、法律修学を志し留学したフランスで絵画の道へ転向、1893年の帰国以降は1924年に没するまで、清新な画風で洋画を拓き、生涯にわたって日本の美術振興に力を注いだ。東京国立博物館をはじめとする国内の博物館・美術館等が所蔵する黒田の名品を中心に、関係作家19名による作品を加えた約110点から、黒田の足跡を多角的に紹介し、今なお光を放つ作品の魅力を見つめる。

- (2) 鹿児島市立美術館開館70周年記念 松本市美術館所蔵 草間彌生 版画の世界—反復と増殖—

令和6年9月27日～11月10日

前衛芸術家・草間彌生は、ニューヨークで暮らした16年間に、絵画、インスタレーション、ハプニングなどが高い評価を受けます。帰国後の1979年に初めて発表した版画作品には、死への恐れや苦悩を前面に押し出した以前の作品とは対照的に、カボチャ、ドレス、花など華やかなモチーフが色彩豊かに表現されていました。本展では、松本市美術館が所蔵する世界最大規模の版画コレクションから厳選した約160点の作品で、草間の版画芸術の魅力と軌跡を展覧します。

5. 小企画展

- (1) 美術館を楽しもう 鑑賞の処方箋

令和6年4月2日～5月12日

「作品の見方が分からない」「美術館をもっと活用したい」…、美術館での鑑賞がはじめての人からよく訪れる人までがもつ、鑑賞にまつわる様々な困りごとへの解決法をご提案します。学芸員がお出しする鑑賞の処方箋を頼りに、今までよりも一つ先の鑑賞体験をお楽しみください。

- (2) 素描の魅力～創作の裏側に迫る

令和6年5月28日～7月15日

作家の思索の跡をうかがわせる素描は、完成作とは異なる独自の魅力を放っている。満田天民、藤島武二、梅原龍三郎、橋口五葉、プールデル、マイヨール、帖佐美行…。バラエティに富む作家の素描を紹介する。

- (3) 開館70周年記念 鹿児島市立美術館と作家たち

令和6年11月14日～令和7年1月26日

当館は黒田清輝の顕彰を第一義として昭和29年に開館、その後も多くの美術家たちがこの美術館の運営に携わってきた。本展は、市立美術館と直接関わりのあった作家たちを、彼らの作品とともに紹介する。

- (4) 香りのうつわ

令和7年1月28日～3月23日

香炉や香合など、香りを楽しむ器に注目する。伝統的な薩摩焼や薩摩切子から、陶芸の宮之原謙、彫金の帖佐美行らによる現代工芸まで、多彩な表現を紹介する。あわせて、香りを想像させる美術作品も展示する。

6. 年度別観覧者状況

(単位：人)

年度	美術館主催			貸 館			合計
	有料展		無料展	有料展	無料展		
	常設展	企画展	市民7-ト7他	一般展示室 他	一般展示室 他	地下展示室	
平25	39,554	34,942	2,445	32,788	17,576	30,988	158,293
平26	34,009	27,392	534	28,150	27,829	25,055	142,969
平27	31,633	25,086	475	37,036	22,257	28,855	145,342
平28	30,185	22,184	1,335	27,802	25,003	16,972	123,481
平29	36,774	31,066	1,405	34,708	24,654	25,971	154,578
平30	33,819	31,633	1,475	34,887	30,213	24,435	156,462
令元	27,938	22,028	1,517	25,071	22,189	17,007	115,750
令 2	21,713	20,720	580	8,195	15,197	12,535	78,940
令 3	17,328	12,397	677	23,078	19,426	16,682	89,588
令 4	25,323	21,115	915	29,498	20,824	17,702	115,377
令 5	30,277	18,355	1,064	25,478	25,720	18,327	119,221

7. 美術品収集保存

収蔵品内訳（令和6年3月末現在）

(単位：点)

分 類			所蔵品	寄託品	総計
美術品	日 本 画		135	17	152
	油 彩 画		396	37	433
	水彩・素描		2,543	3	2,546
	版 画		875	3	878
	彫 刻		51	20	71
	空間造形		1	0	1
	工芸	陶 芸	246	13	259
		木金工	28	0	28
		ガラス	26	8	34
		その他	8	0	8
		小 計	308	21	329
	書籍		27	0	27
	書		51	18	69
合 計		4,387	119	4,506	
資 料		1,931	3	1,934	
総 計		6,318	122	6,440	

令和5年度美術品収集状況

種 別	作者名	作品名	備 考
油彩画	篠原 愛	女の口は何でできている？	寄贈
油彩画	南 薫造	桜島、噴火翌年	寄贈
工 芸	坂下光石	唐草彫紋香炉	寄贈
工 芸	坂下光石	唐草透紋香炉	寄贈
日本画	竹久夢二	ある黄昏の幻想	寄託
油彩画	東郷青児	城と少女	寄託

かごしま文化工芸村

1. 設置の目的

緑豊かな自然の中で市民が陶芸、木工芸等の創作に親しみ、これらを通じてお互いの交流を図るため、かごしま文化工芸村を設置する。

2. 施設の概要

- (1)開 所 平成16年11月5日
- (2)所 在 地 〒890-0033 西別府町2758 (TEL281-7175 FAX281-7215)
- (3)面 積 約5.2ha (延床面積 956.65㎡)
- (4)構 造 木造平屋建
- (5)主な施設
 - ① 管理・陶芸棟 (延床面積 576.23㎡)
陶芸アトリエ、陶芸窯室、乾燥室、釉薬室、指導スタッフ室、サロン、事務室等
 - ② 木工芸・自由工房棟 (延床面積 380.42㎡)
木工芸アトリエ、自由工房、指導スタッフ室等
 - ③ 陶芸作品保管庫 (31.2㎡)
 - ④ ふれあい広場 (670.69㎡)
 - ⑤ 散策路 (総延長 484.2m)
 - ⑥ 西郷野屋敷跡
- (6)施設の使用内容・定員等
 - ① 陶芸アトリエ (定員60人) 陶芸
(内、少人数作業室10人使用可)
 - ② 木工芸アトリエ (定員50人) 木工芸、竹細工
 - ③ 自由工房 (定員30人) 手芸全般 (パッチワーク、七宝焼き、染色、トールペイントなど)

3. 利用の案内

- (1)開所時間 午前9時30分から午後6時まで
- (2)休 所 日 毎週火曜日 (祝日の場合は翌平日)、12月29日から翌年1月3日まで
- (3)使 用 料
 - ・利用券 一般 1日につき 200円
児童・生徒 1日につき 100円
 - ・回数券 一般 11枚つづり 1冊につき 2,000円
児童・生徒 11枚つづり 1冊につき 1,000円

4. 材料等

- (1)陶芸アトリエでは、原則として粘土は購入とする。
 - ① 粘土の購入制限 1人につき、1日2kgまで。
 - ② 陶芸作品を制作できる数は1人につき3個まで。
- (2)木工芸アトリエでは、原則として材料持込とする。

5. 主な講座や事業

(1) 陶芸アトリエ講座

子どもから大人まで各世代を対象として、陶芸の初心者から上級者までの技能に応じた講座を実施する。
(10講座)

(2) 木工アトリエ講座

成人や子どものための講座や女性向け講座、そして親子講座など様々な受講生が参加できるような講座を実施する。(15講座)

(3) 自由工房講座

草木染や七宝焼きなど多種多彩な手芸作品を制作するための講座を実施する。(11講座)

(4) イベント

秋まつり(11月)を実施する。

- ① 陶芸・木工芸竹細工・手芸等の体験コーナー
- ② 利用者の制作した作品展示コーナーや交流ひろば

(5) 広報紙

かごしま文化工芸村だより(年2回発行 4月・10月)

6. 利用状況

(単位：人)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用者	19,790	13,928	12,181	13,306	13,727
その他の利用者	9,088	7,586	6,425	6,340	6,858
合 計	28,878	21,514	18,606	19,646	20,585

西郷南洲顕彰館

1. 現 況

(1) 設置の経緯

西郷南洲顕彰館は、西郷隆盛（南洲翁）を中心とする明治維新の先覚者たちの、国家・社会に尽くされた偉業を後世に伝えるとともに、新しい時代を担う青少年の人間形成に役立てるため、西郷南洲翁を慕う全国の方々からの寄附により建設された施設で、昭和53年に鹿児島市に寄贈され、開館したものである。施設の利便性向上のため、平成22年4月にリニューアルオープンした。

(2) 所在地

〒892-0851 上竜尾町2-1（南洲公園内）（TEL247-1100 FAX247-3373）

(3) 施設の概要

① 本館

- ・開 館 昭和53年7月1日
- ・延床面積 583.94㎡
- ・構造規模 鉄筋コンクリート造2階建（一部地階）

② 別館展示学習室

- ・開 館 平成13年4月1日
- ・延床面積 230㎡
- ・構造規模 鉄筋コンクリート造平屋

2. 利用の案内

(1) 開館時間 午前9時から午後5時まで（入館は午後4時40分まで）

(2) 休 館 日 月曜日（祝日の場合はその翌日）、12月29日から翌年1月1日まで

(3) 入 館 料

公園名	名 称	入館料	摘 要
南洲公園	西郷南洲顕彰館	一 般 200円 小・中学生 100円	団体20人以上2割引

※未就学児は無料。

3. 主な展示物

(1) 西郷隆盛の生涯（ジオラマ）

(4) 西郷隆盛の衣服、遺品、肖像画

(2) 島津28代当主斉彬公の功績

(5) 西郷隆盛の墨跡

(3) 映像ライブラリー「西郷隆盛の一生」

(6) 西南戦争関係資料

「西南戦争」「徳の交流」他

(7) 西郷南洲遺訓集などの関係図書

4. 利用状況

（単位：人）

年度	大 人	小 人	小 計	大人無料	小人無料	小 計	合 計
令和元	13,285	978	14,263	5,382	1,667	7,049	21,312
2	3,716	382	4,098	2,697	180	2,877	6,975
3	4,198	420	4,618	2,572	488	3,060	7,678
4	7,488	486	7,974	2,724	553	3,277	11,251
5	8,553	506	9,059	3,842	945	4,787	13,846

(空白のページ)

資料編

1. 学校一覧

(1) 市立幼稚園	94
(2) 市立小学校	94
(3) 市立中学校	98
(4) 市立高等学校	98
(5) 私立、国立の幼稚園、認定こども園	100
(6) 国立、私立の小学校	102
(7) 国立、私立の中学校	102
(8) 特別支援学校	102
(9) 県立、私立の高等学校	102
(10) 通信制の高等学校	103
(11) 大学	103
(12) 大学院・専攻科	103

2. 学校教育

(1) 令和5年度進路状況（市立中学校）	104
(2) 令和5年度地域別就職状況（市立中学校）	104
(3) 年度別進路状況（市立中学校）	104
(4) 不登校・いじめの状況	105
(5) 青少年育成センター街頭声かけ実績	105
(6) 不就学児童生徒	105
(7) 就学援助事業	106
(8) 特別支援教育就学奨励事業	106
(9) 遠距離通学費補助事業	106
(10) 安心安全通学費補助事業	107
(11) 通級指導教室保護者交通費助成事業	107
(12) 校区外通学保護者交通費助成事業	107
(13) 奨学資金貸付基金制度	107
(14) 市立高等学校、鹿児島玉龍中学校の 授業料等	108
(15) 市立小中学校の児童生徒数の推移	108
(16) 小規模校入学特別認可制度	108

3. 特別支援教育

(1) 特別支援学級の推移	109
(2) 特別支援学級学年別入級児童生徒数	109
(3) 通級指導教室児童生徒数の推移	109

4. 保健体育

(1) 児童生徒の体力・運動能力調査結果	110
(2) 児童生徒の体格と疾病等	111
(3) 児童生徒の学校管理下における 事故の実態	113
(4) 児童生徒の交通事故の実態	113
(5) 学校給食調理方式別実施状況	114
(6) 学校給食費	114
(7) 試食会及びバイキング給食の 実施状況	114
(8) 地場産物活用状況	114
(9) 食物アレルギーの実態	114

5. 学校施設

(1) 学校施設の整備状況	115
(2) 建物（校舎）の構造別保有状況	116
(3) 学校別施設の現況	118

6. 生涯学習

(1) 生涯学習施設における 講座・学級等一覧	124
(2) 生涯学習関係施設・機関配置図	129
(3) 社会教育関係団体等	130

7. 文化財

(1) 指定文化財等一覧表	132
(2) 郷土芸能保護団体一覧表	136

(空白のページ)

1. 学校一覧

(1) 市立幼稚園

園 名		園長名	創立年月日	学級数	園児数	教 員		
						男	女	計
1	宮 川	石 原 義 仁	昭53. 4. 1	1	15	①	1 ①	1 ②
2	皆 与 志	蓑 毛 透	昭53. 4. 1	1	3	〈1〉	1 ①	1 〈1〉 ①
3	桜 峰	大 迫 誠	昭48. 4. 1	2	9	〈1〉	3	3 〈1〉
4	松 元	水 谷 康 弘	昭32. 4. 1	5	58	①	5 ②	5 ③
計				9	85	〈2〉 ②	10 ④	10 〈2〉 ⑥

(注) 1 〈 〉 は併任職員数

2 丸付き数字は会計年度任用職員（担任業務）数

(2) 市立小学校

小学校名		校 長 名	創立年月日	学級数	児童数	特別支援学級(再掲)		教 員
						学級数	児童数	
1	吉 田 小	曾 山 志 保	明 8. 7. 13	7	59	2	6	10
2	本 名 小	野 口 貴 弘	明12. 5. 15	10	188	4	23	15
3	宮 小	郷 原 光 徳	明12. 5. 15	9	89	3	12	13
4	本 城 小	牧 住 幸 二	明17. 9. 15	3	13	1	1	5
5	牟 礼 岡 小	吉 松 公 一	昭63. 3. 29	8	91	2	5	12
6	南 方 小	今 村 靖	明14. 10.	7	50	2	5	10
7	花 尾 小	山 里 浩 美	大 9. 8.	3	15	0	0	6
8	郡 山 小	山 本 省 吾	昭46. 4. 1	14	249	6	32	19
9	川 上 小	本 山 桂 三	明16. 1. 15	25	627	5	36	34
10	吉 野 小	常 深 章	明 7. 11. 6	44	1,133	11	65	58
11	吉 野 東 小	藤 川 等 志	昭56. 4. 1	52	1,203	16	75	64
12	大 明 丘 小	菊 谷 俊 一	昭45. 1. 10	19	402	7	40	24
13	坂 元 小	中 村 宗 義	昭49. 1. 10	17	284	5	21	21
14	坂 元 台 小	勝 本 祥 治	昭60. 4. 1	19	425	4	17	24
15	清 水 小	竹 下 健一郎	明45. 4. 2	24	474	8	39	31
16	大 龍 小	原 口 雅 也	明17. 2. 25	18	339	5	23	22
17	名 山 小	宮 田 研 郎	明11. 12. 1	15	328	3	18	24
18	山 下 小	下假屋 誠	明11. 10. 1	19	414	4	26	31
19	松 原 小	徳 永 一 哉	明 9. 3.	11	221	4	23	16
20	城 南 小	宮 里 英 樹	昭 5. 6. 8	14	226	5	22	20
21	草 牟 田 小	加 峯 美由紀	大13. 4. 1	23	474	6	40	30
22	原 良 小	界 敏 則	昭29. 10. 1	36	841	9	49	49
23	明 和 小	松久保 鉄 也	昭49. 1. 10	17	377	5	32	22
24	武 岡 小	猿 渡 功	昭51. 3. 22	12	261	3	18	16
25	武 岡 台 小	榊 まゆみ	平元. 4. 1	13	241	3	12	18
26	西 田 小	山 鹿 真 人	明 8. 12. 8	21	567	3	19	28
27	武 小	杉 木 正一郎	昭12. 4. 1	26	637	5	30	34
28	田 上 小	川 畑 昭 二	明 9. 4. 15	25	504	8	43	35
29	西 陵 小	富 田 純 一	昭53. 4. 1	30	709	7	42	38
30	広 木 小	池 浦 也寸志	昭48. 3. 10	35	722	12	65	44
31	中 洲 小	牛 堀 隆 弘	明 9. 4. 1	16	382	3	18	21
32	荒 田 小	竹 下 公 博	大11. 4. 1	17	408	2	12	22
33	八 幡 小	内 田 奈緒美	明 9. 6. 17	23	566	5	32	32
34	中 郡 小	日 高 京 美	明12. 4. 1	18	384	5	26	25
35	紫 原 小	川 畑 敏 彦	昭40. 1. 8	28	586	9	49	36
36	西 紫 原 小	下屋敷 由貴子	昭45. 1. 10	36	814	11	54	47

(注) () 内の数字は短時間再任用職員数

(令和6年5月1日現在)

養護教諭	栄養教諭	事務職員	学校用務員	調理員	所在地	電 話	備 考
					五ヶ別府町159	264-3309	
〈1〉					皆与志町4307	238-3977	皆与志小学校に併設
〈1〉					桜島松浦町355	293-2424	桜峰小学校に併設
					上谷口町3366-10	278-1117	
〈2〉							

(令和6年5月1日現在)

養護教諭	栄養教諭	栄養職員	事務職員	学校用務員	調理員	所在地	電 話	学校名
1			1			西佐多町185-4	295-2405	吉 田 小
1			1			本名町3579	294-2144	本 名 小
1			1			宮之浦町1953	294-2050	宮 小
1			1			本城町1705	294-2152	本 城 小
1			1			牟礼岡一丁目1-1	294-8739	牟礼岡小
1			1			川田町1415	298-7012	南 方 小
1			1			花尾町170	298-7013	花 尾 小
1	1		1			郡山町2080	298-2007	郡 山 小
1	1		1			川上町322	243-0576	川 上 小
2	1		2	1		吉野町2472	243-2581	吉 野 小
2	1		2	1	5	吉野町5968-1	244-3881	吉野東小
1			1	1		大明丘一丁目18-1	243-2680	大明丘小
1			1	1		玉里団地三丁目45-1	229-0290	坂 元 小
1			1			西坂元町58-2	247-5515	坂元台小
1	1		1			清水町8-15	247-1010	清 水 小
1			1		2(2)	大竜町11-44	247-2016	大 龍 小
1			1	1		山下町6-43	224-7126	名 山 小
1			1	1	3	西千石町15-5	226-6285	山 下 小
1			2			南林寺町2-18	226-2918	松 原 小
1			1			城南町1-1	225-3636	城 南 小
1	1		1			城山二丁目3-1	225-3625	草牟田小
1	1		2	1	2(2)	原良二丁目1-1	253-9171	原 良 小
1			1	1	3	明和二丁目1-1	281-2724	明 和 小
1			2			武岡二丁目30-1	282-0061	武 岡 小
1			1			武岡六丁目1-1	281-1545	武岡台小
1	1		1	1		薬師二丁目31-1	253-9151	西 田 小
1	1		1	1		武一丁目35-31	255-6136	武 小
1	1		1	1	4	田上五丁目12-1	255-6105	田 上 小
1	1		1		4	西陵一丁目11-1	281-4600	西 陵 小
1			2			広木一丁目4-1	264-7244	広 木 小
1			1	1	3	上之園町28-1	253-9181	中 洲 小
1			1			荒田一丁目30-27	253-9090	荒 田 小
1	1		1	1	4	下荒田三丁目25-1	255-5136	八 幡 小
1			1	1		郡元二丁目4-6	253-9080	中 郡 小
1	1		2		4	紫原二丁目36-50	251-1323	紫 原 小
2			2			紫原四丁目16-4	251-8001	西紫原小

小学校名		校 長 名	創立年月日	学級数	児童数	特別支援学級(再掲)		教 員
						学級数	児童数	
37	鴨 池 小	桃 北 紀 和	昭25. 4. 1	24	495	7	37	30
38	南 小	高 味 修一郎	昭32. 4. 1	17	333	5	28	23
39	宇 宿 小	中 原 明 美	明12. 2.15	24	551	6	33	30
40	向 陽 小	内 蘭 博 之	昭58. 4. 1	26	631	6	29	33
41	伊 敷 小	堀之内 尚 史	明25.10. 1	17	381	4	24	23
42	花 野 小	山 下 佳 子	昭61. 4. 1	12	219	3	16	16
43	西 伊 敷 小	宮 本 京 也	昭49. 1.10	19	389	4	27	25
44	伊 敷 台 小	濱弓場 一 誠	平 5. 4. 1	21	426	7	28	27
45	玉 江 小	池 田 隆	明22.10. 1	34	752	10	55	46
46	小 山 田 小	野 元 忠 久	明25.10. 1	7	54	2	3	10
47	犬 迫 小	原 田 弥 生	明25.10. 1	8	72	2	10	12
48	皆 与 志 小	蓑 毛 透	明25.10. 1	5	28	2	11	8
49	東 桜 島 小	濱 田 智 男	明22.11. 1	5	25	2	3	8
50	高 免 小	休校(平5.4.1～)	大 3.11.	0	0	0	0	
51	黒 神 小	富 永 章 文	明10. 4. 1	1	1	0	0	2
52	桜 洲 小	大 重 守	明15.	7	58	1	3	11
53	桜 峰 小	大 迫 誠	明31. 4.	4	28	0	0	7
54	松 元 小	宮 脇 一 郎	明19.	21	430	8	48	27
55	東 昌 小	祝 原 佳 苗	明25. 6.30	6	51	2	6	9
56	春 山 小	北 洋 昭	明 4.10.15	24	520	6	34	30
57	石 谷 小	有 村 博 文	明13.12.13	21	510	4	25	29
58	谷 山 小	長 友 充 男	明 9. 5. 1	45	943	16	86	63
59	西 谷 山 小	吉 峯 進	昭53. 4. 1	35	905	7	43	45
60	東 谷 山 小	林 耕 二	昭44. 3.13	36	836	11	64	46
61	清 和 小	吉 國 幸 宏	昭59. 4. 1	45	1,043	14	78	57
62	和 田 小	池 田 浩	明36. 4. 1	37	804	12	69	46
63	錦 江 台 小	山 下 聖 和	昭54. 4. 1	31	679	11	67	39
64	福 平 小	藤 崎 隆 博	明25.10.25	49	1,131	14	72	62
65	平 川 小	日 置 正 齊	明35. 5.25	8	94	2	5	12
66	錫 山 小	伊 東 智 志	明12. 2.16	3	15	0	0	5
67	中 山 小	中 村 武 司	明20. 4. 1	58	1,442	15	85	73
68	桜 丘 西 小	田 中 省 一	昭53. 4. 1	19	374	6	35	24
69	桜 丘 東 小	西 村 かおり	昭57. 4. 1	17	404	4	20	22
70	星 峯 西 小	永 里 智 広	昭56. 4. 1	24	500	8	39	31
71	星 峯 東 小	福 留 健 之	昭63. 4. 1	13	238	5	28	18
72	宮 川 小	茶 屋 大 作	明20. 4. 1	13	286	2	8	19
73	皇 徳 寺 小	有 村 暢 高	平 3. 4. 1	16	362	4	23	21
74	瀬々串小	田 中 孝 雄	明 9. 3.	8	92	2	7	12
75	中 名 小	松 原 葉 子	明 9. 4.	8	76	2	7	12
76	喜 入 小	竹ノ内 三千代	明 2. 9.24	12	241	2	10	16
77	前之浜小	上 西 由美子	明 9.10.	4	23	1	3	7
78	生 見 小	井 上 智 司	明 9.11.20	3	15	0	0	4
79	一 倉 小	竹 下 龍 二	昭22. 4.	2	3	0	0	3
計				1,503	31,763	412	2,199	1,999

(注) () 内の数字は短時間再任用職員数

(令和6年5月1日現在)

養護教諭	栄養教諭	栄養職員	事務職員	学校用務員	調理員	所在地	電 話	学校名
1			1		4(1)	真砂本町59-28	251-7090	鴨 池 小
1			1		3	東郡元町13-22	253-5304	南 小
1			1		4	宇宿四丁目21-7	264-2100	宇 宿 小
1			1			向陽一丁目14-1	265-3223	向 陽 小
1			1	1	3	伊敷五丁目19-1	229-2521	伊 敷 小
1			1	1		花野光ヶ丘1-1-1	228-0221	花 野 小
1	1		1			西伊敷四丁目12-1	220-8057	西伊敷小
1			1	1		伊敷台四丁目20-1	229-0181	伊敷台小
1	1		2		3	下伊敷一丁目35-1	229-5357	玉 江 小
1			1			小山田町9398	238-2558	小山田小
1			1	1		犬迫町5745	238-0550	犬 迫 小
1			1			皆与志町4307	238-2554	皆与志小
1						東桜島町17	221-2051	東桜島小
								高 免 小
				1		黒神町2561	293-2101	黒 神 小
1			1			桜島小池町55	293-2003	桜 洲 小
1			1			桜島松浦町355	293-2005	桜 峰 小
1	1		2	1		上谷口町956-1	278-1005	松 元 小
1			1	1		直木町4307-1	278-1004	東 昌 小
1			1			春山町1824-2	278-1003	春 山 小
1			1			石谷町1360	278-1008	石 谷 小
2	1		2		5	谷山中央一丁目4962	268-4175	谷 山 小
2	1		2	1		西谷山四丁目22-1	267-0451	西谷山小
1			2			魚見町124-1	268-5141	東谷山小
2	1		2			清和三丁目7-1	267-7272	清 和 小
1	1		2	1	3	和田二丁目2-10	268-7731	和 田 小
1	1		2	1	4	錦江台一丁目70-1	261-3151	錦江台小
2	1		2			平川町819-3	261-6624	福 平 小
1			1			平川町3795	261-2001	平 川 小
1			1	1		下福元町9856	263-2001	錫 山 小
2	1		2		7	中山二丁目30-3	268-2052	中 山 小
1			2		2(2)	桜ヶ丘二丁目35	264-6644	桜丘西小
1			2			桜ヶ丘六丁目13	264-3666	桜丘東小
1	1		1	1		星ヶ峯四丁目9-1	265-3956	星峯西小
1			2	(2)		星ヶ峯一丁目17-1	265-7450	星峯東小
1	1		2			皇徳寺台四丁目26-1	264-3316	宮 川 小
1			1			皇徳寺台二丁目50-1	265-8055	皇徳寺小
1			1			喜入瀬々串町3103-2	347-0009	瀬々串小
1			1			喜入中名町1079	345-0252	中 名 小
1			1			喜入町6993	345-0033	喜 入 小
1			1	1		喜入前之浜町7036	343-0004	前之浜小
			1			喜入生見町1365	343-0009	生 見 小
			1			喜入一倉町5335	345-0451	一 倉 小
83	25	0	98	27(2)	72(7)			

(3)市立中学校

中学校名		校 長 名	創立年月日	学級数	生徒数	特別支援学級(再掲)		教 員
						学級数	生徒数	
1	吉 田 北 中	鮫 島 讓	昭22. 5. 2	5	35	2	4	11
2	吉 田 南 中	平 田 睦	昭22. 5. 2	9	193	3	18	20
3	郡 山 中	岩 元 邦 俊	昭22. 5. 2	10	189	4	18	20
4	緑 丘 中	内 真奈美	昭49. 1.10	12	364	3	17	24
5	吉 野 中	鈴 木 敏 之	昭22. 5. 1	30	941	6	31	54
6	吉 野 東 中	田 中 準 章	昭58. 4. 1	19	529	5	25	36
7	坂 元 中	川 口 孝	昭54. 3. 1	14	380	4	25	27
8	清 水 中	西 ゆかり	昭22. 4. 1	11	321	2	15	22
9	長 田 中	奥 山 茂 樹	昭22. 4. 1	9	232	2	8	22
10	甲 東 中	石 岡 秀 久	昭22. 4. 1	9	244	2	11	19
11	城 西 中	吉 岡 一 徳	昭22. 4. 1	22	718	3	19	42
12	明 和 中	森 園 守	昭51. 3.22	8	185	2	6	18
13	武 岡 中	楠 原 豊	昭63. 4. 1	11	286	2	12	23
14	武 中	前 田 浩 二	昭22. 5. 1	14	475	2	12	28
15	西 陵 中	山 下 信 久	昭59. 4. 1	12	354	2	8	23
16	甲 南 中	岩 脇 勝 広	昭22. 5. 1	14	372	2	11	26
17	天 保 山 中	今 井 誠	昭23. 4. 1	16	395	4	19	30
18	鴨 池 中	元 野 弘	昭22. 5. 1	20	474	6	25	39
19	南 中	森 拓 郎	昭34. 4. 1	16	445	4	21	30
20	紫 原 中	伊 口 秀 樹	昭42. 4. 1	28	716	10	47	52
21	西 紫 原 中	松 本 遵	昭54. 4. 1	21	658	4	19	40
22	伊 敷 中	龍 義 文	昭22. 5. 1	24	697	6	29	46
23	伊 敷 台 中	亀 山 浩 一	平 6. 4. 1	15	489	3	23	30
24	河 頭 中	渕 脇 広 智	昭22. 5. 1	6	83	3	13	14
25	東 桜 島 中	角 和 重	昭22. 5. 1	5	19	2	2	9
26	黒 神 中	野 村 浩 二	昭22. 5. 1	1	2	0	0	4
27	桜 島 中	鎌 田 典 久	昭22. 4.17	5	39	2	4	13
28	松 元 中	五反田 晴 夫	昭22. 5. 2	25	744	6	25	45
29	谷 山 中	玉 利 勝 美	昭22. 5. 1	35	964	10	54	63
30	東 谷 山 中	窪 田 智 司	昭55. 4. 1	33	874	10	50	60
31	和 田 中	岩 城 靖一郎	昭22. 5. 1	24	701	6	33	46
32	福 平 中	大 田 恭一郎	昭22. 5. 1	18	518	4	21	33
33	錫 山 中	(伊 東 智 志)	昭23. 4. 1	3	10	0	0	5
34	谷 山 北 中	中 村 克 己	昭22. 5. 1	24	669	6	26	43
35	皇 徳 寺 中	山 下 久美子	平 2. 4. 1	13	394	2	14	27
36	星 峯 中	益 満 裕 美	昭57. 4. 1	16	465	3	19	31
37	桜 丘 中	松 永 英 一	昭55. 4. 1	15	410	3	17	28
38	喜 入 中	岡 元 次 郎	昭22. 5. 2	10	269	2	7	21
39	鹿 児 島 玉 龍 中	阿 多 威 文	平18. 4. 1	9	357	0	0	19
計				591	16,210	142	708	1,143

(注) () 内の数字は短時間再任用職員数

(4)市立高等学校

学校名		校長名	創立年月日	学級数	生徒数	教 員	養護教諭
1	鹿 児 島 玉 龍	阿 多 威 文	昭15. 4. 1	18	697	48	1
2	鹿 児 島 商 業	堀之内 尚 郎	明27.10. 1	19	550	60	2
3	鹿 児 島 女 子	上ノ町 久	明27.10. 1	22	703	58	2
計				59	1,750	166	5

(令和6年5月1日現在)

養護教諭	栄養教諭	栄養職員	事務職員	学校用務員	調理員	所在地	電 話	学校名
1			1	1		西佐多町269	295-2152	吉田北中
1	1		1			本名町565	294-2051	吉田南中
1			1			郡山町1500	298-2004	郡 山 中
1	1		1			緑ヶ丘町46-1	243-7320	緑 丘 中
2			2	1		吉野町3074	243-2584	吉 野 中
1			1	1		吉野町5003	243-7600	吉野東中
1	1		1	1	3	玉里団地三丁目45-2	220-5661	坂 元 中
1			1			稲荷町36-29	247-7211	清 水 中
1			1	(2)		小川町3-10	226-3868	長 田 中
1			1	1		樋之口町4-38	224-7401	甲 東 中
2			2	1		城西二丁目3-12	254-9148	城 西 中
1			1	1		明和二丁目2-1	282-0163	明 和 中
1			1			武岡五丁目50-1	281-0966	武 岡 中
1			1	1		武三丁目42-1	255-5171	武 中
1			1	1		西陵五丁目13-1	281-3122	西 陵 中
1			1	1		高麗町36-32	254-9155	甲 南 中
1			1			下荒田二丁目31-15	253-9070	天保山中
1	3		1			真砂本町58-58	253-9600	鴨 池 中
1			1			東郡元町13-34	251-6090	南 中
2			2			紫原六丁目31-19	257-4554	紫 原 中
1	1		1		2(2)	西紫原町26-1	252-1554	西紫原中
1			2	1		下伊敷一丁目11-1	226-0522	伊 敷 中
1			1	1		伊敷台一丁目3-1	228-8114	伊敷台中
1			1	1		犬迫町1168	238-2663	河 頭 中
1			1		2	東桜島町810	221-2331	東桜島中
			1	1		黒神町647	293-2660	黒 神 中
1	1		1			桜島藤野町1342	293-2014	桜 島 中
1	1		2			上谷口町2994-2	278-1101	松 元 中
2	1		2			谷山中央八丁目20-5	268-3165	谷 山 中
2	1		2		4(2)	魚見町120-2	268-1271	東谷山中
2	1		2	1	3	和田二丁目44-3	268-8421	和 田 中
1			2		4	平川町6004	261-3624	福 平 中
						下福元町9856	263-2001	錫 山 中
1			2			山田町1690	264-2613	谷山北中
1			2			皇徳寺台三丁目35-1	265-6692	皇徳寺中
1	1		1			星ヶ峯四丁目10-1	264-3817	星 峯 中
1	1		1			桜ヶ丘二丁目34	265-1451	桜 丘 中
1	1		1			喜入町7143	345-0006	喜 入 中
1			1			池之上町20-57	247-7161	鹿児島玉龍中
43	15	0	49	15(2)	18(4)			

(令和6年5月1日現在)

栄養教諭	事務職員	実習助手 (再掲)	学校用務員	所在地	電 話	学校名
	4	1	1	池之上町20-57	247-7161	鹿児島玉龍
	4		1	西坂元町58-1	247-7171	鹿児島商業
	4	2	1	玉里町27-1	223-8341	鹿児島女子
	12	3	3			

(5) 私立、国立の幼稚園、認定こども園

① 幼稚園（国立大学法人、私立）

（令和6年5月1日現在）

番号	区分	園 名	園長等名	園児数	教員数	所在地	電 話
	国立	鹿 児 島 大 学 附 属	假屋園 昭 彦	57	5	郡元一丁目20-15	285-7990
1	私立	カトリック・カリタス	平 山 和 枝	69	8	紫原三丁目36-22	256-1357
2	〃	川 上	外 園 太一郎	153	14	川上町847	243-3155
3	〃	鹿 児 島	田 中 裕 一	204	14	錦江台一丁目20-1	261-7711
4	〃	鴨 池 し ら う め	福 留 明 人	114	12	鴨池新町3-1	257-7445
5	〃	鹿児島女子短大附属かもめ	池 田 俊 彦	171	18	紫原一丁目19-20	254-6896
6	〃	鹿児島女子短大附属すみれ	小 磯 誠	161	14	皇徳寺台四丁目44-1	265-6075
7	〃	鹿児島女子短大附属なでしこ	上田橋 誠	136	16	明和二丁目41-1	281-4114
8	〃	敬 愛	松 本 敏 之	46	8	加治屋町5-6	223-7286
9	〃	研 明 舎	駒 走 正 二	14	3	下荒田二丁目23-3	254-1060
10	〃	さ つ き	猿 楽 茂 樹	124	12	西陵三丁目3-17	281-8911
11	〃	さ み ど り	上林房 一 正	186	17	薬師一丁目4-12	254-2295
12	〃	集 成	小 村 重 範	38	10	加治屋町15-2	222-7084
13	〃	昭 和	永 田 愛 子	179	20	原良二丁目2-1	254-2082
14	〃	武	豊 永 藤 浩	30	7	武一丁目12-15	254-1222
15	〃	田 上	永 吉 龍 志	153	15	田上四丁目13-15	259-1133
16	〃	太 陽 の 子	時 任 雅 彦	145	16	鴨池新町25-6	256-7288
17	〃	唐 湊	福 留 正 人	97	14	唐湊四丁目5-25	252-8244
18	〃	ひ ば り	浮 田 文 春	44	8	田上五丁目13-21	254-0904
19	〃	星 ケ 峯	益 山 富 誉	181	16	星ヶ峯三丁目33-1	265-3685

② 幼稚園型認定こども園

（令和6年5月1日現在）

番号	区分	園 名	園長等名	園児数	教員数	所在地	電 話
1	私立	ア ソ カ	金 竹 久美子	67	6	新屋敷町25-25	222-0523
2	〃	い に し き	今 村 伸 一	81	25	下伊敷二丁目12-3	220-2705
3	〃	宇 宿	森 園 聡 美	95	10	宇宿四丁目18-8	264-1810
4	〃	大 谷	鳴 一 志	115	21	新町2-7	223-6615
5	〃	喜 入	野 元 博 史	89	13	喜入町335-1	345-2280
6	〃	共 研	今 井 和 代	88	12	上之園町20-17	254-0986
7	〃	共 立	室 屋 賢 三	94	13	春日町6-25	247-1304
8	〃	恵 光 東 俣	鶴 重 裕 子	83	7	小山田町3510-3	238-3410
9	〃	聖 母	泉 浩 二	132	15	荒田二丁目53-11	254-3555
10	〃	た に や ま	井 上 博 孝	132	13	和田一丁目4-5	267-3190
11	〃	和 光	緒 方 玲 子	176	17	東千石町21-38	222-5693
12	〃	鹿 児 島 三 育	堂 満 ユ リ	43	9	平之町14-21	223-6498
13	〃	カトリック吉野	野 田 弘 之	70	6	吉野町3216-53	243-7522

③ 幼保連携型認定こども園（私立）

※園児数は1号及び2号認定利用者（令和6年5月1日現在）

番号	区分	園 名	園長等名	園児数	教員数	所在地	電 話
1	私立	認定こども園 あけぼの幼稚園	原 口 洋	87	21	小野四丁目4-31	229-0008
2	〃	認定こども園 伊敷幼稚園	若 松 新一郎	149	33	伊敷五丁目19-20	229-2010
3	〃	認定こども園 うちの幼稚園	永 吉 眞 一	127	19	玉里団地一丁目5-3	229-1722

番号	区分	園 名	園長等名	園児数	教員数	所在地	電 話
4	〃	幼保連携型認定こども園 ヴェリタスこども園	新 平 哲 也	117	21	武岡一丁目22-1	281-3561
5	〃	幼保連携型認定こども園 鹿児島おおとり幼稚園	伊 福 勇 史	103	13	武岡四丁目16-1	282-0005
6	〃	認定こども園幼保連携型 鹿児島さくら幼稚園	尾 方 みゆき	88	16	桜ヶ丘七丁目23-5	264-1161
7	〃	幼保連携型認定こども園 鴨池幼稚園	義 永 淳 子	140	14	郡元三丁目8-5	254-0567
8	〃	かわい認定こども園 可愛幼稚園	宮 内 啓 子	218	34	下福元町7649	261-3434
9	〃	幼保連携型認定こども園 御所こども園	中 野 兵 衛	71	9	上福元町5682	268-5122
10	〃	コスモス認定こども園	徳 田 慎 一	99	23	桜ヶ丘2丁目6-1	264-3952
11	〃	こばと・ゆなの木こども園	正 村 直 子	124	22	大明丘三丁目14-1	243-1135
12	〃	認定こども園 さかもと幼稚園	齊 藤 聖 子	126	12	西坂元町57-23	248-1431
13	〃	認定こども園 桜ヶ丘中央幼稚園	堀之内 学	230	31	桜ヶ丘四丁目8-2	265-2700
14	〃	幼保連携型認定こども園 しらゆきこども園	原 田 真 弓	116	27	小松原2丁目10-15	269-6811
15	〃	認定こども園 清谿幼稚園	末 兼 静 香	139	19	谷山中央一丁目4360	268-2265
16	〃	幼保連携型認定こども園 千年幼稚園	廣 司 正 良	136	21	千年二丁目1-3	220-8686
17	〃	幼保連携型認定こども園 草牟田幼稚園	高 山 達 也	111	12	草牟田二丁目20-15	222-6443
18	〃	認定こども園 武岡幼稚園	逆瀬川 博 史	110	24	武岡五丁目26-6	282-7000
19	〃	幼保連携型認定こども園 谷山善き牧者幼稚園	津 曲 恵 造	198	25	西谷山一丁目1-1	267-4055
20	〃	幼保連携型認定こども園 玉里善き牧者幼稚園	小 川 靖 忠	135	24	草牟田二丁目29-7	222-5348
21	〃	認定こども園 辻ヶ丘幼稚園	福 田 雅 紀	176	27	東坂元二丁目39-1	247-3005
22	〃	幼保連携型 西谷山認定こども園	上 村 正 則	119	34	西谷山2丁目16-8	269-5075
23	〃	認定こども園 はなぶさ幼稚園	森 山 芳 子	269	34	緑ヶ丘町13-1	244-2277
24	〃	幼保連携型認定こども園 ひかりやま保育園	青 木 浩 一	82	12	光山2丁目12-1	261-6654
25	〃	幼保連携型認定こども園 みのり幼稚園	日 高 好 治	114	13	明和一丁目39-1	281-2233
26	〃	認定こども園 紫原幼稚園	花 月 敏 郎	207	33	紫原六丁目40-4	254-1659
27	〃	幼保連携型認定こども園 めぐみ幼稚園	高 木 伸 江	76	18	鴨池二丁目23-17	255-8461
28	〃	認定こども園 やはた幼稚園	森 園 直 子	117	21	下荒田四丁目19-10	254-0784
29	〃	認定こども園・吉田南幼稚園	橋 口 大 祐	113	15	本名町543	294-3730
30	〃	幼保連携型認定こども園 よしだルンビニー幼稚園	大 丸 顕 信	92	15	東佐多町2157-1	295-2502
31	〃	幼保連携型認定こども園 若葉幼稚園	濱 田 秀 隆	168	22	桜ヶ丘六丁目30-2	265-1151
32	〃	幼保連携型認定こども園 つばき幼稚園	大 保 辰 美	202	28	中山一丁目6-1	269-4545
33	〃	幼保連携型認定こども園 ひまわり幼稚園	福 満 美智子	135	9	東谷山三丁目31-13	268-2340
34	〃	幼保連携型聖徳認定こども園	上 村 洋 一	84	20	和田二丁目2-1	260-0221
35	〃	幼保連携型認定こども園 松青こども園	松 元 公志郎	154	48	谷山中央四丁目4907-11	268-4247
36	〃	幼保連携型認定こども園 ベビース松青こども園(分園)	松 元 公志郎	34	14	谷山中央三丁目522	260-5600
37	〃	わくわく鹿児島中央認定こども園	川 口 公 男	98	15	薬師二丁目30-15	204-7400
38	〃	幼保連携型認定こども園 錦ヶ丘	堂 園 春 衣	162	27	吉野町2219	244-0006
39	〃	みのりこども園	石 本 憲 昭	63	25	春山町388	248-7525
40	〃	幼保連携型認定こども園 光愛こども園 幼保連携型認定こども園 光愛こども園あい(分園)	山 下 信 照	166	44	西陵三丁目9-3	282-9620
41	〃	いちご認定こども園	福 留 義 政	70	36	皇徳寺台一丁目30-2	275-0502
42	〃	幼保連携型認定こども園 おひさまこども園	竹 内 香代子	118	23	小原町12-1	269-2880
43	〃	桜ヶ丘こども園	鮫 島 紀 子	105	15	桜ヶ丘六丁目47-1	264-2393
44	〃	ちはなこども園	四 元 孝 英	83	18	吉野町5652-1	243-5003
45	〃	幼保連携型認定こども園 錦城幼稚園	山 下 守	187	31	星ヶ峯二丁目2-1	265-5687
46	〃	幼保連携型認定こども園 こまつばら幼稚園	有 村 修 次	315	41	小松原二丁目10-4	268-3151
47	〃	武岡みらいえこども園	福 丸 敬 朗	72	18	武岡五丁目26-7	292-7777
48	〃	幼保連携型認定こども園 すみれこども園	青 木 和 彦	112	23	和田一丁目9-3	268-2113
49	〃	認定こども園 錦ヶ丘プラス ⁺	廣 田 恭 平	110	18	吉野町2223-6	243-7704
50	〃	まつのこども園	松 澤 絵里奈	23	16	石谷町3093	294-9363
51	〃	いとしご認定こども園	平 井 恵 子	74	28	石谷町2071-1	298-9210

(6) 国立、私立の小学校

(令和6年5月1日現在)

区分	学校名	校長名	所在地	児童数	教員数	電 話
国立	鹿児島大学教育学部附属小学校	橋 元 忠 史	郡元一丁目20-15	712	37	285-7962
私立	鹿 児 島 三 育 小 学 校	河 合 博	平之町14-21	35	3	223-8319
	池 田 学 園 池 田 小 学 校	池 田 由 實	西別府町1660	300	18	282-9000

(7) 国立、私立の中学校

(令和6年5月1日現在)

区分	学校名	校長名	所在地	生徒数	教員数	電 話
国立	鹿児島大学教育学部附属中学校	坂 中 裕 一	郡元一丁目20-35	537	32	285-7932
私立	鹿 児 島 純 心 女 子 中 学 校	久 松 久 美 子	唐湊四丁目22-2	118	13	254-4121
	ラ・サール中学校	ドミンゴ・ビヤミル	小松原二丁目10-1	578	35	268-3121
	鹿 児 島 修 学 館 中 学 校	中 西 昭 郎	永吉二丁目9-1	259	19	258-2211
	志 学 館 中 等 部	岡 留 秀 一	南郡元町32-1	239	25	252-1038
	池 田 学 園 池 田 中 学 校	池 田 由 實	西別府町1680	137	16	282-7888

(8) 特別支援学校

(令和6年5月1日現在)

区分	学校名	校長名	所在地	学級数	児童・生徒数	教員数	電 話
県立	鹿 児 島 盲 学 校	大 山 直 美	西谷山一丁目3-3	16	24	46	263-6660
	鹿 児 島 聾 学 校	福 永 憲 一	下伊敷一丁目52-27	14	36	44	228-2200
	鹿児島特別支援学校	迫 田 博 幸	吉野一丁目42-1	85	371	171	243-0114
	鹿児島南特別支援学校	芝 原 一 郎	西谷山二丁目5-3	80	372	182	266-6642
	武岡台特別支援学校	濱 崎 信 一	小野町2760	66	304	136	282-0440
	鹿児島高等特別支援学校	赤 池 賢 二	東坂元三丁目28-1	12	95	37	248-3670
国立	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校	水 野 高 明	下伊敷一丁目10-1	9	57	30	224-6257

(9) 県立、私立の高等学校

(令和6年5月1日現在)

区分	学校名	校長名	所在地	生徒数	教員数	科 名	電 話
県立	鶴 丸 高 校	黒 木 誠	薬師二丁目1-1	947	62	普	251-7387
	甲 南 高 校	宮 田 俊 一	上之園町23-1	952	65	普	254-0175
	鹿児島中央高校	大 脇 俊 朗	加治屋町10-1	945	62	普	226-1574
	錦 江 湾 高 校	石 塚 一 哉	平川町4047	528	46	普・理数	261-2121
	武 岡 台 高 校	亀 田 誠	小野町3175	938	72	普・情報科学	281-5233
	明 桜 館 高 校	兒 玉 秀 郷	郡山町100	500	41	文理科学・商業	298-4124
	松 陽 高 校	田 嶋 吾 富	福山町573	905	67	普・音・美	278-3986
	鹿児島東高校	森 川 敏 美	東坂元三丁目28-1	139	24	普	247-2000
	鹿児島工業高校	田 中 耕一郎	草牟田二丁目57-1	1010	81	工I:電子機械・電気技術・情報技術・工業化学 工II:建築・建設技術・インテリア	222-9205
	鹿児島南高校	山 口 良 人	谷山中央八丁目4-1	940	68	普・商・情報処理・体育	268-2255
	開 陽 高 校	原 憲 一	西谷山一丁目2-1	全 324 定 115	45 17	普・福祉・オフィス情報	263-3733
	鹿児島実業高校	渡 辺 浩 二	五ヶ別府町3591-3	1471	105	文理・普・総合	286-1313
私立	樟 南 高 校	山 崎 隆 志	武岡一丁目120-1	1337	95	普・商・工	281-2900
	鹿児島高校	須 田 勝 広	薬師一丁目21-9	1703	117	普・情報ビジネス・英数	255-3211
	鹿児島純心女子高校	久 松 久 美 子	唐湊四丁目22-2	258	33	普	254-4121
	鹿児島情報高校	新 納 武 彦	谷山中央二丁目4118	1321	123	e-ブレップ・ブレップ・普・マルチメディア・情報システム・自動車工学・メカトロニクス・情報処理	268-3101
	ラ・サール高校	ドミンゴ・ビヤミル	小松原二丁目10-1	641	33	普	268-3121
	志 学 館 高 等 部	岡 留 秀 一	南郡元町32-1	249	22	普	252-1038
	池田学園池田高等学校	池 田 由 實	西別府町1680	165	23	普	282-7888
	鹿児島修学館高校	中 西 昭 郎	永吉二丁目9-1	131	18	普	258-2211

(10)通信制の高等学校

(令和6年5月1日現在)

区分	学校名	校長名	所在地	生徒数	教員数	電話
県立	開陽高校	原 憲一	西谷山一丁目2-1	1,889	36	263-3733

(11)大 学

(令和6年5月1日現在)

区分	大 学 名	学部・学科名	学長・学部長名	学生数	所在地	電話
国立	鹿 児 島 大 学	本 部	学長 佐野 輝	-	郡元一丁目21-24	285-7111
		法 文 学 部	藤 内 哲 也	1,805	郡元一丁目21-30	〃
		教 育 学 部	溝 口 和 宏	840	郡元一丁目20-6	〃
		理 学 部	小 山 佳 一	809	郡元一丁目21-35	〃
		医 学 部	大 脇 哲 洋	1,208	桜ヶ丘八丁目35-1	275-5111
		歯 学 部	後 藤 哲 哉	311	〃	〃
		工 学 部	木 方 十 根	1,936	郡元一丁目21-40	285-7111
		農 学 部	寺 岡 行 雄	863	郡元一丁目21-24	〃
		水 産 学 部	西 隆 一 郎	610	下荒田四丁目50-20	286-4111
県立	鹿児島県立短期大学	共同獣医学部	遠 藤 泰 之	216	郡元一丁目21-24	285-7111
		文 学 科	学長 飯 干 明	115	下伊敷一丁目52-1	220-1111
		生 活 科 学 科		114		
		商 経 学 科		160		
		第二部商経学科		158		
私立	鹿 児 島 国 際 大 学	経 済 学 部	学長 小 林 潤 司	1371	坂之上八丁目34-1	261-3211
		福祉社会学部		840	〃	〃
		国際文化学部		520	〃	〃
		看護学部		153	下伊敷一丁目52-17	800-0555
	志 學 館 大 学	人間関係学部	学長 飯 干 紀代子	827	紫原一丁目59-1	812-8501
		法 学 部		536		
	鹿児島女子短期大学	児童教育学科	学長 村 若 修	562	高麗町6-9	254-9191
		生活科学科				
	鹿児島純心女子短期大学	教 養 学 科	学長 山 口 明 美	275	唐湊四丁目22-1	253-2677
		生活学科				
		生活学専攻 こども学専攻 食物栄養専攻				
		英 語 科				

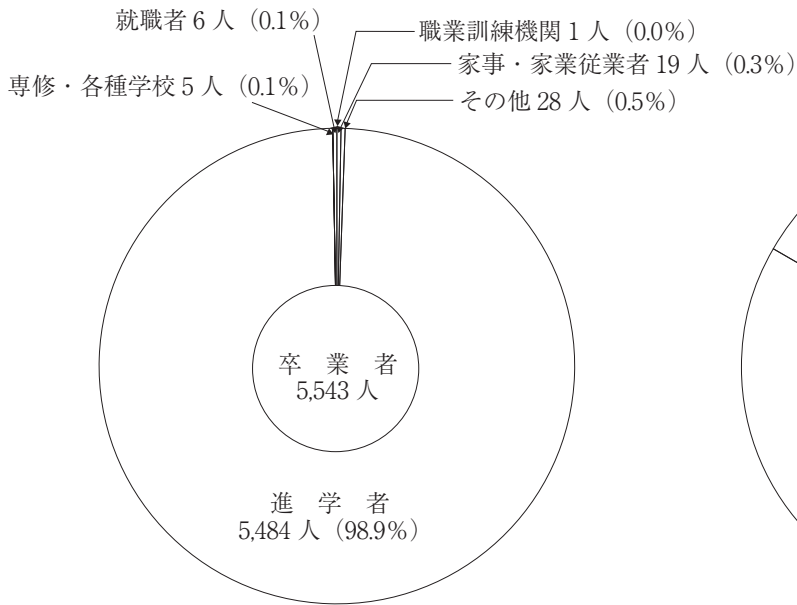
(12)大学院・専攻科

(令和6年5月1日現在)

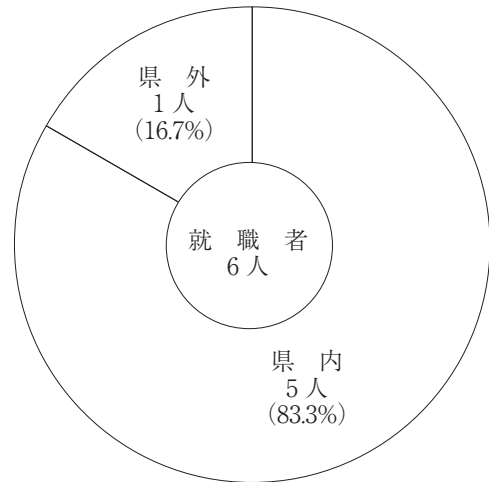
区分	大学名	科 名	学生数	所在地	電話
国立	鹿 児 島 大 学	人 文 社 会 科 学 研 究 科	85	郡元一丁目21-30	285-7111
		教 育 学 研 究 科	42	郡元一丁目20-6	〃
		保 健 学 研 究 科	77	桜ヶ丘八丁目35-1	275-5111
		理 工 学 研 究 科	640	郡元一丁目21-40	285-7111
		農 林 水 産 学 研 究 科	220	下荒田四丁目50-20	285-4111
		医 歯 学 総 合 研 究 科	328	桜ヶ丘八丁目35-1	275-5111
		臨 床 心 理 学 研 究 科	32	郡元一丁目21-30	285-7111
		連 合 農 学 研 究 科	107	郡元一丁目21-24	〃
		共 同 獣 医 学 研 究 科	43	〃	〃
		経 済 学 研 究 科	31	坂之上八丁目34-1	261-3211
私立	鹿 児 島 国 際 大 学	福 祉 社 会 学 研 究 科	14		
		国 際 文 化 研 究 科	36		
	志 學 館 大 学	心 理 臨 床 学 研 究 科 心 理 臨 床 学 専 攻	30	紫原一丁目59-1	812-8501

2. 学校教育

(1) 令和5年度進路状況（市立中学校）



(2) 令和5年度地域別就職状況（市立中学校）



(3) 年度別進路状況（市立中学校） ※令和4年度から進学者に通信制高校進学を含む。

年度	卒業者	進学者	割合	就職者	割合	専修 各種 学校	割合	職業 訓練 機関	割合	家 事 従 事 者	割合	その他	割合
平20年度	5,936	5,793	97.6%	7	0.1%	10	0.2%	2	0.0%	29	0.5%	93	1.6%
平21年度	5,915	5,793	97.9%	8	0.1%	12	0.2%	2	0.0%	20	0.3%	77	1.3%
平22年度	5,465	5,359	98.1%	4	0.1%	4	0.1%	4	0.1%	33	0.6%	53	1.0%
平23年度	5,535	5,400	97.6%	6	0.1%	1	0.0%	0	0.0%	34	0.6%	88	1.6%
平24年度	5,539	5,407	97.6%	10	0.2%	5	0.1%	1	0.0%	28	0.5%	85	1.5%
平25年度	5,442	5,296	97.3%	10	0.2%	4	0.1%	3	0.1%	22	0.4%	107	2.0%
平26年度	5,334	5,171	96.9%	13	0.2%	10	0.2%	5	0.1%	25	0.4%	110	2.1%
平27年度	5,389	5,234	97.1%	25	0.5%	4	0.1%	1	0.0%	7	0.1%	118	2.1%
平28年度	5,377	5,246	97.6%	14	0.2%	1	0.0%	5	0.1%	5	0.1%	106	2.0%
平29年度	5,343	5,160	96.6%	7	0.1%	4	0.1%	1	0.0%	5	0.1%	166	3.1%
平30年度	5,326	5,158	96.8%	5	0.1%	1	0.0%	3	0.0%	15	0.3%	144	2.7%
令元年度	5,205	5,009	96.2%	5	0.1%	3	0.1%	1	0.0%	29	0.6%	158	3.0%
令2年度	5,055	4,868	96.3%	9	0.2%	7	0.1%	2	0.0%	7	0.1%	162	3.2%
令3年度	5,399	5,138	95.2%	2	0.0%	6	0.1%	2	0.0%	11	0.2%	240	4.4%
令4年度	5,297	5,245	99.0%	12	0.2%	2	0.0%	0	0.0%	11	0.2%	27	0.5%
令5年度	5,543	5,484	98.9%	6	0.1%	5	0.1%	1	0.0%	19	0.3%	28	0.5%

(4)不登校・いじめの状況

① 不登校（年間30日以上欠席）の人数

(単位：人)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 ※確定前
小 学 校	149	165	302	520	670
中 学 校	508	532	852	1,051	1,226
小 ・ 中 合 計	657	697	1,154	1,571	1,896
市 立 高 等 学 校	30	35	18	23	47
総 計	687	732	1,172	1,594	1,943

※国、県の精査中であるため、令和5年度は確定前数値

② いじめの認知件数

(単位：件)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 ※確定前
小 学 校	551	500	706	1,064	1,231
中 学 校	319	272	354	544	914
小 ・ 中 合 計	870	772	1,060	1,608	2,145
市 立 高 等 学 校	18	19	41	24	34
総 計	888	791	1,101	1,632	2,179

※国、県の精査中であるため、令和5年度は確定前数値

(5)青少年育成センター街頭声かけ実績

(単位：回・人)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実 施 回 数	1,385	1,410	1,247	1,447	1,420
声 かけ 従 事 者 数	3,528	3,029	2,708	3,041	2,989
声 かけ 少 年 数	5,824	5,010	5,156	6,852	7,530

(6)不就学児童生徒

(令和6年5月1日現在) (単位：人)

区 分	小 学 校			中 学 校			総 計
	猶 予	免 除	計	猶 予	免 除	計	
肢 体 不 自 由	0	0	0	0	0	0	0
虚 弱（病 弱）	0	0	0	0	0	0	0
知 的 障 害	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0

(7) 就学援助事業

義務教育の円滑な実施のため、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、学校給食費及び修学旅行費などの援助を行う。

〈就学援助等児童生徒内容〉

※要保護の人員は、教育扶助のうち就学援助で修学旅行費を援助した人数

※準要保護（小学校）の人員は、入学前支給児童（新入学学用品費）を除く。

（平成30：1,124人、令和元：1,058人、令和2：1,068人、令和3：1,097人、令和4：997人、令和5：942人）

小学校

（各年度3月31日現在）

年 度	児童数 (各年度5.1現在)	要保護		準要保護		計	
		人 員	扶助率	人 員	扶助率	人 員	扶助率
平成30	34,262人	87人	0.3%	8,224人	24.0%	8,311人	24.3%
令和元	34,198	92	0.3	7,881	23.0	7,973	23.3
令和2	34,029	109	0.3	7,663	22.5	7,772	22.8
令和3	33,672	81	0.2	7,383	21.9	7,464	22.2
令和4	33,419	87	0.3	7,042	21.1	7,129	21.3
令和5	33,042	73	0.2	6,601	20.0	6,674	20.2

中学校

（各年度3月31日現在）

年 度	生徒数 (各年度5.1現在)	要保護		準要保護		計	
		人 員	扶助率	人 員	扶助率	人 員	扶助率
平成30	16,069人	91人	0.6%	3,729人	23.2%	3,820人	23.8%
令和元	16,153	93	0.6	3,667	22.7	3,760	23.3
令和2	16,222	54	0.3	3,612	22.3	3,666	22.6
令和3	16,657	67	0.4	3,617	21.7	3,684	22.1
令和4	16,685	97	0.6	3,535	21.2	3,632	21.8
令和5	16,837	73	0.4	3,450	20.5	3,523	20.9

小・中合計

（各年度3月31日現在）

年 度	児童生徒数 (各年度5.1現在)	要保護		準要保護		計	
		人 員	扶助率	人 員	扶助率	人 員	扶助率
平成30	50,331人	178人	0.4%	11,953人	23.7%	12,131人	24.1%
令和元	50,351	185	0.4	11,548	22.9	11,733	23.3
令和2	50,251	163	0.3	11,275	22.4	11,438	22.8
令和3	50,329	148	0.3	11,000	21.9	11,148	22.2
令和4	50,104	184	0.4	10,577	21.1	10,761	21.5
令和5	49,879	146	0.3	10,051	20.1	10,197	20.4

(8) 特別支援教育就学奨励事業

保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興に資するため、特別支援学級等に就学又は通級指導教室に通学する児童生徒の保護者に対して学用品費、学校給食費及び修学旅行費などの援助を行う。

（令和5年度実績 小学校1,031人、中学校284人、計1,315人）

(9) 遠距離通学費補助事業

鹿児島市立学校に校区内から通学する者（鹿児島市全域を通学区域とする学校に通学する者は除く。）のうち、片道の通学距離が小学校では4km以上、中学校では6km以上で、通常の通学方法として公共交通機関等を利用して通学する者の保護者を対象に経済的負担の軽減を図るため、1月当たりの通学定期券の購入費に相当する額を限度として通学費の補助を行う。

（令和5年度対象数）

小学校	中学校	計
5校 22人	4校 81人	9校 103人

(10) 安心安全通学費補助事業

鹿児島市立学校に校区内から通学する者（鹿児島市全域を通学区域とする学校に通学する者は除く。）のうち、片道の通学距離が小学校では4km未満、中学校では6km未満で、交通安全を理由に公共交通機関等を利用して通学する児童生徒の保護者を対象に経済的負担の軽減を図るため、1月当たりの通学定期券の購入費に相当する額の2分の1の額を限度として、通学費の一部の補助を行う。

（令和5年度対象数）

小学校	中学校	計
5校 78人	6校 250人	11校 328人

(11) 通級指導教室保護者交通費助成事業

通級指導教室に通級する児童生徒に付き添う保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興に寄与するため、その保護者の交通費について一部助成を行う。

保護者が、公共交通機関での児童生徒の通級に付き添う場合と、自家用車により通級指導教室へ児童生徒を送迎する場合を対象とする。（令和5年度実績 小学校202人、中学校8人、計210人）

(12) 校区外通学保護者交通費助成事業

過大規模校となっている中山小学校について、令和5年度から近隣校への校区外通学が可能になることに伴い、保護者に対して通学に係る経費の補助を実施する。（令和5年度実績 小学校32人、中学校3人、計35人）

(13) 奨学資金貸付基金制度

基金総額 298,013千円

年間貸付限度額 50,000千円

(1) 奨学金

ア 貸与月額

・国公立 18,000円

・私立 30,000円

イ 貸与者数 （令和5年度）29人

ウ 貸与期間 高等学校等の正規の修業期間

エ 返還方法 高等学校等卒業の翌月から6月据置き、貸与総額に応じて定められた年返還額を、年賦、半年賦、月賦等により返還する。

(2) 入学一時金

ア 貸与額

・国公立 40,000円

・私立 100,000円

イ 返還方法 高等学校等入学年度の10月から、卒業する月までの間に、半年賦、月賦等により返還する。

（奨学金貸与、返還状況）

（各年度3月31日現在）

年 度	貸与額	返還額
昭和25～平成20	687,366,820円	413,804,847円
21	38,644,000	25,480,974
22	33,824,600	26,483,012
23	29,783,700	28,705,452
24	26,047,500	27,597,575
25	23,748,000	26,504,416
26	26,234,000	27,637,390
27	23,578,000	30,781,557
28	19,408,000	27,825,446
29	14,516,000	27,877,195
30	11,240,000	26,011,630
令和元	13,508,000	25,095,720
2	11,972,000	26,009,995
3	12,240,000	26,505,484
4	11,430,000	28,349,885
5	9,274,000	27,191,672

(14) 市立高等学校、鹿児島玉龍中学校の授業料等

(令和6年4月1日現在)

区 分	授業料	入学検定料	入学料
高 等 学 校	(年額) 118,800円	2,200円	5,500円
鹿児島玉龍中学校	——	2,200円	——

(15) 市立小中学校の児童生徒数の推移

(各年度5月1日現在) (単位: 人)

年度 校種	平成元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
小学校	45,049	44,465	43,886	43,021	41,888	41,212	40,113	38,428	36,840	35,341	34,583	33,398
中学校	23,717	23,016	22,536	22,286	21,689	21,393	21,038	21,135	20,819	20,338	19,116	18,718
年度 校種	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
小学校	32,666	31,905	31,572	31,398	34,186	33,592	33,029	33,013	32,878	32,816	32,655	32,440
中学校	18,063	17,703	16,684	16,071	17,625	17,588	17,550	17,109	16,743	16,397	16,365	16,205
年度 校種	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
小学校	32,564	32,529	32,689	32,702	33,006	33,397	33,332	33,170	32,852	32,624	32,279	31,763
中学校	16,089	16,042	16,018	15,953	15,754	15,489	15,573	15,684	16,121	16,150	16,299	16,210

(16) 小規模校入学特別認可制度

豊富な自然環境に恵まれた小規模校の特性を生かし、心身の健康増進・体力づくりとともに、自然に触れる中で学ぶ楽しさを体験したい、豊かな人間性を培いたいと希望する保護者及び児童生徒に、一定の条件を付し、特別に入学（転学）を認める。

(対象校数及び利用児童生徒数（令和6年5月1日現在）)

小学校	中学校	計
14校 70人	5校 27人	19校 97人

3. 特別支援教育

(1) 特別支援学級の推移

(各年度5月1日現在)

校 種		年 度																
		平成20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
小 学 校	学 級 数	112	117	126	137	141	148	159	182	206	245	271	307	348	360	373	391	412
	1学級の人数	3.1	3.3	3.4	3.6	3.7	4.0	4.1	4.2	4.4	4.5	4.9	5.1	5.2	5.4	5.3	5.3	5.3
中 学 校	学 級 数	54	60	59	64	62	64	67	70	74	80	86	90	97	103	112	126	142
	1学級の人数	2.9	3.0	2.9	2.8	3.0	3.3	3.4	3.6	3.3	3.8	4.0	4.3	4.5	5.0	5.0	5.1	5.0

(2) 特別支援学級学年別入級児童生徒数

(令和6年5月1日現在)

校種 性別		小学校							中学校				総計
		1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	
男 子		223	319	280	302	282	254	1,660	185	184	131	500	2,199
女 子		72	92	84	91	104	96	539	66	69	73	208	708
計		295	411	364	393	386	350	2,199	251	253	204	708	2,907

(3) 通級指導教室児童生徒数の推移

(各年度5月1日現在)

年 度	設 置 校 数	教 室 数	教 員 数	小学校																								中学校										
				言語教室						自閉症・情緒教室												LD・ADHD 教室						聴覚 教室	LD、AD 併存児					自閉症・情緒教室				
				名 山	原 良	中 郡	谷 山	計 均	平 均	山 下	城 南	吉 野	谷 山	武 岡 台	紫 原	南	原 良	八 幡	宮 川	石 谷	福 平	計 均	平 均	山 下	川 上	中 山	計 均	平 均	山 下	甲 南	皇 徳 寺	玉 龍	計 均					
平20	7	16	16	34	27	31	35	127	31.8	10	-	-	15	-	-	-	-	-	-	25	12.5	8	5	8	21	7.0	8	-	-	-	-	-						
21	7	16	16	30	28	36	35	129	32.3	14	-	-	14	-	-	-	-	-	-	28	14.0	8	3	11	22	7.3	6	-	-	-	-	-						
22	7	17	17	37	33	41	30	141	35.3	19	-	-	15	-	-	-	-	-	-	34	17.0	9	6	9	24	8.0	6	-	-	-	-	-						
23	8	18	18	33	31	36	34	134	33.5	23	-	-	20	-	-	-	-	-	-	43	21.5	8	7	13	28	9.3	3	3	-	-	3	-						
24	8	19	19	33	32	37	30	132	33.0	35	-	-	18	-	-	-	-	-	-	53	26.5	3	12	19	34	11.3	4	4	-	-	4	-						
25	9	20	20	27	33	42	32	134	33.5	42	-	10	20	-	-	-	-	-	-	72	24.0	2	11	22	35	11.7	4	6	-	-	6	-						
26	9	20	20	32	34	39	30	135	33.8	56	-	13	19	-	-	-	-	-	-	88	29.3	3	13	29	45	15.0	3	5	-	-	5	-						
27	10	21	21	36	37	40	34	147	36.8	56	12	17	28	-	-	-	-	-	-	113	28.3	2	13	37	52	17.3	2	8	-	-	8	-						
28	11	22	22	34	39	42	37	152	38.0	53	19	17	32	12	-	-	-	-	-	133	26.6	6	13	45	64	21.3	2	4	-	-	4	-						
29	13	24	24	38	38	34	40	150	38.0	49	17	16	27	20	12	8	-	-	-	149	21.3	3	16	42	61	20.3	3	8	-	-	8	-						
30	13	25	25	34	37	39	35	145	36.3	46	20	20	37	20	21	18	7	-	-	189	23.6	4	16	46	66	22.0	3	7	-	-	7	-						
令和元	14	26	26	33	39	39	29	140	35.0	42	12	16	50	22	19	21	20	4	-	206	22.9	2	16	48	66	22.0	3	9	-	-	9	-						
2	15	27	27	33	49	41	45	168	42.0	42	14	19	44	15	20	22	19	18	5	-	218	21.8	2	13	50	65	21.6	1	8	-	-	8	-					
3	15	27	27	36	48	38	47	169	42.3	41	11	13	40	20	19	22	19	18	13	-	216	21.6	8	12	53	73	24.3	-	10	-	-	10	-					
4	16	28	29	38	48	40	37	163	40.5	34	14	20	32	17	19	22	16	19	18	-	211	21.1	20	19	38	77	25.7	-	13	7	-	20	10					
5	17	29	29	42	40	39	23	144	36.0	36	16	26	39	19	20	19	17	19	9	13	-	233	21.2	17	24	41	82	27.3	-	11	5	-	16	8				
6	19	32	32	40	55	42	31	168	42.0	34	14	36	37	17	20	15	17	28	16	17	9	260	21.7	13	24	42	79	26.3	-	11	7	3	21	7				

4. 保健体育

(1) 令和5年度本市児童生徒の体力・運動能力調査結果

※平成11年度から「新体力テスト」の内容で実施した。

※全国平均は令和5年度に実施した全国の抽出校の平均である。

※ボール投げ（小学校はソフトボール、中学校はハンドボール）

① 本市の平均値と全国・県との比較

本市の男子と全国・県との比較（平均値）

学校・学年	値	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20mシャ トルラン	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
小学校 2年 7歳	全国	10.83	14.40	28.14	31.12	28.01	10.65	127.40	11.80
	県	10.23	12.81	28.73	29.35	24.55	10.96	122.40	11.59
	市	9.72	11.88	28.67	30.16	23.88	10.94	126.36	10.49
小学校 4年 9歳	全国	14.43	17.91	31.55	38.47	43.91	9.70	144.48	18.47
	県	13.54	16.00	30.63	35.43	38.02	9.90	141.60	18.43
	市	12.80	14.57	29.90	34.24	35.44	9.77	146.53	18.27
小学校 5年 10歳	全国	16.72	19.95	33.63	42.13	50.40	9.34	154.62	21.87
	県	15.84	17.79	32.26	39.44	46.23	9.50	146.70	21.38
	市	14.86	17.02	32.05	38.56	44.94	9.48	147.20	20.55
小学校 6年 11歳	全国	19.88	22.07	36.20	45.55	59.46	8.85	166.70	25.80
	県	18.74	19.89	35.00	43.00	55.36	9.12	157.98	24.46
	市	17.65	19.29	36.72	42.23	55.67	9.06	161.63	23.61
中学校 1年 12歳	全国	24.30	23.48	41.68	49.80	68.91	8.42	184.99	18.34
	県	23.28	22.11	39.04	46.71	64.41	8.67	177.43	19.39
	市	23.48	22.20	37.31	46.34	62.94	8.64	176.11	18.90
中学校 2年 13歳	全国	30.24	26.42	45.16	53.02	82.63	7.82	203.14	21.41
	県	28.30	24.85	42.47	49.88	77.45	8.15	196.33	21.34
	市	28.35	24.67	42.44	49.16	77.06	8.15	196.68	20.96

本市の女子と全国・県との比較（平均値）

学校・学年	値	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20mシャ トルラン	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
小学校 2年 7歳	全国	10.16	13.69	30.78	30.07	20.93	10.99	117.82	7.59
	県	9.65	12.65	31.26	28.39	19.54	11.23	114.69	7.25
	市	9.03	11.49	31.24	28.97	19.53	11.27	116.60	6.75
小学校 4年 9歳	全国	14.02	17.32	35.23	36.76	33.12	9.97	137.53	11.83
	県	13.11	15.28	33.99	33.49	30.14	10.22	133.08	11.46
	市	12.14	13.74	33.05	32.58	27.42	10.25	135.48	10.93
小学校 5年 10歳	全国	16.56	18.89	38.40	40.37	40.24	9.56	147.39	13.78
	県	15.73	17.12	36.08	37.44	37.53	9.75	142.45	13.92
	市	14.41	16.03	35.91	36.73	34.14	9.85	141.94	12.75
小学校 6年 11歳	全国	19.36	19.89	40.92	42.66	44.43	9.21	155.26	15.76
	県	18.58	18.12	38.91	40.83	44.42	9.38	148.96	15.88
	市	17.54	16.66	39.84	39.39	43.38	9.38	150.54	14.74
中学校 1年 12歳	全国	21.93	20.76	44.04	45.77	48.37	9.02	167.52	11.66
	県	21.01	18.89	41.46	43.13	46.17	9.23	159.40	11.28
	市	21.36	18.50	41.58	42.30	44.27	9.27	155.84	10.50
中学校 2年 13歳	全国	23.90	22.18	46.51	47.12	53.74	8.78	172.45	13.22
	県	22.98	21.01	43.93	45.12	51.94	9.02	166.98	12.44
	市	23.01	20.64	43.67	44.82	53.26	9.06	165.71	11.81

② 全国と県・本市との比較（偏差値）

全国の男子と県・本市との比較（偏差値）

学校・学年	値	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20mシャ トルラン	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
小学校 2年 7歳	全国	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	県	47.56	47.19	50.84	47.22	47.47	46.23	47.29	49.54
	市	45.50	45.54	50.76	48.50	46.98	46.47	49.43	47.11
	全国標準偏差	2.47	5.66	6.99	6.36	13.67	0.83	18.44	4.54
小学校 4年 9歳	全国	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	県	47.18	46.60	48.73	45.89	46.92	47.71	48.49	49.94
	市	44.83	44.06	47.73	44.29	45.57	49.21	51.07	49.71
	全国標準偏差	3.16	5.63	7.27	7.41	19.11	0.87	19.11	6.96
小学校 5年 10歳	全国	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	県	47.62	46.10	48.31	46.33	48.07	48.23	46.22	49.42
	市	44.96	44.71	48.05	45.13	47.48	48.45	46.46	48.42
	全国標準偏差	3.69	5.53	8.10	7.33	21.65	0.91	20.94	8.36
小学校 6年 11歳	全国	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	県	47.61	45.93	48.60	46.44	48.20	47.04	46.17	48.57
	市	45.34	44.81	50.61	45.37	48.33	47.70	47.77	47.66
	全国標準偏差	4.79	5.36	8.54	7.18	22.76	0.90	22.75	9.37
中学校 1年 12歳	全国	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	県	48.34	47.48	47.29	45.62	48.14	46.72	46.97	51.98
	市	48.66	47.64	45.51	45.09	47.53	47.12	46.44	51.06
	全国標準偏差	6.15	5.44	9.74	7.05	24.19	0.75	24.95	5.30
中学校 2年 13歳	全国	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	県	47.36	47.16	47.44	45.83	47.80	44.98	47.29	49.89
	市	47.43	46.84	47.41	44.88	47.63	44.98	47.43	49.24
	全国標準偏差	7.32	5.54	10.50	7.53	23.51	0.66	25.13	5.92

全国の女子と県・本市との比較（偏差値）

学校・学年	値	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20mシャ トルラン	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
小学校 2年 7歳	全国	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	県	47.80	48.04	50.65	46.99	48.52	47.18	48.24	48.65
	市	45.12	45.86	50.63	48.03	48.51	46.71	49.31	46.65
	全国標準偏差	2.31	5.32	7.27	5.59	9.44	0.85	17.74	2.50
小学校 4年 9歳	全国	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	県	47.13	45.94	48.44	45.36	47.99	46.88	47.68	49.04
	市	44.05	42.88	47.25	44.07	46.16	46.51	48.93	47.68
	全国標準偏差	3.15	5.04	7.95	7.05	14.83	0.81	19.16	3.87
小学校 5年 10歳	全国	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	県	47.78	46.30	47.13	45.80	48.35	47.73	47.61	50.31
	市	44.23	44.03	46.92	44.78	46.28	46.51	47.36	47.78
	全国標準偏差	3.72	4.79	8.08	6.98	16.39	0.82	20.61	4.62
小学校 6年 11歳	全国	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	県	48.14	46.53	47.83	47.17	49.99	47.79	47.03	50.23
	市	45.65	43.67	48.83	44.95	49.41	47.79	47.77	48.10
	全国標準偏差	4.18	5.11	9.30	6.48	17.93	0.77	21.19	5.37
中学校 1年 12歳	全国	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	県	47.99	46.63	47.34	45.67	48.85	47.28	46.31	49.02
	市	48.75	45.93	47.46	44.31	47.86	46.75	44.69	47.02
	全国標準偏差	4.60	5.55	9.70	6.10	19.20	0.75	22.01	3.90
中学校 2年 13歳	全国	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	県	47.98	47.94	47.45	46.82	49.12	46.76	47.56	48.14
	市	48.04	47.29	47.20	46.34	49.77	46.21	46.99	46.65
	全国標準偏差	4.54	5.69	10.15	6.29	20.36	0.73	22.42	4.22

(2)本市における児童生徒の体格と疾病等

① 体格の平均値（令和5年度）※全国、県は令和4年度の学校保健統計調査による

性別	項目	校 種		小学校						中学校			高等学校		
		区 分	年 齢	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男 子	身 長 (cm)	全 国		117.0	122.9	128.5	133.9	139.7	146.1	154.0	160.9	165.8	168.6	169.9	170.7
		県		116.8	122.0	127.3	133.4	138.8	145.0	152.8	160.0	165.2	168.1	169.6	169.0
		市		116.3	122.2	128.1	133.3	138.6	145.5	153.5	160.3	165.5	168.8	169.5	170.8
	体 重 (kg)	全 国		21.8	24.6	28.0	31.5	35.7	40.0	45.7	50.6	55.0	59.1	60.7	32.5
		県		22.0	24.3	27.1	31.1	35.1	39.3	44.6	49.8	54.5	59.7	60.1	61.9
		市		21.4	24.1	27.6	30.9	34.8	39.3	45.2	49.4	54.3	60.8	61.7	64.4

性別	項目	校 種		小学校						中学校			高等学校		
		区 分	年 齢	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
女 子	身 長 (cm)	全 国		116.0	122.0	128.1	134.5	141.4	147.9	152.2	154.9	156.5	157.2	157.7	158.0
		県		115.2	121.2	127.3	134.1	140.2	147.1	152.0	154.5	156.1	156.6	157.1	157.7
		市		115.4	121.3	127.5	134.1	140.5	147.2	151.8	154.5	156.3	157.3	157.6	158.7
	体 重 (kg)	全 国		21.3	24.0	27.3	31.1	35.5	40.5	44.5	47.7	49.9	51.2	52.1	52.5
		県		21.0	23.9	27.0	30.4	34.2	39.7	45.1	47.5	50.2	51.5	51.6	53.0
		市		21.1	23.6	26.8	30.6	34.6	39.6	44.3	47.5	49.6	52.0	52.2	52.3

② 市立学校児童生徒 疾病・異常被患率（令和5年度）

（単位：％）

項目		校 種 性 別	小学校			中学校			高等学校		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
視 力	0.7以 上1.0未 満 の 者		10.5	12.4	11.4	10.6	9.7	10.2	7.0	4.6	5.6
	0.3以 上0.7未 満 の 者		9.8	10.7	10.3	13.0	11.5	12.3	9.0	6.7	7.7
	0.3 未 満 の 者		3.7	4.2	3.9	8.5	7.5	8.0	6.2	2.0	3.8
	1.0未 満 の 者 の 合 計		24.0	27.3	25.6	32.1	28.7	30.5	22.3	13.4	17.2
難 聴			0.5	0.8	0.7	0.3	0.4	0.3	1.6	0.6	1.0
眼 検 査	伝 染 性 眼 疾 患 の 者		0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の眼疾患・異常の者		6.3	5.1	5.7	7.0	4.4	5.7	2.9	3.3	3.1
耳の 鼻 咽 頭 査	耳 疾 患 の 者		8.5	8.7	8.6	7.8	5.9	6.9	7.4	3.8	5.4
	鼻・副鼻腔疾患の者		24.2	12.9	18.7	18.6	12.7	15.7	18.5	14.9	16.5
	口腔咽喉頭疾患・異常の者		0.3	0.3	0.3	1.6	1.1	1.4	0.5	0.0	0.2
歯・ 口 腔 の 検 査	処 置 完 了 者		19.9	18.9	19.4	19.4	22.6	20.9	18.9	25.8	22.8
	未 処 置 歯 の ある 者		20.1	18.4	19.2	17.3	17.7	17.5	22.6	34.0	29.2
	計		39.9	37.3	38.7	36.6	40.3	38.4	41.5	59.8	52.0
	歯列・咬合に異常のある者		3.7	3.6	3.6	5.5	5.8	5.7	3.9	4.8	4.4
	顎関節に異常のある者		0.0	0.1	0.1	2.6	2.8	2.7	0.0	0.8	0.5
	歯垢の状態に異常のある者		2.7	2.2	2.4	11.6	9.3	10.5	2.7	2.2	2.4
	歯肉の状態に異常のある者		1.7	1.5	1.6	11.3	9.6	10.5	6.1	4.6	5.2
	その他の疾病・異常の者		8.3	8.4	8.3	7.2	6.1	6.7	1.9	1.2	1.5
結 核	結核の精密検査の対象者		0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
	結 核		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
尿 検 査	蛋 白 検 査		0.3	0.6	0.4	1.8	1.2	1.5	3.5	3.0	3.2
	尿 糖 検 査		0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.2
栄 養 不 良			0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0
肥 満 傾 向			3.5	2.2	2.9	1.7	1.3	1.5	0.0	0.0	0.0
せき柱側わん・せき柱側わん症			0.2	0.3	0.3	0.2	0.6	0.4	0.9	0.1	0.4
その他のせき柱・胸郭異常の者			0.2	0.2	0.2	0.5	0.3	0.4	13.8	1.5	6.8
ア ト ピ ー 性 皮 膚 疾 患			1.1	1.0	1.1	1.3	0.8	1.1	0.3	0.0	0.1
そ の 他 の 皮 膚 疾 患			0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
心 臓 疾 患 ・ 異 常 の 者			0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	0.3	0.1	0.2
心 電 図 異 常 の 者			1.8	1.1	1.4	2.1	1.4	1.7	0.4	3.4	2.2
ぜ ん 息 の 者			1.6	1.1	1.3	1.2	0.8	1.0	0.0	0.0	0.0
腎 臓 疾 患 の 者			0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.6	0.5	0.6
言 語 障 害 の 者			0.2	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常 の 者			1.4	1.0	1.2	0.6	0.5	0.5	0.0	0.1	0.1

* 高等学校の欄は、鹿児島市立3校高等学校の割合（％）で示してある。

(3)児童生徒の学校管理下における事故の実態（令和5年度）

① 負傷・疾病

(単位：件)

		小学校	中学校	高校	幼稚園	合計
負傷	骨折	501	518	49		1,068
	捻挫	453	392	35		880
	脱臼	76	31	12		119
	挫傷・打撲	789	478	46		1,313
	靱帯損傷・断裂	73	155	27		255
	挫創	135	30	8		173
	切創	34	17	3	1	55
	刺創	10	3	1		14
	割創	6	1	0		7
	裂創	28	4	1		33
	擦過傷	27	8	2		37
	熱傷・火傷	21	7	0		28
	歯牙破折	17	6	0		23
	その他	0	2	0		2
	小計	2,170	1,652	184	1	4,007
疾病		121	98	33		252
負傷・疾病の合計		2,291	1,750	217	1	4,259

② 場合別状況

(単位：件)

	小学校	中学校	高校	幼稚園	合計
各教科等	674	478	37	1	1,190
特別活動（除学校行事）	181	38	0		219
学校行事	77	89	23		189
課外指導	9	729	136		874
休憩時間	1,136	367	14		1,517
通学中（通園中）	214	49	7		270
合計	2,291	1,750	217	1	4,259

③ 場所別状況

(単位：件)

	小学校	中学校	高校	幼稚園	合計
学校内・校舎内（園内・園舎内）	977	790	88		1,855
学校内・校舎外（園内・園舎外）	1,049	679	70	1	1,799
学校外（園舎外）	265	281	59		605
合計	2,291	1,750	217	1	4,259

(4)児童生徒の交通事故の実態

① 年度別学年別発生状況

(単位：人)

② 状態別発生状況（単位：人）

校種 学年 年度	小学校							中学校				高等学校				小中高 合計
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
平26	4	8	6	8	5	6	37	2	8	0	10	2	2	1	5	52
27	8	9	4	2	6	4	33	1	2	7	10	2	1	1	4	47
28	12	9	7	9	6	13	56	4	3	6	13	0	0	1	1	70
29	15	9	13	8	7	5	57	6	5	8	19	1	0	0	1	77
30	11	8	10	6	6	4	45	4	1	6	11	2	2	1	5	61
令元	13	8	3	10	7	3	44	5	4	5	14	1	1	1	3	61
2	9	8	4	7	5	3	36	3	6	0	9	4	1	0	5	50
3	7	6	5	4	1	4	27	6	5	6	17	1	3	0	4	48
4	5	7	4	4	4	3	27	6	2	3	11	2	1	1	4	42
5	10	10	6	7	3	6	42	9	2	4	15	3	0	3	6	63

校種	状態	歩行中			自転車乗車中	その他（車同乗など）	計
		横断中	横断歩道上	横断歩道外			
小学校		11	5	10	11	5	42
中学校		2	0	0	11	2	15
高等学校		0	0	0	6	0	6
計		13	5	10	28	7	63
割合（％）		20.6	7.9	15.9	44.4	11.1	100

(5) 学校給食調理方式別実施状況

(令和6年5月1日現在)

方式 区分 校種	自校方式校		センター校		計	
	実施 学校数	児童 生徒数	実施 学校数	児童 生徒数	実施 学校数	児童 生徒数
小学校	47	22,403	31	9,360	78	31,763
中学校	14	5,589	24	10,264	38	15,853
計	61	27,992	55	19,624	116	47,616

(6) 学校給食費（令和6年度）

(1人1食当たり平均予定額)

方式 区分 校種	自校方式校		センター校	
	小学校	中学校	小学校	中学校
食 材 料 費	円 米 飯 代 62.92	円 牛 乳 代 74.81	円 小 学 校 66.24	円 中 学 校 74.15
	円 お か ず 代 171.60	円 小 学 校 210.95	円 小 学 校 154.22	円 中 学 校 194.89
	円 小 学 校 293.87	円 中 学 校 345.11	円 小 学 校 279.81	円 中 学 校 328.39
	円 小 学 校 1.65	円 中 学 校 1.06	円 小 学 校 1.00	円 中 学 校 1.00
合 計	295.52	346.17	280.81	329.39

(7) 試食会及びバイキング給食の実施状況（令和5年度）

種類 実施 校数等	試食会			バイキング給食等		
	小 学 校	中 学 校	合 計	小 学 校	中 学 校	合 計
実施校数	30校	17校	47校	30校	1校	31校
実施回数	40回	22回	62回	30回	1回	31回

(8) 地場産物活用状況（令和5年度）

食材分類	県内産活用率（%）
獣 鳥 肉 類	84.9
魚 介 類	75.5
卵 類	69.0
いも類野菜類	61.1
果 実 類	53.3
そ の 他	39.1
計	61.8

(9) 食物アレルギーの実態

年 度	児童生徒数	割 合	主な原因食品
令和3	1,085人	2.2%	・卵 ・牛乳 ・えび ・かに ・種実、木の実等
令和4	1,143人	2.4%	
令和5	1,176人	2.4%	

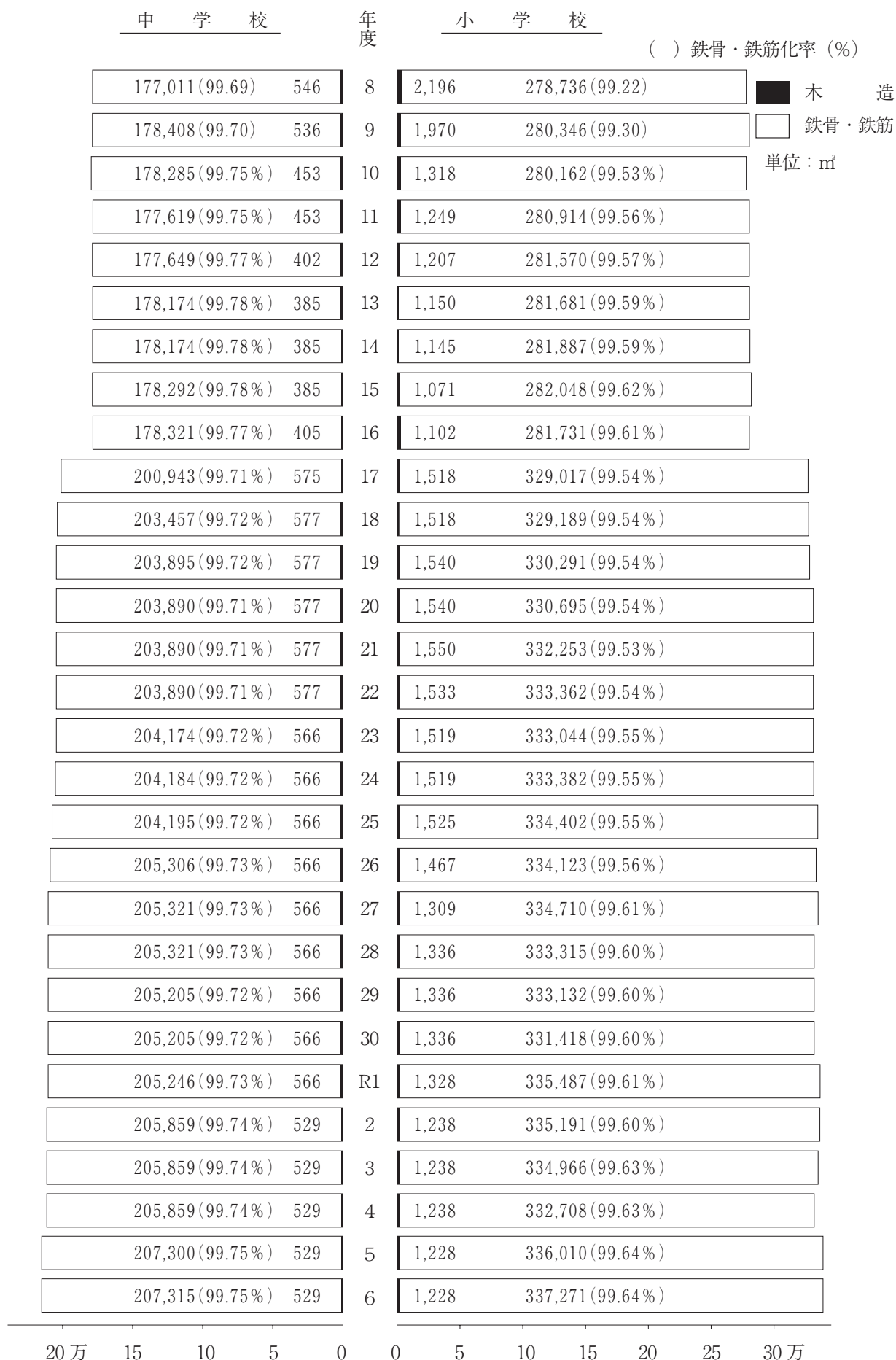
5. 学校施設

(1) 学校施設の整備状況

※令和6年度は当初予算（繰越含む）

区 分 \ 年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費	事業費	事業費
小学校	校舎・屋体等整備	千円 1,073,130	千円 1,391,494	千円 2,819,468
	空調設備整備	222,046	295,064	212,526
	太陽光発電装置	-	-	-
	緑化推進	1,810	2,663	2,471
	校舎建替	893,102	647,615	633,945
	給食室の整備	8,041	-	9,798
	プールの整備	119,191	146,726	137,444
	体育施設等の整備	-	-	3,074
	特別支援学級施設設備の整備	36,382	29,586	18,338
	維持・管理・補修	816,356	896,112	533,666
	施設安全対策	-	0	-
	小計	3,170,058	3,409,260	4,370,730
中学校	校舎・屋体等整備	554,386	875,829	1,890,987
	空調設備整備	129,860	112,044	168,048
	太陽光発電装置	20,176	32,044	44,085
	緑化推進	337	873	812
	校舎建替	-	23,679	576,172
	給食室の整備	-	8,796	-
	プールの整備	12,246	15,019	10,079
	体育施設等の整備	115,536	37,345	6,189
	特別支援学級施設設備の整備	24,820	16,777	5,600
	維持・管理・補修	476,735	497,786	322,362
	施設安全対策	-	-	-
	小計	1,334,096	1,620,192	3,024,334
高校	校舎・屋体等整備	-	26,081	23,155
	空調設備整備	52,517	47,428	23,551
	緑化推進	328	318	560
	プールの整備	-	-	-
	体育施設等の整備	-	-	27,118
	維持・管理・補修	65,215	145,375	182,606
	施設安全対策	-	-	-
	小計	118,060	219,202	256,990
幼稚園	緑化推進	-	-	-
	維持・管理・補修	4,383	4,457	4,234
	園舎整備	-	-	-
	クーラー設置・更新	-	-	-
	小計	4,383	4,457	4,234
学校校庭降灰除去		2,319	8,225	65,000
学校施設災害復旧		11,562	3,846	12,000
合計		4,640,478	5,265,182	7,733,288

(2)建物（校舎）の構造別保有状況（各年度5月1日現在）



※木造，鉄骨は鉄筋換算後

(空白のページ)

(3) 学校別施設の現況

① 幼稚園

(令和6年5月1日現在)

幼稚園名		校地面積 (㎡)				建物面積 (㎡)			
						校舎 (鉄筋換算)			
		建 物	運動場	その他	計	鉄 筋	鉄 骨	木 造	計
1	宮 川 幼	399	162	－	561	－	－	102	102
2	皆 与 志 幼	180	206	－	386	－	－	88	88
3	桜 峰 幼	450	596	701	1,747	426	－	－	426
4	松 元 幼	1,087	1,963	425	3,475	437	221	7	665
計		2,116	2,927	1,126	6,169	863	221	197	1,281

② 小学校

学校名		校地面積 (㎡)				建物面積 (㎡)							
						校舎 (鉄筋換算)				屋内運動場			
		建物	運動場	その他	計	鉄筋	鉄骨	木造	計	鉄筋	鉄骨	木造	計
1	吉 田 小	12,214	3,348	6,080	21,642	3,668	－	10	3,678	894	－	－	894
2	本 名 小	5,907	3,315	2,172	11,394	2,679	－	12	2,691	899	－	－	899
3	宮 小	3,690	3,375	2,091	9,156	1,992	－	12	2,004	581	－	－	581
4	本 城 小	4,300	3,802	1,822	9,924	1,401	－	－	1,401	659	－	－	659
5	牟礼岡小	3,521	6,054	5,481	15,056	3,729	60	6	3,795	716	－	－	716
6	南 方 小	4,634	5,627	1,890	12,151	1,807	24	－	1,831	677	－	－	677
7	花 尾 小	4,511	7,274	926	12,711	1,912	65	－	1,977	664	－	－	664
8	郡 山 小	9,101	14,761	777	24,639	4,352	49	－	4,401	850	－	－	850
9	川 上 小	8,513	9,880	105	18,498	5,331	11	10	5,352	841	－	－	841
10	吉 野 小	11,654	7,180	205	19,039	7,051	－	15	7,066	868	－	－	868
11	吉野東小	8,080	12,805	5,402	26,287	6,044	11	10	6,065	862	－	－	862
12	大明丘小	6,260	7,599	2,274	16,133	4,151	11	13	4,175	919	－	－	919
13	坂 元 小	7,883	7,200	5,681	20,764	5,111	60	10	5,181	911	－	－	911
14	坂元台小	9,203	7,811	5,826	22,840	4,546	11	10	4,567	719	－	－	719
15	清 水 小	6,488	6,991	－	13,479	5,198	11	26	5,235	845	－	－	845
16	大 龍 小	9,550	4,790	－	14,340	5,184	－	－	5,184	780	－	－	780
17	名 山 小	7,791	7,403	－	15,194	3,131	－	10	3,141	719	－	－	719
18	山 下 小	6,299	7,222	－	13,521	4,594	8	10	4,612	863	－	－	863
19	松 原 小	5,350	9,433	－	14,783	4,039	11	20	4,070	863	－	－	863
20	城 南 小	7,321	5,480	－	12,801	4,171	11	10	4,192	941	－	－	941
21	草牟田小	7,307	10,609	1,115	19,031	5,264	38	10	5,312	1,215	－	－	1,215
22	原 良 小	8,713	10,972	－	19,685	6,915	11	10	6,936	－	863	－	863
23	明 和 小	9,639	12,192	1,427	23,258	6,207	32	－	6,239	855	－	－	855
24	武 岡 小	8,111	10,850	900	19,861	5,716	75	－	5,791	852	－	－	852
25	武岡台小	12,207	14,982	22,023	49,212	4,998	11	10	5,019	863	－	－	863
26	西 田 小	8,110	8,577	1,017	17,704	5,461	11	83	5,555	845	－	－	845
27	武 小	8,643	14,778	－	23,421	4,233	11	43	4,287	1,215	－	－	1,215
28	田 上 小	8,117	5,774	－	13,891	6,152	－	－	6,152	1,215	－	－	1,215
29	西 陵 小	7,271	10,112	430	17,813	4,873	487	－	5,360	780	85	－	865
30	広 木 小	6,084	8,950	8,498	23,532	5,363	33	10	5,406	1,215	－	－	1,215
31	中 洲 小	5,212	8,762	－	13,974	3,908	－	22	3,930	845	－	－	845
32	荒 田 小	6,349	5,009	－	11,358	3,868	17	－	3,885	845	－	－	845
33	八 幡 小	9,114	9,353	－	18,467	5,672	39	－	5,711	845	－	－	845
34	中 郡 小	7,158	5,653	－	12,811	4,358	11	10	4,379	863	－	－	863
35	紫 原 小	8,755	8,755	649	18,159	5,082	228	10	5,320	863	－	－	863

(令和6年5月1日現在)

学校名	保有教室数										プール (m、㎡)						
	普通	特 別									建設年	本プール				補 助 プール	
		計	理科	音楽	図工	家庭	コンピ	視聴	図書	その他		構 造	長	巾	面積		
吉 田 小	8	8	1	1	1	1	1	0	1	2	—	—	—	—	—	76	※
本 名 小	10	6	1	1	0	1	0	0	1	2	令元	ス テ ン レ ス	25	11	275	88	
宮 小	9	6	1	1	0	1	1	0	1	1	平22	〃	25	9	225	75	
本 城 小	4	9	1	1	0	1	0	1	1	4	57	〃	25	9	225	30	
牟礼岡小	8	8	1	1	1	1	0	0	1	3	平 9	〃	25	16	400	40	
南 方 小	7	6	1	1	1	1	1	0	1	0	45	コンクリート	25	13	325	40	
花 尾 小	3	9	1	1	1	1	1	0	1	3	46	〃	25	13	325	40	
郡 山 小	12	13	1	1	1	1	1	1	1	6	平29	ス テ ン レ ス	25	10	250	75	
川 上 小	26	12	2	1	1	1	1	0	1	5	49	コンクリート	25	15	375	125	
吉 野 小	45	13	2	2	2	1	1	0	1	4	47	〃	25	13	325	150	
吉野東小	48	7	2	1	0	1	0	0	1	2	56	〃	25	15	375	120	
大明丘小	18	9	1	1	1	1	1	0	1	3	平12	ス テ ン レ ス	25	11	275	100	
坂 元 小	18	11	1	1	1	1	1	0	1	5	51	コンクリート	25	13	325	120	
坂元台小	20	8	1	1	1	1	1	0	1	2	60	ス テ ン レ ス	25	11	275	150	
清 水 小	24	8	1	2	1	1	0	0	1	2	58	〃	25	10.6	265	120	
大 龍 小	18	12	1	2	1	1	1	0	1	5	52	コンクリート	25	15	375	100	
名 山 小	15	12	1	1	0	1	1	0	1	7	60	ス テ ン レ ス	25	9.7	243	118	
山 下 小	20	8	1	2	0	1	0	0	1	3	平16	〃	25	10	250	125	
松 原 小	12	11	1	1	1	2	1	0	1	4	平12	〃	25	13	325	125	
城 南 小	14	8	1	1	1	1	1	0	1	2	平 4	〃	25	11	275	100	
草牟田小	23	7	1	1	0	1	1	0	1	2	45	コンクリート	25	15	375	72	
原 良 小	35	18	2	2	1	1	0	0	1	11	平10	ス テ ン レ ス	25	11	275	125	
明 和 小	17	16	2	2	2	1	1	0	1	7	51	ア ル ミ	25	15	375	150	
武 岡 小	13	14	1	2	1	1	1	0	1	7	50	コンクリート	25	11	275	150	
武岡台小	11	13	1	2	1	1	1	0	1	6	63	ス テ ン レ ス	25	11	275	150	
西 田 小	22	12	2	1	1	1	1	0	1	5	平28	〃	25	13	325	120	
武 小	26	6	2	1	0	1	0	0	1	1	平26	〃	25	13	325	100	
田 上 小	24	13	1	2	1	1	1	0	1	6	平13	〃	25	11	275	100	
西 陵 小	30	9	2	2	1	1	0	0	1	2	53	コンクリート	25	15	375	83	
広 木 小	32	9	1	2	1	1	1	0	1	2	51	ア ル ミ	25	15	375	120	
中 洲 小	16	11	1	1	1	1	0	1	1	5	令元	〃	25	11	275	100	
荒 田 小	17	8	1	1	1	1	0	0	1	3	平 8	ス テ ン レ ス	25	9	225	100	
八 幡 小	31	10	1	2	1	1	1	0	1	3	令 3	〃	25	13	325	100	
中 郡 小	20	9	1	1	1	1	0	0	1	4	52	〃	25	15	375	100	
紫 原 小	28	10	1	1	1	1	1	0	1	4	平26	〃	25	12	300	75	

※吉田小のプールは吉田北中と共用

学校名		校地面積（㎡）				建物面積（㎡）							
						校舎（鉄筋換算）				屋内運動場			
		建物	運動場	その他	計	鉄筋	鉄骨	木造	計	鉄筋	鉄骨	木造	計
36	西紫原小	10,585	9,840	－	20,425	5,429	11	80	5,520	1,100	－	－	1,100
37	鴨池小	12,121	12,403	－	24,524	5,616	11	10	5,637	863	－	－	863
38	南小	9,429	6,459	－	15,888	5,091	11	10	5,112	1,215	－	－	1,215
39	宇宿小	5,575	7,323	1,500	14,398	4,567	－	10	4,577	1,077	－	－	1,077
40	向陽小	4,611	11,377	524	16,512	4,297	9	10	4,316	860	－	－	860
41	伊敷小	7,877	8,640	－	16,517	4,761	12	10	4,783	1,048	－	－	1,048
42	花野小	5,972	10,988	3,423	20,383	5,305	11	10	5,326	845	－	－	845
43	西伊敷小	9,795	8,705	8,608	27,108	6,074	21	10	6,105	812	－	－	812
44	伊敷台小	9,898	7,636	－	17,534	5,482	10	10	5,502	863	－	－	863
45	玉江小	13,799	8,844	－	22,643	6,553	－	18	6,571	863	－	－	863
46	小山田小	5,240	4,848	1,896	11,984	2,701	111	34	2,846	650	57	－	707
47	犬迫小	3,790	4,818	－	8,608	1,994	－	－	1,994	530	－	－	530
48	皆与志小	5,412	3,181	453	9,046	1,680	58	10	1,748	650	－	－	650
49	東桜島小	4,278	4,724	203	9,205	1,571	－	－	1,571	650	－	－	650
50	高免小	982	1,137	－	2,119	389	41	－	430	－	－	－	－
51	黒神小	5,348	3,807	791	9,946	909	31	10	950	650	－	－	650
52	桜洲小	4,697	6,570	2,645	13,912	2,444	5	－	2,449	894	－	－	894
53	桜峰小	4,524	4,847	4,343	13,714	2,446	44	－	2,490	894	－	－	894
54	松元小	3,636	4,281	3,076	10,993	4,330	－	55	4,385	1,207	－	－	1,207
55	東昌小	4,474	3,420	4,815	12,709	1,655	9	33	1,697	680	－	－	680
56	春山小	5,340	10,659	2,434	18,433	4,398	38	10	4,446	676	64	－	740
57	石谷小	6,865	7,543	2,136	16,544	3,083	9	10	3,102	917	－	－	917
58	谷山小	11,123	11,754	－	22,877	7,701	45	37	7,783	1,046	－	－	1,046
59	西谷山小	9,666	9,446	－	19,112	5,036	78	29	5,143	780	－	－	780
60	東谷山小	10,982	13,713	852	25,547	6,148	33	57	6,238	1,215	－	－	1,215
61	清和小	6,530	11,178	1,454	19,162	5,767	412	37	6,216	780	90	－	870
62	和田小	7,522	6,246	－	13,768	4,913	456	10	5,379	1,215	－	－	1,215
63	錦江台小	12,715	9,928	4,039	26,682	4,864	480	37	5,381	780	82	－	862
64	福平小	6,073	9,582	2,283	17,938	5,407	23	10	5,440	1,215	－	－	1,215
65	平川小	2,623	4,299	165	7,087	1,673	41	10	1,724	591	10	－	601
66	錫山小	3,446	3,491	476	7,413	1,040	11	10	1,061	894	－	－	894
67	中山小	10,063	9,859	280	20,202	9,016	290	31	9,337	1,786	－	－	1,786
68	桜丘西小	6,811	10,480	380	17,671	4,921	82	10	5,013	1,215	－	－	1,215
69	桜丘東小	7,003	10,710	1,528	19,241	4,925	9	14	4,948	780	－	－	780
70	星峯西小	7,175	9,980	1,646	18,801	5,360	20	10	5,390	780	－	－	780
71	星峯東小	6,254	11,535	1,559	19,348	5,984	11	10	6,005	863	－	－	863
72	宮川小	7,880	10,322	－	18,202	4,904	11	10	4,925	845	－	－	845
73	皇徳寺小	8,500	8,690	5,836	23,026	5,700	11	10	5,721	863	－	－	863
74	瀬々串小	11,742	8,356	3,920	24,018	1,965	71	51	2,087	613	－	－	613
75	中名小	7,761	5,284	659	13,704	1,813	－	103	1,916	613	－	－	613
76	喜入小	8,549	5,562	13,220	27,331	2,601	78	－	2,679	1,099	－	－	1,099
77	前之浜小	8,315	5,324	1,027	14,666	1,739	－	－	1,739	650	－	－	650
78	生見小	6,816	6,809	4,464	18,089	1,685	－	10	1,695	649	－	－	649
79	一倉小	4,926	4,655	1,443	11,024	1,222	－	－	1,222	680	－	－	680
計		579,783	625,931	158,869	1,364,583	333,320	3,951	1,228	338,499	67,283	1,251	－	68,534

(令和6年5月1日現在)

学校名	保有教室数										プール（m、㎡）						
	普通	特 別									建設年	本プール				補 助 プール	
		計	理科	音楽	図工	家庭	コンピ	視聴	図書	その他		構 造	長	巾	面積		
西紫原小	36	12	2	2	1	1	1	0	1	4	令 2	ステンレス	25	15	375	90	
鴨 池 小	27	13	1	2	1	1	1	0	1	6	48	コンクリート	25	15	375	60	
南 小	17	10	1	1	1	1	1	0	1	4	平17	ステンレス	25	10	250	102	
宇 宿 小	24	7	1	1	1	1	0	0	1	2	平15	〃	25	9.4	235	90	
向 陽 小	22	8	2	1	1	1	0	0	1	2	58	コンクリート	25	11	275	150	
伊 敷 小	17	13	2	1	1	2	1	0	2	4	平29	ステンレス	25	12	300	75	
花 野 小	12	16	1	2	1	1	1	0	1	9	60	〃	25	11	275	150	
西伊敷小	19	11	1	1	1	1	0	1	2	4	平14	〃	25	15	375	150	
伊敷台小	21	12	2	2	1	1	1	0	1	4	平 4	〃	25	11	275	125	
玉 江 小	33	12	2	2	1	1	1	0	1	4	令 2	〃	25	15	375	88	
小山田小	7	10	1	1	1	1	1	0	1	4	平27	ステンレス	25	6	150	50	
犬 迫 小	8	6	1	1	1	1	0	0	1	1	52	コンクリート	25	9	225	－	
皆与志小	5	6	1	1	0	1	1	0	1	1	平25	ステンレス	25	6	150	61	
東桜島小	6	6	1	1	0	1	1	0	1	1	60	〃	25	7.8	195	60	
高 免 小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	－	－	－	－	－	
黒 神 小	3	6	1	1	0	0	1	0	1	2	59	ステンレス	25	6	150	60	
桜 洲 小	7	10	1	1	1	1	1	0	1	4	49	〃	25	15	375	50	
桜 峰 小	4	8	1	1	1	1	1	0	1	2	42	コンクリート	25	16	400	80	
松 元 小	25	7	1	1	1	1	1	0	1	1	平28	ステンレス	25	12	300	102	
東 昌 小	6	6	1	1	1	1	1	0	1	0	48	コンクリート	25	9	225	32	
春 山 小	23	8	1	1	1	1	1	0	1	2	47	〃	25	9	225	70	
石 谷 小	18	6	1	1	1	1	0	0	1	1	49	〃	25	9	225	60	
谷 山 小	46	10	2	2	1	2	1	0	1	1	59	ステンレス	25	11	275	150	
西谷山小	30	11	2	1	1	1	1	0	1	4	53	コンクリート	25	15	375	120	
東谷山小	36	13	2	2	1	1	0	0	2	5	50	〃	25	15	375	150	
清 和 小	45	9	2	2	1	1	1	0	1	1	63	ステンレス	25	11	275	150	
和 田 小	37	8	2	1	1	1	0	0	1	2	令 2	〃	25	13	325	70	
錦江台小	29	9	2	1	1	1	0	0	1	3	54	コンクリート	25	15	375	120	
福 平 小	36	8	2	2	1	1	0	0	1	1	44	〃	25	13	325	56	
平 川 小	8	5	1	1	0	1	0	0	1	1	48	〃	25	9	225	－	
錫 山 小	3	2	1	0	0	0	0	0	1	0	－	－	－	－	－	－	
中 山 小	58	15	3	2	1	1	1	0	1	6	平元	ステンレス	25	11	275	150	
桜丘西小	19	12	1	2	1	1	1	0	2	4	53	コンクリート	25	15	375	120	
桜丘東小	17	15	1	2	1	1	1	0	1	8	57	〃	25	11	275	150	
星峯西小	24	14	2	2	1	2	1	0	1	5	55	〃	25	15	375	120	
星峯東小	13	18	1	2	1	2	1	0	2	9	62	ステンレス	25	11	275	150	
宮 川 小	13	12	1	2	1	1	1	0	1	5	60	〃	25	11	275	150	
皇徳寺小	17	15	2	2	1	1	1	0	1	7	平 2	〃	25	11	275	150	
瀬々串小	8	5	1	1	1	1	0	0	1	0	平25	〃	25	8	200	84	
中 名 小	8	7	1	1	1	1	0	1	1	1	52	コンクリート	25	14	350	64	
喜 入 小	11	11	1	1	1	1	0	0	1	6	50	〃	25	14	350	50	
前之浜小	5	7	1	1	1	1	0	1	1	1	48	〃	25	14	350	71.5	
生 見 小	3	8	1	1	1	1	0	1	1	2	49	〃	25	14	350	50	
一 倉 小	1	6	1	1	0	1	1	0	1	1	51	〃	25	10	250	50	
計	1,491	762	102	105	66	81	50	7	83	268							

③ 中学校

学校名	校地面積 (㎡)				建物面積 (㎡)							
					校舎 (鉄筋換算)				屋内運動場			
	建物	運動場	その他	計	鉄筋	鉄骨	木造	計	鉄筋	鉄骨	木造	計
1 吉田北中	4,000	5,266	2,467	11,733	1,807	-	24	1,831	711	-	-	711
2 吉田南中	11,078	11,313	8,741	31,132	4,066	24	31	4,121	1,095	-	-	1,095
3 郡山中	8,876	16,234	446	25,556	3,674	29	-	3,703	1,386	-	-	1,386
4 緑丘中	7,800	12,000	5,616	25,416	6,394	21	10	6,425	1,476	-	-	1,476
5 吉野中	19,535	23,982	5,141	48,658	7,633	-	65	7,698	1,222	-	-	1,222
6 吉野東中	8,721	18,131	7,276	34,128	4,254	-	10	4,264	930	86	-	1,016
7 坂元中	8,640	13,140	-	21,780	6,133	108	10	6,251	930	86	-	1,016
8 清水中	6,372	11,127	643	18,142	5,534	-	10	5,544	980	-	-	980
9 長田中	9,394	12,610	-	22,004	4,225	137	-	4,362	1,010	-	-	1,010
10 甲東中	8,417	8,876	-	17,293	5,453	-	10	5,463	980	-	-	980
11 城西中	15,050	9,472	-	24,522	7,931	23	-	7,954	1,101	-	-	1,101
12 明和中	12,782	18,251	-	31,033	5,685	65	10	5,760	1,138	-	-	1,138
13 武岡中	10,904	12,625	10,998	34,527	6,875	10	10	6,895	1,030	-	-	1,030
14 武中	9,000	12,571	7,108	28,679	6,157	-	10	6,167	981	-	-	981
15 西陵中	5,002	14,354	523	19,879	5,663	-	10	5,673	930	85	-	1,015
16 甲南中	6,892	8,809	-	15,701	5,377	-	-	5,377	981	-	-	981
17 天保山中	7,162	9,823	-	16,985	5,202	-	10	5,212	1,138	-	-	1,138
18 鴨池中	11,715	18,732	-	30,447	6,200	-	10	6,210	1,010	-	-	1,010
19 南中	9,164	7,814	-	16,978	6,091	71	23	6,185	1,030	-	-	1,030
20 紫原中	5,600	12,296	-	17,896	5,816	353	10	6,179	1,476	-	-	1,476
21 西紫原中	9,554	12,611	-	22,165	5,540	97	10	5,647	1,476	-	-	1,476
22 伊敷中	12,941	12,128	-	25,069	7,025	-	10	7,035	1,030	-	-	1,030
23 伊敷台中	10,164	12,865	-	23,029	6,420	-	-	6,420	1,030	-	-	1,030
24 河頭中	6,498	10,955	-	17,453	3,779	37	10	3,826	830	-	-	830
25 東桜島中	5,650	4,879	4,814	15,343	1,854	3	-	1,857	830	-	-	830
26 黒神中	2,710	1,800	221	4,731	1,155	20	-	1,175	450	-	-	450
27 桜島中	8,865	16,035	947	25,847	3,949	87	-	4,036	1,286	-	-	1,286
28 松元中	10,319	13,000	917	24,236	5,991	96	26	6,113	1,138	-	-	1,138
29 谷山中	13,658	17,097	-	30,755	7,119	40	44	7,203	1,010	-	-	1,010
30 東谷山中	12,380	21,751	14,800	48,931	6,948	3	10	6,961	930	86	-	1,016
31 和田中	6,650	15,728	5,812	28,190	6,831	57	10	6,898	1,476	-	-	1,476
32 福平中	9,567	9,586	60	19,213	4,611	254	-	4,865	981	-	-	981
33 錫山中	679	4,440	-	5,119	797	-	-	797	-	-	-	-
34 谷山北中	6,165	13,037	4,813	24,015	5,438	79	10	5,527	981	-	-	981
35 皇徳寺中	11,431	15,334	-	26,765	6,611	201	10	6,822	1,030	-	-	1,030
36 星峯中	9,820	11,271	1,449	22,540	6,266	251	10	6,527	930	-	-	930
37 桜丘中	9,586	15,814	3,334	28,734	6,028	-	37	6,065	930	86	-	1,016
38 喜入中	16,796	12,537	3,099	32,432	4,510	125	79	4,714	1,195	-	-	1,195
39 玉龍中	3,840	9,809	1,756	15,405	4,028	54	-	4,082	984	-	-	984
計	353,377	488,103	90,981	932,461	205,070	2,245	529	207,844	40,052	429	-	40,481

④ 高校

学校名	校地面積 (㎡)				建物面積 (㎡)							
					校舎 (鉄筋換算)				屋内運動場			
	建物	運動場	その他	計	鉄筋	鉄骨	木造	計	鉄筋	鉄骨	木造	計
1 玉龍高校	6,582	17,167	5,053	28,802	7,224	7	188	7,419	2,453	-	-	2,453
2 商業高校	13,120	35,378	18,405	66,903	11,271	362	-	11,633	2,071	-	-	2,071
3 女子高校	9,996	19,275	3,069	32,340	11,953	-	116	12,069	1,825	-	-	1,825
計	29,698	71,820	26,527	128,045	30,448	369	304	31,121	6,349	-	-	6,349

(令和6年5月1日現在)

学校名	保有教室数											プール（m、㎡）				
	普通	特 別										建設年	本プール			
		計	理科	音楽	美術	技術	家庭	コンピ	視聴	図書	その他		構造	長	巾	面積
吉田北中	5	9	1	1	-	1	2	1	-	1	2	平13	ステンレス	25	11	275
吉田南中	9	15	2	1	1	1	2	1	-	1	6	平 4	コンクリート	25	15	375
郡 山 中	8	14	1	1	1	1	2	1	-	1	6	平23	ステンレス	25	13	325
緑 丘 中	14	20	2	2	1	2	2	1	-	2	8	51	ア ル ミ	25	15	375
吉 野 中	29	15	2	3	2	2	2	1	-	1	2	平27	ステンレス	25	15	375
吉野東中	17	10	2	1	1	1	1	-	-	1	3	58	コンクリート	25	15	375
坂 元 中	14	19	2	2	1	2	2	1	-	1	8	平26	ステンレス	25	15	375
清 水 中	12	17	2	1	1	2	2	-	-	1	8	46	コンクリート	25	15	375
長 田 中	10	13	1	1	1	2	2	1	-	1	4	48	〃	25	15	375
甲 東 中	9	18	2	1	1	2	3	1	-	1	7	49	〃	25	15	375
城 西 中	22	23	3	2	2	2	2	1	-	1	10	47	〃	25	15	375
明 和 中	8	19	2	1	1	2	2	1	1	1	8	平24	ステンレス	25	13	325
武 岡 中	11	17	2	2	1	2	2	1	-	1	6	62	〃	25	15	375
武 中	14	20	2	1	1	1	2	1	-	1	11	50	コンクリート	25	15	375
西 陵 中	12	18	2	2	2	2	2	1	-	1	6	58	ステンレス	25	14.6	365
甲 南 中	14	15	2	1	1	2	2	1	1	1	4	平14	〃	25	11	275
天保山中	16	15	2	2	1	2	2	-	-	1	5	45	コンクリート	25	15	375
鴨 池 中	20	14	2	2	1	2	2	-	-	1	4	47	〃	25	15	375
南 中	16	20	2	2	2	2	2	1	-	1	8	平22	ステンレス	25	13	325
紫 原 中	28	16	2	2	1	1	2	-	-	1	7	46	コンクリート	25	15	375
西紫原中	21	13	2	1	1	2	2	-	-	1	4	59	ステンレス	25	15	375
伊 敷 中	24	16	2	2	2	2	2	1	-	1	4	平 4	〃	25	15	375
伊敷台中	15	22	2	2	2	2	2	1	1	1	9	平 5	〃	25	15	375
河 頭 中	6	13	1	1	1	2	2	1	-	1	4	平24	〃	25	8	200
東桜島中	5	7	1	1	1	1	1	-	-	1	1	53	ア ル ミ	25	13	325
黒 神 中	1	6	1	1	-	1	-	1	-	1	1	－	－	－	－	－
桜 島 中	5	15	2	1	1	1	2	1	-	1	6	48	ステンレス	25	15	375
松 元 中	28	11	2	1	1	1	2	-	-	1	3	－	－	－	－	－
谷 山 中	35	16	2	2	2	1	2	1	1	1	4	56	コンクリート	25	15	375
東谷山中	33	18	2	2	2	2	2	1	-	1	6	55	〃	25	15	375
和 田 中	32	14	2	2	2	1	2	-	-	1	4	51	ア ル ミ	25	15	375
福 平 中	19	13	2	1	1	2	2	1	1	1	2	50	コンクリート	25	13	325
錫 山 中	3	6	-	1	1	1	1	1	-	-	1	51	〃	25	7	175
谷山北中	24	14	2	1	1	2	2	-	-	1	5	50	〃	25	13	325
皇徳寺中	14	20	2	2	1	2	2	1	-	2	8	平元	ステンレス	25	15	375
星 峯 中	17	19	2	2	1	2	2	1	-	1	8	57	コンクリート	25	15	375
桜 丘 中	15	20	2	2	2	2	2	1	-	1	8	54	〃	25	15	375
喜 入 中	11	16	2	1	1	2	2	1	1	1	5	平16	ステンレス	25	13	325
玉 龍 中	9	13	2	1	1	1	4	1	-	1	2	平20	〃	25	13	325
計	605	599	71	58	47	64	76	29	6	40	208					

※

※玉龍中のプールは玉龍高校と共用

(令和6年5月1日現在)

学校名	保有教室数													プール（m、㎡）			
	普通	特 別											産振	建設年	長	巾	面積
		計	理科	社会	外国語	芸術	家庭	情報	視聴	図書	LL	その他					
玉龍高校	18	29	6	1	1	6	3	1	1	1	-	9	-	平20	25	13	325
商業高校	19	17	2	1	-	3	2	-	1	1	-	7	11	56	25	15	375
女子高校	23	15	2	-	-	4	-	-	1	1	-	7	19	平 7	25	13	325
計	60	61	10	2	1	13	5	1	3	3	-	23	30				

※玉龍高校のプールは玉龍中と共用

6. 生涯学習

(1)生涯学習施設における講座・学級等一覧

① 令和6年度公民館講座

領域 公民館		青少年	親子	家庭 教育	成人	高齢者	学習成果 活 用	生活 文化	企業 対象	主な新規講座
1	中 央	4	6	4	20	11	2	1	1	ケシゴムスタンプ講座
2	鴨 池	8	6	2	16	11	2	1	1	レッツチャレンジ!!小学生プロ グラミングⅡ
3	城 西	2	9	4	21	8	2	1	1	さつまの伝統・郷土菓子 城西お菓子工房
4	谷山市民	8	5	3	21	10	2	1	1	自由研究に役立つエネルギー学 習
5	吉 野	5	6	2	16	9	2	1	1	はじめよう体幹トレーニング
6	伊 敷	6	9	4	16	4	1	1	1	リンパケアストレッチ
7	武・田上	4	6	1	14	6	2	1	1	親子でうんまか!かごんま食
8	東 桜 島	3	3	3	8	3	2	1	1	黒神貯筋体操
9	吉 田	3	5	2	16	4	2	1	1	みんなで一緒にみそ作り教室
10	桜 島	6	4	2	11	8	1	1	1	桜島色に染めよう ～火山灰染体験～
11	喜 入	3	5	2	13	7	1	1	1	ゆる空手で身につける護身術!
12	松 元	2	3	2	11	5	2	1	1	はじめての韓国語
13	郡 山	7	10	3	12	7	1	1	1	刺子(手芸)を楽しもう
14	谷 山 北	4	5	2	23	6	1	1	1	楽しく学ぼうはじめての手話
合計		65	82	36	218	99	23	14	14	全551講座

② 令和6年度勤労女性センター講座

前期講座・後期講座

区分	前期講座（6月～9月）				後期講座（11月～3月）				計
	午前・午後	回数	夜間	回数	午前・午後	回数	夜間	回数	
職能向上	ワード・エクセル 初級	10	エクセル 中級	10	ワード 初級	10	パワーポイント入門	10	12
	ワード・エクセル 中級	10	CS（表計算部門）2級試験対策	10	エクセル 初級	10	C S 2級試験対策	15	
	エクセル入門	10			エクセル 中級	10			
	エクセル応用	10			ワードエクセル 中級	10			
	ファッションプランナー検定対策3級	15	日商簿記3級検定講座	15	日商簿記3級検定講座	15	ファッションプランナー検定対策	15	4
趣味教養	天然石プレスレット	1	天然石プレスレット	1	着物着付け	10	英会話	8	18
	生け花体験	1	パッチワーク入門	5	Zoom	3	Xmas・正月の花	5	
	脳トレ体験	4	生け花体験	1	ペン習字	5			
	合唱体験	2			リメイク	8			
	メイクの基礎	3			茶道入門	10			
	おしゃれパンツ	3							
	季節の寄せ植え（2講座）	1							
生活支援	パンとスイーツ	5	カフェごはん	3	パン	5	料理	3	9
	健康料理	4			料理	5			
					スイーツ	4			
					掃除プロ	3			
健康	リズム体操・ヨガ	5	フラダンス入門	5	貯筋体操	8	太極拳	8	12
	足つほ体操	3	Zoom でリンパ マッサージ	3	ツボと健康	6	Zoom	5	
	昼の卓球	5	Zoom でヨガ	4	Zoom	3			
	リンパ マッサージ 体験	3							
ファミリーサポート	親子ハンバーグ	1			親子 X mas ケーキ	1			3
					親子ハンバーガー	1			
計	20		10		20		8		58
		30				28			

短期講座

区分	第1回短期講座（5月～6月）				第2回短期講座（9月～10月）				第3回短期講座（2月～3月）				計
	午前・午後	回数	夜間	回数	午前・午後	回数	夜間	回数	午前・午後	回数	夜間	回数	
職能向上	エクセル中級	5	エクセル応用	5	エクセル初級	5	エクセル中級	5	エクセル初級	5	エクセル中級	5	18
	ワード初級	5	パワーポイント初級	5	ワード初級	5	ワード中級	5	ワード初級	5	ワード中級	5	
	ワード中級	5			エクセル中級	5			エクセル中級	5			
	エクセル初級	5			ワード中級	5			ワード中級	5			
趣味教養	寄せ植え A	1	天然石プレスレット	1	歴史散歩	4	小物作り	5	パッチワーク	5	七宝	3	20
	生け花体験	2	七宝のアクセサリー	1	書道	6	メイク	3	絵手紙	5			
	ジャンパースカート	5			草木染	3	Zoom	3	帽子作り	3			
	寄せ植え B	1			マネープラン	5			生け花	3			
	クラフト・バッグ	5			Zoom	3							
生活支援	パン入門	3	夜の料理	4	掃除プロ	3	料理	3	パン	4	料理	3	18
	スイーツ&ティー	2	お得な金融商品	3	料理	3			料理	3	カラー	5	
	朝の料理	4			パン	4			スイーツ	3	Zoom	3	
					脳若	5			Zoom	3			
健康	元気貯筋	4	楽しい卓球	5	エアロビ	5	卓球入門	6	太極拳	6	ヨガ	5	13
	朝のヨガ	5	Zoom リンパマッサージ	3	体操	5			体操	6			
	リンパマッサージ	4							Zoom	3			
									ツボと健康	5			
ファミリーサポート	親子ピクニック弁当	1			親子パン	1			親子ケーキ	1			3
計	16		8		17		7		17		7		72
		24				24				24			

③ 令和6年度勤労青少年ホーム講座

前 期				中 期				後 期			
教養講座	場所	回数	定員	教養講座	場所	回数	定員	教養講座	場所	回数	定員
日 陶芸	玉陶山	7	10	日 陶芸	玉陶山	7	7	日 写真	PC	5	10
月 ファッションカラーコーディネート	講習	7	15	月 歌を楽しもう	音楽	7	10	月 知って得するライフプラン&マネープラン	講習	10	20
ウクレレ	音楽	7	15	茶道 裏千家	和室	10	7	火 ゴスペル	音楽	10	15
華道小原流	1会	7	10	ウクレレ	音楽	7	15	火 七宝	2会	7	10
火 天文学とホロスコープ	講習	10	20	華道小原流	1会	7	10	火 天文学と西洋占星学	講習	10	20
ゴスペル	音楽	10	15	EnjoyEnglish	2会	10	15	水 ごほうび&おもてなしごはん	料理	5	18
水 ごほうび&おもてなしごはん	料理	5	18	ゴスペル	音楽	10	15	水 パソコンC S試験 Word3級	PC	10	10
パソコンC S試験 Excel3級	PC	10	10	フラワーアレンジメント	1会	5	10	木 J W - C A D (基礎)	PC	10	10
華道 池坊	2会	7	10	新規講座(資格)	講習	10	15	木 カラーセラピー	音楽	7	10
J W - C A D (基礎)	PC	10	10	パソコンC S試験 Excel 2級	PC	15	10	金 Excel2016初級	PC	10	10
木 手話	2会	7	10	絵画の世界と水彩塗り絵	1会	5	10	金 ライフアップセラピー	音楽	7	10
ヘアアレンジ&メイク	音楽	5	10	ファイナンシャルプランナー3級	講習	15	20				
金 Word2016初級	PC	10	10	ゼロからのギター	音楽	7	10				
アロマセラピー	2会	7	10	J W - C A D (基礎)	PC	10	10				
				中国語	2会	10	15				
				ヘアアレンジ&メイク	2会	5	10				
				着物着付け	和室	7	10				
				簿記	2会	10	15				
				3Dソフト基礎	PC	10	10				
				韓国語	音/料	10	15				
スポーツ講座	場所	回数	定員	スポーツ講座	場所	回数	定員	スポーツ講座	場所	回数	定員
日 ビラティス	講習	7	10	日 ビラティス	講習	7	10	日 ビラティス	講習	7	10
水 テニス	中山	7	35	月 ソフトバレー	体育	10	20	月 ヨーガ	講習	5	10
木 社交ダンス	講習	10	10	水 テニス	中山	7	35	月 卓球	体育	7	16
金 バレーボール	体育	10	20	金 フットサル	体育	7	25	水 テニス	中山	7	35
				はじめてのバドミントン	体育	10	20	金 バスケットボール	体育	10	20
		回数	定員			回数	定員			回数	定員
		143	248			218	349			127	234
教 養講座 合計	14 講座	109回		教 養講座 合計	20 講座	177回		教 養講座 合計	11 講座	91回	
スポーツ講座 合計	4 講座	34回		スポーツ講座 合計	5 講座	41回		スポーツ講座 合計	5 講座	36回	
全 体	18 講座	143回		全 体	25 講座	218回		全 体	16 講座	127回	
				全 講 座 59 講座 488回							

短期講座1(前・中期の間)				一日講座				一日講座			
日 合鴨農法	川上町	4	10	日 母の日のフラワーアレンジメント	2会	1	10	日 天然石アクセサリ作り	2会	1	10
水 スタイリッシュウォーク	講習	3	10	木 初めてのスパイスカレー作り	料講	1	18	日 コーヒーをおいしくいれよう	料講	1	10
水 茶道 表千家	和室	3	7	日 天然石アクセサリ作り	2会	1	10	火 カラーセラピーでリフレッシュ	音楽	1	10
水 知っておきたい金融商品の仕組みと選び方	講習	3	20	日 かごしま歴史探訪	市内	1	10	日 初心者さん向け幸せの手作りパン	料講	1	18
金 美しいカラダを手に入れよう～柔軟教室～	講習	3	10	水 夏のトレンドメイク	1会	1	4	日 レジンクラフト	2会	1	10
木 スパイスカレー作り	料講	3	18	日 初心者さん向け幸せの手作りパン	料講	1	18	日 春のかごしま歴史探訪	市内	1	10
木 浴衣着付け	和室	3	10	日 七宝アクセサリ作り	2会	1	10	日 日本茶を楽しもう	料講	1	15
日 ジャズダンス	音楽	3	10	水 自分を知って活かして楽になる心と感情のセルフマネジメント	講習	1	15	日 腸活セルフケア	講習	1	15
木 夏のイタリア料理	料講	3	18	日 日本茶を楽しもう	料講	1	15	太鼓		1	10
木 セルフネイル	音楽	3	10	日 コーヒーをおいしくいれよう	料講	1	10	新規講座		1	10
水 太極拳	講習	3	15	木 簡単ヘアアレンジ	音楽	1	10	新規講座		1	10
短期講座2(中・後期の間)	場所	回数	定員	日 インテリアブーケ作り	2会	1	10	おうちでリンパマッサージ (Zoom)		1	10
日 自分でできるリンパトリートメント	講習	3	10	日 初心者さん向け幸せの手作りパン	料講	1	18	おうちでリンパマッサージ (Zoom)		1	10
水 フランス料理	料講	3	18	日 茶染体験	料講	1	15	おうちでむくみ冷え改善ケア (Zoom)		1	10
金 ビジネスマナー講座	講習	3	10	日 多肉植物寄せ植え作り	2会	1	10	おうちでフェイスマッサージ (Zoom)		1	10
火 スタイリッシュウォーク	講習	3	10	日 秋のかごしま歴史探訪	市内	1	10	おうちでメイク (Zoom)		1	10
水 スペイン料理	料講	3	18	水 自分に合う似合わせヘアアレンジ	1会	1	6				
金 暮らしと心を整える整理収納入門	講習	3	20	日 (学) 羊毛フェルト	1会	1	10				
月 インテリアカラーコーディネート	講習	3	15	日 (学) ドライフラワーリース作り	1会	1	6				
木 スパイスカレー作り	講習	3	18	日 コミュニケーションアップ講座	講習	1	20				
木 アフリカダンス	講習	3	10	水 レザークラフト	1会	1	6				
新規講座		3	18	日 冬のトレンドメイク	講習	1	15				
短期講座3(後期～後期のあと)	場所	回数	定員	日 肩こり改善セルフケア	2会	1	10				
木 春のイタリア料理	料講	3	18	日 絵手紙で年賀状作り	1会	1	10				
日 自分でできるリンパトリートメント	講習	3	10	日 初心者さん向け幸せの手作りパン	料講	1	18				
木 スパゲッティ作り	料講	3	18	日 クリスマスケーキ作り	料講	1	18				
水 知っておきたい金融商品の仕組みと選び方	講習	3	20	日 ミニしめ縄作り	2会	1	10				
木 春の華やぎトレンド講座	音楽	4	10	水 自分を知って活かして楽になる心と感情のセルフマネジメント	講習	1	20				
木 ボディメイク講座	講習	3	10	日 天然石アクセサリ作り	2会	1	10				
金 新規講座 (Zoom)		3	10	水 金融商品の仕組みと選び方	講習	1	20				
新規講座		3	18	日 バレンタインチョコ作り	料講	1	18				
		回数	定員			回数	定員			回数	定員
		89	399			31	390			16	178
全 29 講座 89回				全 47 講座 47回							

長期講座回数 488 回
短期講座回数 89 回
一日講座回数 47 回
全 講 座 回 数 624 回

長 期 講 座 59 講座
短 期 講 座 29 講座
一 日 講 座 47 講座
全 講 座 135 講座

④ 令和6年度かごしま文化工芸村講座

	No.	講座名	開催日	回数	対象
陶芸アトリエ講座	1	初めての陶芸（手作りを楽しむ）	5月15日・6月12日（水）	2回	一般
	2	陶芸アトリエボランティア（補助具）養成講座	6月6日・13日・20日（木）	3回	一般
	3	夏の親子陶芸教室	6月29日（土）	1回	親子
	4	夏休み親子陶芸自由研究講座	7月1日（土）・2日（日）・30日（日）	3回	親子
	5	電動ロクロ講座Ⅰ（中級以上）	8月10日（土）・11日（日）・9月7日（土）	3回	一般
	6	フリーカップづくりに挑戦	9月20日（金）	1回	一般
	7	カップ＆ソーサーを作ろう	9月1日・29日（日）	2回	一般
	8	ペアで楽しく陶器作り	11月23日（土）	1回	一般
	9	親子で仲良くマグカップを作ろう	12月15日（日）	1回	親子
	10	レベルアップ陶芸講座	1月15日・29日・2月26日（水）	3回	一般
木工アトリエ（木・竹工作）講座	11	初めての日曜大工	5月12日（日）	1回	一般
	12	女性のための木工教室Ⅰ	5月26日（日）	1回	一般
	13	日曜大工Ⅰ	6月15日（土）・16日（日）	2回	一般
	14	夏休み親子木工教室Ⅰ	7月14日（日）	1回	親子
	15	夏休み親子で作る竹工作品（昆虫等）	7月21日（日）	1回	親子
	16	夏休み親子木工教室Ⅱ	7月28日（日）	1回	親子
	17	夏休み親子木工教室Ⅲ	8月4日（日）	1回	親子
	18	フラットベンチ製作	9月7日（土）・8日（日）	2回	一般
	19	きのこイス作り	10月5日（土）・6日（日）	2回	一般
	20	自然木の器作り	10月13日（日）	1回	一般
	21	竹細工入門	11月15日・22日・29日・12月6日（金）	4回	一般
	22	ミニ門松を作って迎春Ⅰ・Ⅱ	12月15日（土）Ⅰ・Ⅱを選択	1回	親子
	23	糸のこ盤で作ろう①基礎編②応用編	1月18日（土）・19日（日）	2回	一般
	24	日曜大工Ⅱ	2月9日（日）	1回	一般
	25	小物家具作り	2月23日（日）	1回	一般
自由工房（手芸用品）講座	26	フラワーアレンジメント母の日のプレゼントに！	5月11日・18日（土）	2回	一般
	27	スタンドグラス 吊るし飾り（小鳥と若葉）	5月22日・29日（水）	2回	一般
	28	春の七宝アクセサリー作り	5月23日（木）	1回	一般
	29	草木染基礎講座	6月1日・8日（土）	2回	一般
	30	夏休み親子七宝焼きⅠ・Ⅱ	8月3日（土）Ⅰ・Ⅱを選択	1回	親子
	31	草木染め応用講座（マヤの代表的な染料で染める）	10月5日・12日（土）	2回	一般
	32	秋の七宝アクセサリー作り	10月9日（水）	1回	一般
	33	スタンドグラスクリスマスツリー作り	10月23日・30日（水）	2回	一般
	34	カラフル切絵でクリスマス飾り作り	11月16日・23日（土）	2回	一般
	35	生活を彩る押し花グッズ制作 （世界に一つのペン、ペン立てを作ろう）	12月7日（土）	1回	一般
	36	コットン小物作り（ガーデニングエプロン）	2月5日・19日（水）	2回	一般

⑤ 小・中学校及び校区公民館等で開設している社会学級生数

(小家=小学校家庭教育学級 成人=成人学級 女性=女性学級 中家=中学校家庭教育学級 父セ=父親セミナー)

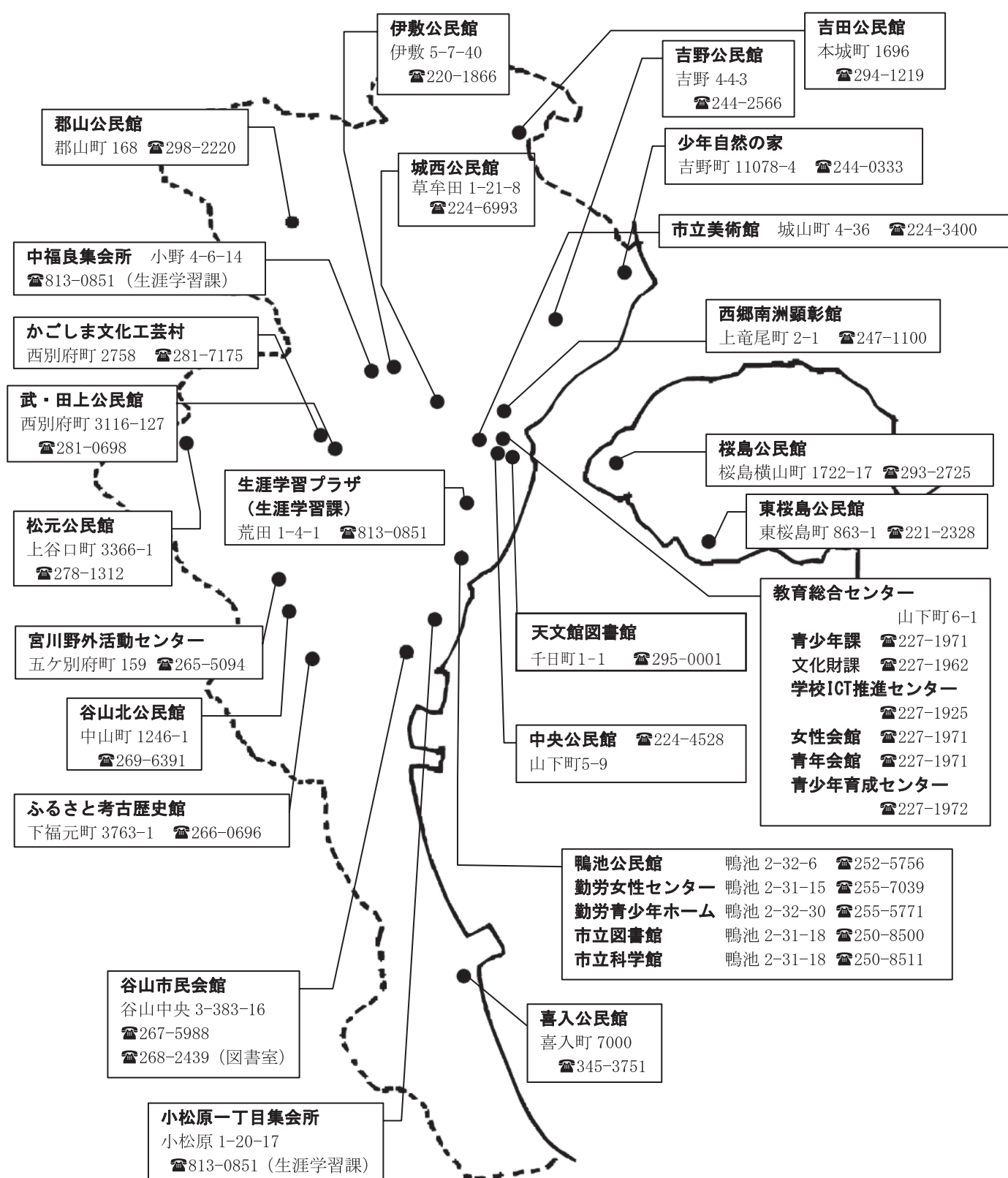
(令和6年3月31日現在)(単位:人)

	No.	学校・校区	小家	成人	女性
中 央	1	坂元小学校・校区	11	0	0
	2	坂元台小学校・校区	62	36	35
	3	清水小学校・校区	8	0	24
	4	大龍小学校・校区	11	20	0
	5	名山小学校・校区	24	28	15
	6	山下小学校・校区	349	25	25
	7	松原小学校・校区	31	18	0
	8	城南小学校・校区	48	31	0
	9	中洲小学校・校区	53	24	23
鴨 池	10	荒田小学校・校区	24	13	0
	11	八幡小学校・校区	6	30	18
	12	中郡小学校・校区	294	0	24
	13	紫原小学校・校区	20	0	36
	14	西紫原小学校・校区	51	20	20
	15	鴨池小学校・校区	81	20	15
	16	南小学校・校区	10	28	0
	17	宇宿小学校・校区	35	20	0
	18	向陽小学校・校区	17	20	34
城 西	19	草牟田小学校・校区	36	38	36
	20	原良小学校・校区	170	0	80
	21	明和小学校・校区	34	15	45
谷 山	22	西田小学校・校区	120	28	45
	23	谷山小学校・校区	25	25	25
	24	西谷山小学校・校区	42	30	24
	25	東谷山小学校・校区	204	18	27
	26	和田小学校・校区	46	15	18
	27	錦江台小学校・校区	60	0	60
	28	福平小学校・校区	25	0	15
	29	平川小学校・校区	60	42	27
	30	錫山小学校・校区	25	10	0
	31	川上小学校・校区	109	0	0
吉 野	32	吉野小学校・校区	11	16	22
	33	吉野東小学校・校区	20	15	0
	34	大明丘小学校・校区	25	30	20
	35	伊敷小学校・校区	66	0	0
伊 敷	36	花野小学校・校区	33	43	20
	37	西伊敷小学校・校区	28	25	0
	38	伊敷台小学校・校区	14	0	0
	39	玉江小学校・校区	12	18	11
	40	小山田小学校・校区	15	60	0
	41	犬迫小学校・校区	9	0	0
	42	皆与志小学校・校区	13	0	0
	43	武岡小学校・校区	62	28	55
武 田 ・ 上	44	武岡台小学校・校区	38	56	42
	45	武小学校・校区	37	40	19
	46	田上小学校・校区	49	29	14
	47	西陵小学校・校区	62	30	35
	48	広木小学校・校区	57	32	20
東桜島	49	東桜島小学校・校区	19	20	0
	50	改新小学校・校区	0	20	0
	51	黒神小学校・校区	1	0	14
吉 田	52	吉田小学校・校区	50	22	0
	53	本名小学校・校区	24	20	0
	54	宮小学校・校区	13	13	21
	55	本城小学校・校区	11	0	0
桜 島	56	牟礼岡小学校・校区	15	20	0
	57	桜峰小学校・校区	11	30	0
	58	桜洲小学校・校区	9	18	9
喜 入	59	瀬々串小学校・校区	30	15	15
	60	中名小学校・校区	27	40	0
	61	喜入小学校・校区	180	30	0
	62	前之浜小学校・校区	35	20	0
	63	生見小学校・校区	38	15	0
	64	一倉小学校・校区	1	7	0

	No.	学校・校区	小家	成人	女性
松 元	65	松元小学校・校区	100	11	0
	66	東昌小学校・校区	37	20	0
	67	春山小学校・校区	402	0	0
郡 山	68	石谷小学校・校区	62	60	0
	69	郡山小学校・校区	22	13	0
	70	南方小学校・校区	36	0	0
	71	花尾小学校・校区	16	0	0
谷山北	72	清和小学校・校区	11	15	19
	73	中山小学校・校区	34	10	17
	74	桜丘西小学校・校区	30	20	20
	75	桜丘東小学校・校区	18	20	15
	76	星峯西小学校・校区	17	30	20
	77	星峯東小学校・校区	18	0	18
	78	宮川小学校・校区	23	14	20
	79	皇徳寺小学校・校区	20	22	29
合 計			3,952	1,501	1,146

	No.	学校・校区	中家	父セ
中 央	1	坂元中学校	22	11
	2	清水中学校	9	12
	3	長田中学校	256	11
	4	甲東中学校	24	34
	5	甲南中学校	17	10
鴨 池	39	鹿兒島玉龍中学校	72	0
	6	天保山中学校	70	9
	7	鴨池中学校	12	10
	8	南中学校	8	0
	9	紫原中学校	18	25
城 西	10	西紫原中学校	35	20
	11	城西中学校	720	0
	12	明和中学校	35	6
谷 山	13	谷山中学校	972	20
	14	東谷山中学校	21	10
	15	和田中学校	30	0
	16	福平中学校	28	42
	17	錫山中学校	25	25
谷山北	18	谷山北中学校	10	0
	19	皇徳寺中学校	72	12
	20	星峯中学校	65	0
	21	桜丘中学校	18	20
吉 野	22	吉野中学校	144	21
	23	吉野東中学校	488	0
	24	緑丘中学校	20	20
伊 敷	25	伊敷中学校	52	0
	26	伊敷台中学校	14	14
	27	河頭中学校	23	7
	28	武岡中学校	57	0
	29	武中中学校	13	12
武 田 ・ 上	30	西陵中学校	126	0
	31	東桜島中学校	11	11
	32	黒神中学校	2	0
吉 田	33	吉田北中学校	30	28
	34	吉田南中学校	10	12
桜 島	35	桜島中学校	13	25
喜 入	36	喜入中学校	30	10
松 元	37	松元中学校	116	26
郡 山	38	郡山中学校	15	0
合 計			3,703	463

(2)生涯学習関係施設・機関配置図



(3)社会教育関係団体等

① 青少年団体（連合体）の内、教育委員会と継続的な関係にある団体

名 称	内 容	構 成	代表者等
鹿 児 島 市 あいご子ども会	体験活動等を通して子どもの健全な仲間づくりをすすめ、心身の成長に大切な活動を推進する。	小学生・中学生 (585単位)	事務局 山下町5-9 (中央公民館) TEL226-6604
鹿 児 島 市 勤 労 青 少 年 ホ ー ム 利 用 者 会 友 の 会	学習活動、社会奉仕活動、ホーム祭等をと おして、健全な余暇活動を推進し、仲間づく りやよりよい社会人としての成長を期す。	勤労青少年	坂元 里帆 鴨池 2 丁目32-30 (勤労青少年ホーム) TEL255-5771

● 少年団体

名 称	内 容	構 成	代表者等
ボーイスカウト 鹿 児 島 県 連 盟	青少年が社会に貢献できるようなキャンプ、 団体訓練、奉仕活動などを通じて、人格、健康、 能力を培い、実践力を身に付ける。	小学生～大学生 年齢までの男子	松林 大生 始良市西餅田3081-4 TEL080-5217-1646
ガールスカウト 鹿 児 島 県 連 盟	少女が、心身ともにすぐれ、社会のために 役立つ女性となれるよう、野外活動や日常生 活の訓練等を行う。	小学生～高校生 の女子	小正 陽子 紫原 4 丁目11-1 鹿児島信用金庫研修センター内 TEL257-3567
薩 摩 団	少年少女が、海洋訓練を通じて特性を身に つけ、国際親善を図る。	小学生 中学生 高校生	善福 洋 鹿児島市泉町16-4産業ビル5F TEL227-3504
ジュニア リーダークラブ コ ア ラ	会員相互の連携を図りながら、さまざまな 活動をととし、リーダーとしての資質を高め るとともに、地域社会の発展に寄与する。	小学生 中学生 高校生	大野 敏博 鴨池新町35-60-54 TEL090-1166-6053

● 青年団体

名 称	内 容	構 成	代表者等
鹿児島青年会議所	地域社会の諸問題を調査研究し、指導者とし ての修練に努め、社会奉仕する。	20歳～ 40歳の 青年	伊地知 弘幸 新照院町41-1 城山ホテル鹿児島内 TEL222-1342
そうしん杉の子会	中小企業に働く青年が、仲間づくり、学習、 奉仕活動などを通じて、自己研鑽を図る。	企業主の推 薦を受けた 青 年	永倉 悦雄 与次郎 1 - 6 -30 鹿児島相互信用金庫 TEL259-5222
鹿 児 島 法 人 会 会 青 年 部 会	会員の能力開発や親睦を図るとともに、青 少年教育を通して地域社会に貢献する事業を 行う。	企業青年	徳重 博之 加治屋町15-9 大同生命ビル 8 F TEL239-3655
鹿児島商工会議所 青 年 部	商工業・経営の発展に関する調査研究を行 い、人格、教養や経営能力を高め、地域社会 の発展を図る。	45歳以下 の経営者	笠毛 寛大 東千石町 1 -38 TEL225-9534

② 成人団体

名 称	内 容	構 成	代表者等
鹿 児 島 市 PTA 連 合 会	児童生徒の健全な成長を目指し保護者と教師が協力して、学校及び家庭における教育に関し理解を深めるとともに、校外における生活指導や地域の教育環境の向上に努める。 さらに、リーダー研修会、ブロック別家庭教育充実研修会、県・市 PTA 活動研究委嘱公開等を行い、会員の資質の向上や各単位 PTA の充実を図る。	単位 PTA 小 77 中 39 高 18 特別支援学校 8 会員数 61,626戸 (令和 6. 3.31現在)	鍋島 裕文 山下町5-9 (中央公民館地階) TEL225-7100 FAX225-7101
鹿 児 島 市 あいご会連合会	青少年の健全育成を目指して、各地域におけるあいご子ども会の育成を目的とする諸活動を積極的に推進するとともに、子どもを見守る地域住民の連帯意識の高揚とよりよい環境づくりを推進する。	校区あいご会 79校区 単位あいご会 585団体 132,359戸 (令和 6. 3.31現在)	西村 光行 山下町5-9 (中央公民館3階) TEL・FAX226-6604

③ 女性団体（教育委員会所管）

名 称	内 容	構 成	代表者等
鹿 児 島 市 地域婦人会連絡 協 議 会	女性の地位向上を目指し、家庭生活を充実し、青少年の健全育成に努めながら、地域社会発展のために寄与することを目的とし、幅広い活動を実践する。	校区婦人会 7 校区 148人	赤星 貴子 荒田 1 丁目 4-1 (サンエールかごしま) TEL813-0851
鹿 児 島 市 PTA 連 合 会 母 親 懇 談 会	各単位 PTA 母親会長及び副会長が、PTA 活動の悩みや共通の問題を語り合い、新たな活動の糧にするため年 3 回研修を実施する。	PTA の母親 147人	田淵 千春 山下町5-9 (中央公民館地階) TEL225-7100 FAX225-7101
鹿児島市生活学校 運 動 連 絡 会	生活者の立場から地域における生活課題をとりあげ、調査研究して学習を深めながら、豊かな地域社会を築く。	生活学校 2 団体	原田 美鈴 荒田 1 丁目 4-1 (サンエールかごしま) TEL813-0851

7.文化財

(1)指定文化財等一覧表（令和6年5月1日現在）

① 国指定文化財

※は追加指定年月日

区 分	種 別	名 称	所在地	指定年月日
国 宝	工 芸 品	太刀 銘 国宗	県歴史・美術センター黎明館	昭39. 5.26
特別天然記念物	天然記念物（植物）	喜入のリュウキュウコウガイ産地	喜 入 生 見 町	昭27. 3.29
重 要 文 化 財	建 造 物	旧鹿児島紡績所技師館	吉 野 町	昭37. 6.21
〃	〃	旧集成館機械工場	〃	〃
〃	〃	鹿児島旧港施設 新波止 一丁台場 遮断防波堤	本 港 新 町	平19.12. 4
〃	工 芸 品	太刀 銘 備前国住雲次	尚 古 集 成 館	昭 2. 7.21
〃	〃	赤糸威鎧兜・大袖・杏葉付	〃	昭39. 5.26
〃	歴 史 資 料	文禄三年島津氏分国太閤検地尺 石田三成署判	〃	昭55. 6. 6
〃	〃	木村嘉平関係資料	〃	平10. 6.30
〃	〃	銀板写真（島津斉彬像）	〃	平11. 6. 7
〃	〃	形削盤	〃	平12. 6.27
〃	〃	大久保利通関係資料	県歴史・美術センター黎明館	平16. 6. 8
〃	〃	犬追物関係資料（島津家伝来）	尚 古 集 成 館	平29. 9.15
〃	考 古 資 料	鹿児島県広田遺跡出土品	県歴史・美術センター黎明館	平18. 6. 9
記 念 物	史 跡	鹿児島城跡	城 山 町、照 国 町	昭 6. 6. 3
〃	〃	桂菴墓	伊 敷 二 丁 目	※令 5. 3.20
〃	〃	鹿児島紡績所跡	吉 野 町	昭11. 9.30
〃	〃	旧集成館 附 寺山炭窯跡 関吉の疎水溝	吉野町、下田町、川上町	昭34. 2.25
〃	〃	大口筋 白銀坂 龍門司坂	〃	※平27. 3.10
〃	〃	鹿児島島津家墓所	宮 之 浦 町 他	昭34. 2.25
〃	名 勝	仙巖園 附 花倉御仮屋庭園	池 之 上 町 他	※平27. 3.10
〃	〃	旧島津氏玉里邸庭園	吉 野 町	平18. 7.28
〃	〃	旧島津氏玉里邸庭園	玉 里 町	令 2. 3.10
〃	天然記念物（植物）	キイレツチトリモチ産地	吉 野 町	昭33. 5.15
〃	〃	城山	〃	※平25.10.17
〃	天然記念物（動物）	薩摩鶏	玉 里 町	平19. 7.26
〃	〃	地頭鶏	吉 野 町	大10. 3. 3
〃	〃	〃	城 山 町	昭 6. 6. 3
〃	〃	〃	市 内 一 円	昭18. 8.24
〃	〃	〃	〃	昭18. 8.24

② 登録文化財

区 分	種 別	名 称	所在地	指定年月日
登録有形文化財	建 造 物	鹿児島県立博物館考古資料館	城 山 町	平10.12.11
〃	〃	鹿児島市庁舎本館	山 下 町	平10.12.11
〃	〃	南日本銀行本店	山 下 町	平10.12.11
〃	〃	旧島津家芹ヶ野金山鉱業事業所	吉 野 町	平11. 8.23
〃	〃	旧島津家吉野殖林所	〃	平11. 8.23
〃	〃	仙巖園内濾過池	〃	平13. 8.28
〃	〃	鹿児島県立鹿児島工業高等学校大煙突	草 牟 田 二 丁 目	平16. 6. 9
〃	〃	鹿児島市中央公民館	山 下 町	平17.11.10
〃	〃	鹿児島大学総合研究博物館常設展示室 一棟	郡 元 一 丁 目	平18.10.18
〃	〃	南洲神社電燈 一對	上 竜 尾 町	平18.10.18
〃	〃	潮音館（旧重富島津家住宅米蔵）	清 水 町	平19. 5.15
〃	〃	鹿児島県立甲南高等学校本館	上 之 園 町	平19. 7.31
〃	〃	鹿児島県立鹿児島中央高等学校本館及び講堂	加 治 屋 町	平19. 7.31
〃	〃	鹿児島旧港北防波堤灯台	本 港 新 町	平20. 3. 7
〃	〃	県政記念館（旧鹿児島県庁舎本館）	山 下 町	平20. 4.18
〃	〃	旧鹿児島県庁舎正面門	山 下 町	平20. 4.18
〃	〃	旧鹿児島県立尋常中学校門	山 下 町	平20. 4.18
〃	〃	鹿児島県立博物館（旧鹿児島県立図書館）	城 山 町	平20. 4.18
〃	〃	鹿児島県民教育文化研究所	春 日 町	平26. 4.25
〃	〃	旧重富島津家別邸主屋	清 水 町	平26. 4.25
〃	〃	旧重富島津家別邸石塀	清 水 町	平26. 4.25

③ 県指定文化財

区 分	種 別	名 称	所在地	指定年月日
有 形 文 化 財	建 造 物	西田橋	浜 町	昭28.9.7
		花尾神社本殿（附宮殿三基）・祝詞殿・幣殿・拝殿	花 尾 町	平14.4.23
		八幡神社本殿 附 宮殿 宮殿敷板1枚 棟札14枚	本 名 町	平17.4.19
	絵 画	旧鹿児島刑務所正門	永 吉 一 丁 目	平27.4.17
		釈迦八相之図	県歴史・美術センター黎明館	昭30.1.14
		富嶽雲烟之図 一幅	市 立 美 術 館	昭42.3.31
		武将像（伝島津忠久画像） 一幅	尚 古 集 成 館	昭54.3.14
		不動明王像	南 洲 寺	昭30.1.14
	彫 刻	伝島津忠昌像	尚 古 集 成 館	平7.4.12
		大権現忠国（島津忠国）像	〃	平7.4.12
		玩具コレクション	県歴史・美術センター黎明館	昭29.5.24
	工 芸 品	紡績機	尚 古 集 成 館	昭31.9.27
		刀 銘 薩州住藤原正房 一口	県歴史・美術センター黎明館	昭31.9.27
		刀 銘 主馬首一平安代 一口	〃	昭31.9.27
		刀 銘 奥大和守平朝臣元平	〃	昭53.3.8
		刀 銘 （一葉葵紋）主馬首一平藤原安代	〃	昭58.4.13
		刀 銘 （一葉葵紋）主水正藤原正清	〃	昭58.4.13
		茶器 平野肩衝 一口 附 目録並附属品	尚 古 集 成 館	昭55.3.31
		薩摩硝子 島津家伝来	〃	平17.4.19
		葵牡丹紋七宝繫蒔絵雜道具	〃	平20.4.22
		白釉茶碗火計手	市 立 美 術 館	平23.4.19
		黒蛇蛻釉茶碗	県歴史・美術センター黎明館	平23.4.19
		白蛇蛻釉茶碗	県歴史・美術センター黎明館	平23.4.19
	歴 史 資 料	島津貴久所用時雨の旗一旒ほか十六旒	尚 古 集 成 館	昭62.3.16
		英艦入港戦争図（薩英戦争絵巻）	〃	平9.4.21
	書 跡	東郷家古文書	東 千 石 町	昭34.10.23
		敬天愛人 一幅	西 郷 南 洲 顕 彰 館	昭42.3.31
		為政清明 一幅	市 立 美 術 館	昭42.3.31
		桑幡文書	県歴史・美術センター黎明館	昭29.3.15
	古 文 書	規式・料理関係文書	尚 古 集 成 館	平18.4.21
		大永の名号板碑	郡 元 二 丁 目	昭34.6.10
	考 古 資 料	山ノ口遺跡出土品	県歴史・美術センター黎明館	平27.4.17
		出水貝塚出土品	鹿児島女子短期大学	令3.4.23
		薩摩琵琶	草 牟 田 二 丁 目	昭37.10.24
無 形 文 化 財	芸 能	天吹	上 之 園 町	平2.3.23
		鹿児島市中山町の虚無僧踊	中 山 町	昭38.6.17
無形民俗文化財	民 俗 芸 能	本城花尾神社春祭り	本 城 町	平30.4.20
有形民俗文化財	民 俗 資 料	鹿児島市山田町の田の神	山 田 町	昭41.3.11
		鹿児島市川上町の田の神	川 上 町	昭41.3.11
記 念 物	史 跡	松元町入佐の田の神	入 佐 町	昭43.3.29
		弥生式住居跡	郡 元 二 丁 目	昭28.9.7
		平田鞆負屋敷跡	平 之 町	昭29.5.24
		南洲墓地	上 竜 尾 町	昭30.1.14
		私学校跡石堀	城 山 町	昭43.3.29
		川田堂園の供養塔群	川 田 町	昭38.6.17
		刀匠玉置家歴代の墓	喜 入 町	昭60.4.19
		祇園之洲台場跡	清 水 町	令4.4.26
	名 勝	桜島	鹿 児 島 市	昭29.3.15
		特殊羊歯類及び蘚類の自生地	東 桜 島 町	昭35.6.20
		世界で初めて精子が発見されたソテツ	城 山 町	平20.4.22
		ウシウマの骨格	県 立 博 物 館	昭38.6.17
		噴火により埋没した鳥居・門柱	黒 神 町	昭33.4.23
		鹿児島市西佐多町の吉田貝化石層	西 佐 多 町	平20.4.22
		薩摩隕石	県 立 博 物 館	平27.4.17
		スレッドレーススコリア	〃	平28.4.19
		大隅石（オオスミライト）標本	〃	令3.4.23

④ 市指定文化財

区 分	種 別	名 称	所在地	指定年月日
有 形 文 化 財	建 造 物 絵 画	旧島津氏玉里邸長屋門	玉 里 町	平28.3.23
		黒田清輝作「アトリエ」	市 立 美 術 館	昭49.3.15
		黒田清輝作「桜島噴火連作6点」	〃	昭49.3.15
		八田知紀筆「竹」	〃	昭49.3.15
		藤島武二作「裸體習作」	〃	昭52.5.20
		藤島武二作「中国風景」	〃	昭52.5.20
		和田英作作「赤い燐寸」	〃	昭52.5.20
		有島生馬作「スザンナ」	〃	昭55.5.28
		有島生馬作「巴里娘」	〃	昭55.5.28
	彫 刻	桃田柳栄筆「官女図巻」一巻	〃	平3.2.27
		安藤照作「西郷隆盛銅像」	城 山 町	令4.4.21
		新納忠之介作「西王母像」	市 立 美 術 館	令5.4.17
	工 芸 品	新納忠之介作「西王母」	〃	令5.4.17
		小田派諸工匠の鐔24枚	県歴史・美術センター黎明館	昭49.3.15
		刀銘波平行周文化八年二月日	〃	昭52.5.20
		刀銘薩州住藤原正盛	〃	昭52.5.20
		刀銘主馬首藤原朝臣安代子一平安在作	玉 里 団 地 一 丁 目	昭52.5.20
		刀銘波平安氏	城 山 二 丁 目	昭52.5.20
		刀銘大和守波平安行	県歴史・美術センター黎明館	昭52.5.20
		刀銘奥大和守平朝臣元平	松 原 町	昭52.5.20
		短刀銘波平友安作「八月吉日」	県歴史・美術センター黎明館	昭55.5.28
		刀銘波平近安	県歴史・美術センター黎明館	昭58.4.12
	歴 史 資 料	天保年間鹿児島城下絵図	市 立 美 術 館	平元.3.31
		市来家文書	県歴史・美術センター黎明館	平17.3.31
	考 古 資 料	掃除山遺跡出土品一括	ふるさと考古歴史館	平11.2.15
		草野貝塚出土品一括	〃	平11.2.15
		不動寺遺跡出土品（破鏡及び仿製鏡）	〃	平29.2.17
無形民俗文化財	民 俗 芸 能	山田の鉦踊り	山 田 町	昭52.8.19
		桜島・島廻り節	東 桜 島 町	昭52.8.19
		西田橋・地つき唄	草 牟 田 一 丁 目	昭52.8.19
		玉利の鎌手踊り	下 福 元 町	平元.3.31
		小池島廻り踊り	桜 島 小 池 町	平17.3.31
		岩戸の疱瘡踊り	花 尾 町	平17.3.31
		花尾の太鼓踊り	花 尾 町	平17.3.31
		大平の獅子舞	花 尾 町	平17.3.31
		西侯の八丁杵踊り	西 侯 町	平17.3.31
		西上の太鼓踊り	東 侯 町	平17.3.31
		鹿児島祇園祭（おぎおんさあ）巡行行事	東 千 石 町	平24.7.11
有形民俗文化財	民 俗 資 料	肥田の田の神	伊 敷 七 丁 目	昭57.3.24
		西田の田の神	薬 師 二 丁 目	昭57.3.24
		武一丁目の田の神	武 一 丁 目	昭57.3.24
		梶原迫の田の神	宇 宿 八 丁 目	昭57.3.24
		川口の田の神	五 ケ 別 府 町	昭57.3.24
		蕨野の田の神	星 ケ 峯 三 丁 目	昭57.3.24
		札下の田の神	山 田 町	昭57.3.24
		滝ノ下の田の神	中 山 町	昭57.3.24
		入来の田の神	東 谷 山 七 丁 目	昭57.3.24
		木ノ下の田の神	谷 山 中 央 四 丁 目	昭57.3.24
		新村の田の神	伊 敷 六 丁 目	平元.3.31
		東下の田の神	東 佐 多 町	平17.3.31

区 分	種 別	名 称	所在地	指定年月日
有形民俗文化財	民 俗 資 料	鵜木の田の神と石碑	西 佐 多 町	平17.3.31
〃	〃	帖地の田の神	喜 入 生 見 町	平17.3.31
〃	〃	森園の田の神	春 山 町	平17.3.31
〃	〃	上園の田の神	郡 山 町	平17.3.31
〃	〃	茄子田の田の神	花 尾 町	平17.3.31
〃	〃	弘治期の十三仏設斎碑	東 佐 多 町	平17.3.31
〃	〃	大永期の勧請石碑	東 佐 多 町	平17.3.31
〃	〃	六字名号供養百万遍石塔	東 佐 多 町	平17.3.31
〃	〃	本名八幡の庚申石幢	本 名 町	平17.3.31
〃	〃	宮之浦の三重石塔	宮 之 浦 町	平17.3.31
〃	〃	方崎（穂崎）の庚申塔	桜 島 横 山 町	平17.3.31
〃	〃	藤野の庚申塔	桜 島 藤 野 町	平17.3.31
〃	〃	黒地蔵	喜 入 中 名 町	平17.3.31
〃	〃	有屋田の庚申供養三層塔	有 屋 田 町	平17.3.31
〃	〃	庚申仁王石像	本 城 町	平17.8.1
記 念 物	史 跡	西郷隆盛洞窟	城 山 町	昭49.3.15
〃	〃	西郷隆盛終焉の地	〃	昭49.3.15
〃	〃	天保山砲台跡	天 保 山 町	昭49.3.15
〃	〃	坐（座）禅石	城 山 一 丁 目	昭52.5.20
〃	〃	本立寺跡	清 水 町	平元.3.31
〃	〃	南泉院歴代住職の墓	小 野 三 丁 目	平元.3.31
〃	〃	心岳寺跡	吉 野 町	平12.10.12
〃	〃	仏智山津友寺跡	西 佐 多 町	平17.3.31
〃	〃	桐野利秋田廬跡と田廬碑	本 城 町	平17.3.31
〃	〃	寺前の五輪塔と宝塔	本 名 町	平17.3.31
〃	〃	島津義弘蟄居跡	桜 島 藤 野 町	平17.3.31
〃	〃	沖小島砲台跡	桜 島 横 山 町	平17.3.31
〃	〃	武貝塚	桜 島 武 町	平17.3.31
〃	〃	仙寿院跡	入 佐 町	平17.3.31
〃	〃	上坊石塔群	上 谷 口 町	平17.3.31
〃	〃	町田家の墓	石 谷 町	平17.3.31
〃	〃	石谷の石坂	石 谷 町	平17.3.31
〃	〃	花尾神社の石塔群	花 尾 町	平17.3.31
〃	〃	常盤五輪塔群	郡 山 町	平17.3.31
〃	〃	川田氏累代墓石塔群	川 田 町	平17.3.31
〃	〃	都迫の念仏かくれ窟	本 名 町	平17.8.1
〃	〃	喜入牧の荳跡	喜 入 一 倉 町	平27.9.2
〃	〃	清泉寺跡	下 福 元 町	令4.4.21
〃	名 勝	慈眼寺跡	下 福 元 町	昭49.3.15
〃	天然記念物（植物）	藤崎家の大楊梅	桜 島 藤 野 町	平17.3.31
〃	〃	キイレツチトリモチ自生地	喜 入 町	平17.3.31
〃	〃	郡山花尾神社の社叢林	花 尾 町	平31.2.7

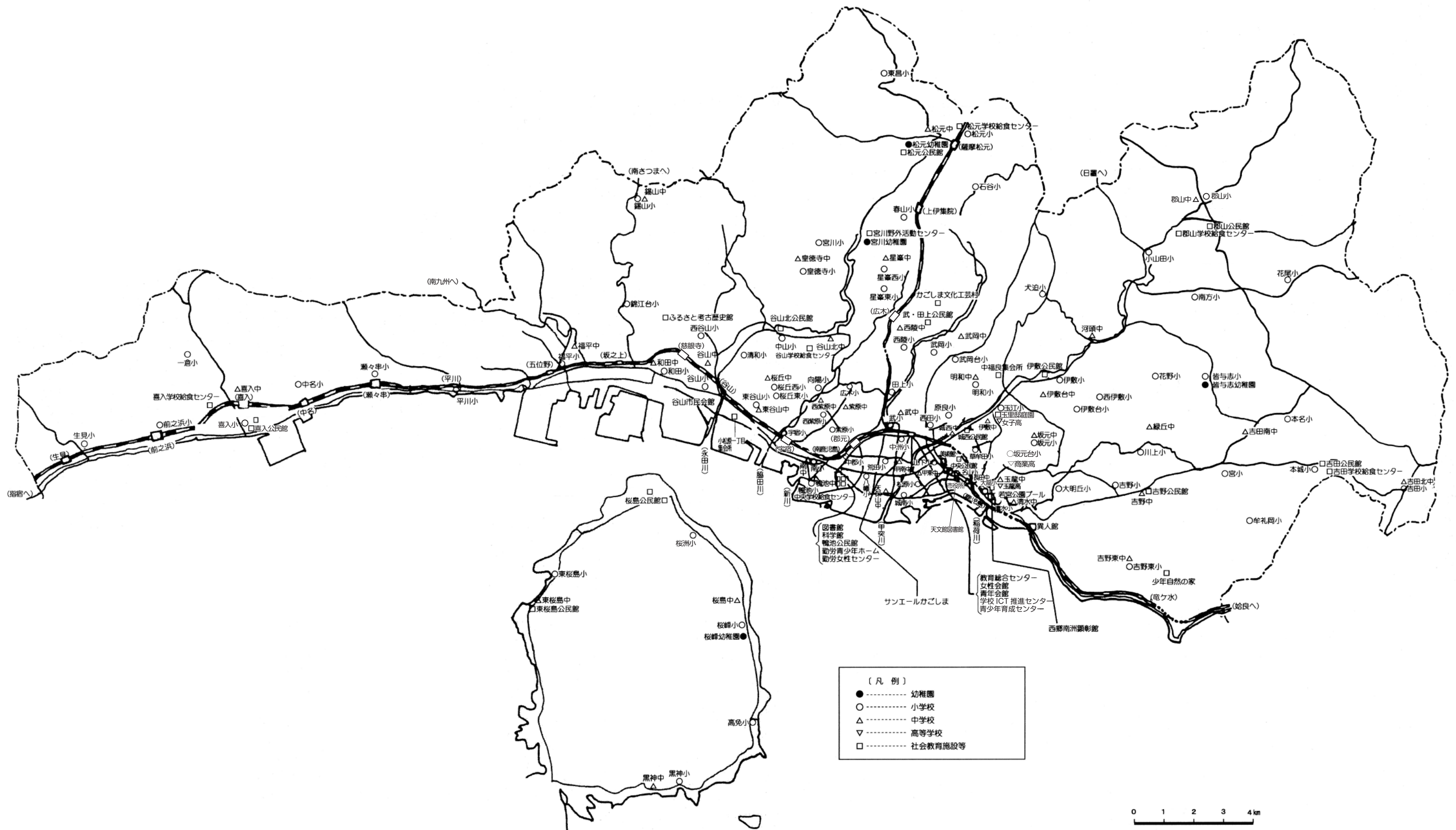
(2)郷土芸能保護団体一覧表（令和6年5月1日現在）

	芸能名	団体名	備考
1	桜島・島廻り節	東桜島島廻り節保存会	市指定
2	棒踊り（帯迫）	帯迫棒踊り保存会	
3	虚無僧踊り（一丁田）	一丁田虚無僧踊り保存会	
4	棒踊り（西菖蒲谷）	西菖蒲谷棒踊り保存会	
5	棒踊り（春山）	春山郷土芸能保存会	
6	虚無僧踊り（中山）	中山町下虚無僧踊り保存会	県指定
7	太鼓踊り（小山田）	小山田町太鼓踊り保存会	
8	チンチクチン踊り	二軒茶屋太鼓踊り保存会	
9	虚無僧踊り（広木）	広木虚無僧踊り保存会	
10	棒踊り（花野）	花野南方神社棒踊り保存会	
11	西田橋・地つき唄	正調おはら節保存会	市指定
12	棒踊り（皆房）	皆房棒踊り保存会	
13	山田の鉦踊り	山田鉦踊り保存会	市指定
14	玉利の鎌手踊り	玉利鎌手踊り保存会	市指定
15	棒踊り（下花棚）	下花棚棒踊り保存会	
16	米洗い節	原良永吉伝統芸能保存会	
17	田植え踊り（西別府）	西別府町下田植え踊り保存会	
18	棒踊り（田上）	田上上区棒踊り保存会	
19	棒踊り（上花棚）	上花棚棒踊り保存会	
20	太鼓踊り（西別府）	西別府町上町内会	
21	銭太鼓踊り（野頭）	野頭銭太鼓保存会	
22	石当節（錫山）	錫山石当節保存会	
23	ソバ切り踊り	谷山芸能保存会	
24	棒踊り（犬迫荒磯）	犬迫町郷土芸能保存会	
25	棒踊り（大久保）	大久保棒踊り保存会	
26	催馬楽舞	せばる隼人舞保存会	
27	棒踊り（茂頭）	茂頭棒踊り保存会	
28	棒踊り（中間）	中間棒踊り保存会	
29	川上棒踊り	川上棒踊り保存会	
30	小山田獅子踊り	小山田獅子踊り保存会	
31	古屋敷棒踊り	古屋敷棒踊り保存会	
32	五位野棒踊り	五位野棒踊り保存会	
33	中之町鉦踊り	中之町鉦踊り保存会	

	芸能名	団体名	備考
34	本城花尾神社棒踊り	本城棒踊り保存会	県指定
35	さつま編笠踊り	さつま編笠踊り保存会	
36	城内天狗踊り	城内天狗踊り保存会	
37	西下田之神棒踊り	西下田之神棒踊り保存会	
38	吉水棒踊り	吉水棒踊り保存会	
39	棒踊り（松浦）	松浦棒踊り保存会	
40	小池島廻り踊り	小池島廻り踊り保存会	市指定
41	瀬々串棒踊り	瀬々串棒踊り保存会	
42	中名上棒踊り	中名上棒踊り保存会	
43	中名中棒踊り	中名中集落棒踊り保存会	
44	中名下棒踊り	中名下棒踊り保存会	
45	宮地棒踊り	宮地棒踊り保存会	
46	仮屋崎早乙女踊り	仮屋崎早乙女踊り保存会	
47	一倉鎌踊り	一倉鎌踊り保存会	
48	前之浜チョイのチョイ踊り	前之浜チョイのチョイ踊り保存会	
49	生見おた踊り	生見おた踊り保存会	
50	入佐棒踊り	入佐棒踊り保存会	
51	西上の太鼓踊り	西上太鼓踊り保存会	市指定
52	大平の獅子舞	大平獅子舞踊り保存会	市指定
53	岩戸の疱瘡踊り	岩戸疱瘡踊り保存会	市指定
54	花尾の太鼓踊り	花尾太鼓踊り保存会	市指定
55	西俣の八丁杵踊り	西俣八丁杵踊り保存会	市指定
56	鹿児島祇園祭（おぎおんさあ）巡行行事	鹿児島おぎおんさあ振興会	市指定
57	皆与志町上棒踊り	皆与志町上棒踊り保存会	

(空白のページ)

教育施設等所在図



鹿児島市の「市木」・「市花」

市木 くすのき

市花 きょうちくとう

昭和43年11月1日制定

鹿児島市の教育

(令和6年度版)

令和6年6月発行

・編集／発行

鹿児島市教育委員会

鹿児島市山下町6番1号

電話 099-227-1926

FAX 099-227-8796

